

**第5期高齢者保健福祉計画・  
介護保険事業計画策定のための  
アンケート調査結果報告書**

平成23年（2011年）8月

**箕面市**

## 目次

1. 調査概要.....	1
1) 調査の目的.....	1
2) 調査方法.....	1
3) 回収状況.....	1
4) 集計上の注意.....	2
2. 調査結果.....	3
ご本人について.....	3
お住まいと世帯について.....	17
健康・医療について.....	33
運動・外出状況について.....	47
転倒予防について.....	56
口や歯の状況、栄養状況などについて.....	57
物忘れの状況について.....	60
こころの状況について.....	63
日常生活について.....	65
社会参加などについて.....	70
介護保険について.....	82
相談ごと・情報について.....	114
高齢者施策について.....	126
介護者について.....	129
生活状況評価.....	142
自由回答.....	148
参考 アンケート調査票.....	159
第2号被保険者調査票.....	159
第1号被保険者調査票.....	171
要支援者・要介護者調査票.....	191

# 1. 調査概要

## 1) 調査の目的

本調査は、平成24年4月から始まる「箕面市第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定のための基礎資料とするため、第2号被保険者（40～64歳の市民）、第1号被保険者（65歳以上の市民）および要支援・要介護認定を受けている人を対象に、本人の生活実態とともに、介護保険制度や保健福祉施策に対する意識・動向、サービスの利用状況等を把握することを目的に実施しました。

## 2) 調査方法

- 調査期間 : 平成23年2月4日～2月21日
- 調査基準日 : 平成23年2月1日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収、無記名調査、調査時期の中間で督促状を送付
- 調査対象

調査名称	調査対象	人数
第2号被保険者調査	40～64歳の市民（要支援・要介護認定者を除く）	1,000人（無作為抽出）
第1号被保険者調査	65歳以上の市民（要支援・要介護認定者を除く）	1,000人（無作為抽出）
要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定者	3,000人（無作為抽出）

## 3) 回収状況

調査名称	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
第2号被保険者調査	1,000	639	63.9%	639	63.9%
第1号被保険者調査	1,000	859	85.9%	859	85.9%
要支援・要介護認定者調査	3,000	2,134	71.1%	1,981	66.0%

※要支援・要介護認定者調査については、集計上で「要支援」および「要介護」に分類する必要があるため、要介護度が不明なものも無効としています。

#### 4) 集計上の注意

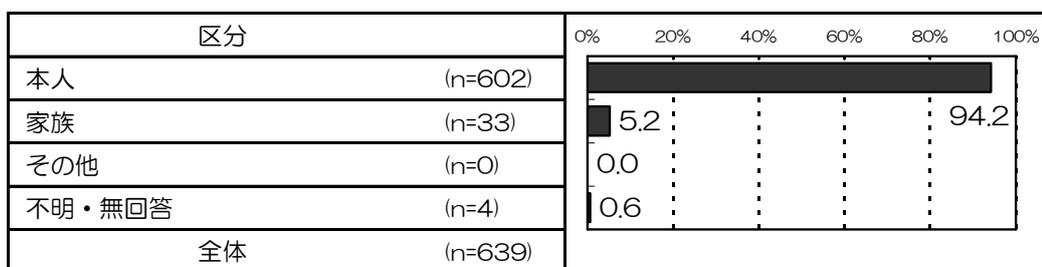
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は、少数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100.0%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100.0%を超えます。
- 図表中の「不明・無回答」については、回答が示されていない、または、回答の判別が著しく困難なものです。
- 図表中の「全体」については、クロス項目の不明・無回答者も含まれます。
- 本文中の設問の選択肢については、長文のものは簡略化して記載している場合があります。
- 本報告書のタイトルや分析文における【2号】【1号】【要支援】【要介護】については、以下のとおりです。
  - 【2号】：第2号被保険者調査
  - 【1号】：第1号被保険者調査
  - 【要支援】：要支援・要介護認定者調査の要支援認定者抜粋
  - 【要介護】：要支援・要介護認定者調査の要介護認定者抜粋
- 本報告書で引用した前回調査の概要は以下のとおりです。
  - 調査名：第4期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート  
(第2号被保険者調査、一般高齢者調査(第1号)、要支援認定者調査、要介護認定者調査)
  - 実施時期：平成20年2月12日～2月25日
  - 調査基準日：平成20年2月1日
  - 調査方法：郵送による配布・回収及び無記名調査、調査時期の中間で督促状を送付
  - 回収状況(回収率)：第2号被保険者調査は55.8%、一般高齢者調査は77.1%、  
要支援認定者調査は72.0%、要介護認定者調査は61.4%

## 2. 調査結果

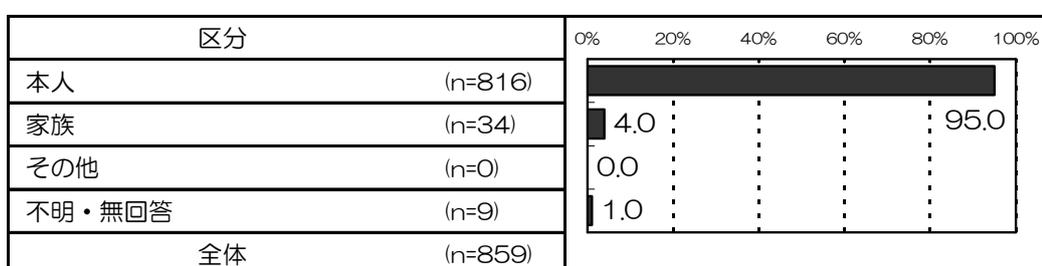
### ご本人について

図表1 ○ この調査に回答されるかたはどなたですか。

【2号】



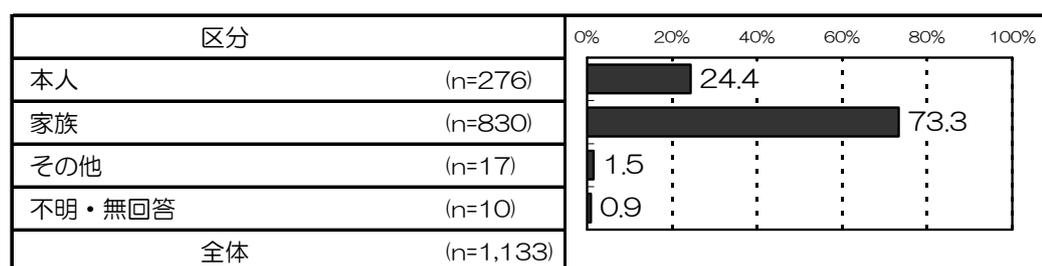
【1号】



【要支援】



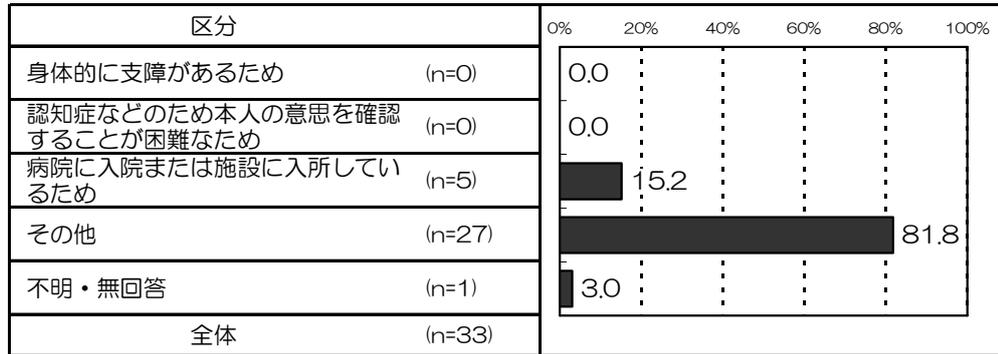
【要介護】



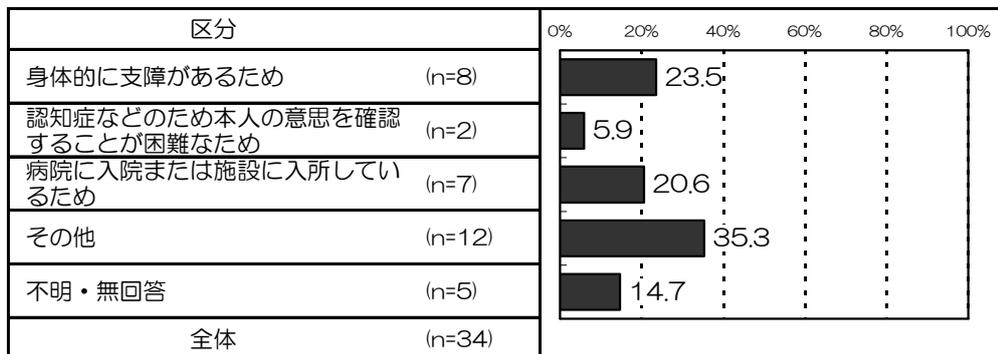
回答者については、【2号】【1号】【要支援】では「本人」が最も多くなっていますが、【要介護】では「家族」が最も多くなっており、「本人」は24.4%となっています。

図表2 ○ ご本人が回答できない理由

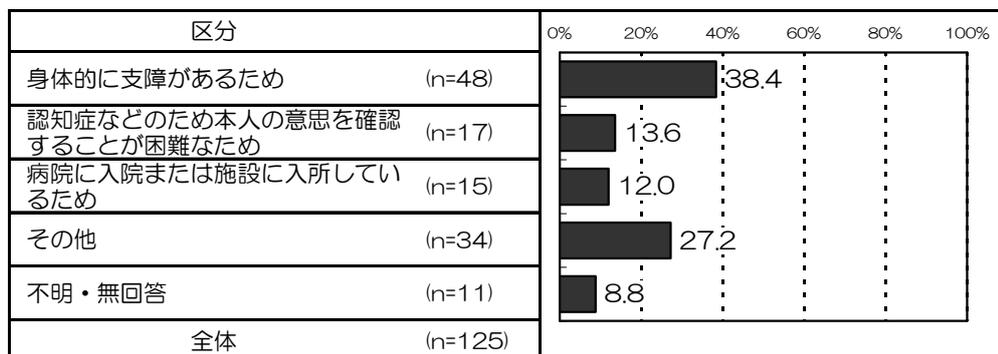
【2号】



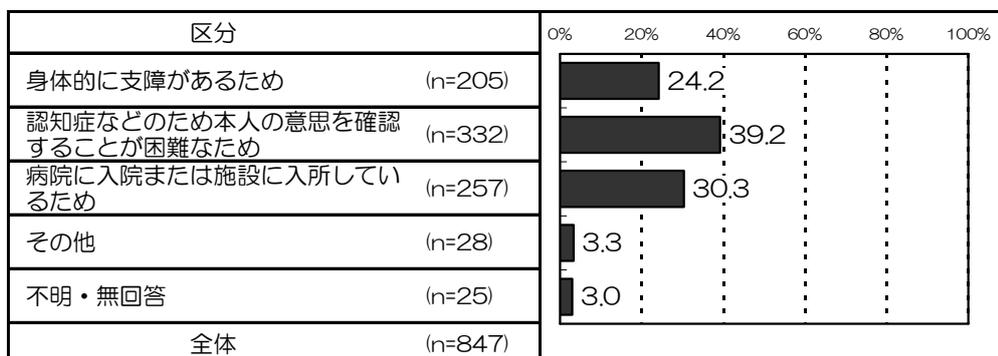
【1号】



【要支援】



【要介護】



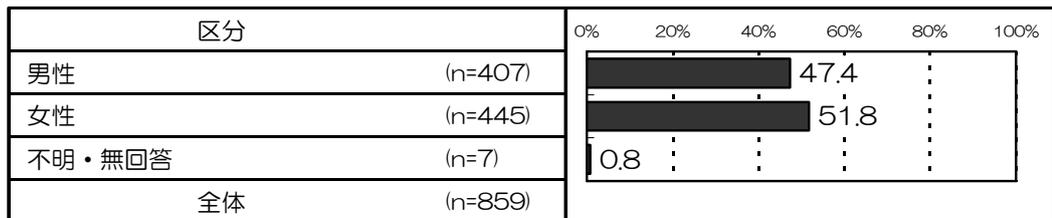
調査対象者が回答できない理由については、【要支援】では「身体的に支障があるため」、【要介護】では「認知症などのため本人の意思を確認することが困難なため」、【2号】や【1号】ではその他回答が最も多くなっています。

図表3 ○ あなたの性別はどちらですか。

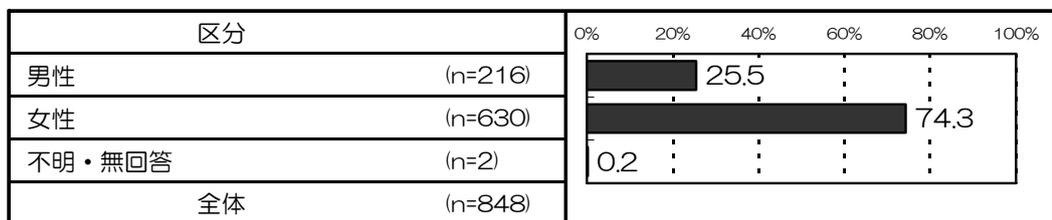
【2号】



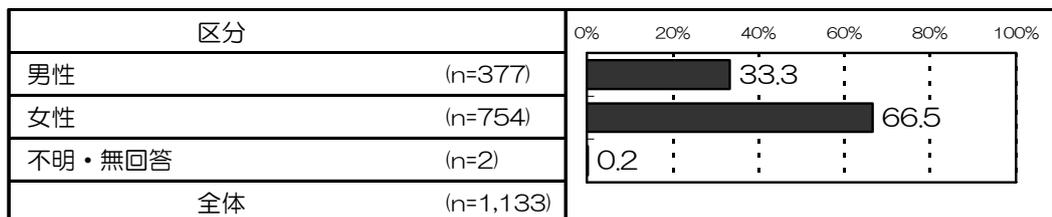
【1号】



【要支援】



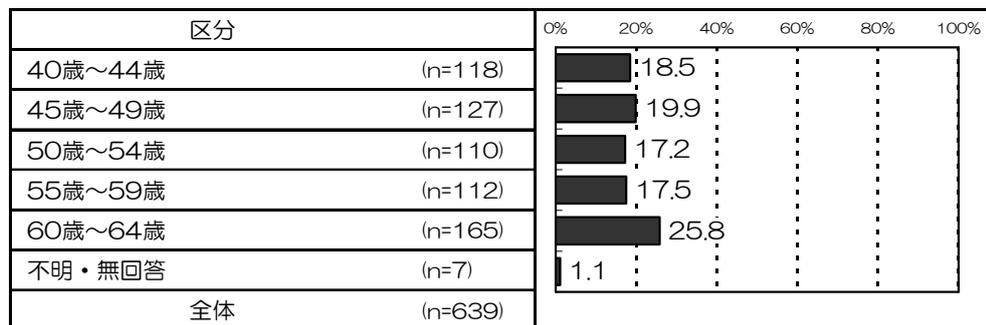
【要介護】



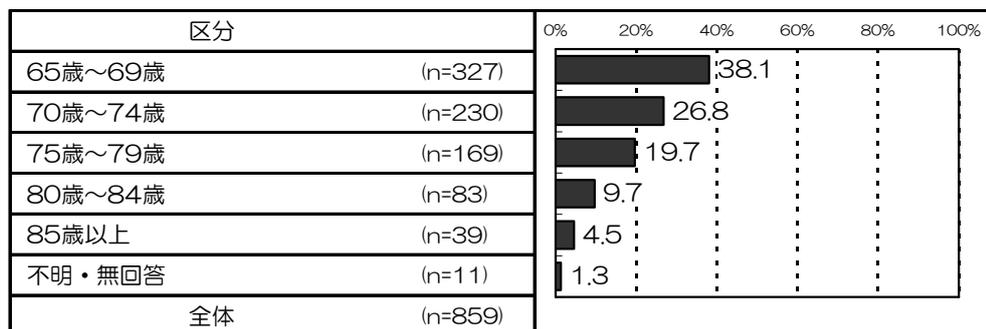
調査対象者の性別については、【1号】では男女の割合はほぼ半数ずつとなっていますが、【2号】【要支援】【要介護】では「女性」の割合が高くなっています。

図表4 ○ 平成23年(2011年)2月1日現在で何歳ですか。

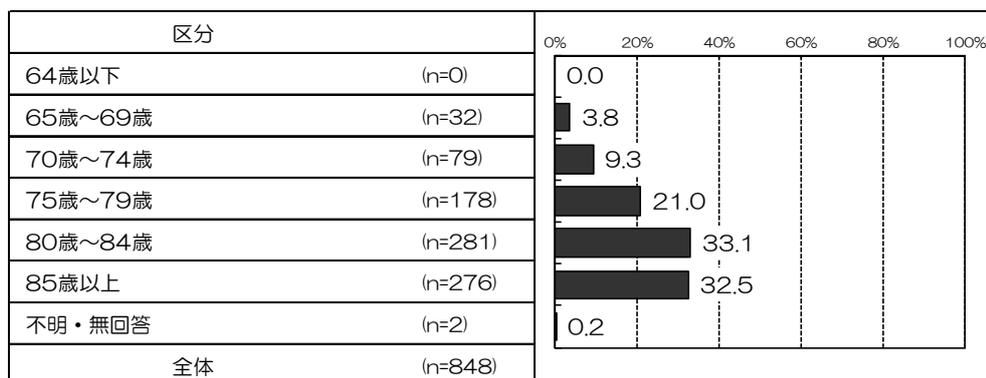
【2号】



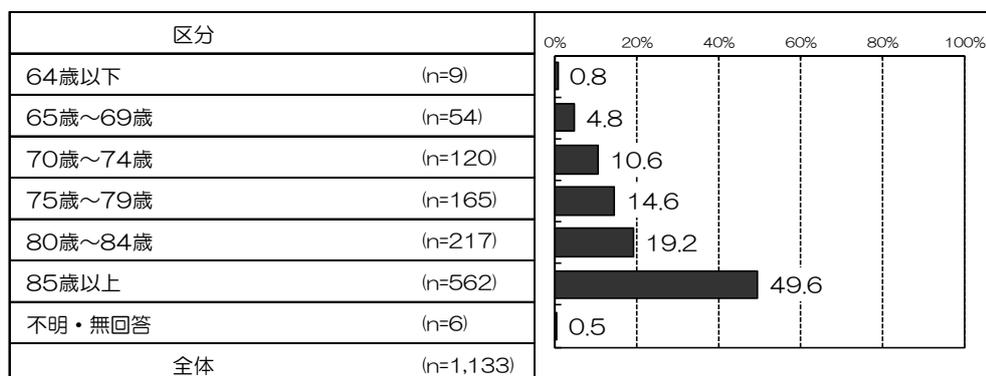
【1号】



【要支援】



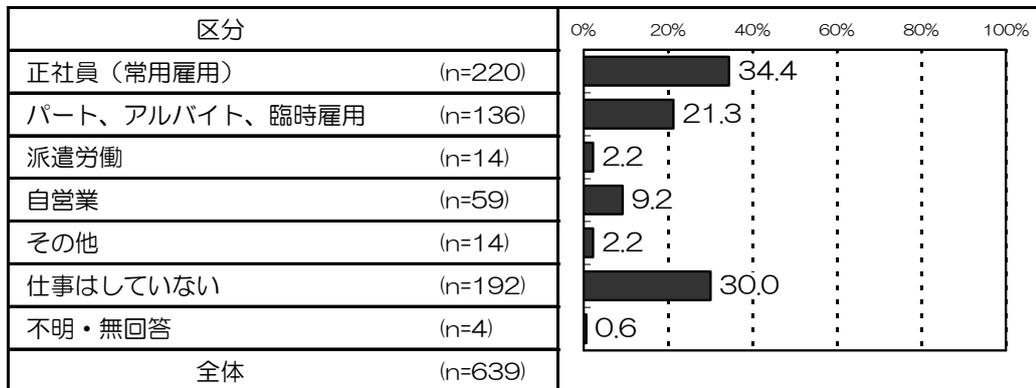
【要介護】



調査対象者の年齢については、【1号】では年齢とともに回答者の構成割合が低くなり、【要支援】【要介護】では年齢とともに構成割合が高くなっています。また、【2号】については、40歳～44歳、45歳～49歳、50歳～54歳、55歳～59歳の年齢区分の構成割合はいずれも2割程度を占め、60歳～64歳では2割台半ばを占めています。

図表5 ○ あなたの就労状況についておたずねします。

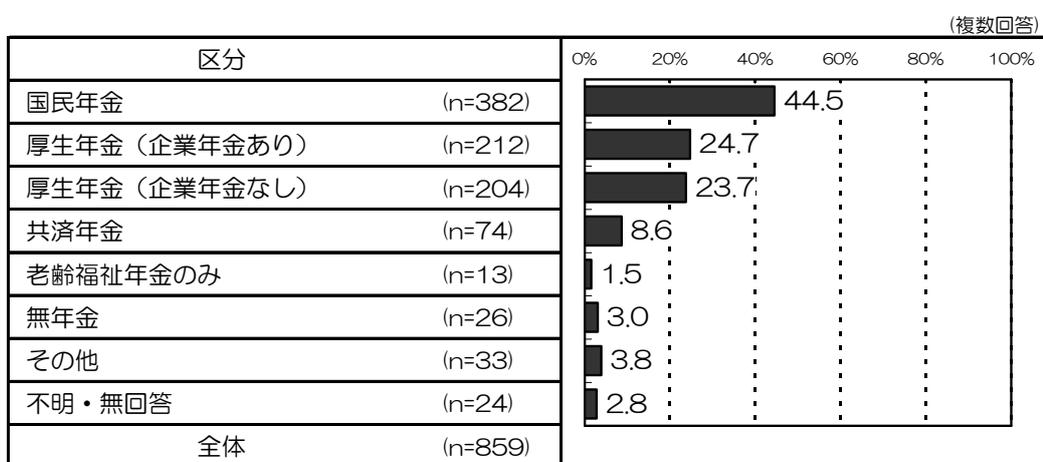
【2号】



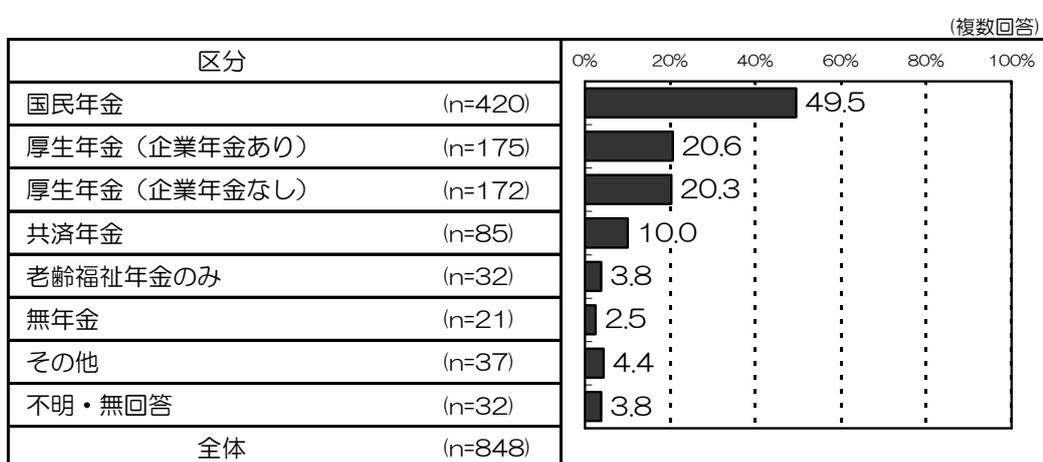
【2号】の就労状況については、「正社員（常用雇用）」が34.4%で最も多く、「仕事はしていない」が30.0%、「パート、アルバイト、臨時雇用」が21.3%で続きます。

図表6 ○ あなたが加入している年金の種類はどれですか。

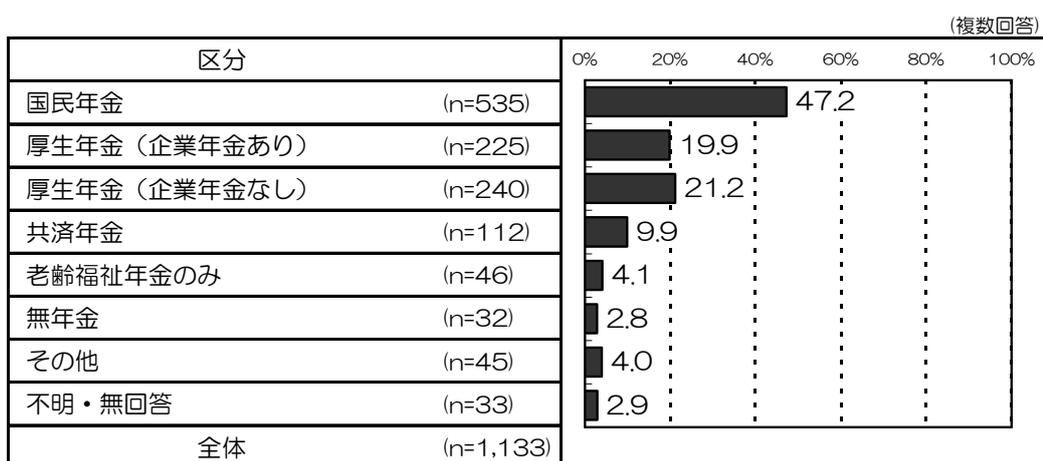
【1号】



【要支援】



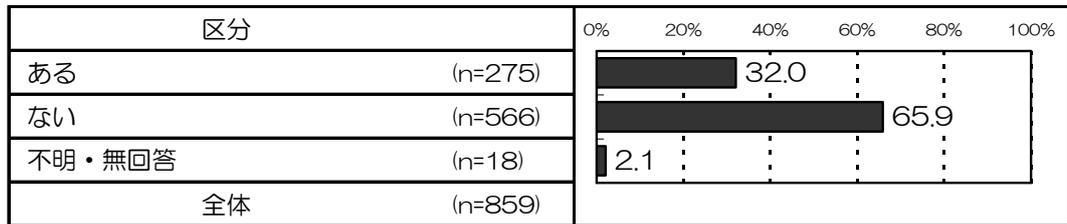
【要介護】



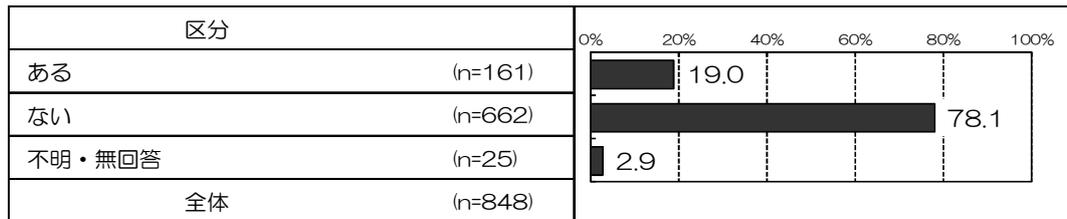
加入している年金の種類については、【1号】【要支援】【要介護】ともに、「国民年金」が最も多く、「厚生年金（企業年金あり）」や「厚生年金（企業年金なし）」が続いています。

図表7 ○ 年金以外に収入がありますか。

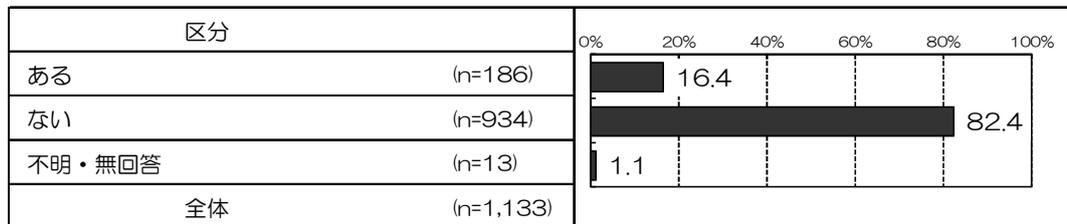
【1号】



【要支援】



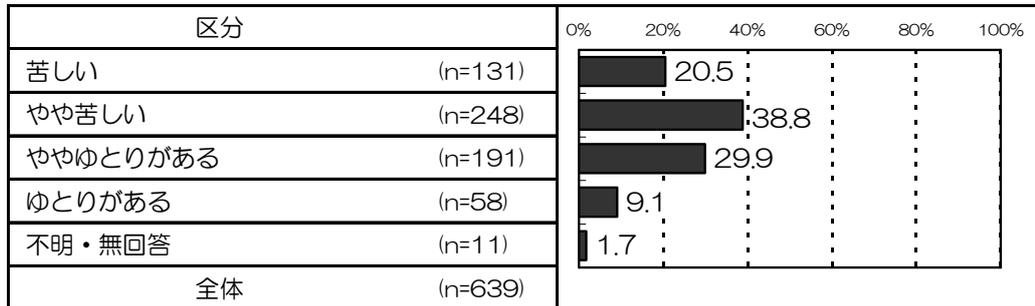
【要介護】



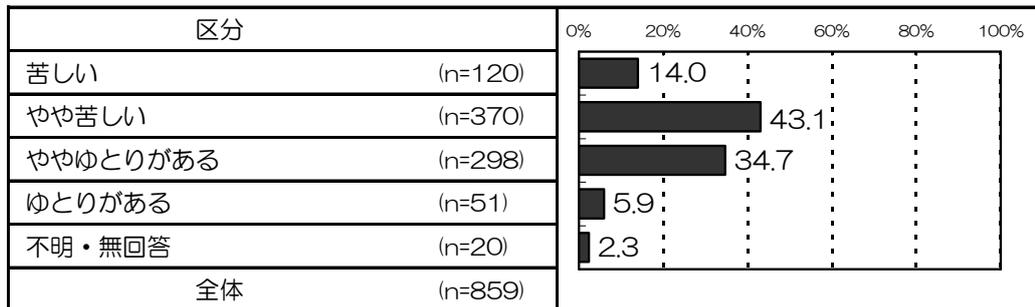
年金以外の収入については、すべての区分で、年金以外の収入が「ない」の割合が高くなっており、「ある」については、【1号】で32.0%となっています。

図表8 ○ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じますか。

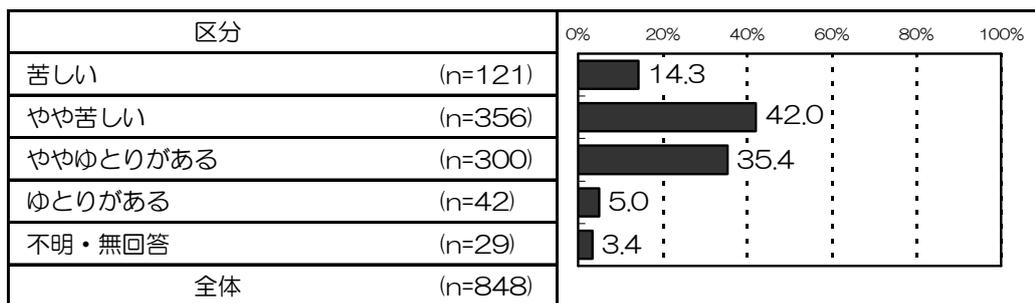
【2号】



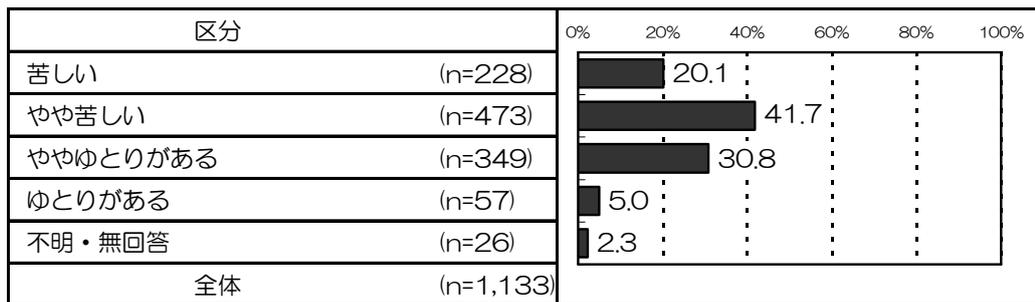
【1号】



【要支援】

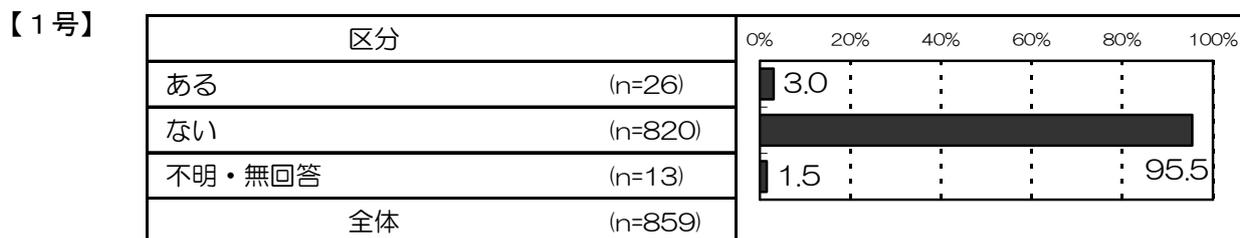


【要介護】



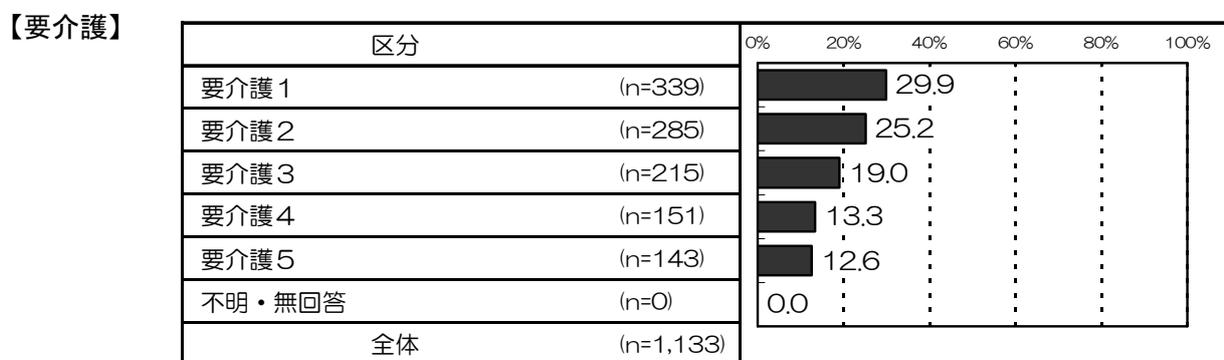
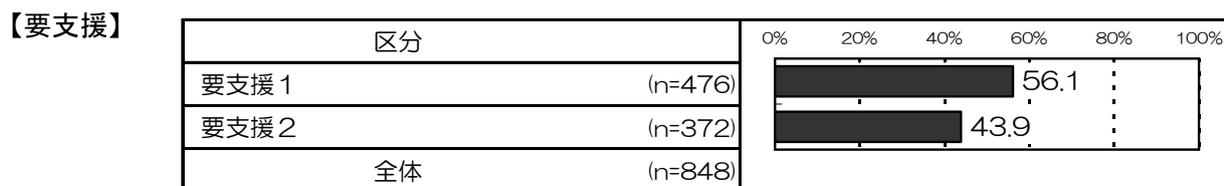
現在の暮らしの状況を経済的にみた結果については、すべての区分で、経済的に「やや苦しい」が最も高くなっており、経済的に苦しいとする人（「苦しい」または「やや苦しい」と回答した人）も6割前後を占めています。特に、【2号】【要介護】では、経済的に苦しいとする人の割合が、【1号】【要支援】を上回っています。

図表9 ○ あなたは、介護保険の要介護認定を申請したことがありますか。



【1号】の介護保険要介護認定の申請有無については、「ない」が95.5%を占めています。

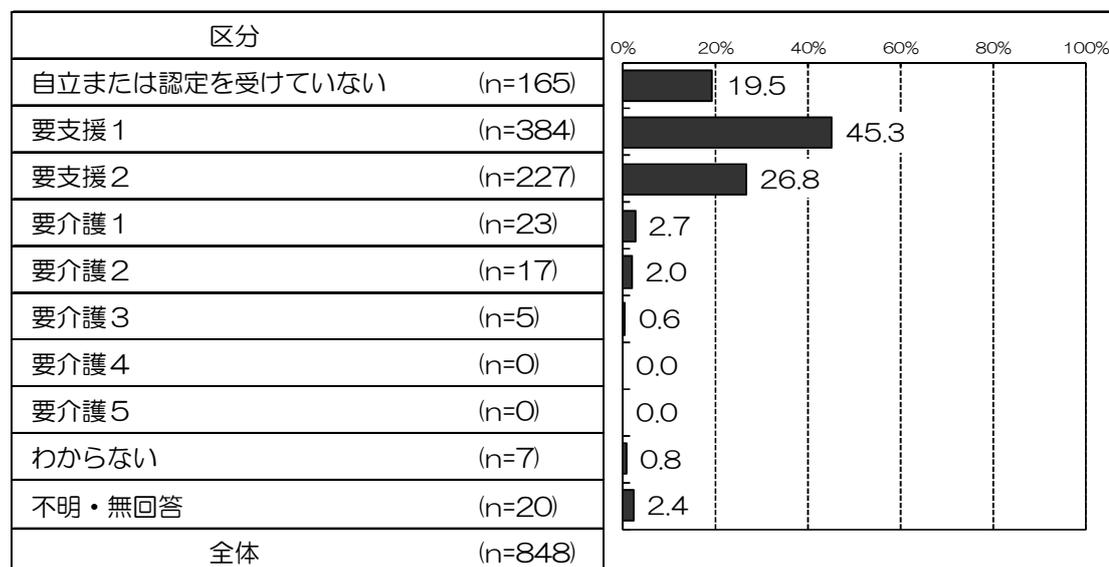
図表10 ○ あなたの現在の要介護度はどれですか。



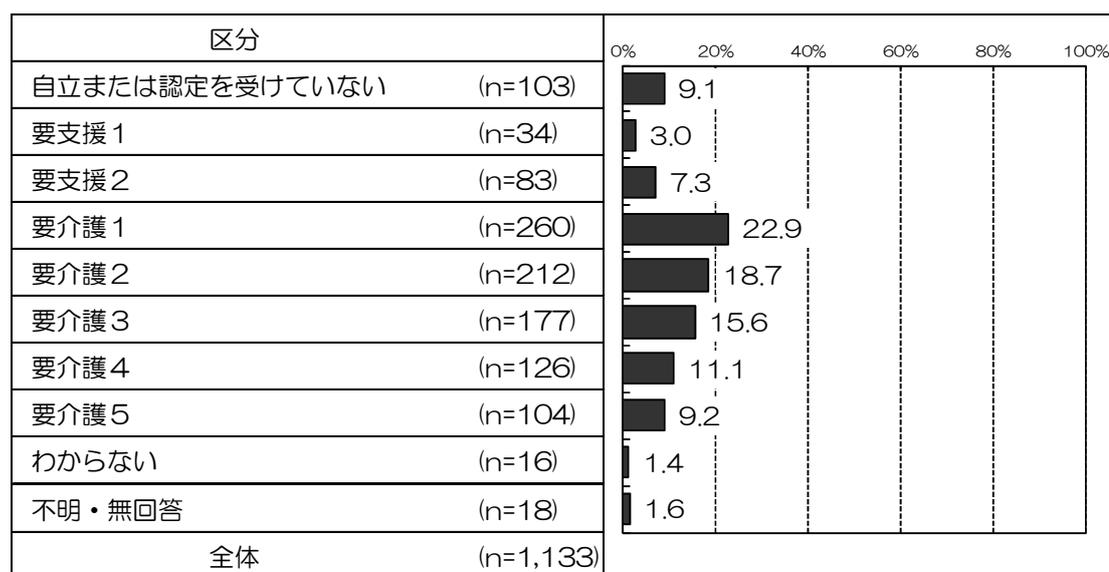
調査対象者の要介護度については、【要支援】では、「要支援1」が56.1%、「要支援2」が43.9%となっています。また、【要介護】では、「要介護1」が29.9%、「要介護2」が25.2%となっており、要介護1および2で過半数を占めています。

図表 11 ○ 1年前の要支援・要介護度はどれでしたか。

【要支援】



【要介護】



1年前の要支援・要介護度については、【要支援】では、「要支援1」が45.3%で最も高くなっています。また、「自立または認定を受けていない」が19.5%、「要介護1」～「要介護5」から要支援に移行した（軽度化した）人は5.3%となっています。

【要介護】では、「要介護1」が22.9%で最も高くなっています。また、「自立または認定を受けていない」や「要支援1」「要支援2」から要介護に移行した（重度化した）人は19.4%となっています。

図表 11-1 ■ 要介護度別状態変化の状況

以下の表では、縦軸に「現在の要介護度」を、横軸に「1年前の要介護度」をとっています。縦軸と横軸をクロスし、同じ要介護度の方は「1年前の要介護状態を維持している人」であり、縦軸の要介護度と同じ横軸の要介護度から右側に位置する人は、この1年で「要介護状態が軽度化した人」を、左側に位置する人は、「要介護状態が重度化した人」を示します。

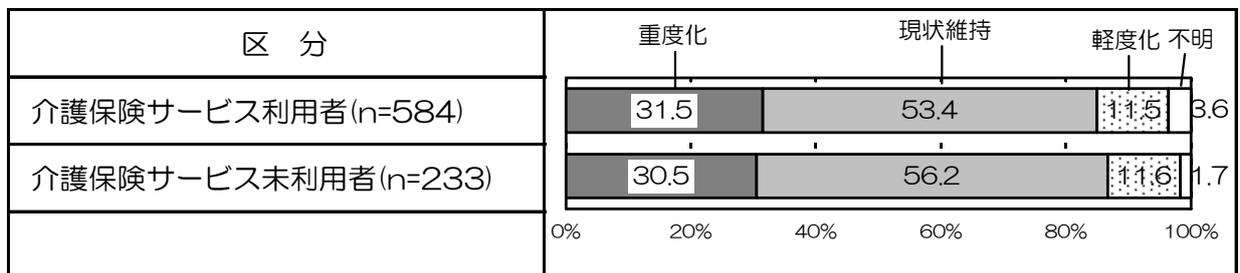
■ : 要介護状態が重度化    ■ : 要介護状態を維持    ■ : 要介護状態が軽度化

【要支援】介護保険サービス利用者の要介護度の変化

上段 (人) 下段 (%)	全体	1年前の要介護度										
		自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答	
現在の要介護度	全体	584	103	258	171	15	11	5	0	0	5	16
		100.0	17.6	44.2	29.3	2.6	1.9	0.9	0.0	0.0	0.9	2.7
	要支援1	304	66	177	36	9	2	1	0	0	4	9
		100.0	21.7	58.2	11.8	3.0	0.7	0.3	0.0	0.0	1.3	3.0
	要支援2	280	37	81	135	6	9	4	0	0	1	7
		100.0	13.2	28.9	48.2	2.1	3.2	1.4	0.0	0.0	0.4	2.5

【要支援】介護保険サービス未利用者の要介護度の変化

上段 (人) 下段 (%)	全体	1年前の要介護度										
		自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答	
現在の要介護度	全体	233	58	110	49	8	4	0	0	0	2	2
		100.0	24.9	47.2	21.0	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9
	要支援1	155	38	97	15	3	1	0	0	0	0	1
		100.0	24.5	62.6	9.7	1.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	要支援2	78	20	13	34	5	3	0	0	0	2	1
		100.0	25.6	16.7	43.6	6.4	3.8	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3



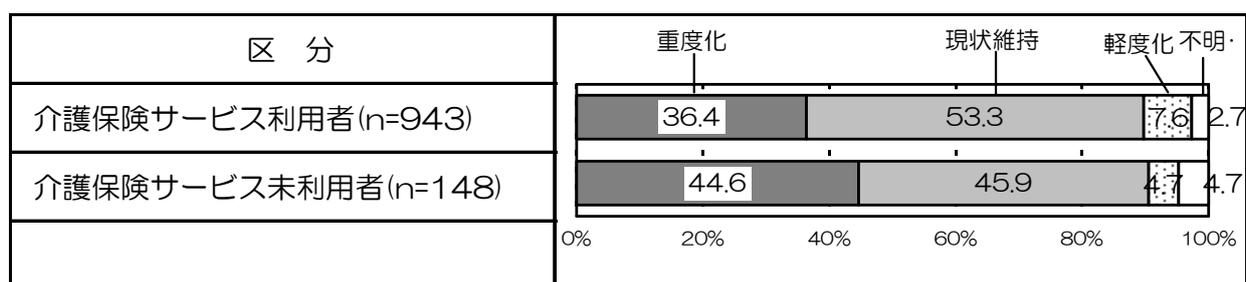
要支援者について、要介護度別状態変化の状況をみると、「現状維持」または「軽度化」した人は、介護保険サービス利用者で64.9%、未利用者で67.8%となっており、サービス利用有無で2.9ポイントの差があります。

【要介護】介護保険サービス利用者の要介護度の変化

上段 (人) 下段 (%)	全体	1年前の要介護度										
		自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答	
現在の要介護度	全体	943	77	28	71	217	182	156	111	76	11	14
		100.0	8.2	3.0	7.5	23.0	19.3	16.5	11.8	8.1	1.2	1.5
	要介護1	280	44	20	30	146	18	10	0	2	5	5
		100.0	15.7	7.1	10.7	52.1	6.4	3.6	0.0	0.7	1.8	1.8
	要介護2	238	11	7	24	52	115	11	12	0	2	4
		100.0	4.6	2.9	10.1	21.8	48.3	4.6	5.0	0.0	0.8	1.7
	要介護3	191	11	0	15	14	33	102	12	2	1	1
		100.0	5.8	0.0	7.9	7.3	17.3	53.4	6.3	1.0	0.5	0.5
	要介護4	133	9	0	1	4	12	24	73	5	3	2
		100.0	6.8	0.0	0.8	3.0	9.0	18.0	54.9	3.8	2.3	1.5
	要介護5	101	2	1	1	1	4	9	14	67	0	2
		100.0	2.0	1.0	1.0	1.0	4.0	8.9	13.9	66.3	0.0	2.0

【要介護】介護保険サービス未利用者の要介護度の変化

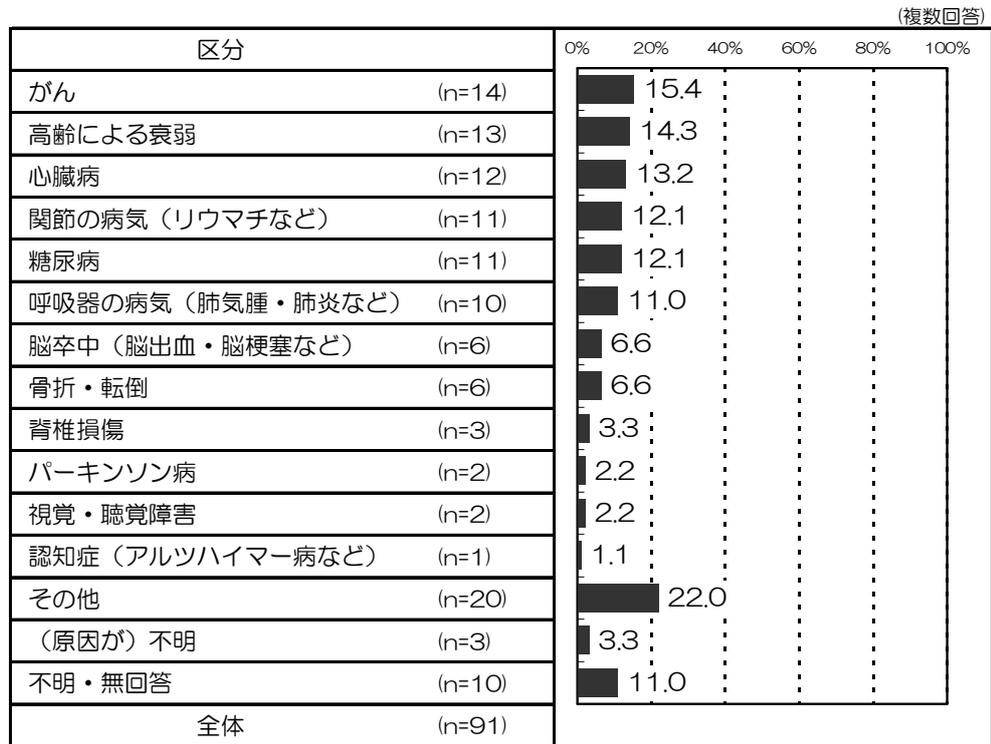
上段 (人) 下段 (%)	全体	1年前の要介護度										
		自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答	
現在の要介護度	全体	148	25	5	11	38	21	13	11	17	4	3
		100.0	16.9	3.4	7.4	25.7	14.2	8.8	7.4	11.5	2.7	2.0
	要介護1	53	12	2	9	26	1	0	0	0	2	1
		100.0	22.6	3.8	17.0	49.1	1.9	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9
	要介護2	34	9	0	1	6	14	3	0	0	0	1
		100.0	26.5	0.0	2.9	17.6	41.2	8.8	0.0	0.0	0.0	2.9
	要介護3	20	1	1	0	2	3	8	1	2	2	0
		100.0	5.0	5.0	0.0	10.0	15.0	40.0	5.0	10.0	10.0	0.0
	要介護4	12	1	0	0	1	2	2	5	0	0	1
		100.0	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7	16.7	41.7	0.0	0.0	8.3
	要介護5	29	2	2	1	3	1	0	5	15	0	0
		100.0	6.9	6.9	3.4	10.3	3.4	0.0	17.2	51.7	0.0	0.0



要介護者について、要介護度別状態変化の状況をみると、「現状維持」または「軽度化」した人は、介護保険サービス利用者で60.9%、未利用者で50.6%となっており、サービス利用有無で10.3ポイントの差があります。

図表 12 ○ 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。

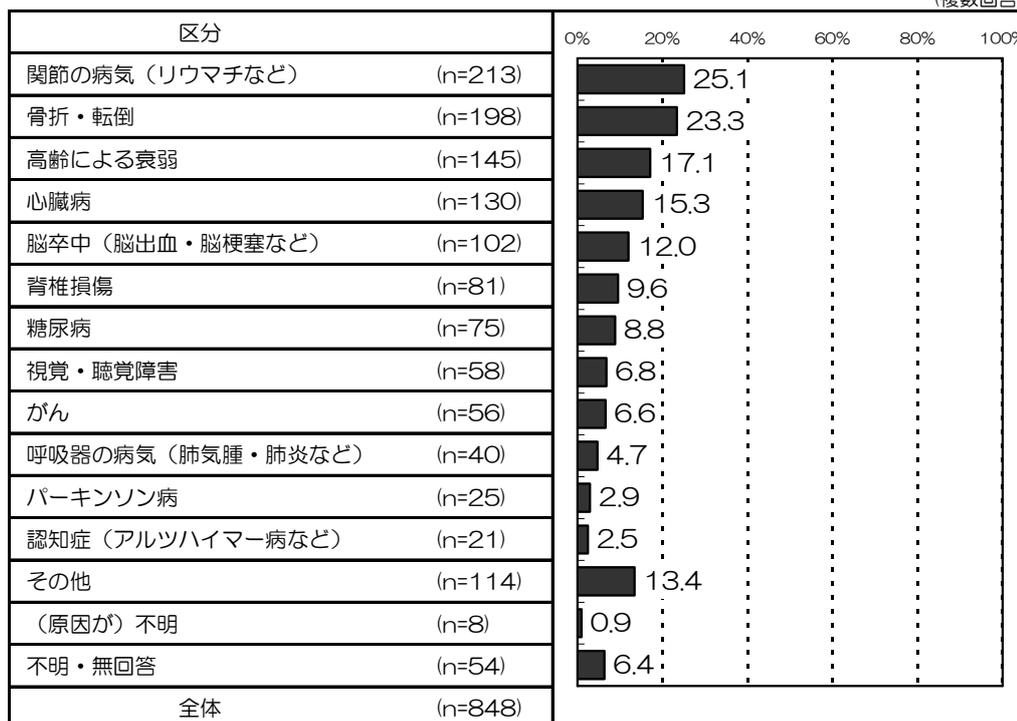
【1号】



【1号】で介護・介助が必要な人について、その主な原因をみると、「その他」が22.0%で最も高く、「がん」(15.4%)、「高齢による衰弱」(14.3%)が続いています。また、「その他」の内容としては、うつ病や難病などが含まれています。

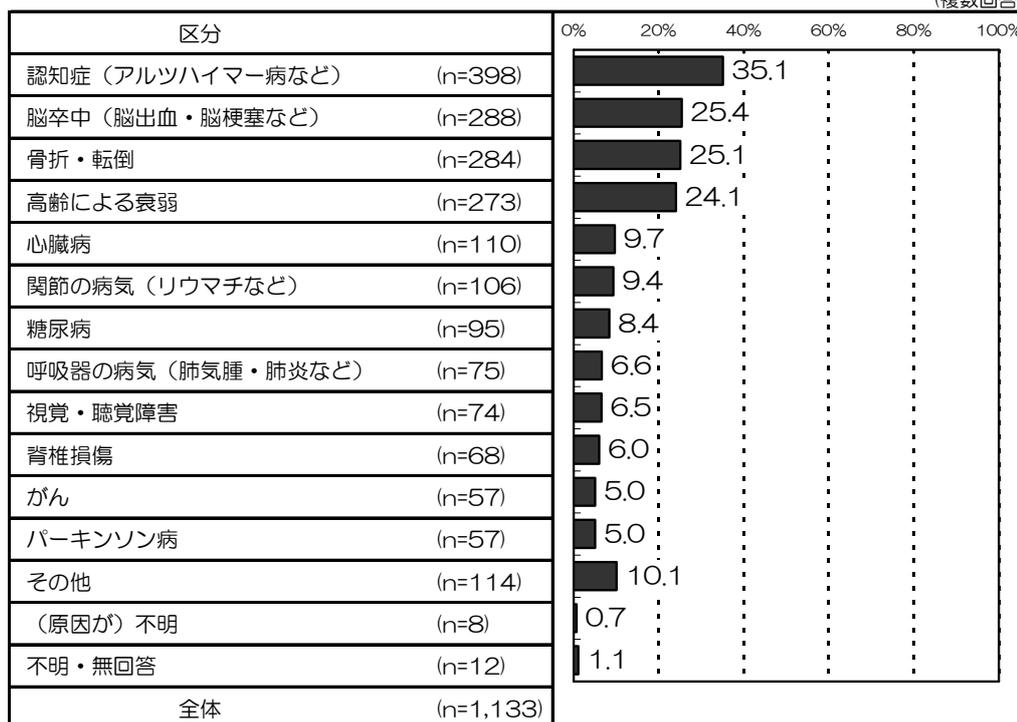
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

(複数回答)

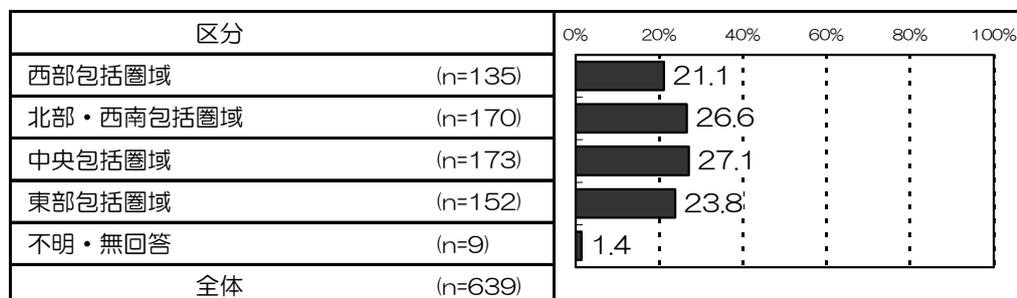


要支援・要介護状態になった原因については、【要支援】では「関節の病気」や「骨折・転倒」が2割台半ばとなり上位を占めています。また、【要介護】では、「認知症」が35.1%で最も高く、「脳卒中」や「骨折・転倒」などが続きます。

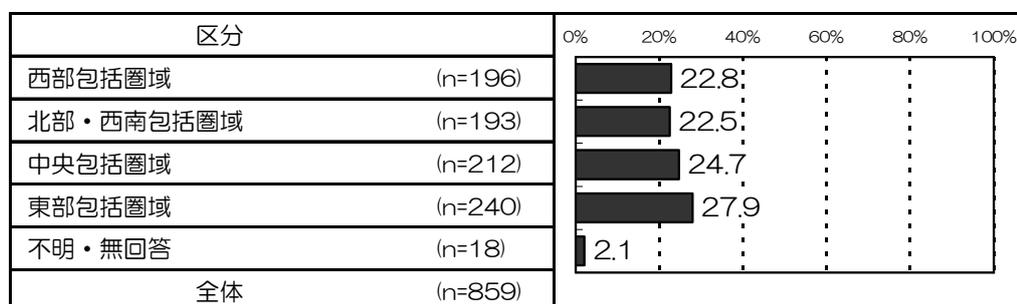
## お住まいと世帯について

図表 13 ○ あなたのお住まいの地域はどこですか。

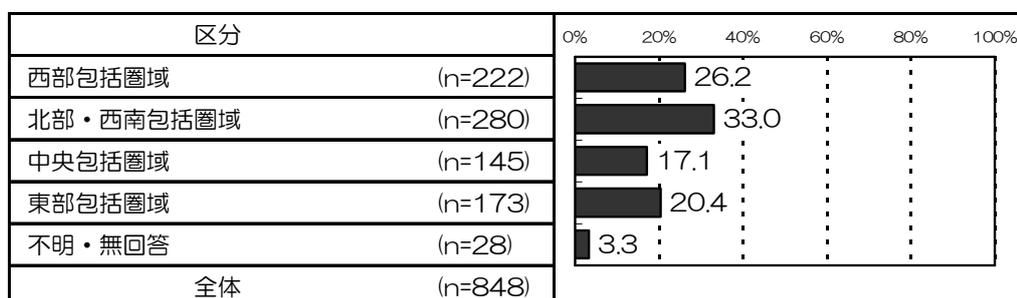
### 【2号】



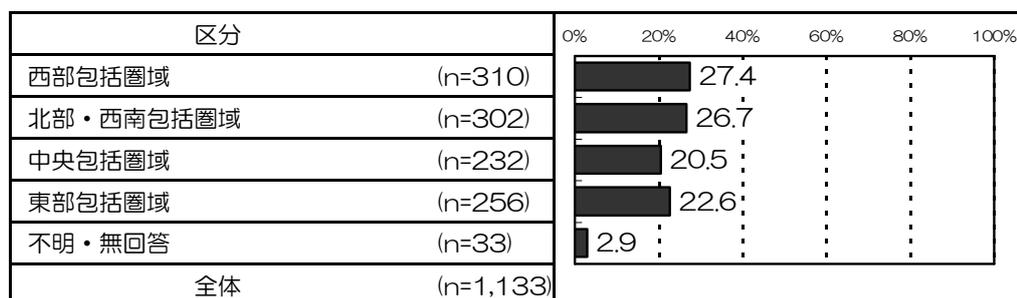
### 【1号】



### 【要支援】



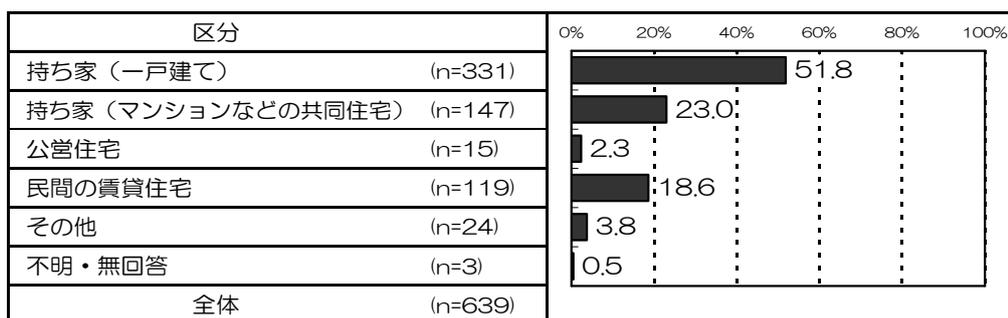
### 【要介護】



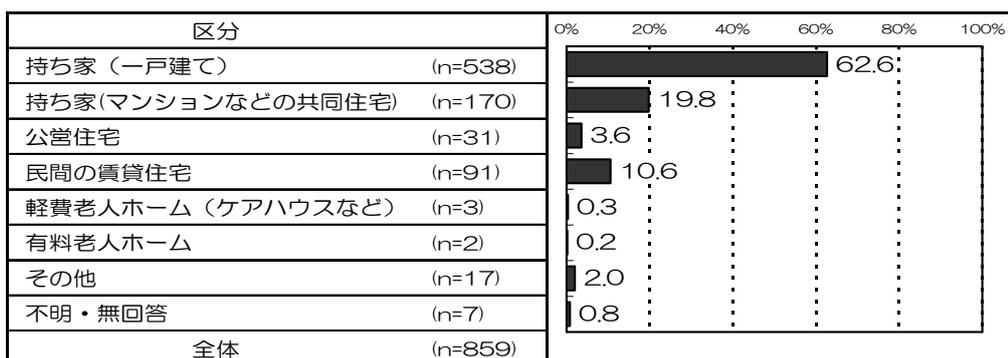
居住地については、【2号】では「北部・西南包括圏域」や「中央包括圏域」、【1号】では「東部包括圏域」、【要支援】【要介護】では「西部包括圏域」や「北部・西南包括圏域」の割合が高くなっています。

図表 14 ○ 現在のお住まいについておたずねします。

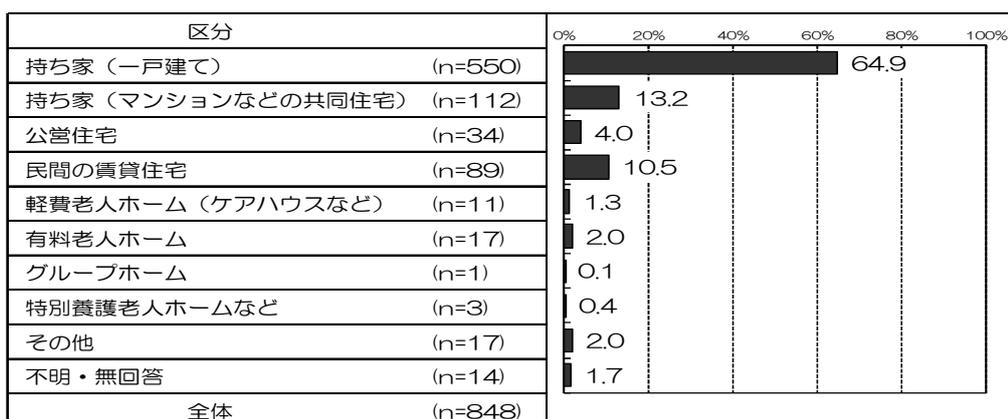
【2号】



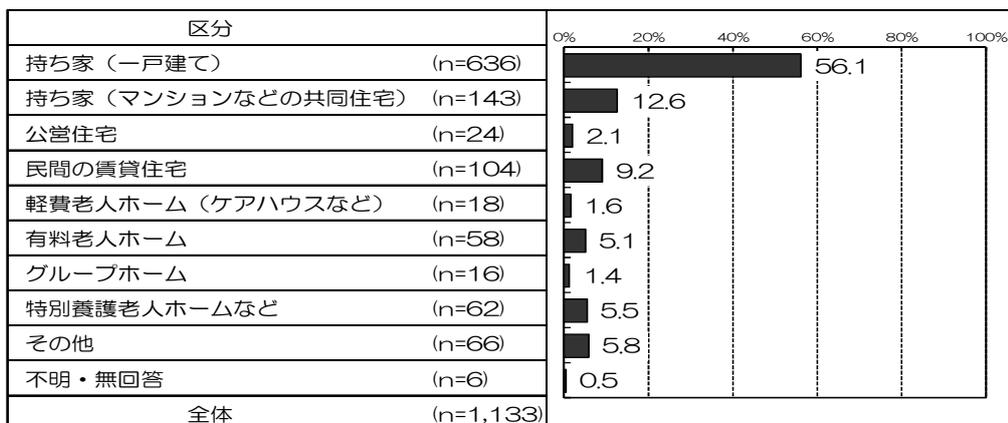
【1号】



【要支援】



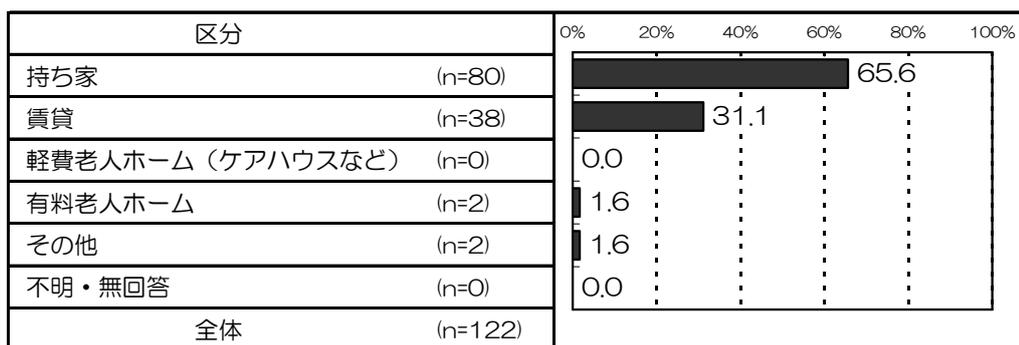
【要介護】



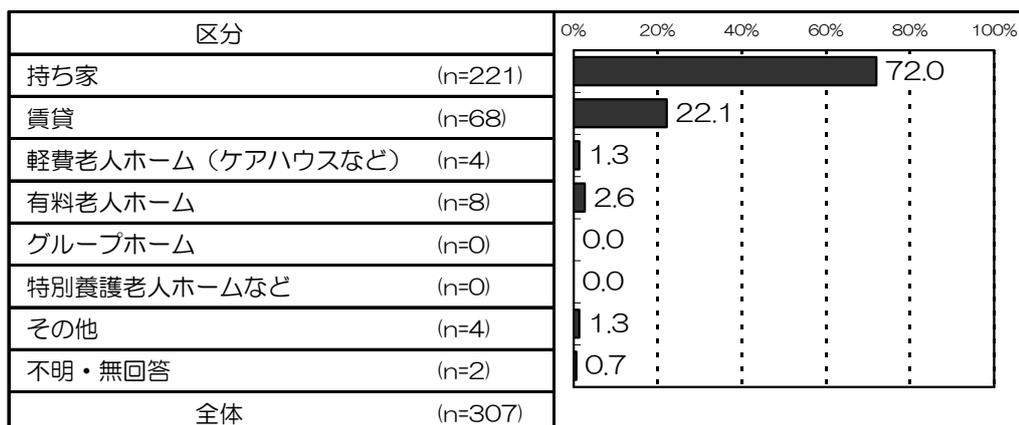
住まいについては、いずれの区分においても、「持ち家（一戸建て）」の割合が最も高く、【1号】【要支援】では6割台、【2号】【要介護】では5割台を占めています。

図表 14-1 ■ 一人暮らしの住まいの状況

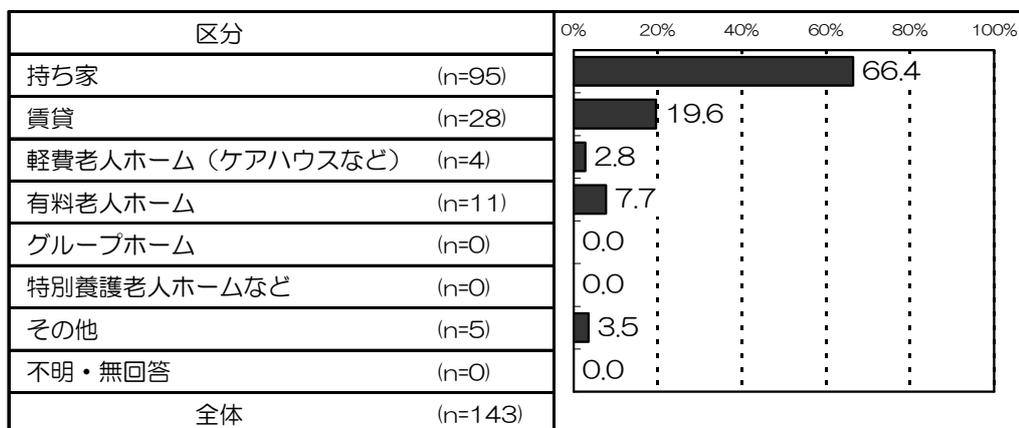
【1号】



【要支援】

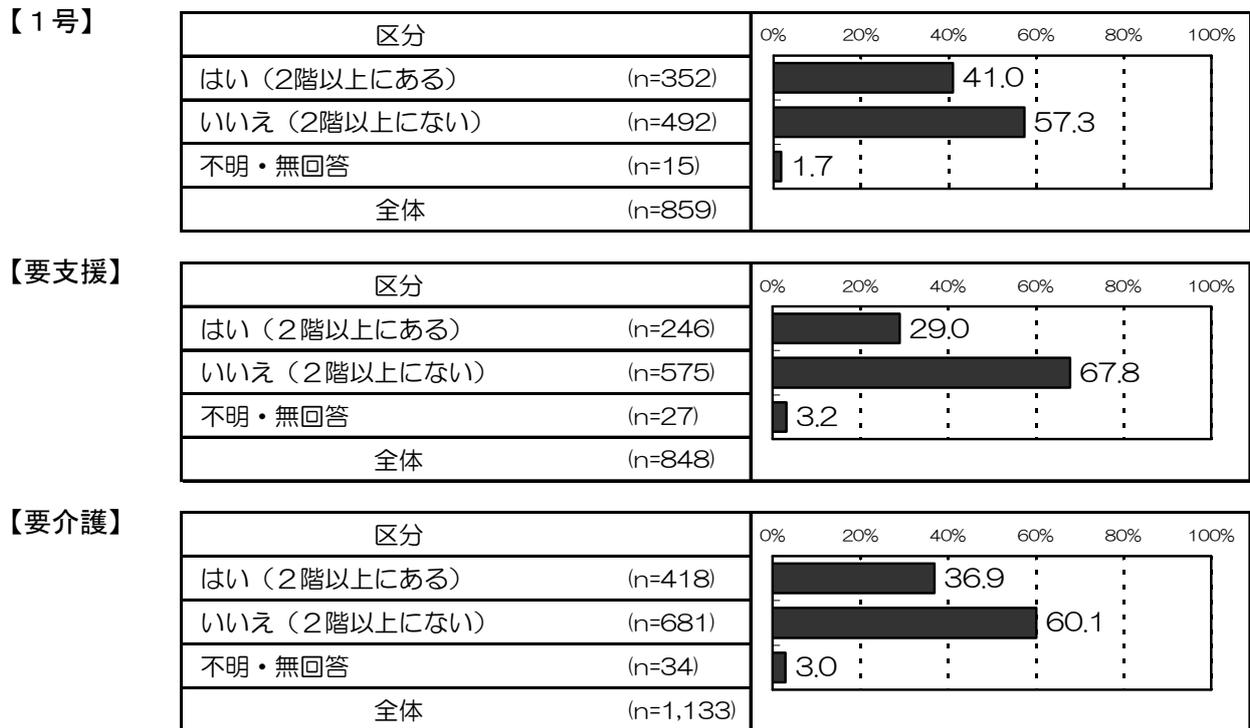


【要介護】



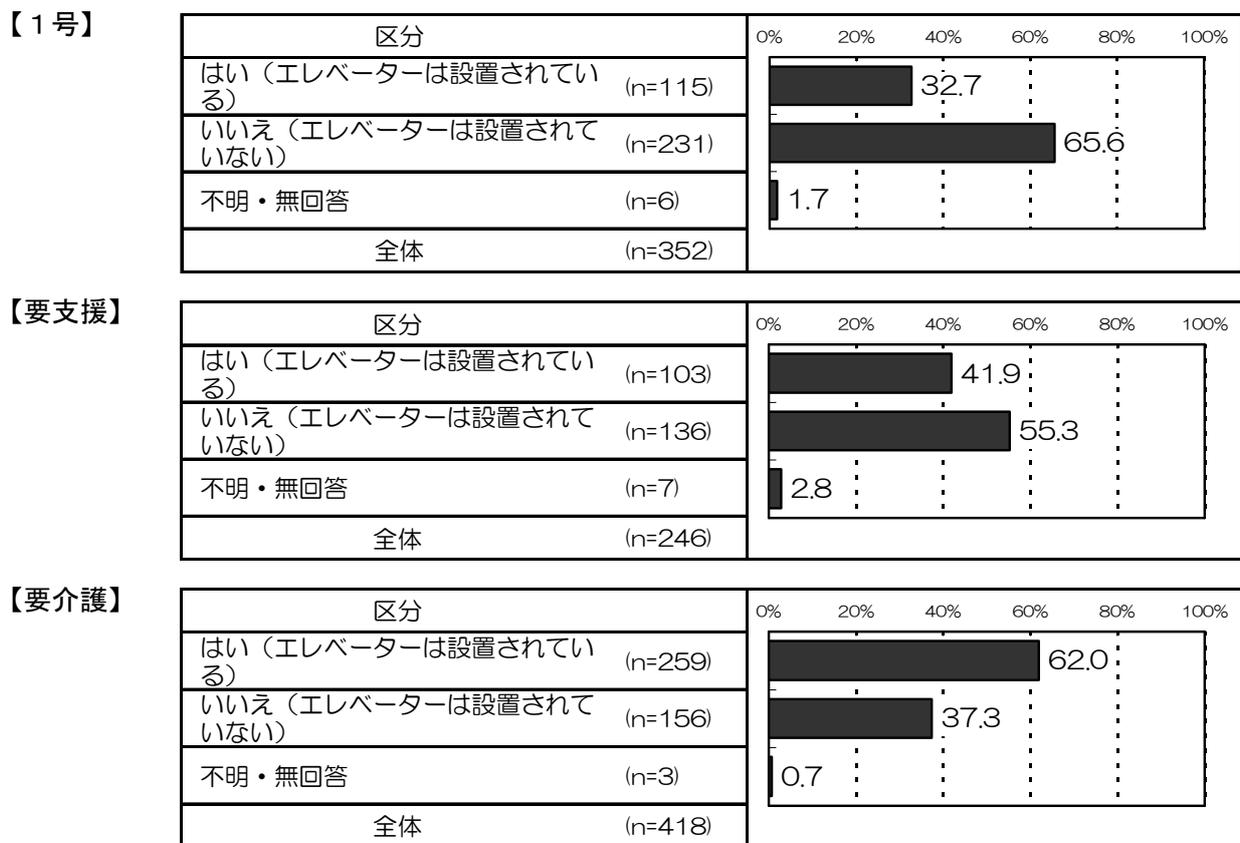
「一人暮らし」の住まいについては、いずれの区分においても、「持ち家」が最も高く、【1号】で65.6%、【要支援】で72.0%、【要介護】で66.4%となっています。

図表 15 ○ あなたのお住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。



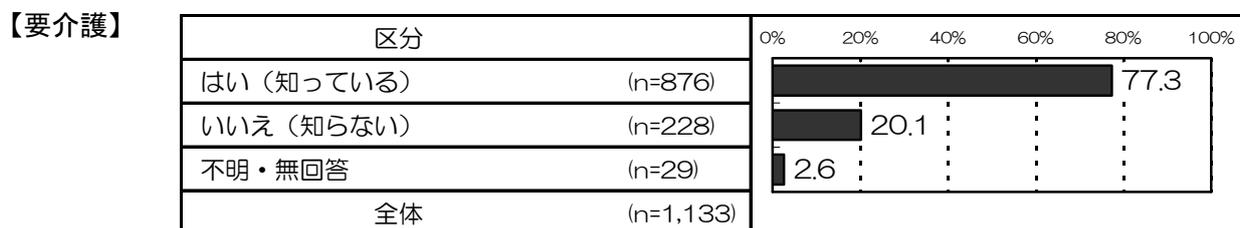
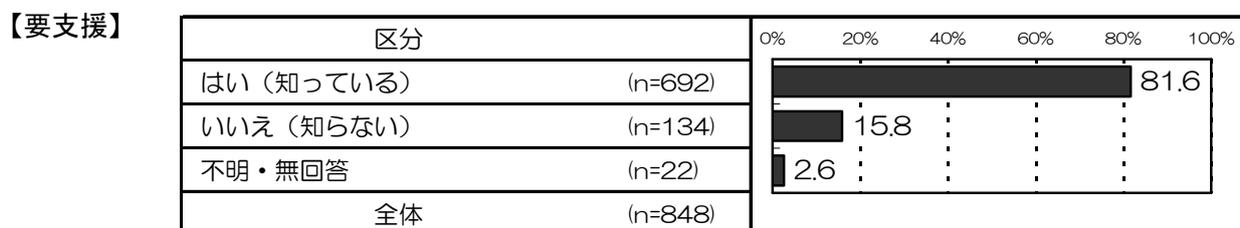
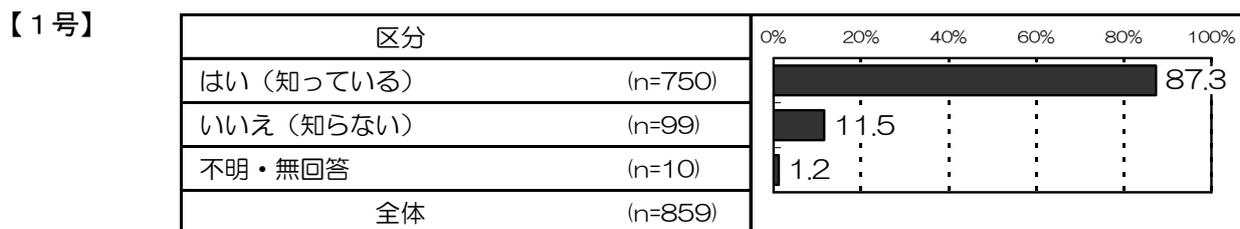
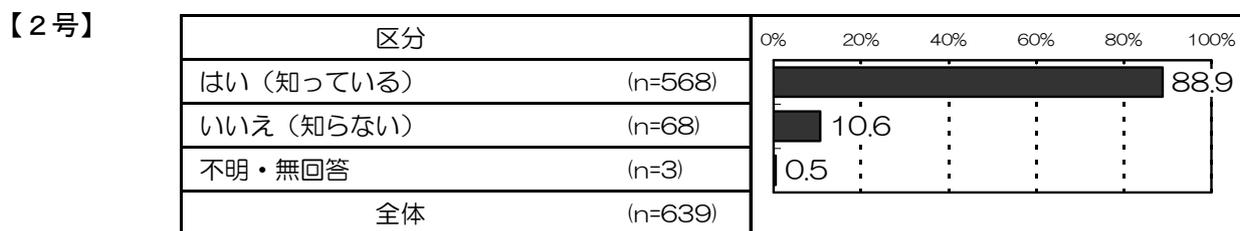
住まい（主に生活する部屋）が2階以上にあるかについては、いずれの区分においても、「いいえ（2階以上にない）」が5～6割台を占めています。

図表 16 ○ あなたのお住まいに、エレベーターは設置されていますか。



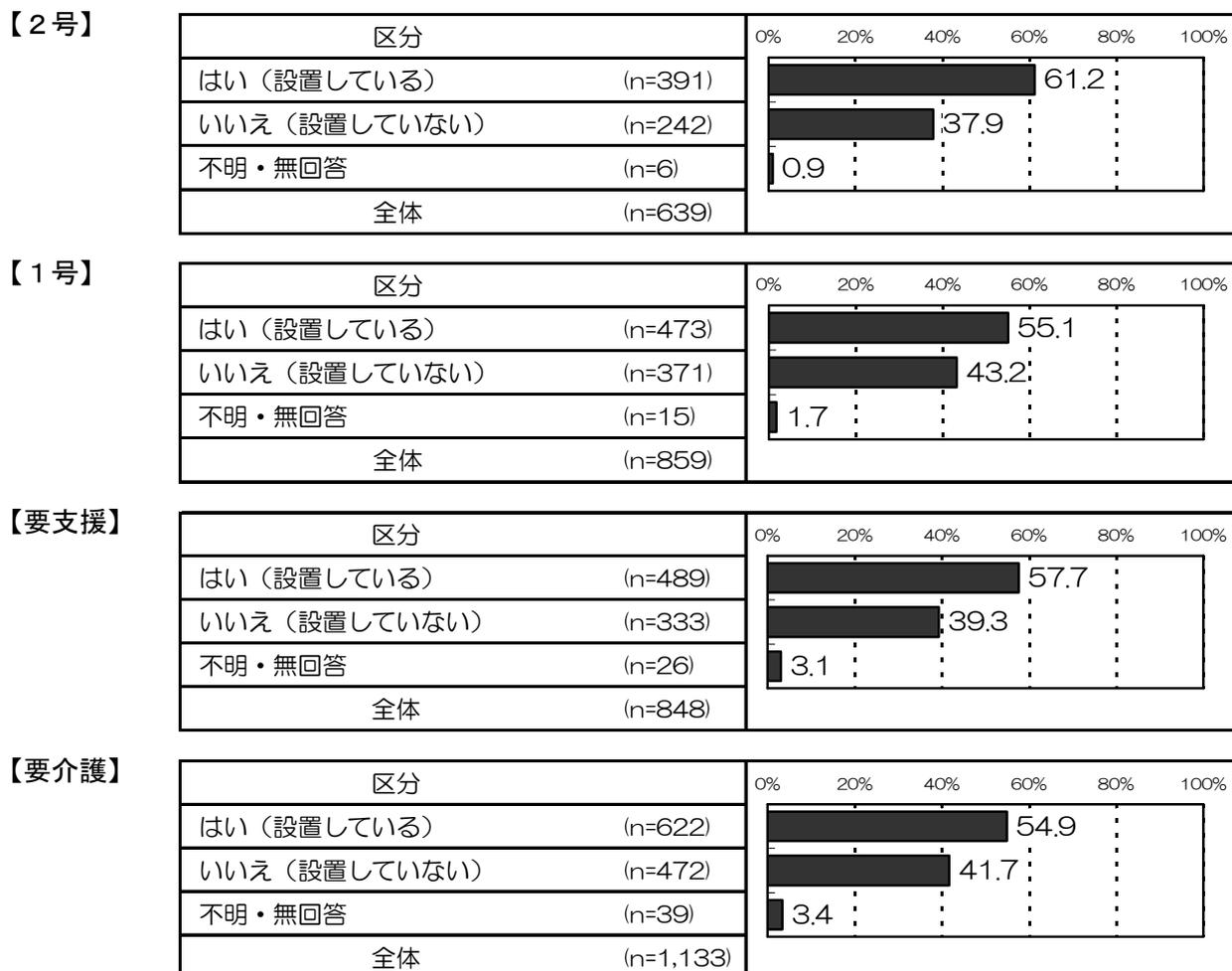
住まいが2階以上にある人についてエレベーターの設置有無をみると、【1号】【要支援】では「いいえ（エレベーターは設置されていない）」、【要介護】では「はい（エレベーターは設置されている）」が高くなっています。

図表 17 ○ 消防法という法律により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されたことを知っていますか。



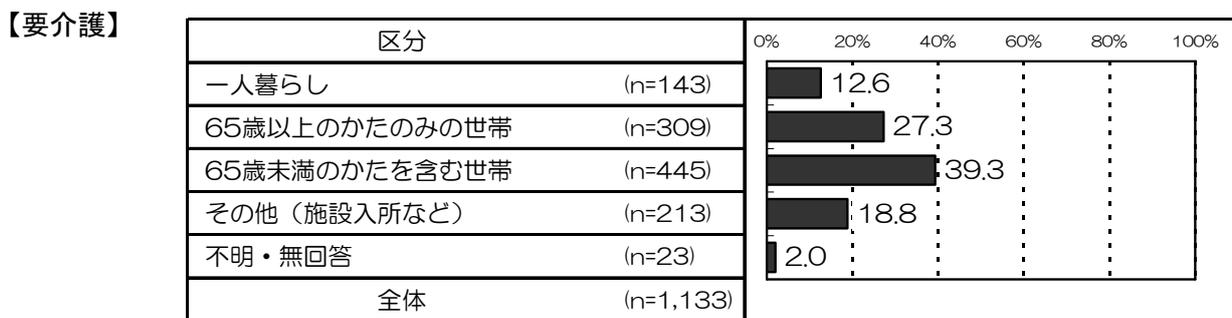
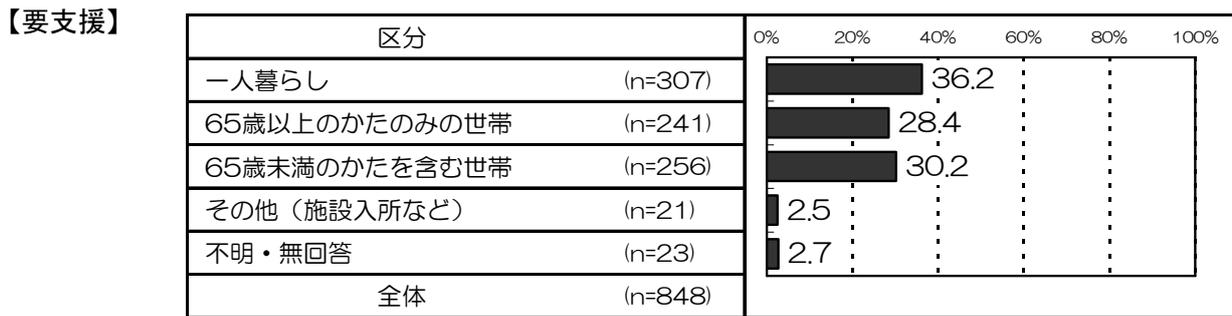
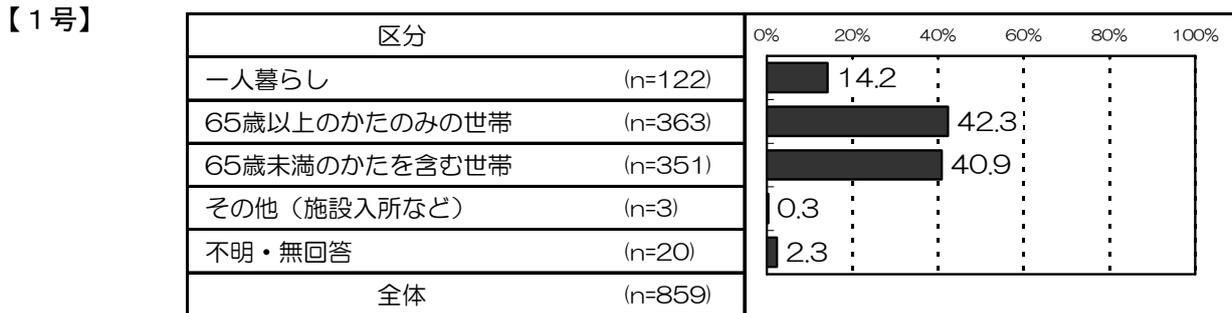
住宅用火災警報器の設置が義務化されたことについて、【2号】【1号】は「はい (知っている)」が9割程度を占めていますが、【要支援】【要介護】では8割前後となっています。

図表 18 ○ 現在、お住まいの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。



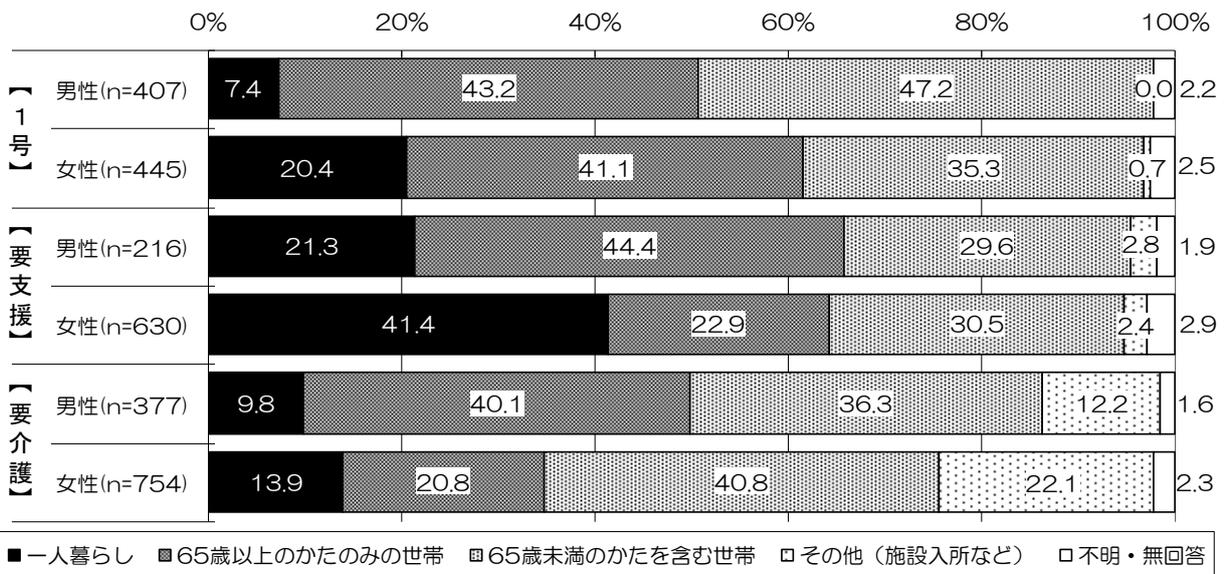
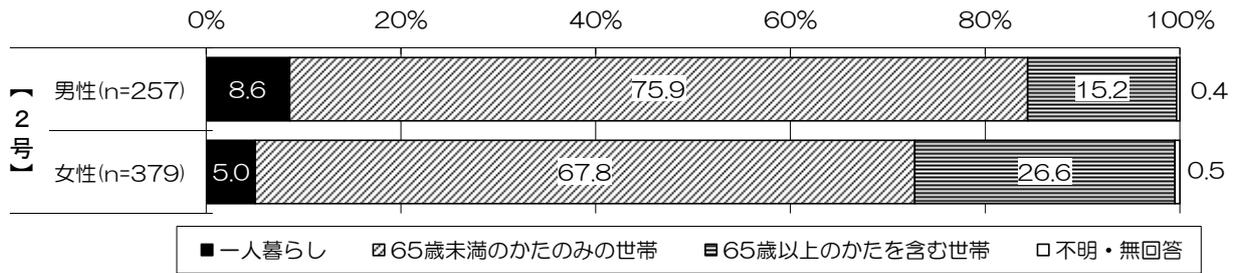
住まいへの住宅用火災警報器の設置有無については、いずれの区分においても、「はい（設置している）」が5割台半ばから6割程度を占めています。

図表 19 ○ あなたの世帯の状況についておたずねします。



世帯の状況については、【2号】では「65歳未満のかたのみの世帯」、【1号】では「65歳以上のかたのみの世帯」、【要支援】では「一人暮らし」、【要介護】では「65歳未満のかたを含む世帯」が最も高くなっています。特に、【要支援】では「一人暮らし」が36.2%と他と比べて高くなっています。また、「一人暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合についてみると、【1号】では56.5%、【要支援】では64.6%、【要介護】では39.9%となっています。

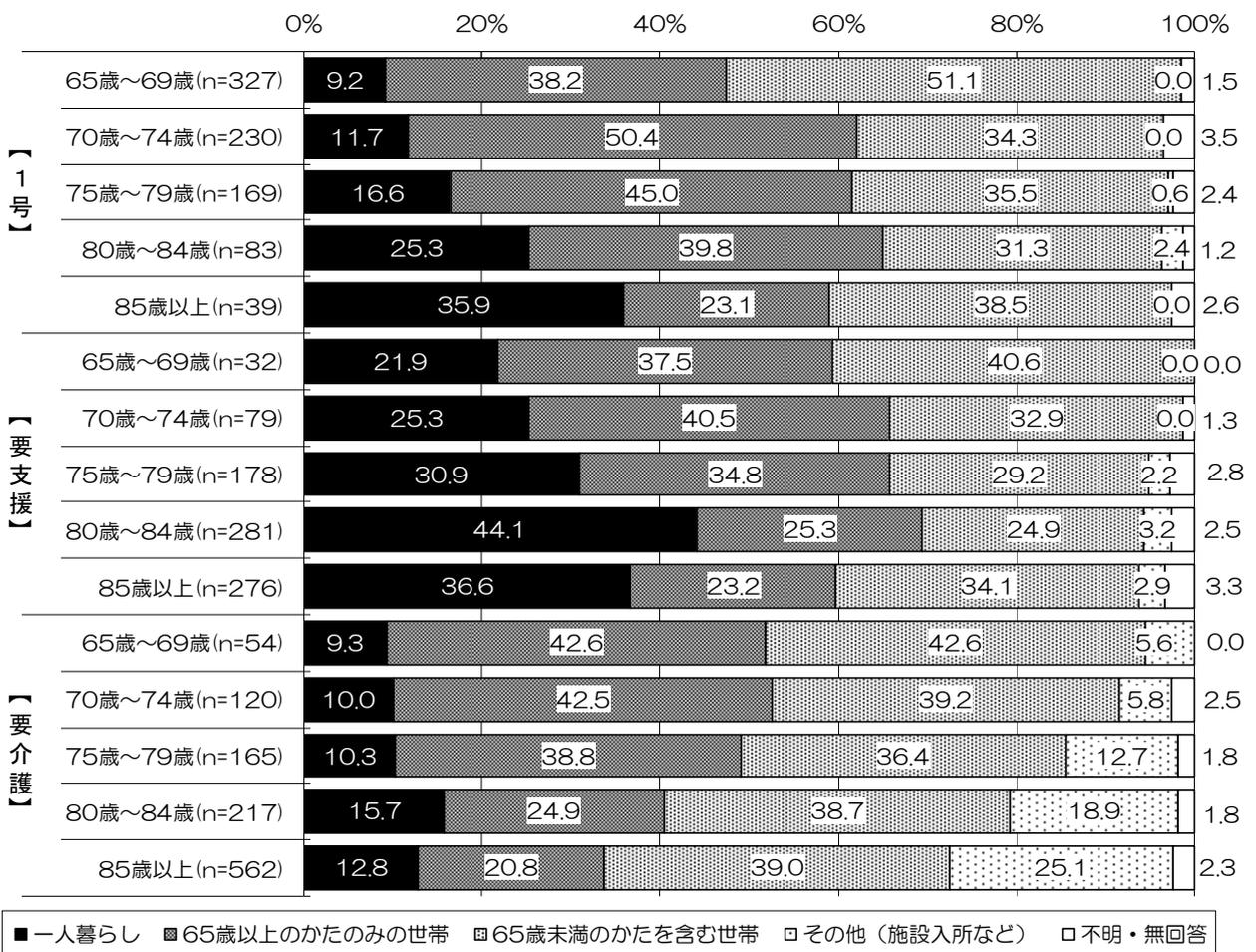
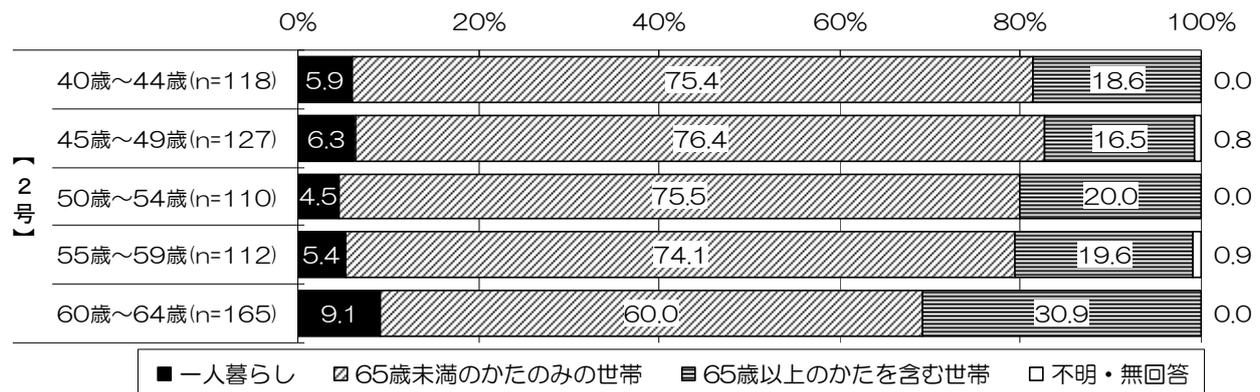
図表 19-1 ■ 性別の世帯の状況



世帯の状況について、性別で見ると、「一人暮らし」では、【2号】以外のいずれの区分でも、「女性」が「男性」を上回っており、【要支援】では「男性」が21.3%、「女性」が41.4%と、他より高くなっています。

また、【要支援】では、「一人暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合が、男女とも6割を超えており、【1号】【要介護】を超える状態となっています。

図表 19-2 ■ 年齢階層別の世帯の状況

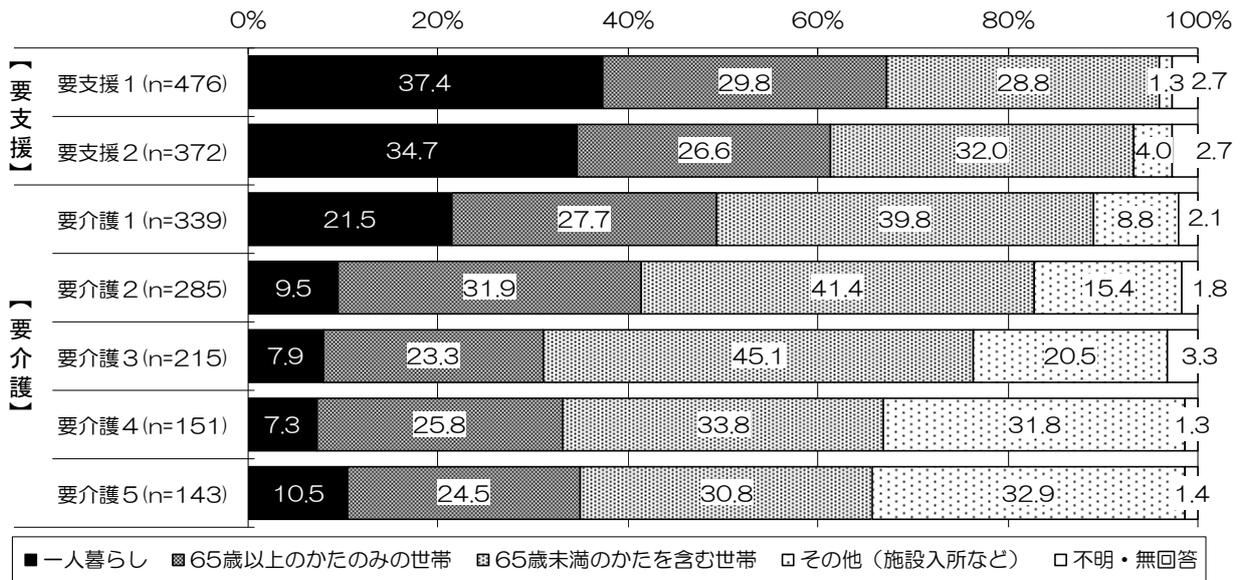


世帯の状況について、年齢階層別でみると、「一人暮らし」は、【1号】の85歳以上や【要支援】の75歳以上のいずれの年齢階層でも3割以上となっています。

また、「一人暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合では、【1号】と【要支援】のほとんどの年齢階層で6割を超えており、【要介護】では、65歳~69歳、70歳~74歳、75歳~79歳の年齢階層で、いずれも5割前後を占めています。

さらに、「その他（施設入所など）」は、【要介護】で年齢階層が高くなるにしたがって、その割合が高くなっており、「85歳以上」では25.1%を占めています。

図表 19-3 ■ 要介護度別の世帯の状況



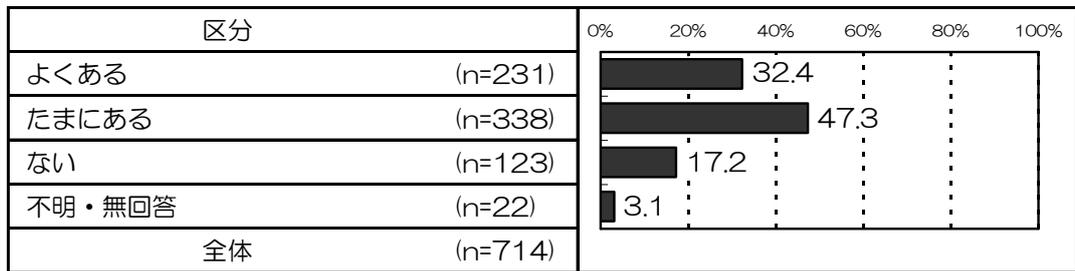
世帯の状況について、要介護度別でみると、「一人暮らし」は、「要支援1」で37.4%、「要支援2」で34.7%、「要介護1」で21.5%、要介護2以上ではいずれも1割前後を占めています。

また、「一人暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合は、「要介護3」までは減少傾向にあります。しかし、「要介護3」から「要介護5」にかけては微増し、いずれも3割以上となっています。

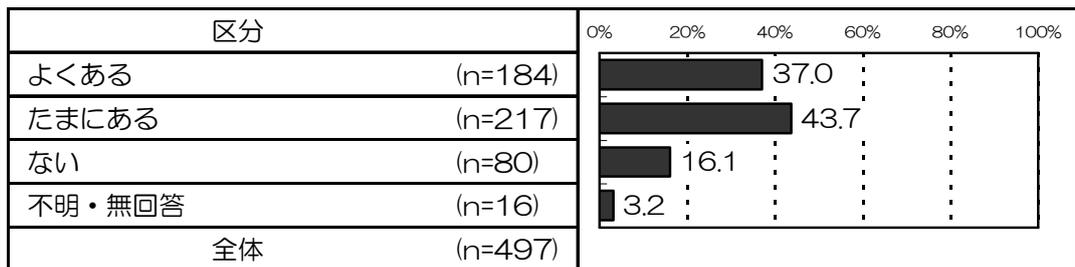
さらに、「その他（施設入所など）」は、要介護度が重度化するとともに、その割合が高くなっており、要介護4以上では3割程度を占めています。

図表 20 ○ あなたは日中、一人になることがありますか。

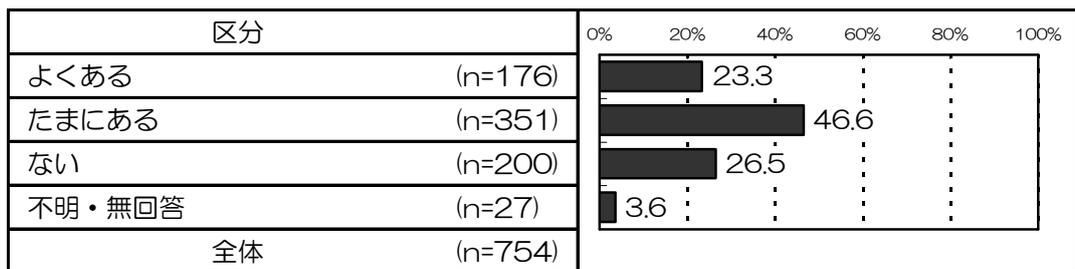
【1号】



【要支援】

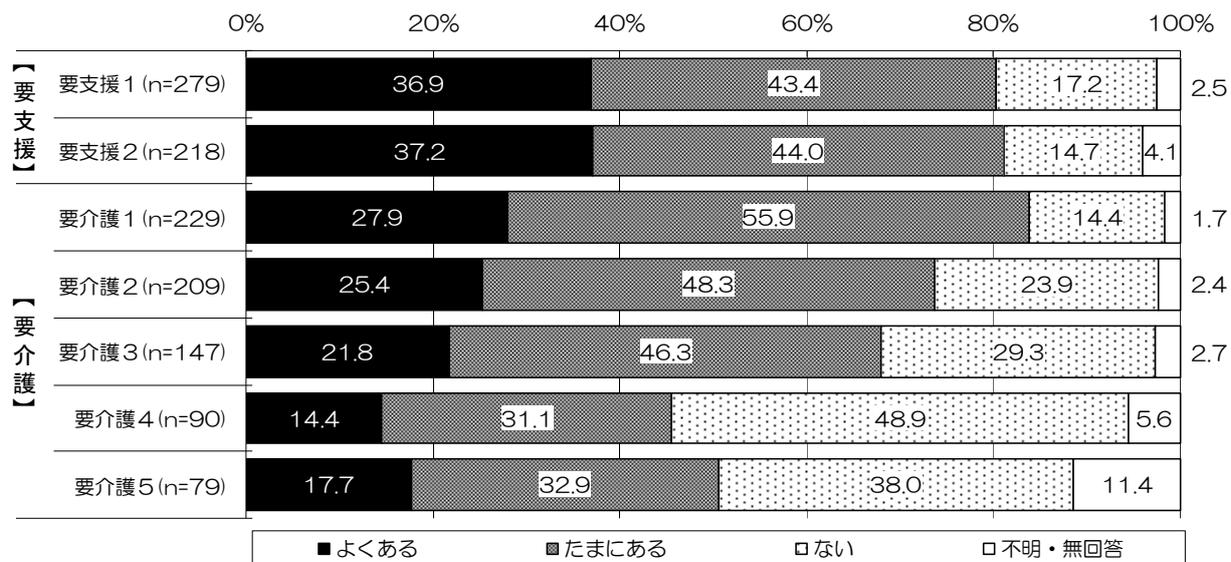


【要介護】



一人暮らし以外のかたが日中一人でいる頻度については、いずれの区分においても、「たまにある」が4割台半ばを占めて最も高くなっています。また、日中独居の状況が「よくある」人については、【要支援】では37.0%、【1号】では32.4%、【要介護】では23.3%となっており、【要支援】で他より高くなっています。

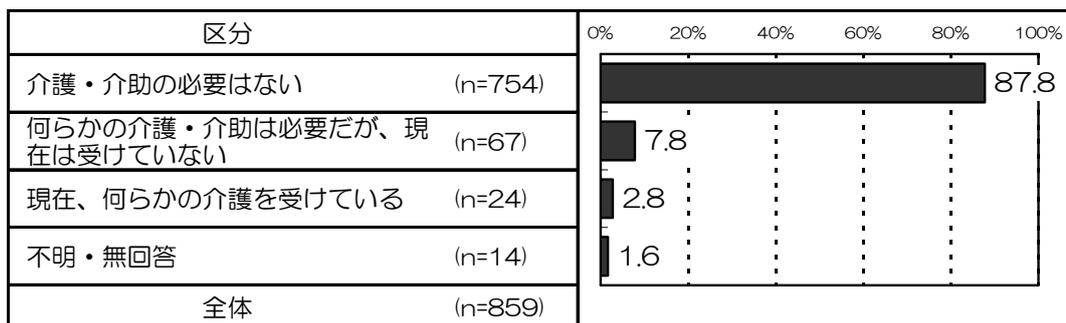
図表 20-1 ■ 要介護度別の日中独居の状況



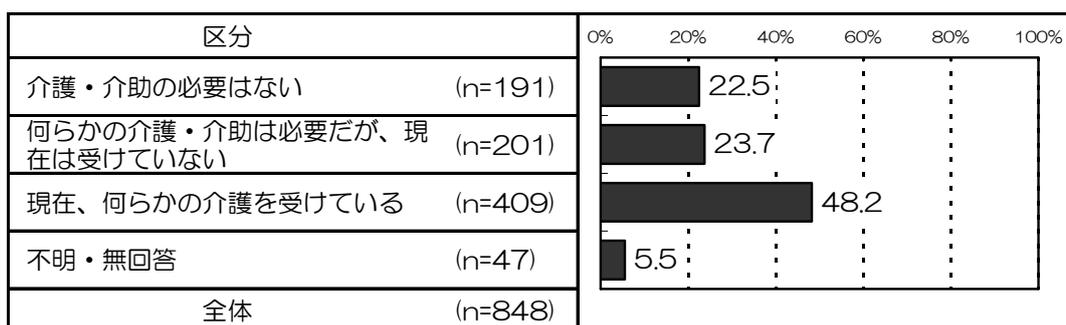
一人暮らし以外のかたが日中一人でいる頻度について、要介護度別で見ると、「よくある」は、「要支援1」「要支援2」では3割台半ばを占めており、「要介護1」「要介護2」では2割台半ばを占めています。また、要介護度が重度化するとともに、その割合は減少傾向にあるものの、「要介護3」では2割程度、「要介護4」「要介護5」では1割台半ばを占めており、重度認定者においても日中独居の状態がみられます。

図表 21 ○ あなたは普段の生活で、どなたかの介護・介助を受ける必要がありますか。

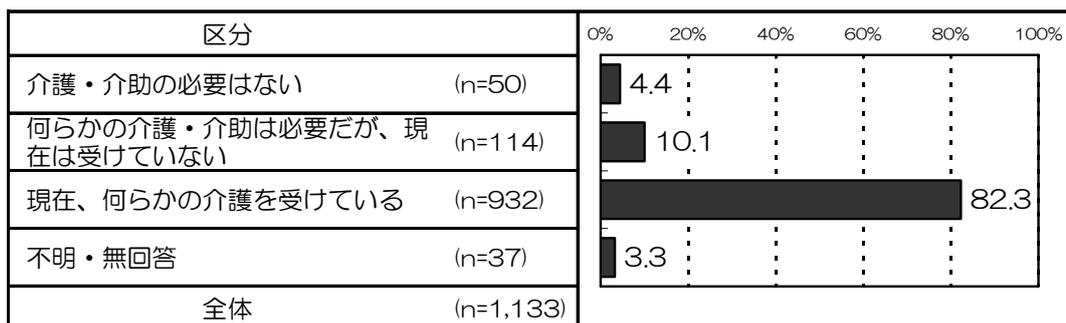
【1号】



【要支援】



【要介護】

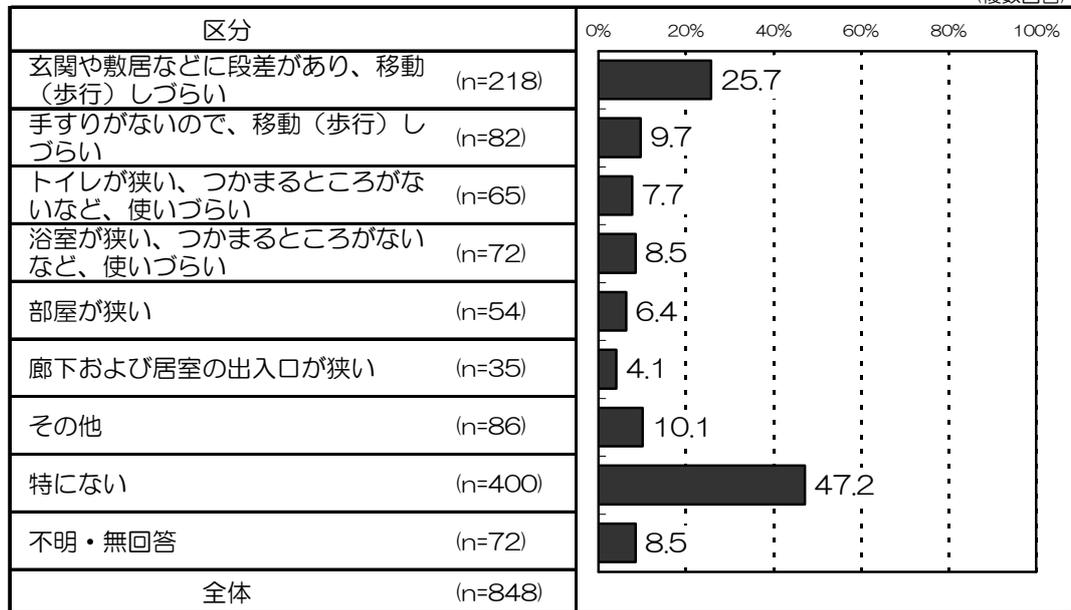


介護・介助の必要性については、【1号】では「介護・介助の必要はない」が87.8%、【要支援】では「現在、何らかの介護を受けている」が48.2%、【要介護】では「現在、何らかの介護を受けている」が82.3%で、最も高くなっています。

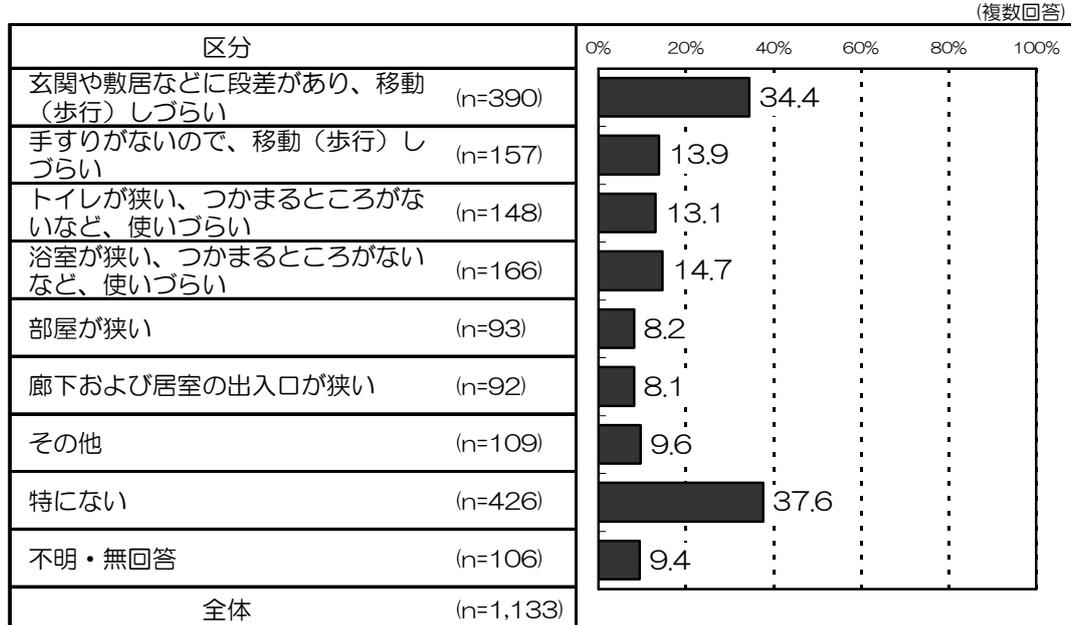
また、何らかの介護・介助が必要な人（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」および「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人）については、【1号】では10.6%、【要支援】では71.9%、【要介護】では92.4%となっています。

図表 22 ○ 現在のお住まいで、あなたが生活する上で不便なこと、困っていることはありますか。

【要支援】



【要介護】



現在の住まいで生活する上で不便なことや困っていることについては、【要支援】【要介護】ともに「特にない」が最も高くなっており、「玄関や敷居などに段差があり、移動（歩行）しづらい」が続きます。また、「その他」や「特にない」以外の項目については、【要介護】が【要支援】を上回っています。

図表 22-1 ■ 居住形態別の生活上不便・困難なこと

【要支援】

	合計 (人)	(単位：%)								
		玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい	手すりがないので、移動(歩行)しづらい	トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	部屋が狭い	廊下および居室の出入口が狭い	その他	特にない	不明・無回答
全体	785	26.5	9.8	8.2	8.9	6.1	4.3	10.6	46.9	7.6
持ち家(一戸建て)	550	28.0	8.4	6.5	6.9	5.6	4.4	10.7	47.8	7.6
持ち家(マンションなどの共同住宅)	112	13.4	6.3	7.1	4.5	8.0	0.9	5.4	58.0	8.9
公営住宅	34	35.3	11.8	11.8	8.8	2.9	2.9	17.6	32.4	8.8
民間の賃貸住宅	89	30.3	22.5	18.0	27.0	7.9	9.0	13.5	32.6	5.6

【要介護】

	合計 (人)	(単位：%)								
		玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい	手すりがないので、移動(歩行)しづらい	トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	部屋が狭い	廊下および居室の出入口が狭い	その他	特にない	不明・無回答
全体	907	41.1	15.8	15.4	17.4	9.0	9.3	9.8	32.4	6.4
持ち家(一戸建て)	636	42.8	11.9	11.9	12.7	7.9	8.5	9.3	34.7	6.8
持ち家(マンションなどの共同住宅)	143	30.1	19.6	14.0	16.8	9.1	8.4	11.9	36.4	5.6
公営住宅	24	41.7	37.5	50.0	50.0	25.0	25.0	8.3	8.3	0.0
民間の賃貸住宅	104	46.2	28.8	30.8	39.4	12.5	11.5	10.6	18.3	6.7

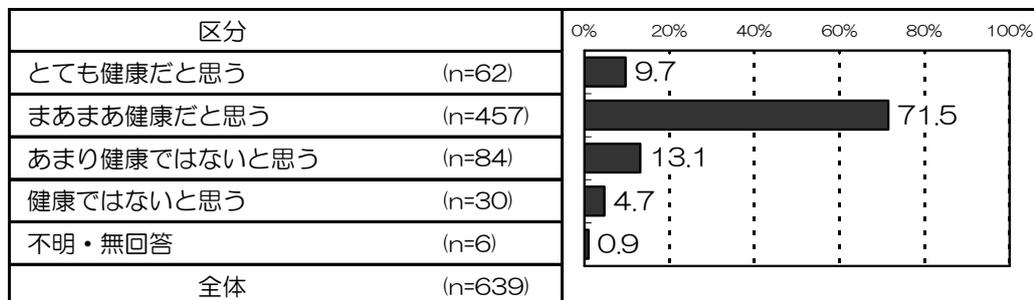
現在の住まいで生活する上で不便なことや困っていることについて、居住形態別で見ると、「公営住宅」では、【要支援】【要介護】ともに「玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい」という回答が多くなっていますが、【要介護】では「トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい」および「浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい」という回答が最も多くなっています。

また、「持ち家」や「民間の賃貸住宅」でも、【要支援】【要介護】ともに「玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい」という回答が多くなっていますが、【要支援】では「特にない」が最も多くなっています。

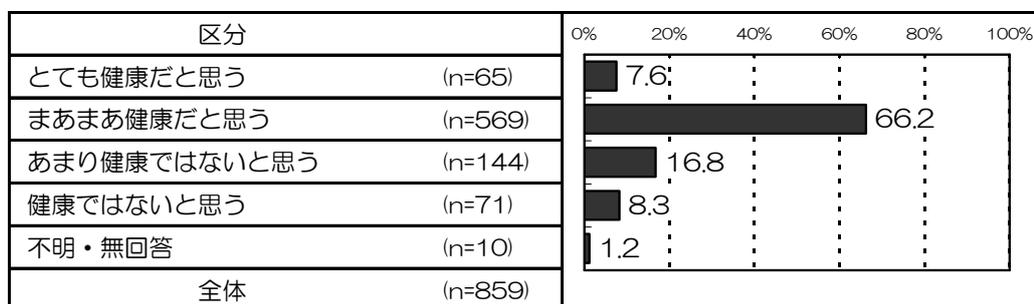
## 健康・医療について

図表 23 ○ 普段、ご自分で健康だと思いますか。

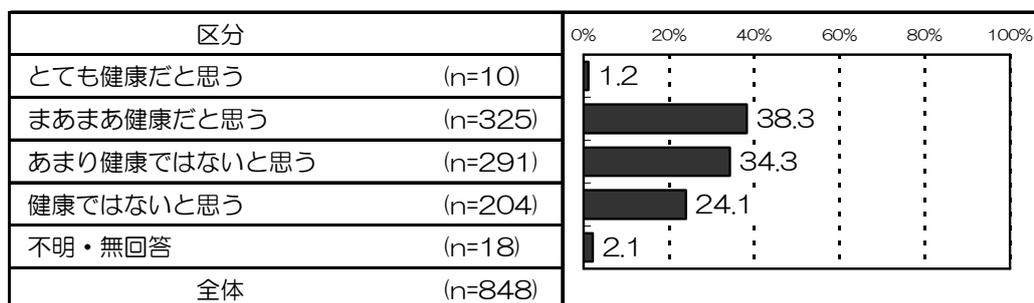
### 【2号】



### 【1号】



### 【要支援】



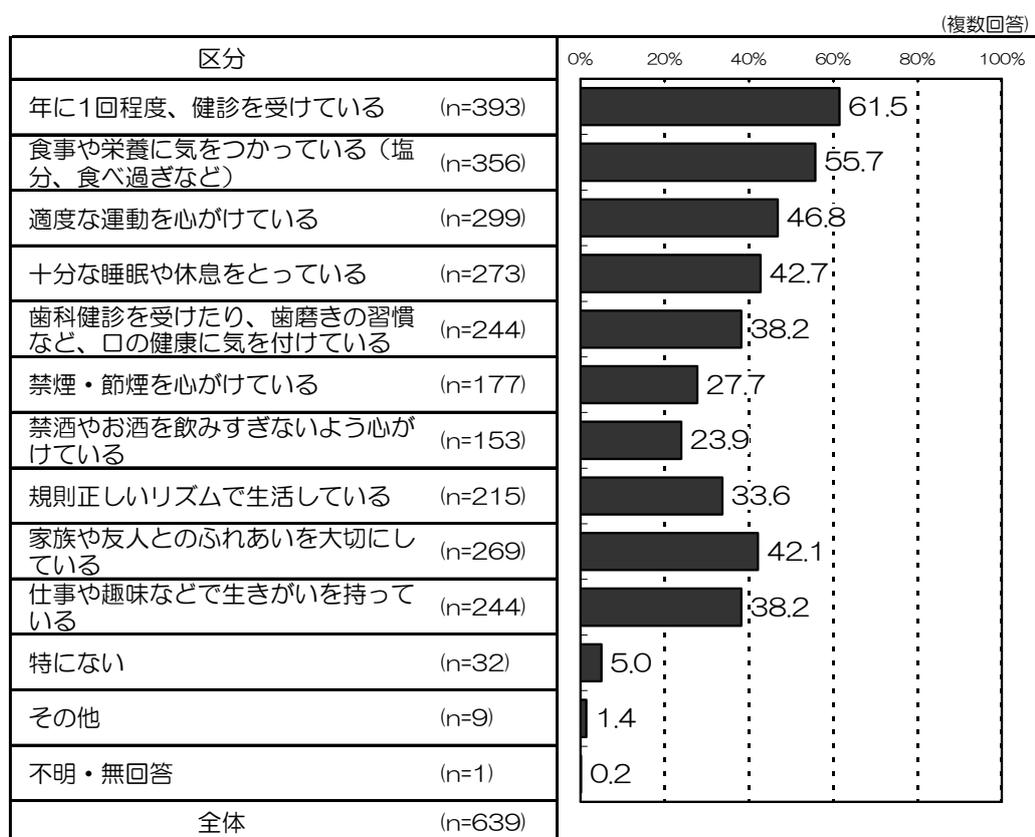
### 【要介護】



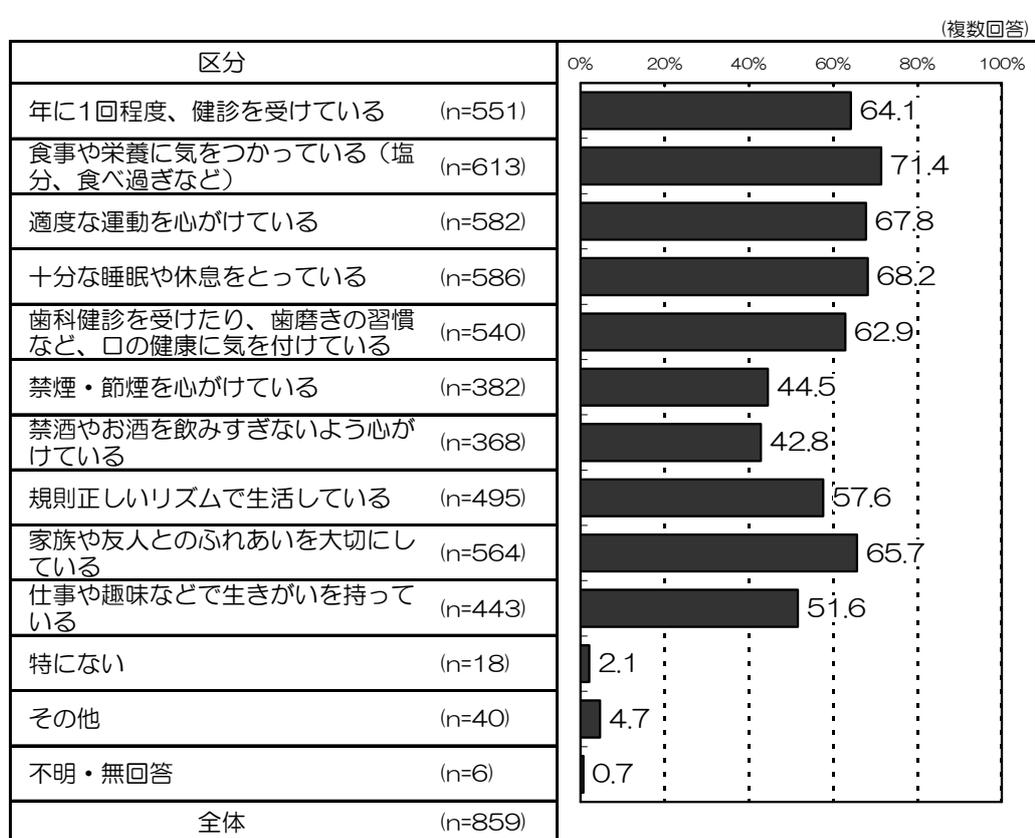
自身は健康と感じている人（「とても健康だと思う」および「まあまあ健康だと思う」と回答した人）は、【2号】で81.2%、【1号】で73.8%となっていますが、【要支援】では39.5%、【要介護】では32.9%となっています。

図表 24 ○ 健康や介護予防のために気をつけていることはありますか。

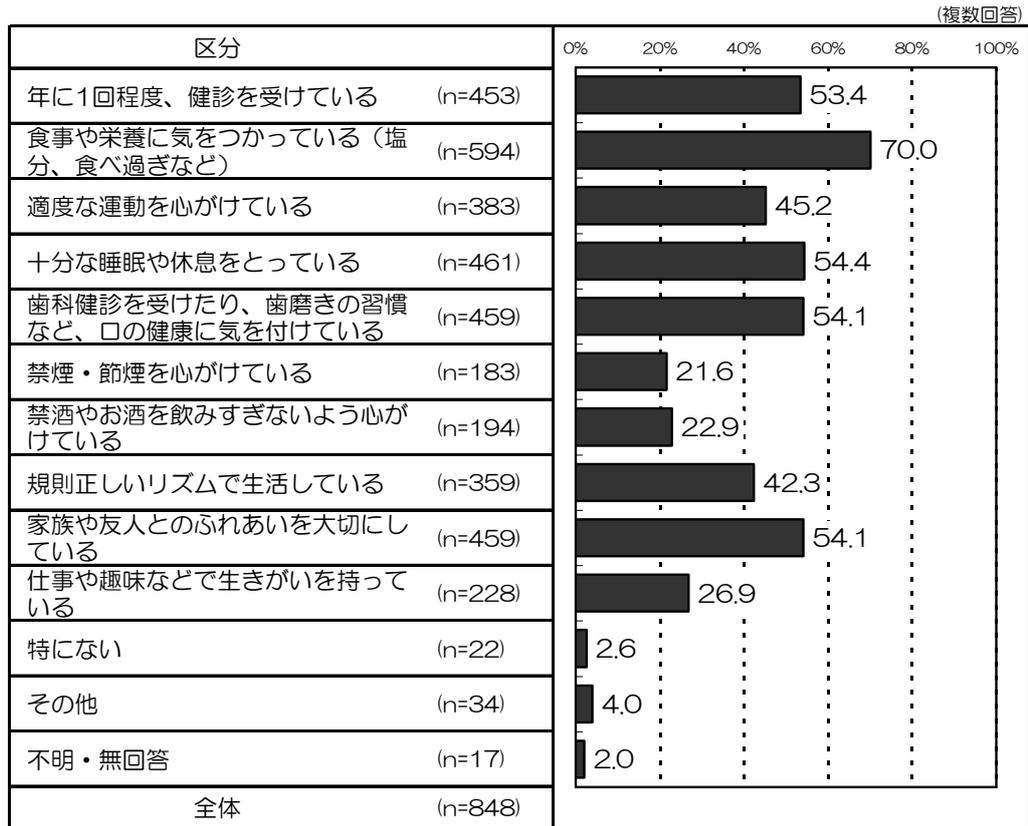
【2号】



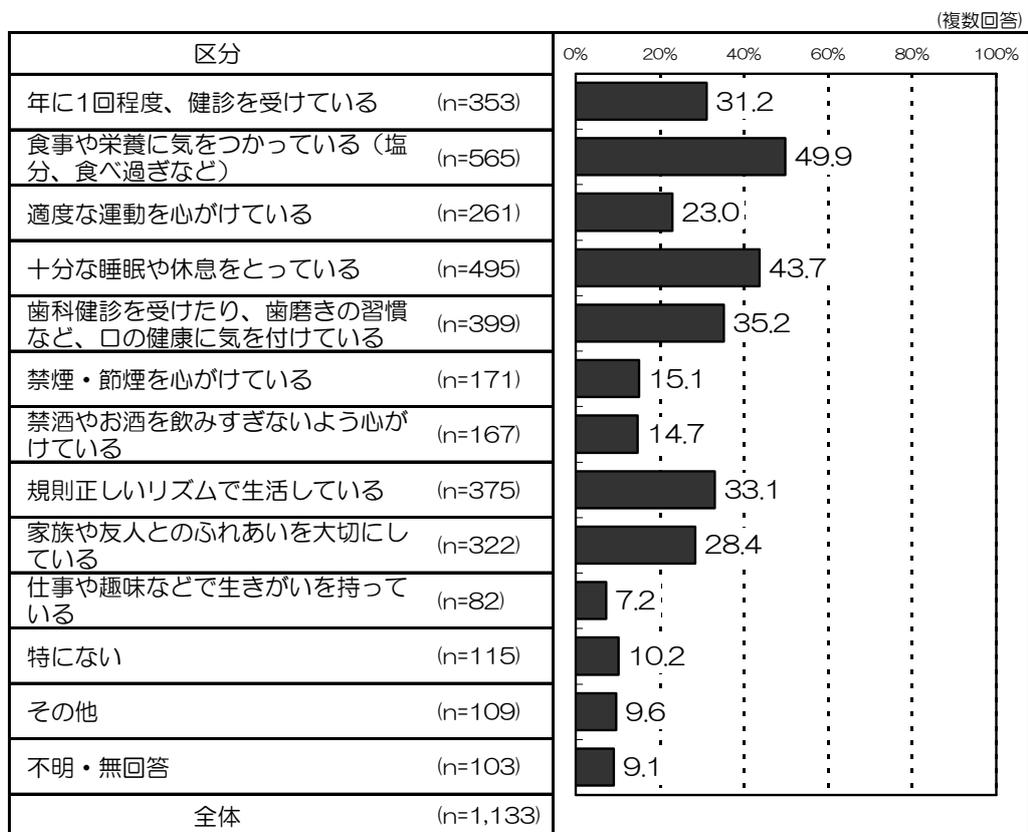
【1号】



【要支援】



【要介護】

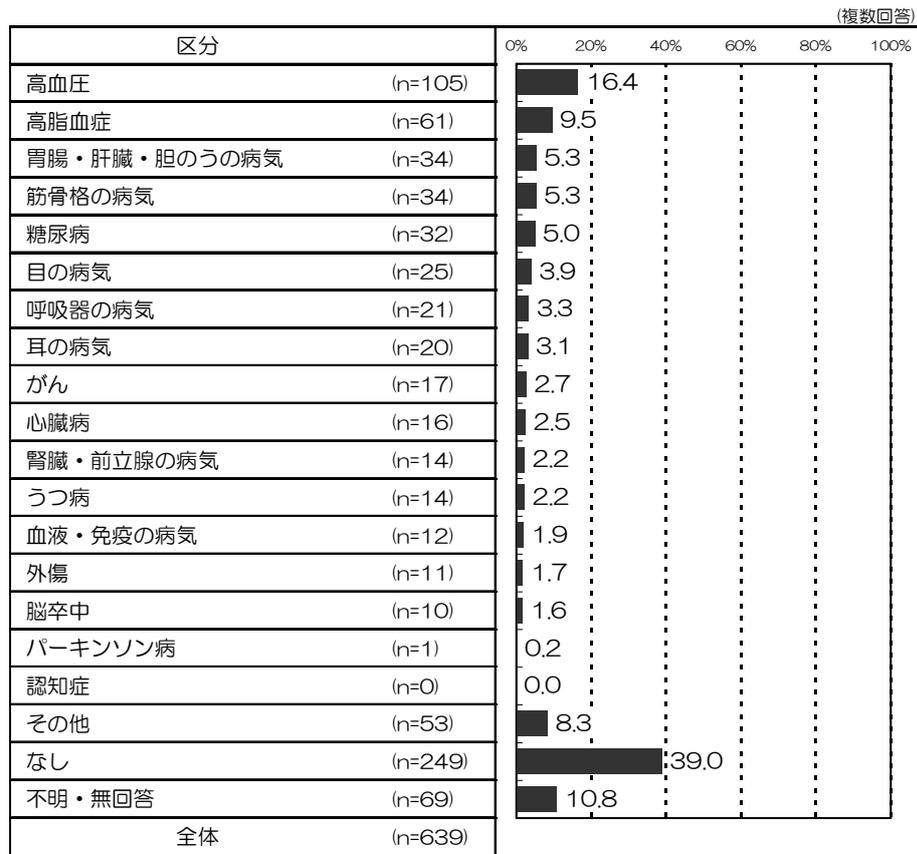


健康や介護予防で気をつけていることについては、いずれの区分においても、「食事や栄養に気をつけている（塩分、食べ過ぎなど）」が高く、「禁煙・節煙を心がけている」や「禁酒やお酒を飲みすぎないように心がけている」が低くなっています。

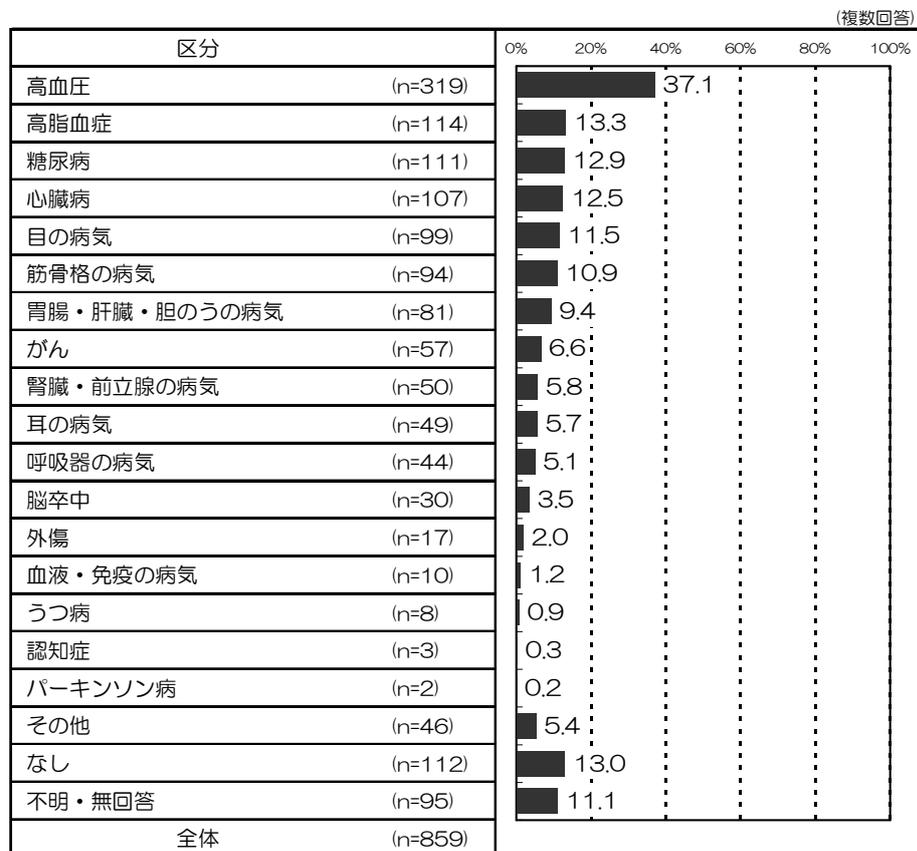
また、【2号】では「年に1回程度、健診を受けている」、【1号】【要支援】では「家族や友人とのふれあいを大切にしている」も比較的高くなっています。さらに、【1号】では、ほとんどの項目で5割を超えており、他と比べて健康や介護予防への関心が強いことがうかがえます。

図表 25 ○ 持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気はありますか。

【2号】

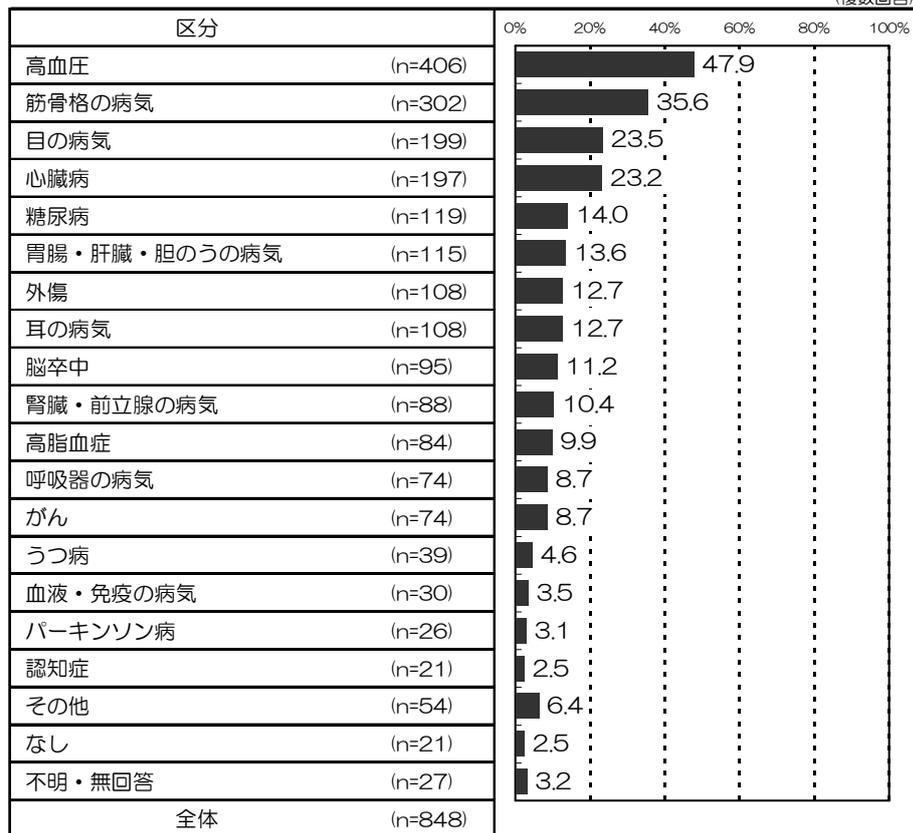


【1号】



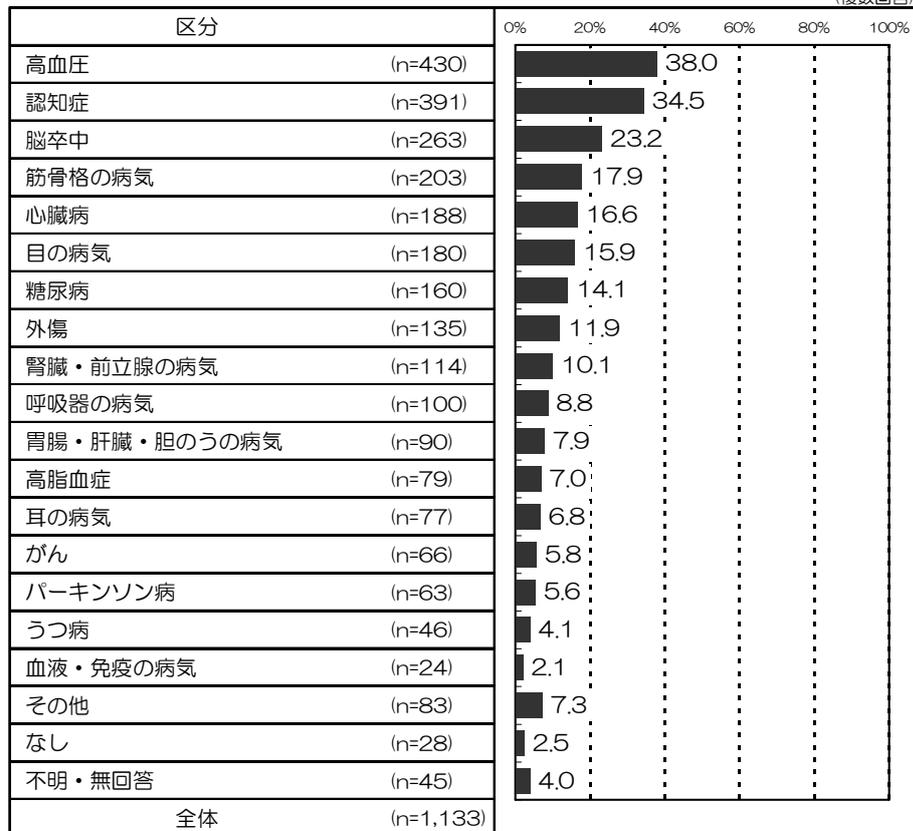
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

(複数回答)



持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気については、【2号】では「なし」が最も高くなっており、【1号】【要支援】【要介護】では「高血圧」が最も高くなっています。

また、【要支援】では「筋骨格の病気」や「目の病気」、【要介護】では「認知症」が他と比べて高くなっています。

さらに、【2号】から【1号】にかけては、「高血圧」「心臓病」「糖尿病」「高脂血症」といった生活習慣病関連の疾病や、「筋骨格の病気」「がん」「目の病気」などの割合が増加しています。

図表 25-1 ■ 性別の持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気  
【2号】

	合計 (人)	(単位：%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷 (転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	639	16.4	1.6	2.5	5.0	9.5	3.3	5.3	2.2	5.3	1.7	2.7	1.9	2.2	0.0	0.2	3.9	3.1	8.3	39.0	10.8
男性	257	21.8	1.2	3.5	7.4	10.1	4.3	5.8	3.9	1.9	1.9	1.9	0.8	1.9	0.0	0.0	3.9	3.1	7.0	38.5	10.1
女性	379	12.9	1.6	1.8	3.4	9.0	2.6	5.0	1.1	7.4	1.6	3.2	2.6	2.4	0.0	0.3	3.7	3.2	9.2	39.3	11.1

【1号】

	合計 (人)	(単位：%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷 (転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	859	37.1	3.5	12.5	12.9	13.3	5.1	9.4	5.8	10.9	2.0	6.6	1.2	0.9	0.3	0.2	11.5	5.7	5.4	13.0	11.1
男性	407	37.6	4.9	13.3	15.2	11.1	5.7	11.5	10.3	5.7	1.5	8.4	1.0	0.2	0.2	0.5	8.1	7.9	4.9	13.3	9.6
女性	445	36.9	2.2	11.9	10.6	15.5	4.7	7.6	1.6	16.0	2.5	5.2	1.3	1.6	0.4	0.0	14.6	3.8	5.8	12.6	12.4

持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気について、性別で見ると、男性では、【2号】は「なし」が4割程度を占めて最も高く、「高血圧」や「高脂血症」が続きますが、【1号】は「高血圧」が最も高くなり、【2号】の約2倍となっています。次に、「糖尿病」「心臓病」「なし」が続きます。

また、女性では、同じく【2号】は「なし」が4割程度を占めて最も高く、「高血圧」が続きますが、【1号】は「高血圧」が最も高くなり、【2号】の約3倍となっています。次に、「筋骨格の病気」「高脂血症」「目の病気」が続きます。

【要支援】

	合計 (人)	(単位：%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷 (転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	848	47.9	11.2	23.2	14.0	9.9	8.7	13.6	10.4	35.6	12.7	8.7	3.5	4.6	2.5	3.1	23.5	12.7	6.4	2.5	3.2
男性	216	46.8	21.3	27.3	21.8	7.4	13.0	12.5	28.7	19.0	8.3	16.2	2.8	2.8	2.3	4.6	21.8	13.4	7.9	0.9	2.3
女性	630	48.3	7.8	21.9	11.4	10.8	7.3	13.8	4.1	41.4	14.3	6.2	3.8	5.2	2.4	2.5	24.1	12.5	5.9	3.0	3.5

【要介護】

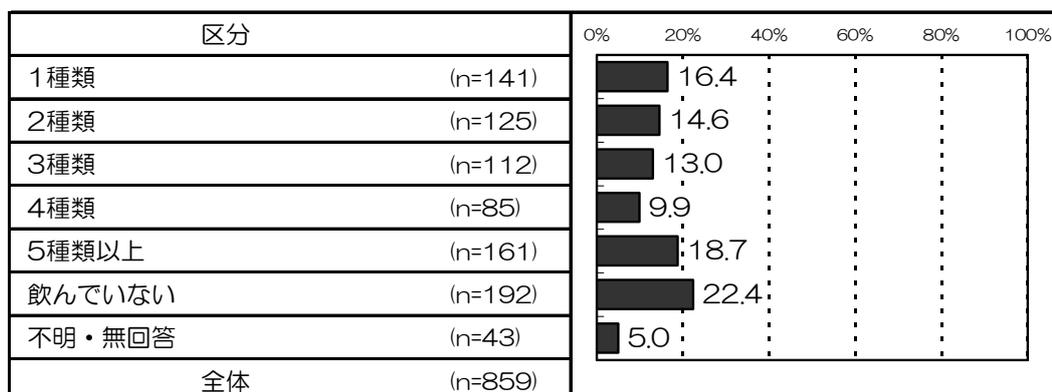
	合計 (人)	(単位：%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷 (転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	1133	38.0	23.2	16.6	14.1	7.0	8.8	7.9	10.1	17.9	11.9	5.8	2.1	4.1	34.5	5.6	15.9	6.8	7.3	2.5	4.0
男性	377	40.1	35.0	14.1	18.3	8.0	11.7	8.5	19.4	8.0	11.4	10.1	2.1	3.2	26.0	7.7	11.9	6.4	7.7	2.1	3.4
女性	754	37.0	17.4	17.8	12.1	6.5	7.4	7.7	5.4	22.9	12.2	3.6	2.1	4.5	38.7	4.5	17.9	6.9	7.2	2.7	4.2

持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気について、性別で見ると、男性では、【要支援】は「高血圧」が4割台後半を占めて最も高く、「腎臓・前立腺の病気」や「心臓病」が続きます。【要介護】は「高血圧」が最も高いものの、【要支援】より割合は少なくなっており、「脳卒中」や「認知症」が続きます。

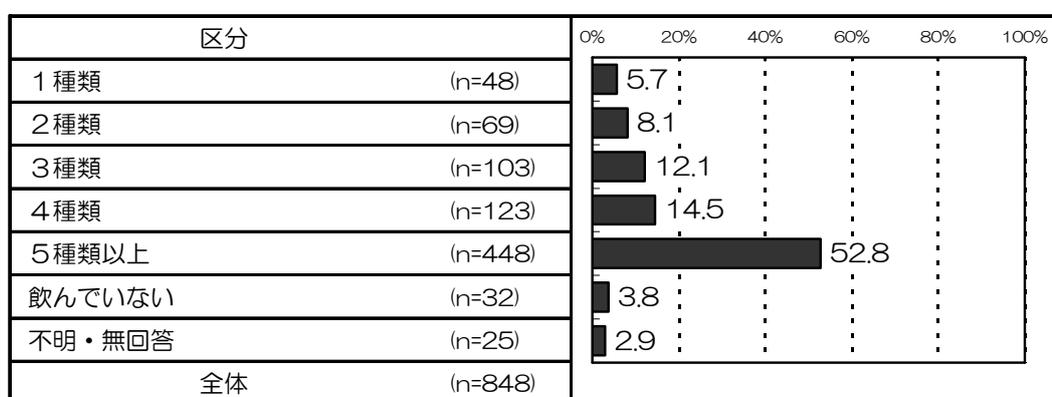
また、女性では、同じく【要支援】は「高血圧」が4割台後半を占めて最も高くなっていますが、次の「筋骨格の病気」も4割を占めています。【要介護】は「認知症」が最も高くなり、3割台後半を占めています。次に、「高血圧」や「筋骨格の病気」が続きます。

図表 26 ○ あなたは現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

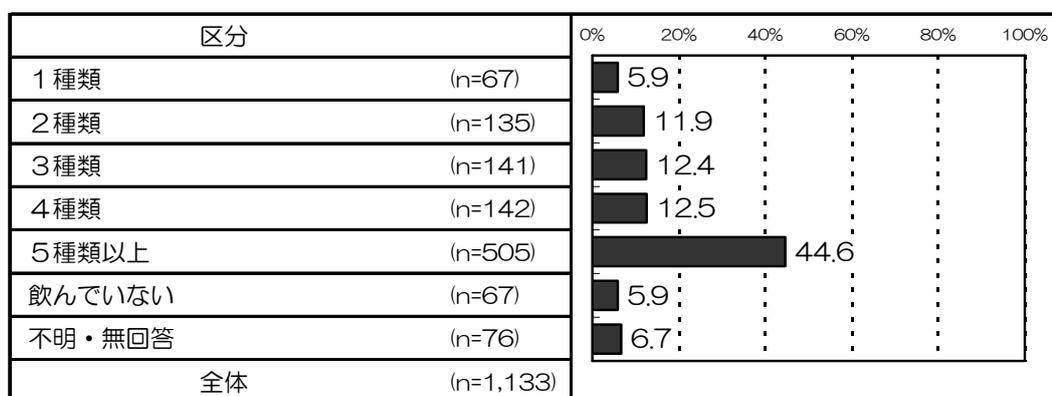
【1号】



【要支援】



【要介護】

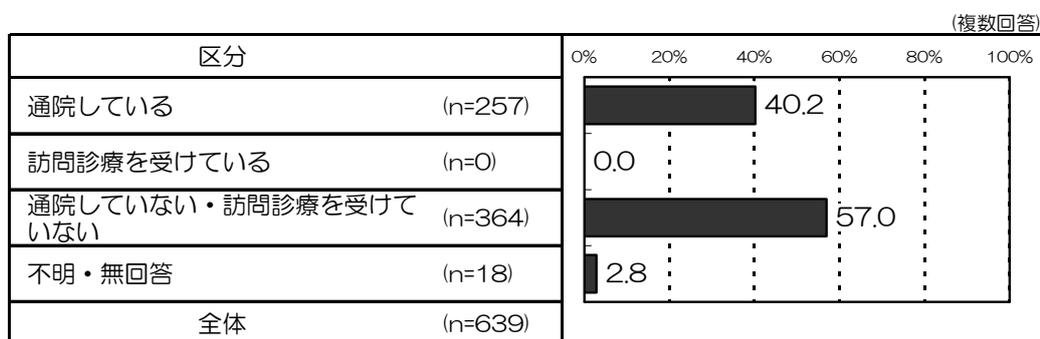


現在服用している医師の処方した薬の種類については、【1号】では「飲んでいない」が22.4%で最も高くなっています。また、【要支援】【要介護】はともに「5種類以上」が4～5割で最も高くなっています。

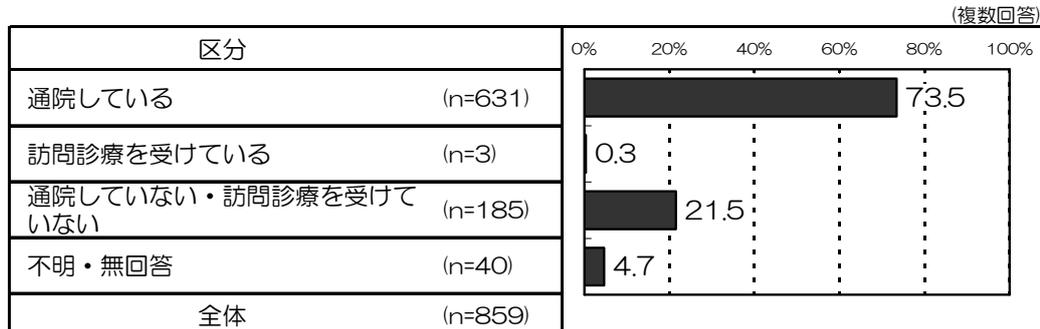
現在医師の処方した薬を飲んでいる人は、【1号】では72.6%、【要支援】では93.3%、【要介護】では87.4%を占めています。

図表 27 ○ 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。  
または、訪問診療を受けていますか。

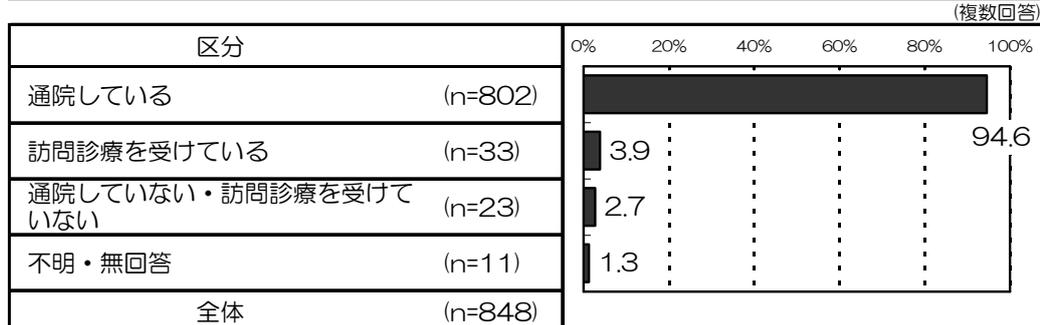
【2号】



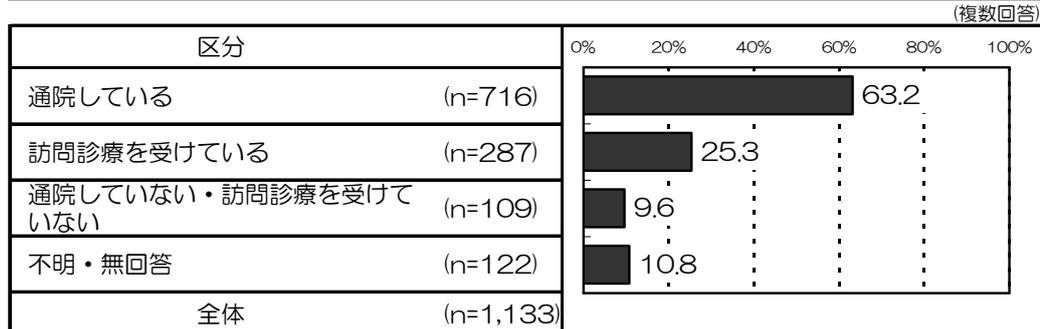
【1号】



【要支援】



【要介護】

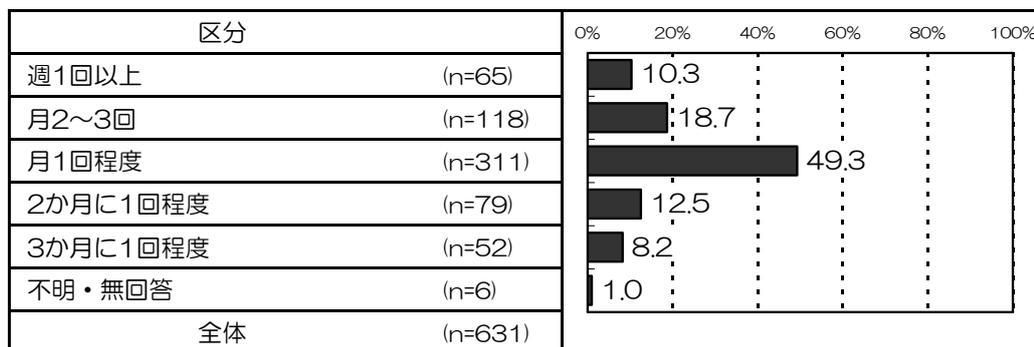


病院・医院などへの通院および訪問診療の受診については、【2号】では「通院していない・訪問診療を受けていない」、【1号】【要支援】【要介護】では「通院している」が最も高くなっています。また、「訪問診療を受けている」については、【要介護】で25.3%と、他より多くなっています。

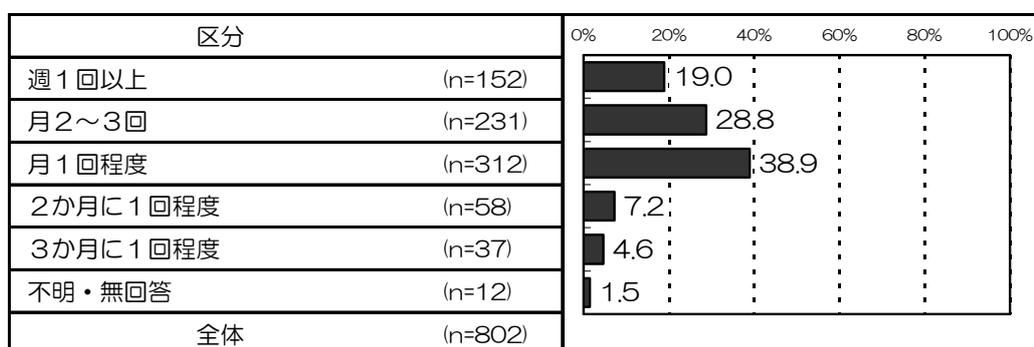
通院もしくは訪問診療を受けている人（全体から「通院していない・訪問診療を受けていない」および「不明・無回答」を除いた割合）は、【2号】では40.2%、【1号】では73.8%、【要支援】では96.0%、【要介護】では79.6%となっています。

図表 28 ○ 通院の頻度

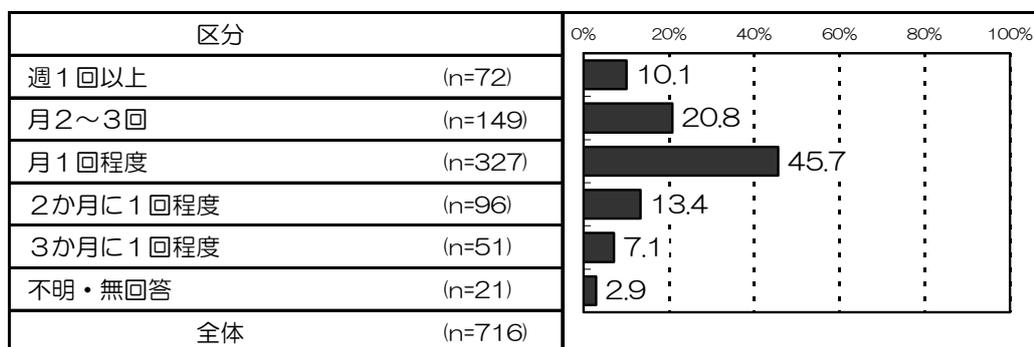
【1号】



【要支援】



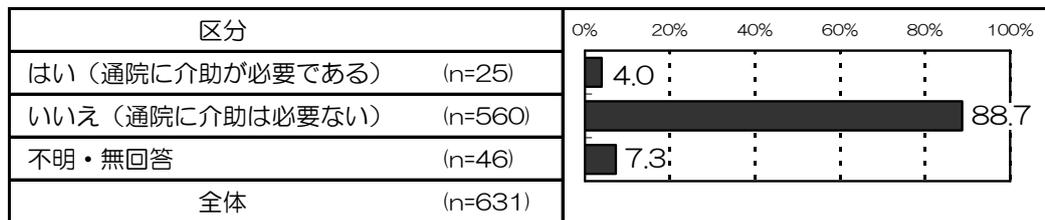
【要介護】



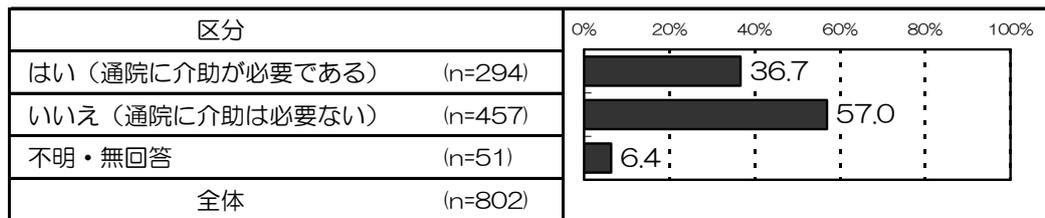
病院や医院（診療所、クリニック）に通院している人について、通院頻度をみると、いずれの区分においても、「月1回程度」が4～5割程度を占めて最も高くなっています。また、月1回以上通院している人は、【1号】で78.3%、【要支援】で86.7%、【要介護】で76.6%となっています。

図表 29 ○ あなたは、通院に介助が必要ですか。

【1号】



【要支援】



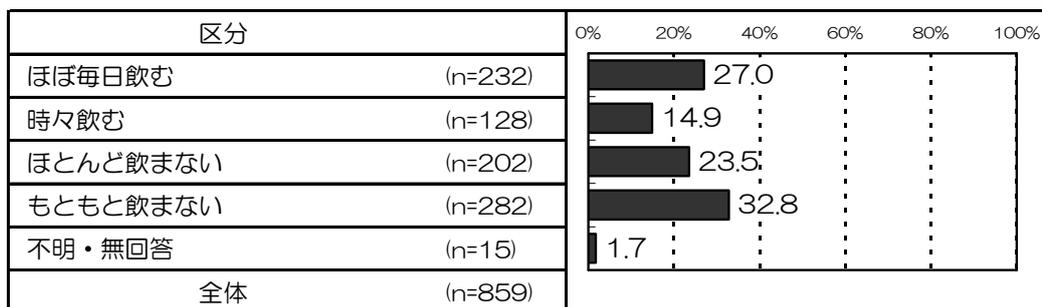
【要介護】



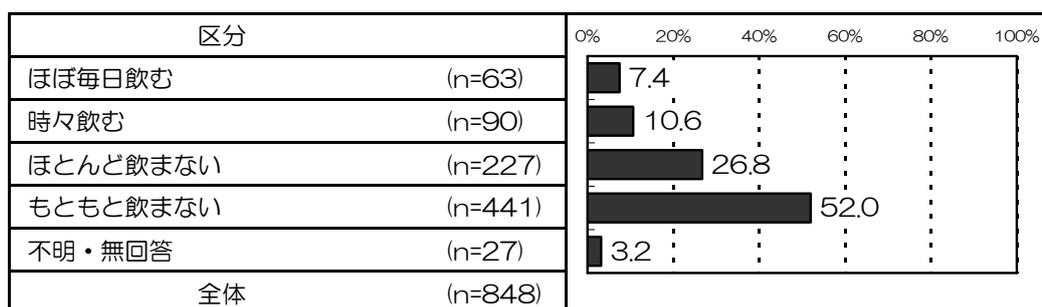
通院における介助の必要性については、【1号】では「いいえ (通院に介助は必要ない)」が 88.7%、【要支援】では「いいえ (通院に介助は必要ない)」が 57.0%、【要介護】では「はい (通院に介助が必要である)」が 83.5%で最も高くなっています。

図表 30 ○ あなたはお酒を飲みますか。

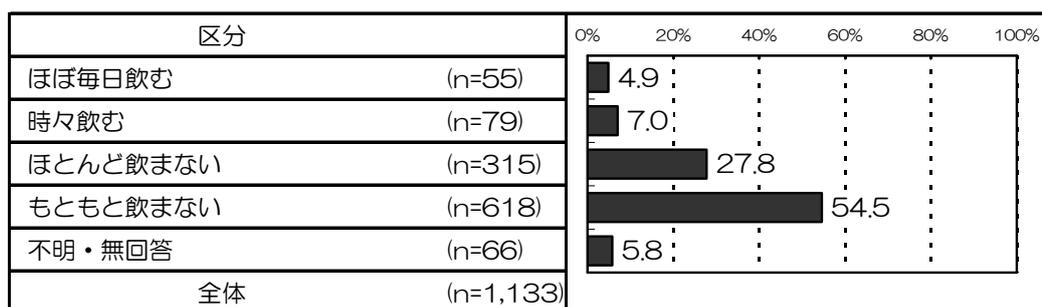
【1号】



【要支援】



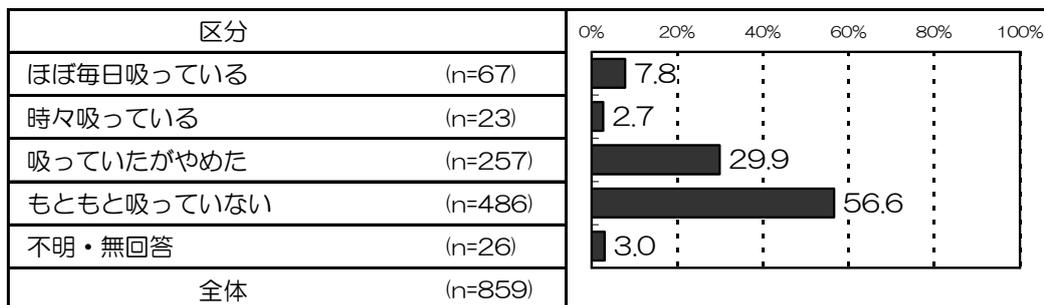
【要介護】



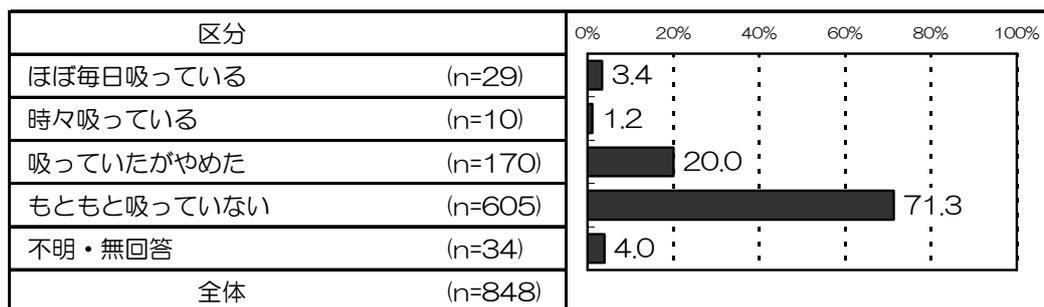
飲酒の状況については、いずれの区分においても、「もともと飲まない」が最も高くなっていますが、特に、【要支援】【要介護】では「もともと飲まない」は5割を超えています。一方、【1号】では、「ほぼ毎日飲む」が27.0%となっており、【要支援】【要介護】と比べて高くなっています。

図表 31 ○ あなたはタバコを吸いますか。

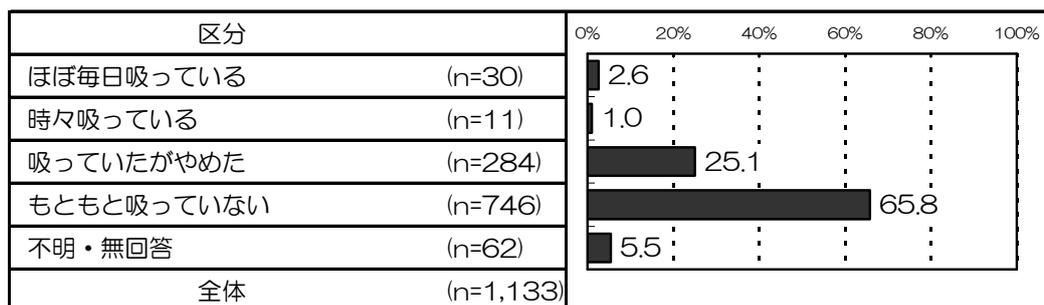
【1号】



【要支援】



【要介護】



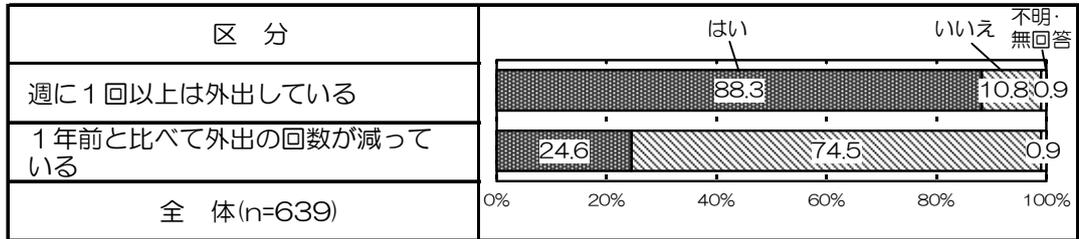
喫煙の状況については、いずれの区分においても、「もともと吸っていない」が最も高くなっていますが、特に、【要支援】【要介護】では「もともと吸っていない」は7割前後を占めています。

一方、【1号】では、「ほぼ毎日吸っている」が7.8%となっており、【要支援】【要介護】と比べて高くなっています。

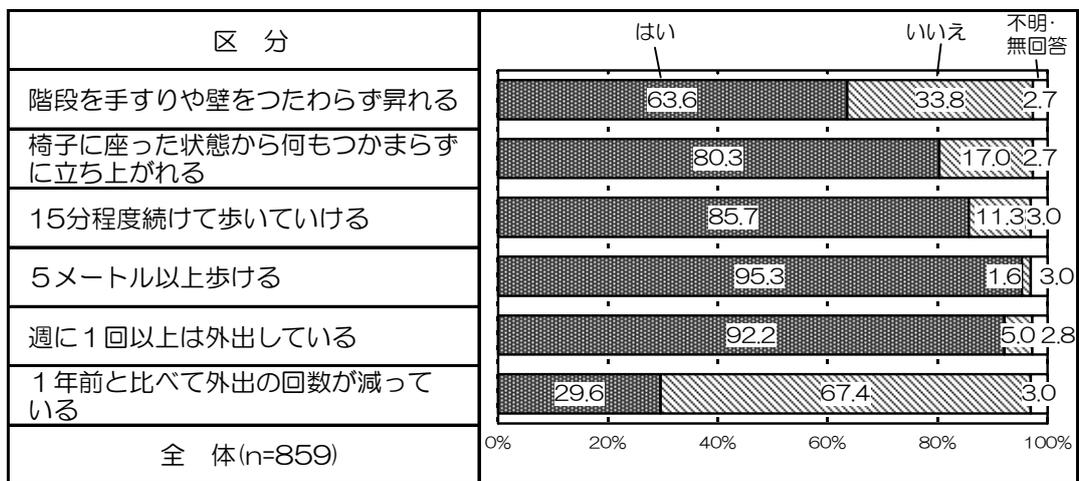
## 運動・外出状況について

図表 32 ○ 毎日の生活のご様子についておたずねします。  
○ あなたの運動や外出状況についておたずねします。

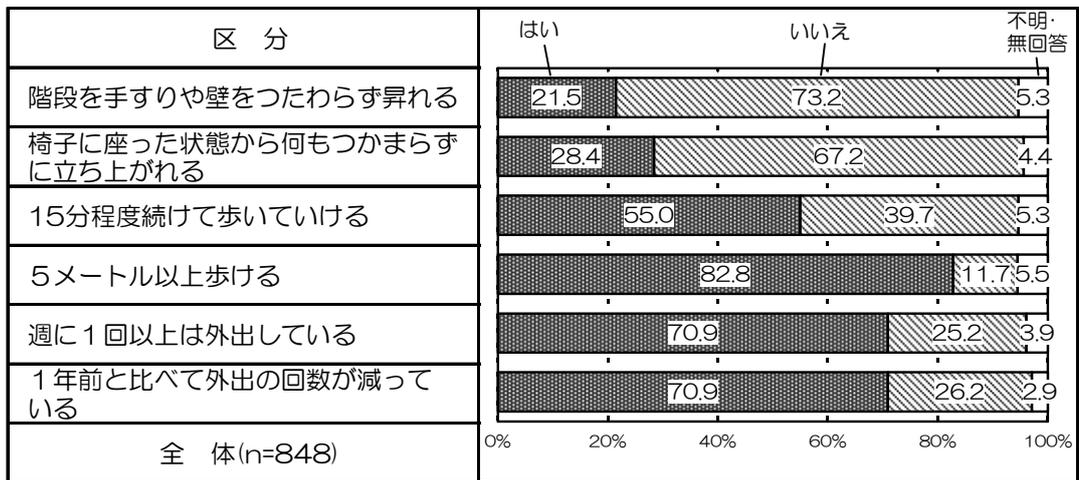
【2号】



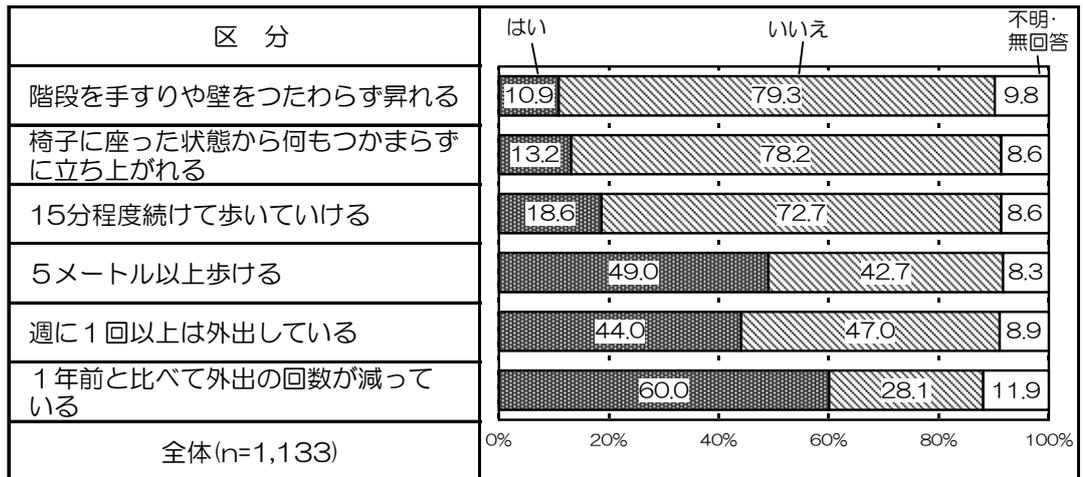
【1号】



【要支援】



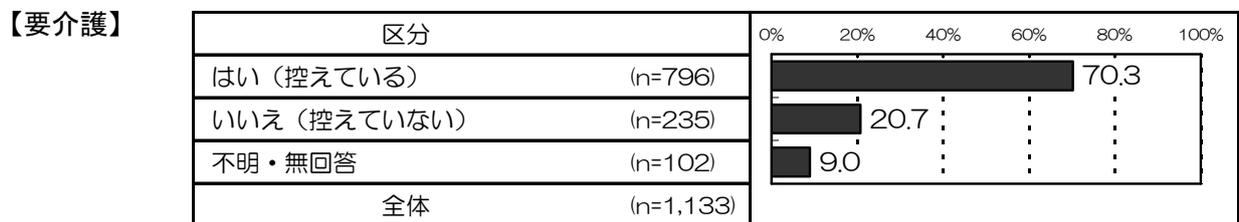
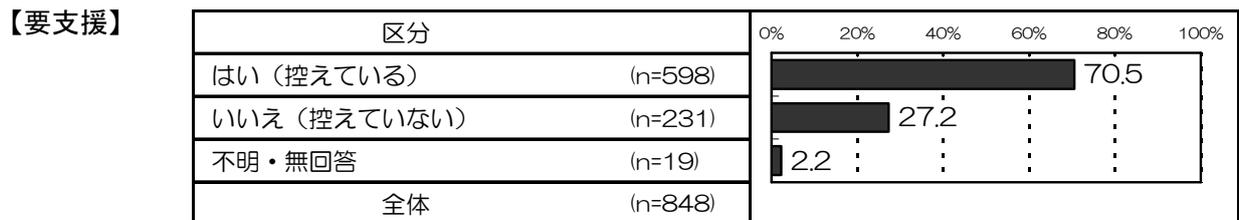
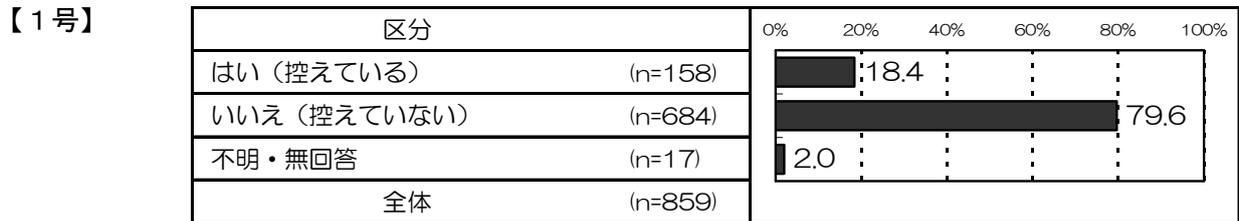
【要介護】



運動状況については、要支援・要介護状態になるほど、運動能力が低下していることがわかります。特に、「階段を手すりや壁をつたわず昇れる」や「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる」については、【1号】から【要支援】にかけて大きく減少しています。

外出頻度をみると、「週に1回以上外出している人」については、【2号】で88.3%、【1号】で92.2%、【要支援】で70.9%、【要介護】で44.0%となっており、要支援・要介護状態になるほど、外出頻度が低下していることがわかります。

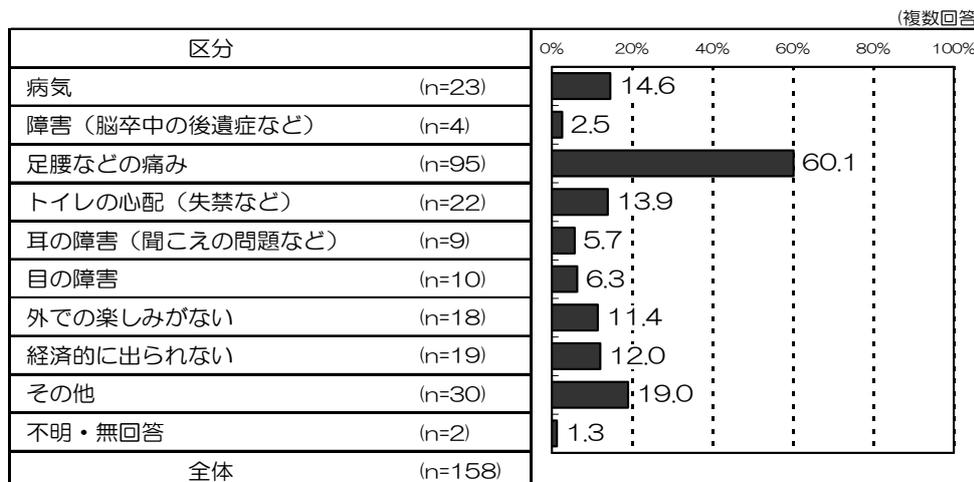
図表 33 ○ あなたは、外出を控えていますか。



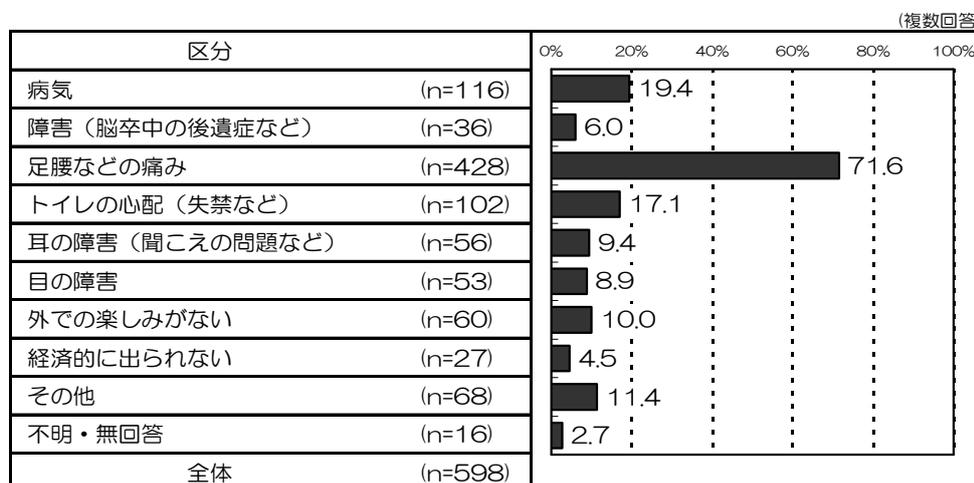
外出を控えているかについては、【1号】では「いいえ（控えていない）」が79.6%を占めていますが、【要支援】【要介護】では「はい（控えている）」が7割程度を占めています。

図表 34 ○ あなたが外出を控えている理由は何ですか。

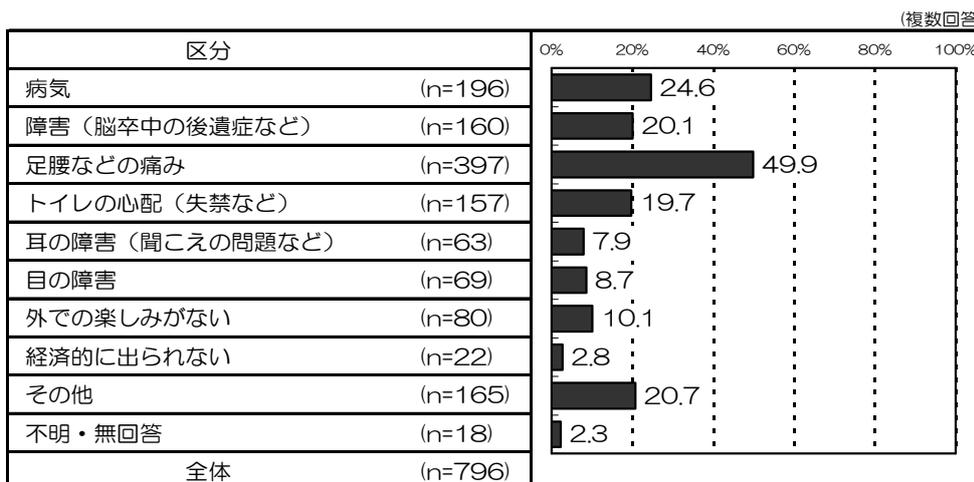
【1号】



【要支援】



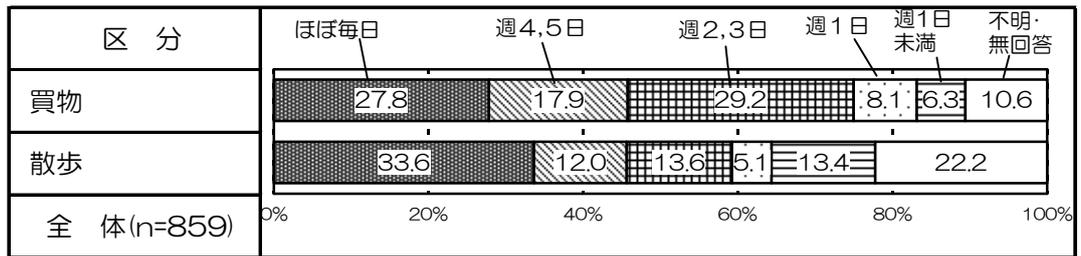
【要介護】



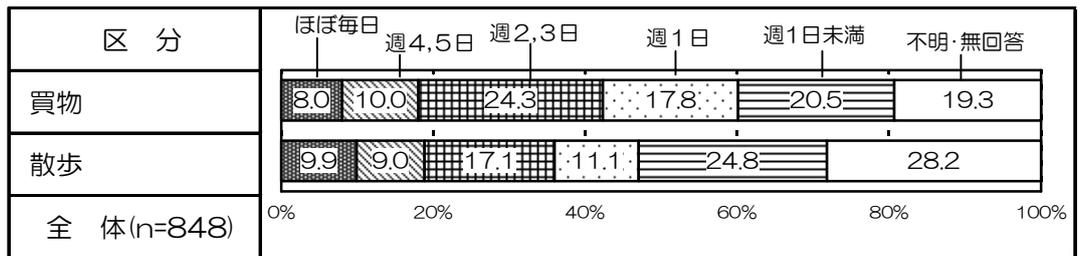
外出を控えている理由については、すべての区分において、「足腰などの痛み」が最も高く、次に「病気」が続きます。また、【要介護】では、「障害 (脳卒中の後遺症など)」が他と比べて高くなっています。

図表 35 ○ 買物や散歩で外出する頻度について

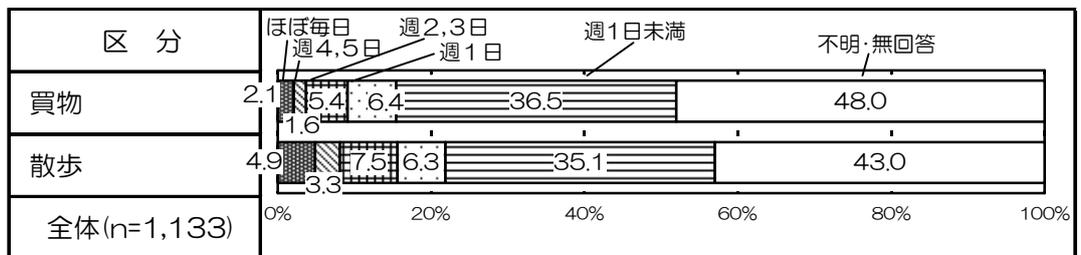
【1号】



【要支援】



【要介護】

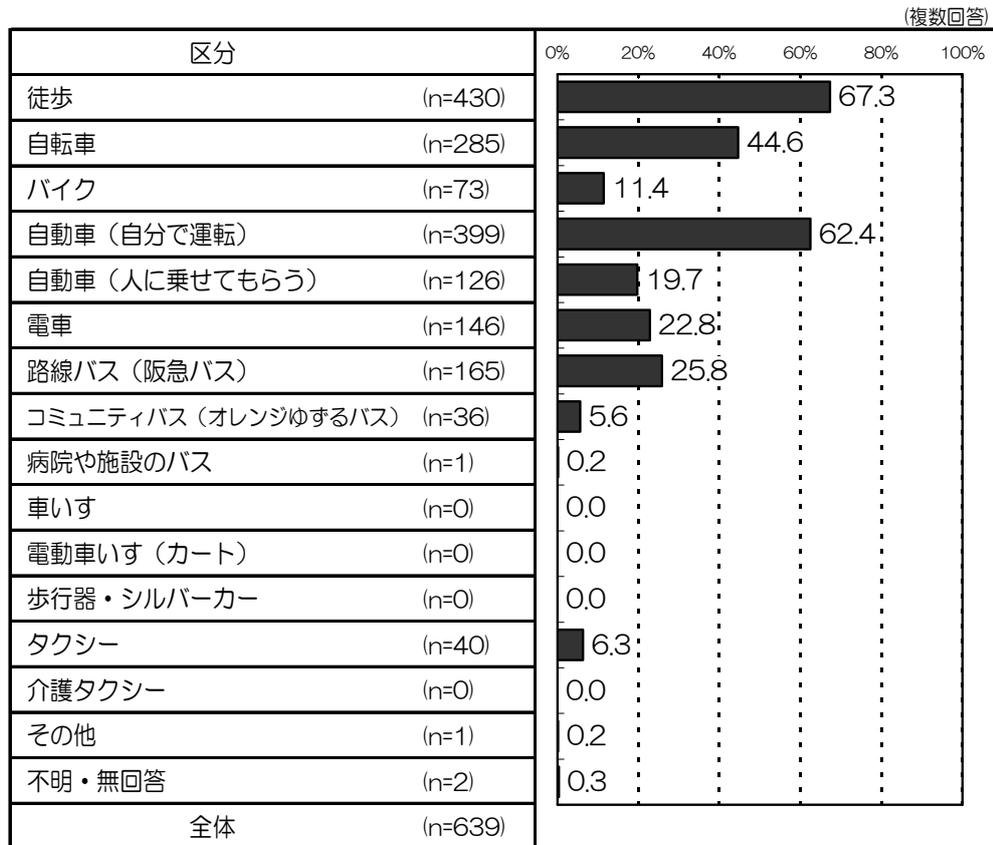


買物や散歩で外出する頻度については、要支援・要介護状態になるほど、低下していることがわかります。特に、「ほぼ毎日」については、【1号】から【要支援】にかけて大きく減少しています。

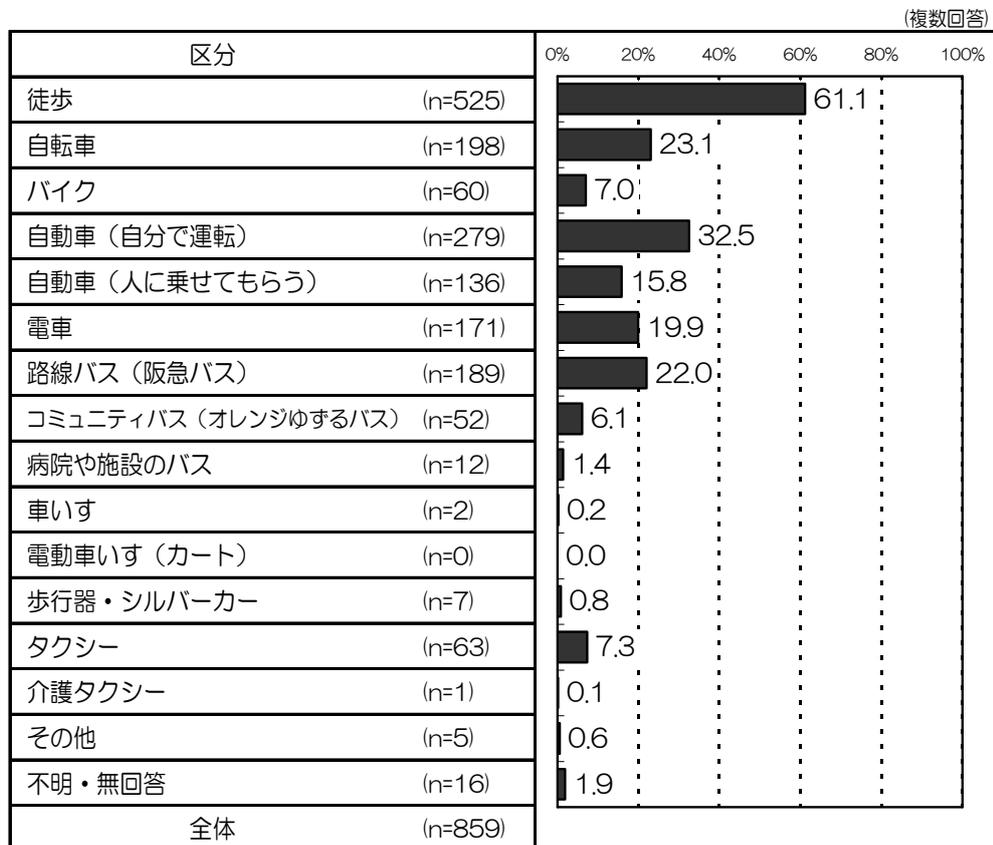
また、週1日以上買物で外出する人は、【1号】で83.0%、【要支援】で60.1%、【要介護】で15.5%となっています。一方、週1日以上散歩で外出する人は、【1号】で64.3%、【要支援】で47.1%、【要介護】で22.0%となっています。

図表 36 ○ あなたが普段の買物や通院などに行くときの移動手段は何ですか。

【2号】

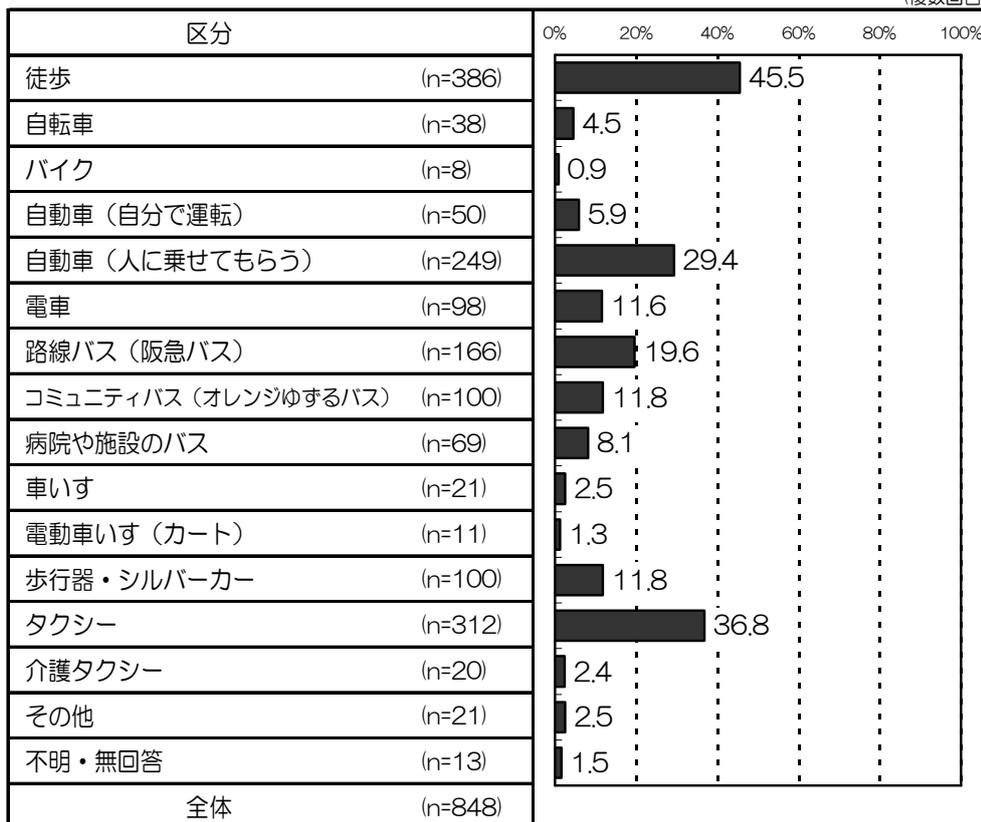


【1号】



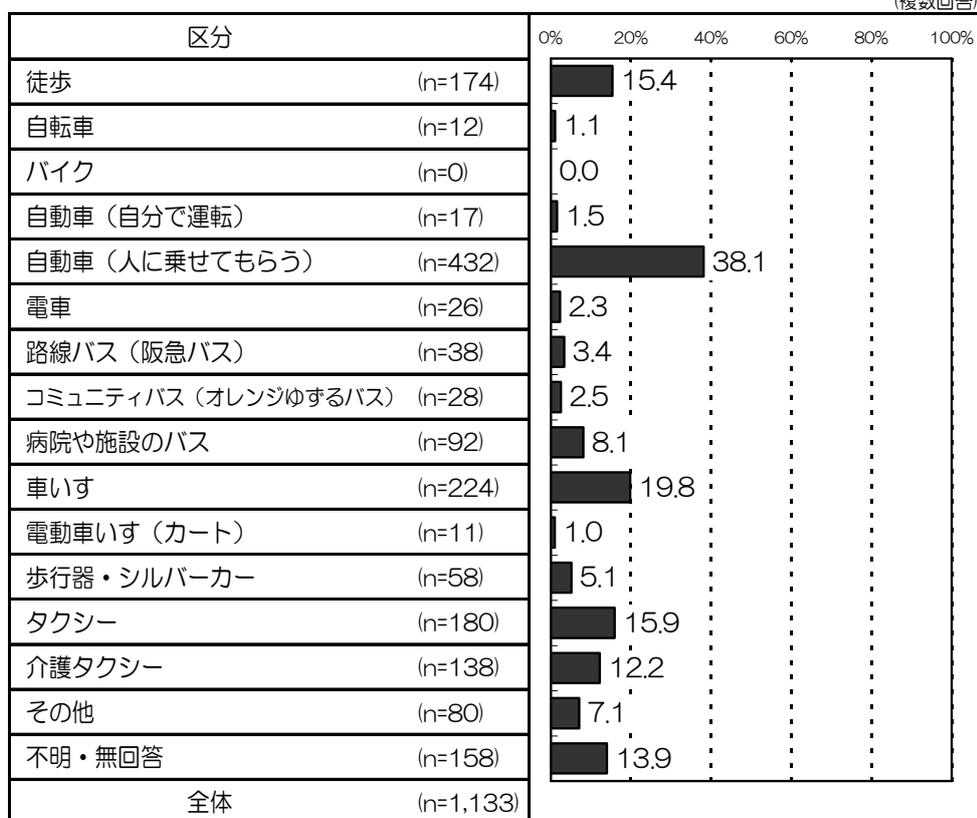
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

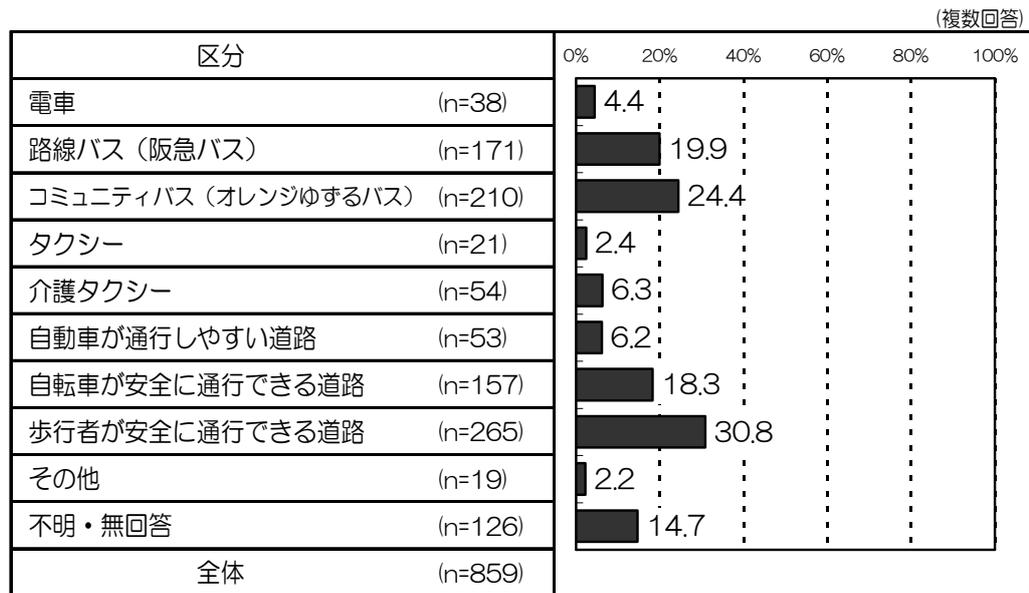
(複数回答)



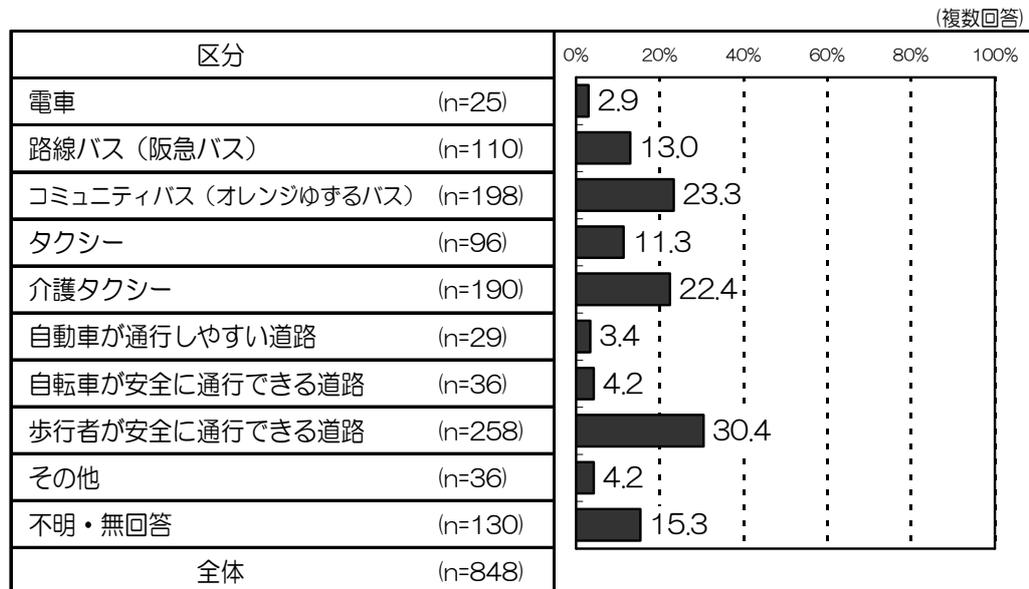
普段外出する際の移動手段については、【2号】【1号】では、「徒歩」や「自動車（自分で運転）」、【要支援】では「徒歩」「タクシー」「自動車（人に乗せてもらう）」、【要介護】では「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっており、要支援・要介護状態になるほど、他人に依存する交通手段に移行していることがわかります。

図表 37 ○ 今後、外出のために充実してほしいものは何ですか。

【1号】

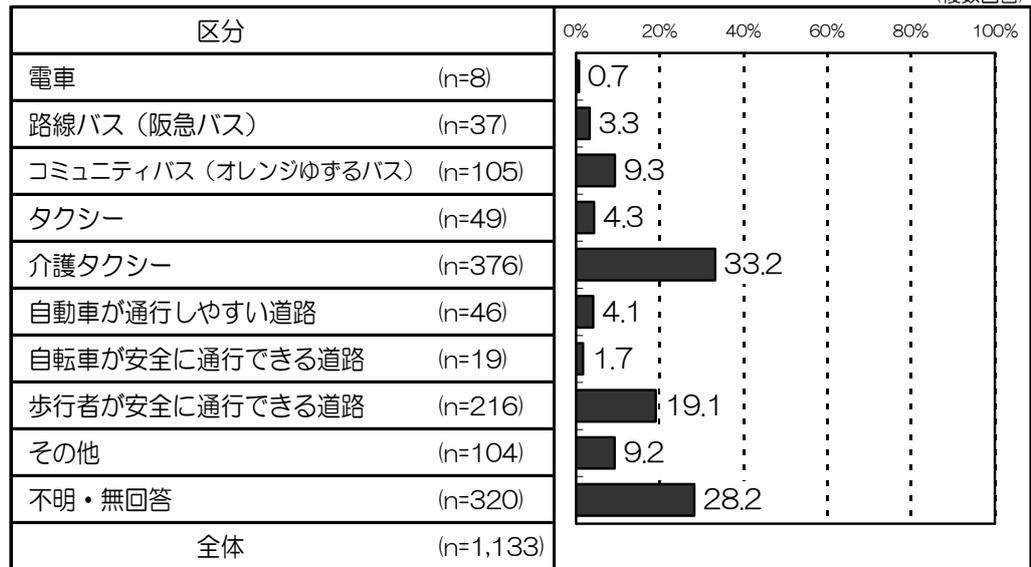


【要支援】



【要介護】

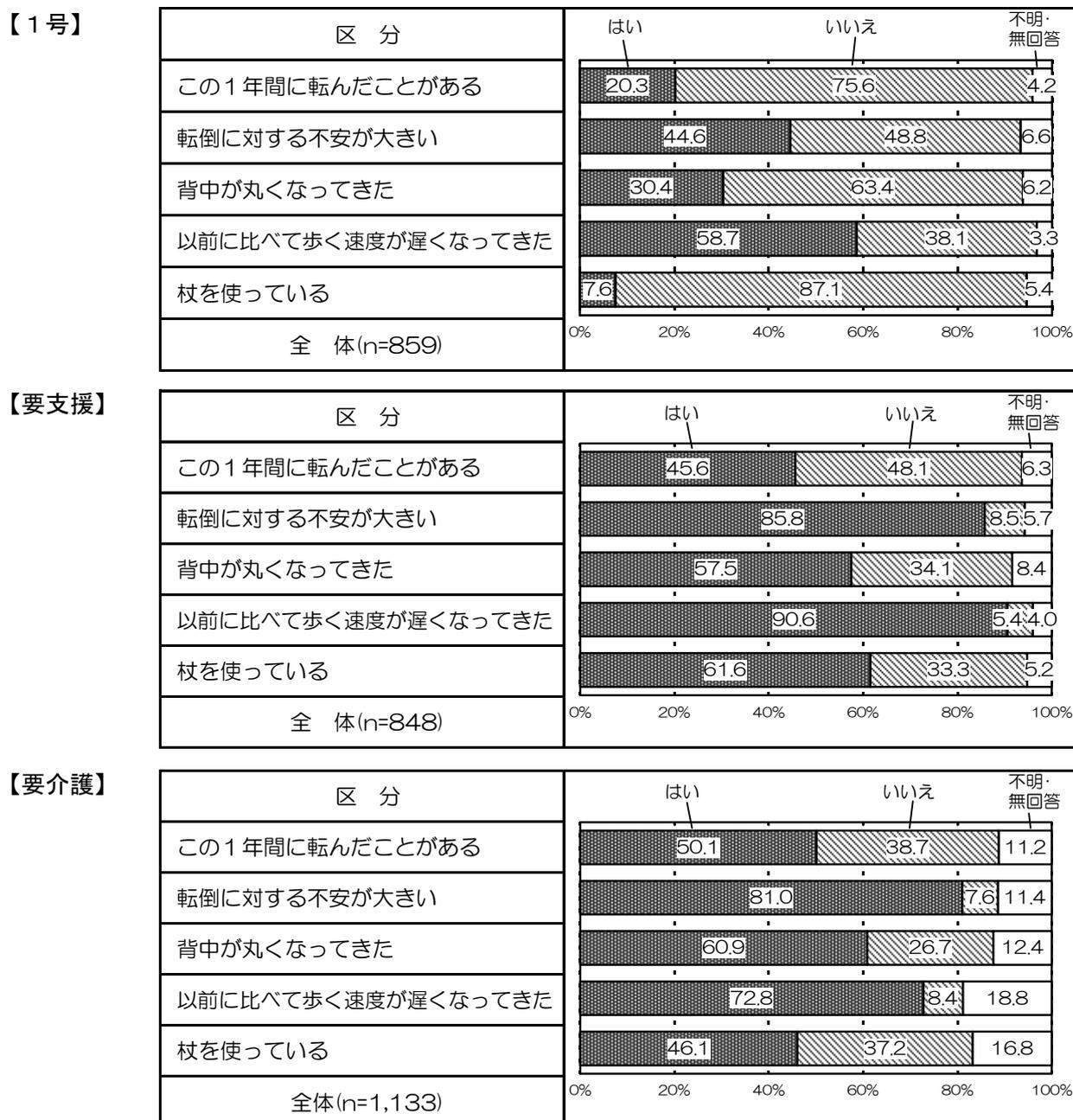
(複数回答)



外出のために充実してほしいことについては、【1号】【要支援】では「歩行者が安全に通行できる道路」、【要介護】では「介護タクシー」が最も高くなっています。また、【1号】では「路線バス」や「コミュニティバス」といった公共交通が、【要支援】【要介護】より高くなっています。

## 転倒予防について

図表 38 ○ 転倒に関する状況についておたずねします。



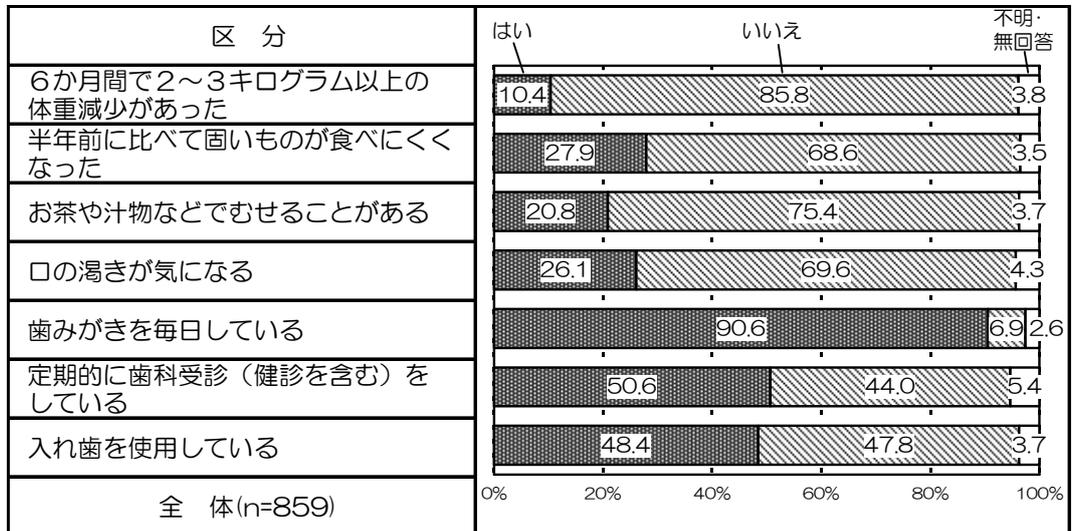
転倒に関する状況については、いずれの区分においても、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」や「転倒に対する不安が大きい」の割合が高くなっています。

特に、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」については、【要支援】で90.6%を占めており、「転倒に対する不安が大きい」については、【要支援】【要介護】ともに8割を超えています。

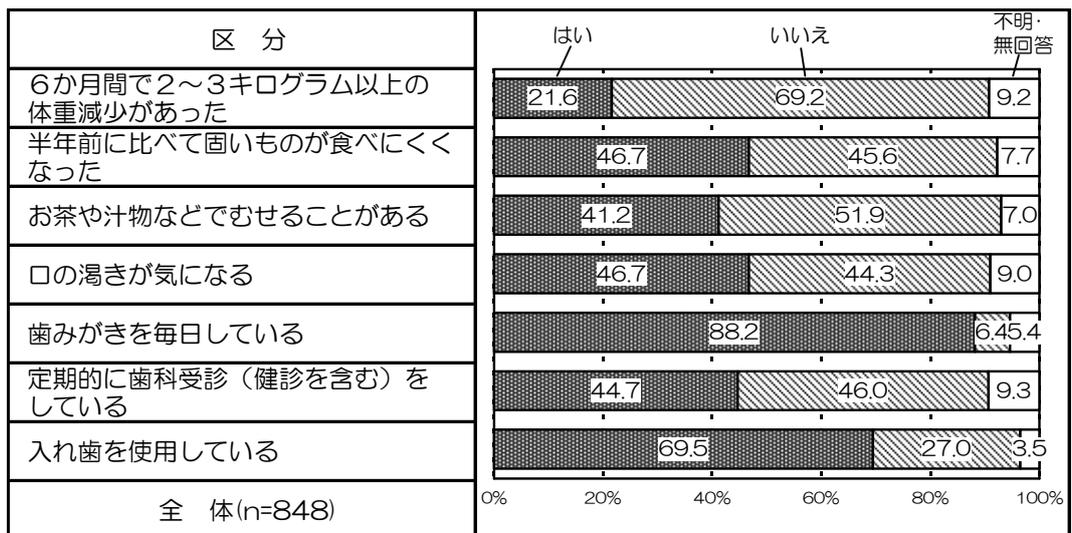
## 口や歯の状況、栄養状況などについて

図表 39 ○ あなたの口や歯、栄養に関する状況についておたずねします。

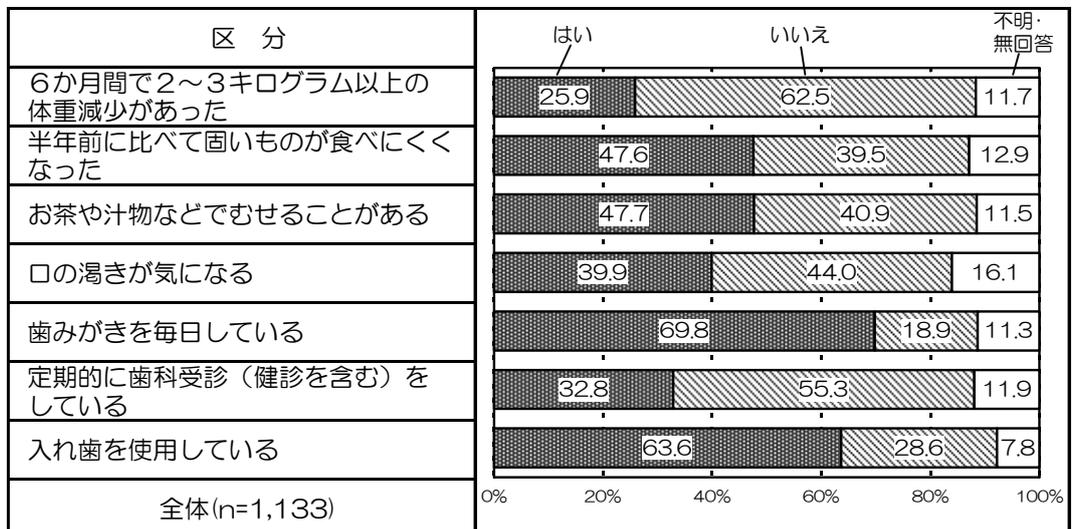
【1号】



【要支援】



【要介護】

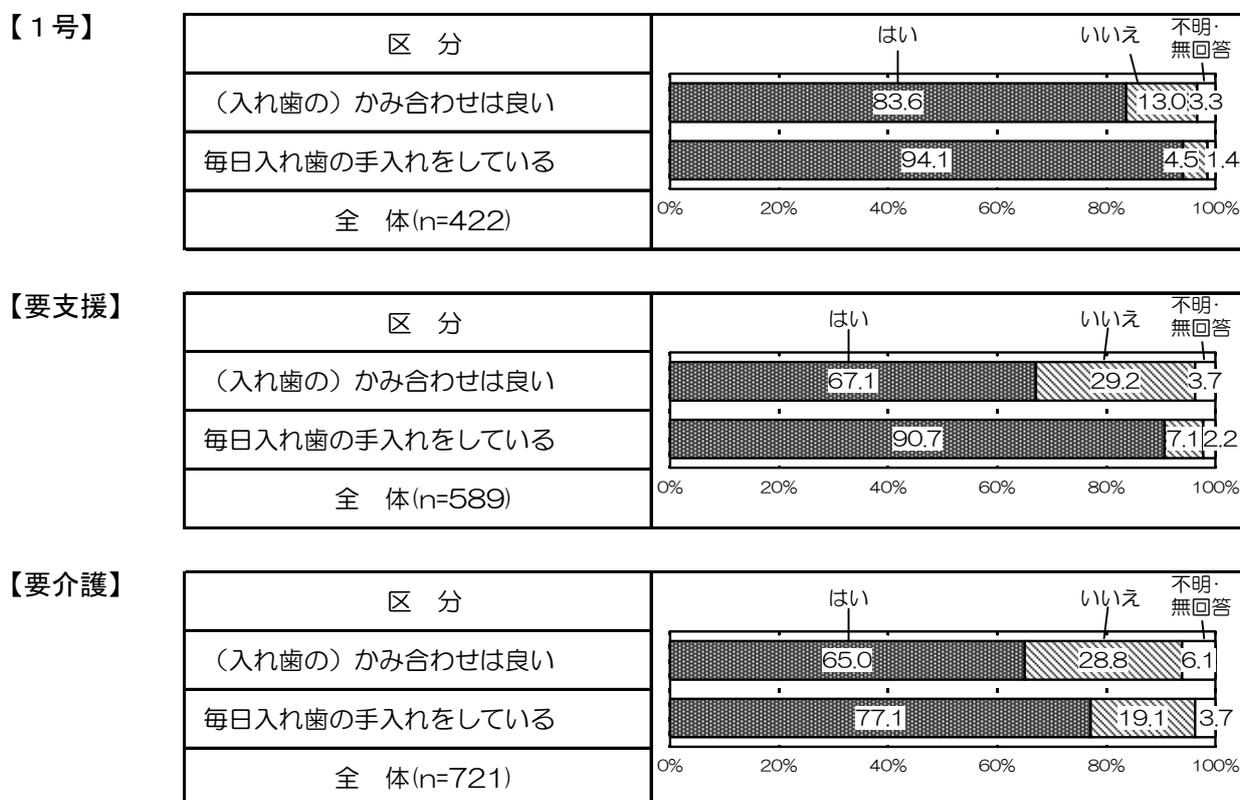


栄養に関する状況について、「6か月間で2～3キログラム以上の体重減少があった」とする人は、【1号】で10.4%、【要支援】【要介護】では2割台を占めています。

口に関する状況については、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」や「お茶や汁物などでむせることがある」において、【1号】から【要支援】【要介護】にかけて「はい」の割合が増加しており、口腔機能が低下していることがわかります。

歯に関する状況については、「歯みがきを毎日している」とする人は【1号】【要支援】ともに9割程度を占めています。また、「入れ歯を使用している」とする人は、【1号】では48.4%ですが、【要支援】【要介護】では6～7割程度と増加しています。

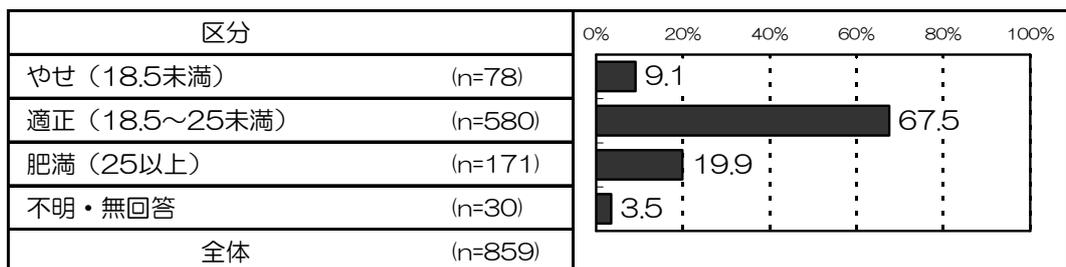
図表 40 ○ 入れ歯について（入れ歯を使用している人）



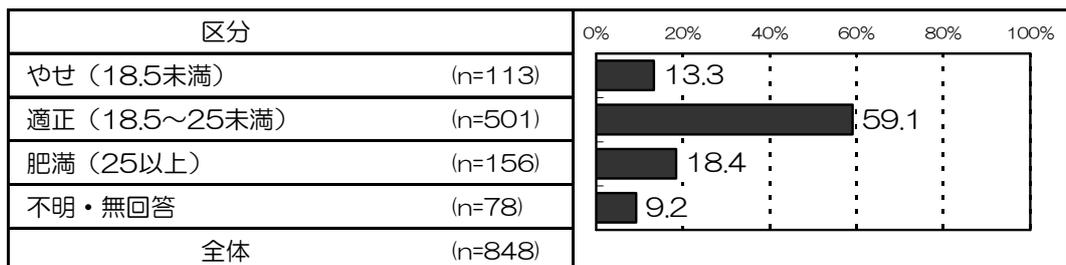
入れ歯の状況については、「(入れ歯の) かみ合わせが良い」とする人は、【1号】では83.6%ですが、【要支援】【要介護】では6割台半ばとなっています。また、「毎日入れ歯の手入れをしている」とする人は、【1号】【要支援】ともに9割を超えています、【要介護】では8割程度となっています。

図表 41 ○ 身長と体重の関係について（BMI 判定）

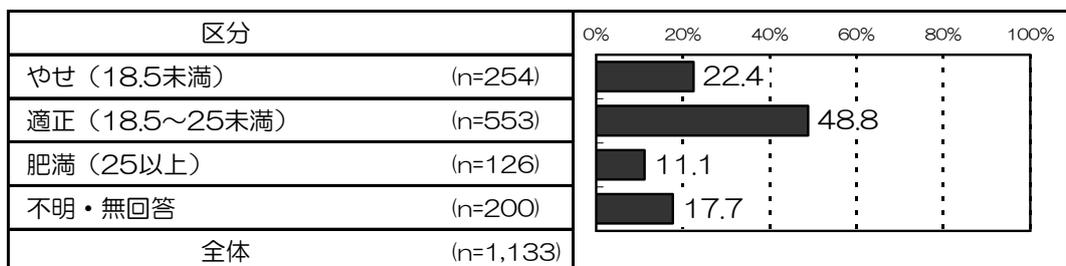
【1号】



【要支援】



【要介護】



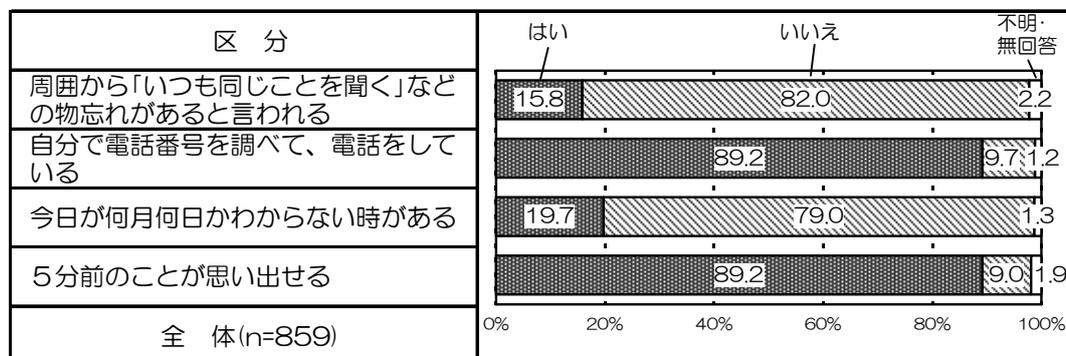
身長と体重からBMI判定の状況を見ると、すべての区分において、「適正」が最も高くなっていますが、要支援・要介護状態になるとともに、その割合は減少しています。

また、「やせ」については、【1号】では9.1%ですが、【要支援】で13.3%、【要介護】で22.4%と、要支援・要介護状態になるとともに、その割合が増加しています。

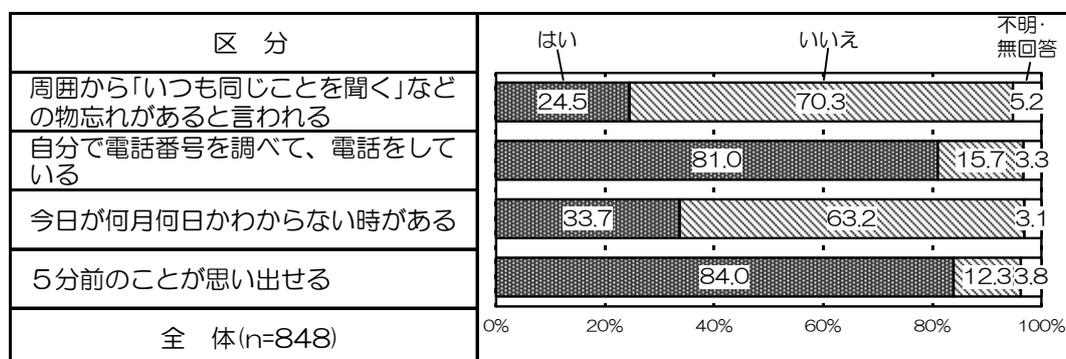
## 物忘れの状況について

図表 42 ○ あなたの物忘れの状況についておたずねします。

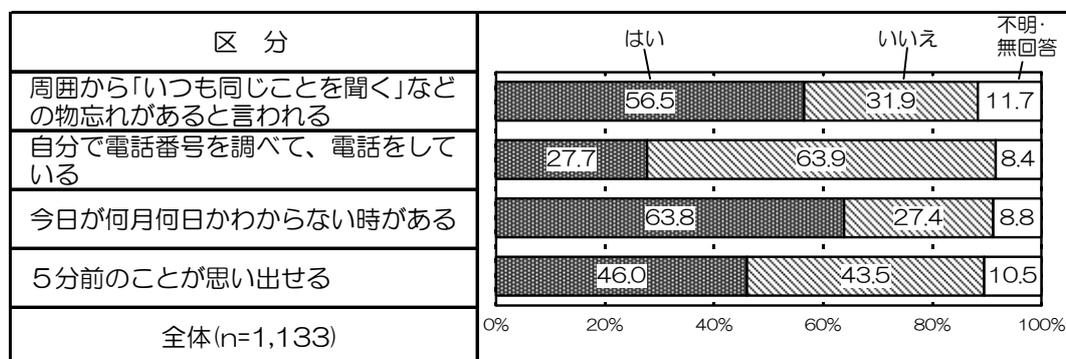
**【1号】**



**【要支援】**



**【要介護】**

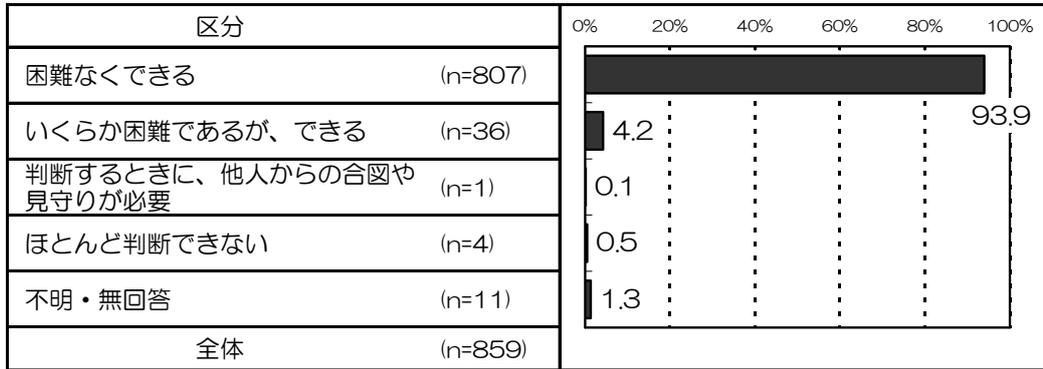


物忘れに関する状況について、「自分で電話番号を調べて、電話をしている」とする人や「5分前のことが思い出せる」とする人は、【1号】で9割程度、【要支援】で8割程度を占めていますが、【要介護】になると大きく減少しています。

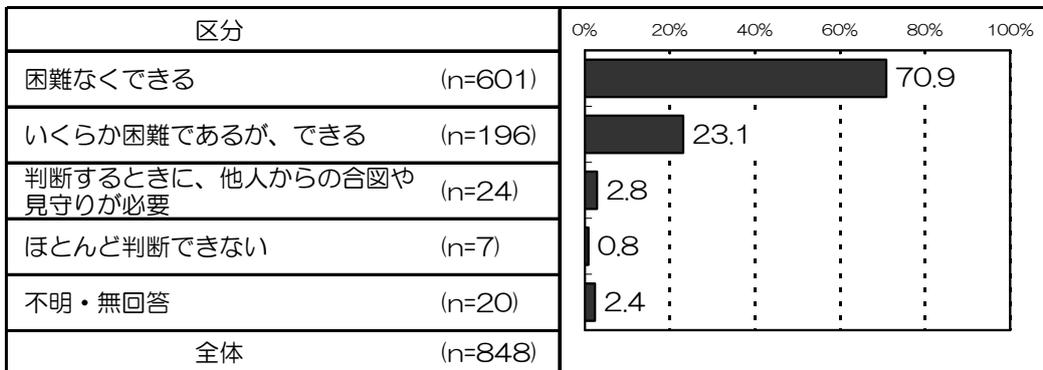
「周囲から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされる」とする人や「今日が何月何日かわからない時がある」とする人は、要支援・要介護状態になるほど、割合が高くなっており、物忘れの状況が顕著になっていることがわかります。

図表 43 ○ あなたは、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）をご自分で判断できますか。

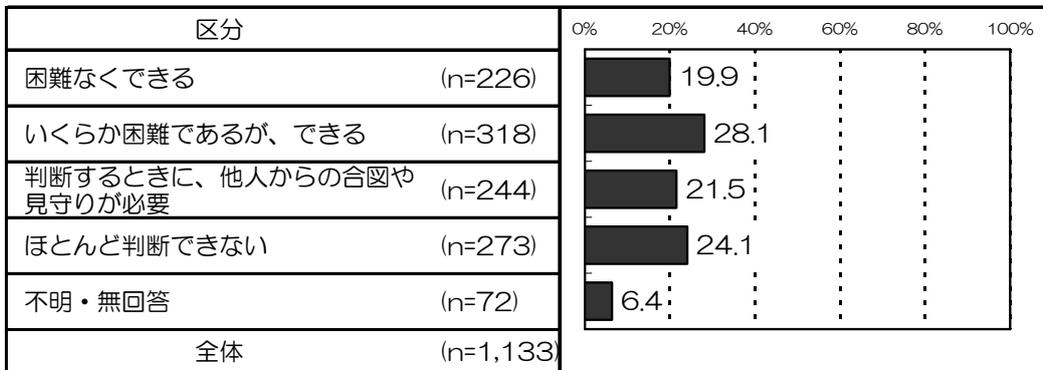
【1号】



【要支援】



【要介護】

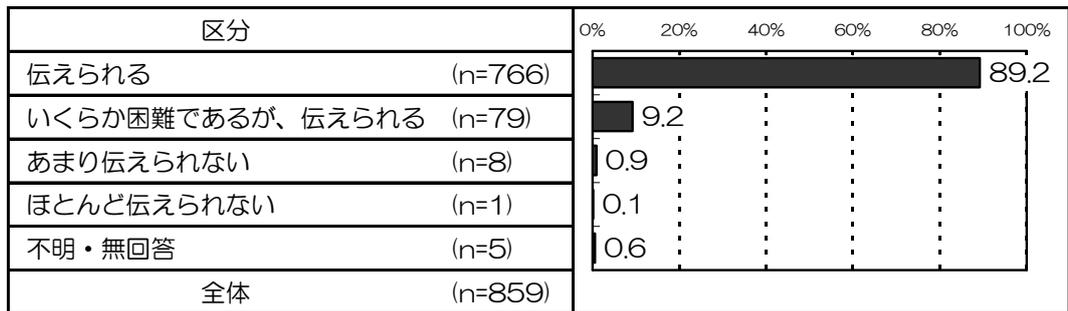


食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できるかについては、【1号】【要支援】では「困難なくできる」、【要介護】では「いづらか困難であるが、できる」が最も高くなっています。また、判断できる人（「困難なくできる」および「いづらか困難であるが、できる」と回答した人）は、【1号】で98.1%、【要支援】で94.0%となっていますが、【要介護】では48.0%と過半数に達していません。

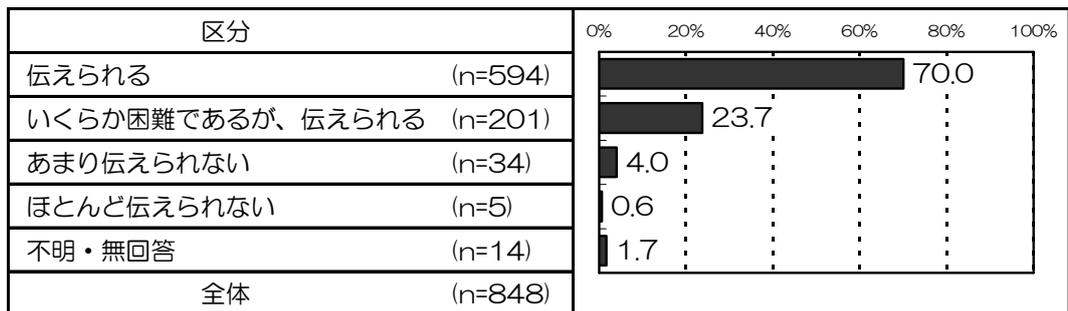
一方、「ほとんど判断できない」については、【1号】【要支援】ともに1%を割っていますが、【要介護】では24.1%となっています。

図表 44 ○ あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか。

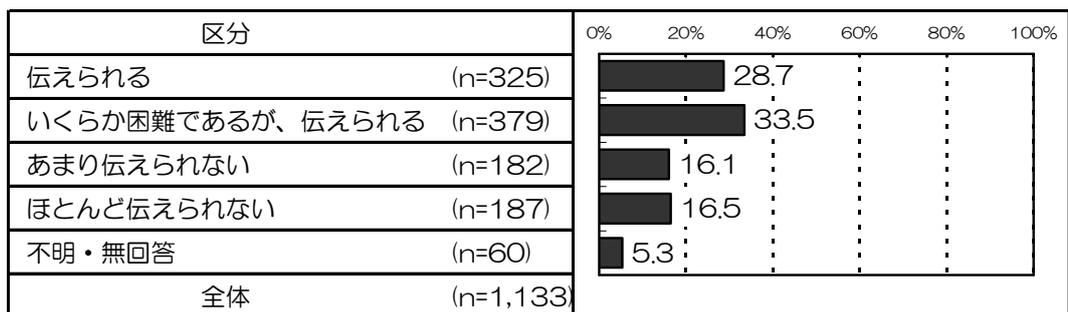
【1号】



【要支援】



【要介護】



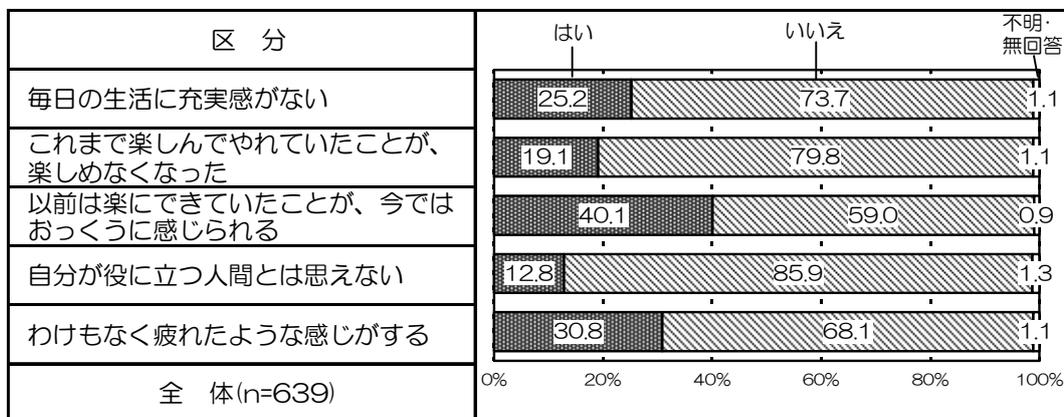
人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、【1号】【要支援】では「伝えられる」、【要介護】では「いくらか困難であるが、伝えられる」が最も高くなっています。また、伝えることができる人（「伝えられる」および「いくらか困難であるが、伝えられる」と回答した人）は、【1号】で98.4%、【要支援】で93.7%となっていますが、【要介護】では62.2%となっています。

一方、「ほとんど伝えられない」については、【1号】【要支援】ともに1%を割っていますが、【要介護】では16.5%となっています。

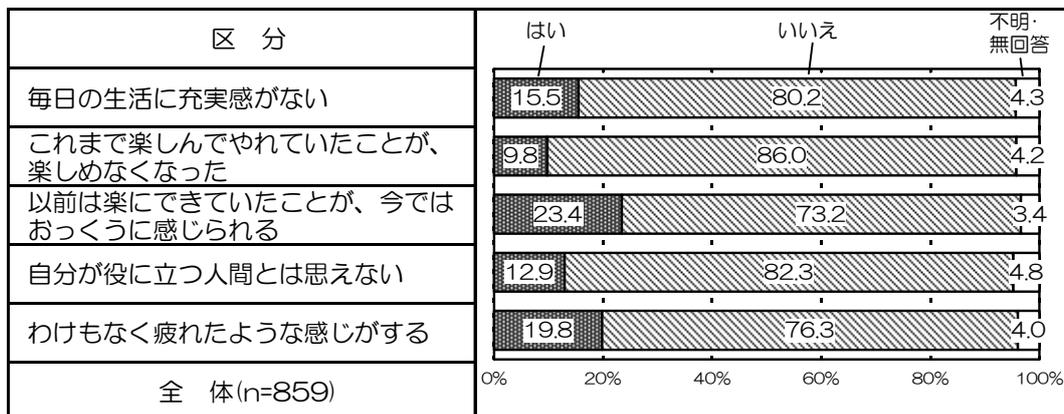
## こころの状況について

図表 45 ○ 毎日の生活のご様子についておたずねします。  
○ あなたのこころの状況についておたずねします。

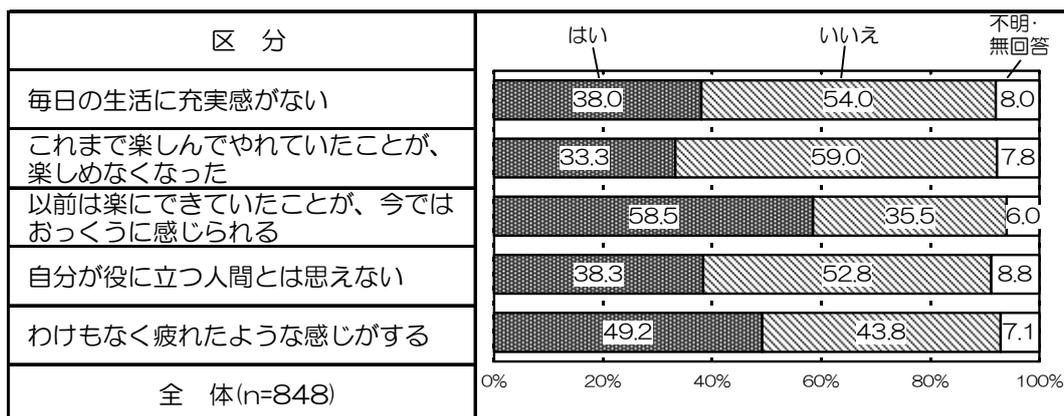
【2号】



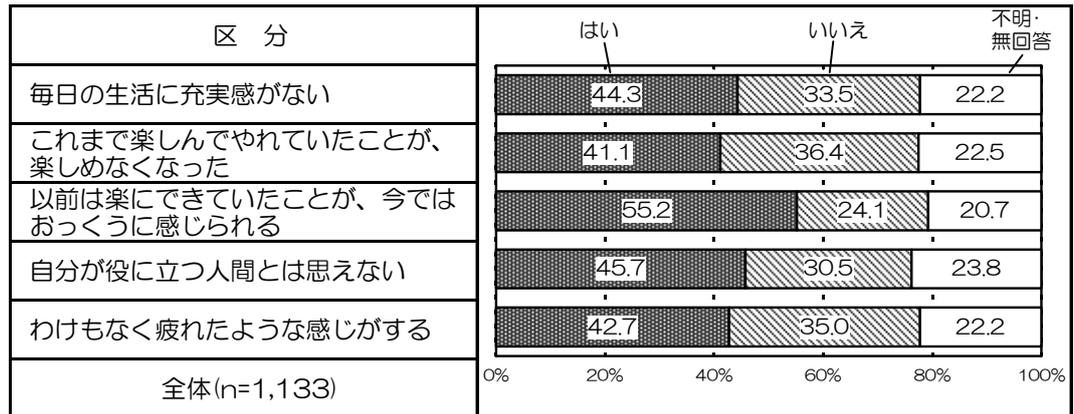
【1号】



【要支援】



【要介護】



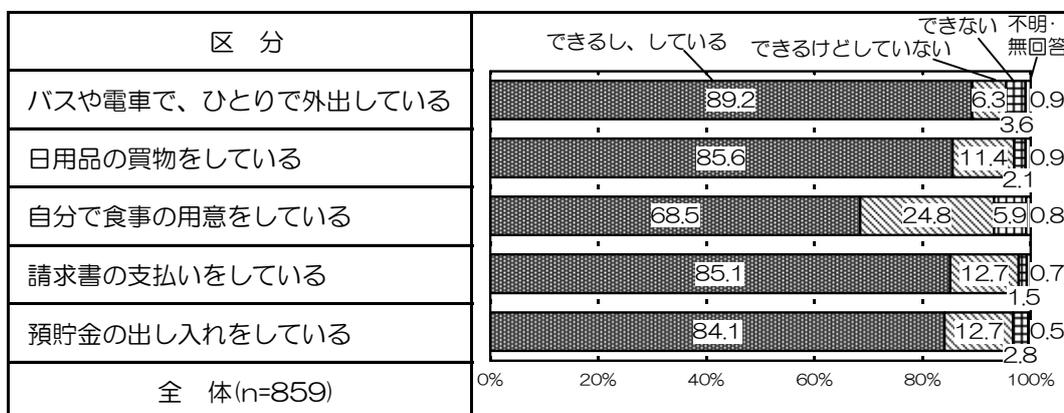
こころの状況について、【2号】では、すべての項目で、【1号】と比べて「はい」の割合が高くなっています。

また、【1号】から【要支援】にかけては、すべての項目で「はい」の割合が増加し、【要支援】から【要介護】にかけても「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」や「わけもなく疲れたような感じがする」以外の項目で「はい」の割合が増加しており、要支援・要介護状態になるほど、こころの状況が悪化していることがわかります。

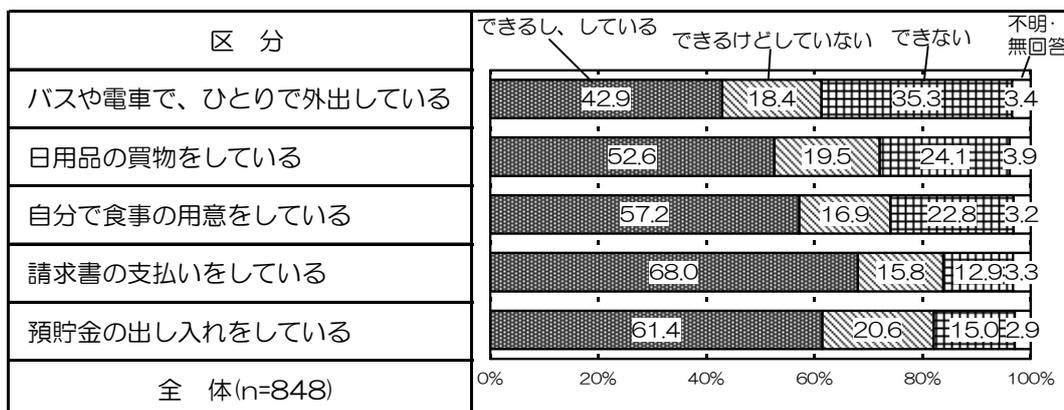
## 日常生活について

図表 46 ○ あなたの日常生活の状況についておたずねします。(活動的な日常生活を送るための動作の能力(手段的日常生活動作)について)

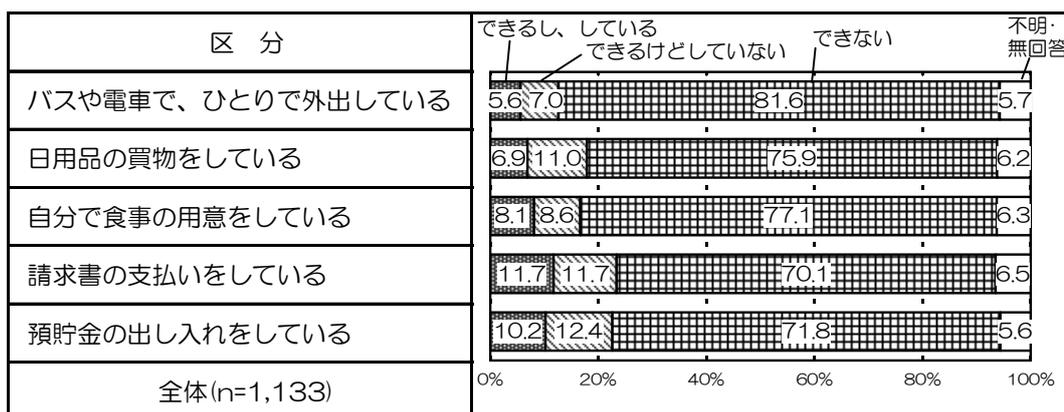
### 【1号】



### 【要支援】



### 【要介護】

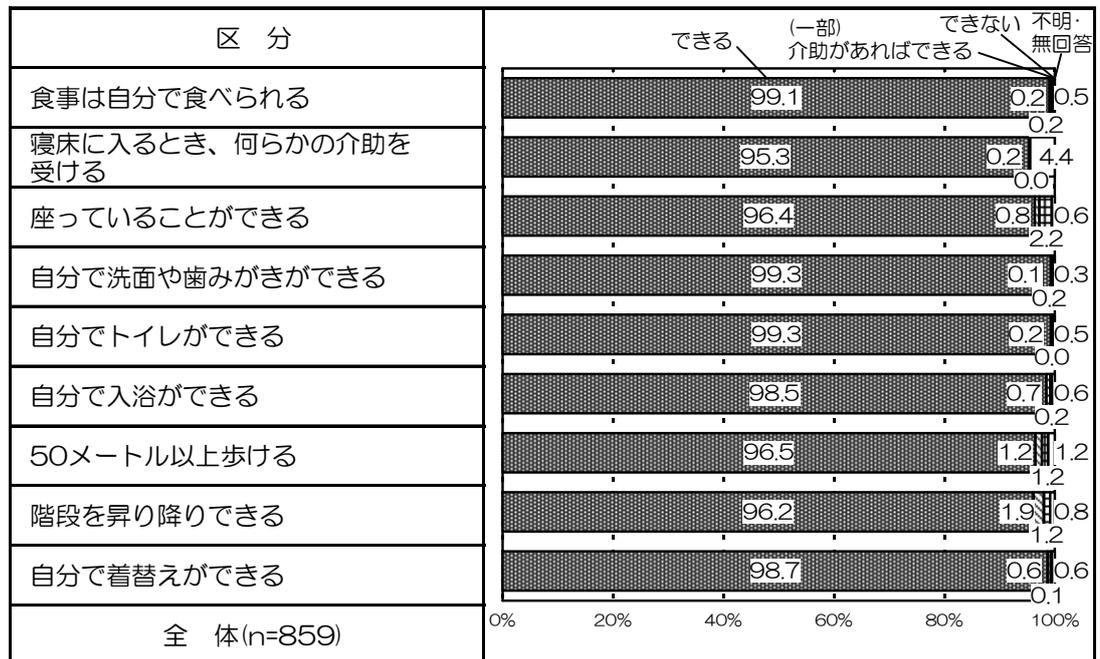


活動的な日常生活を送るための能力に関する状況については、要支援・要介護状態になるほど、それらの能力が低下していることがわかります。

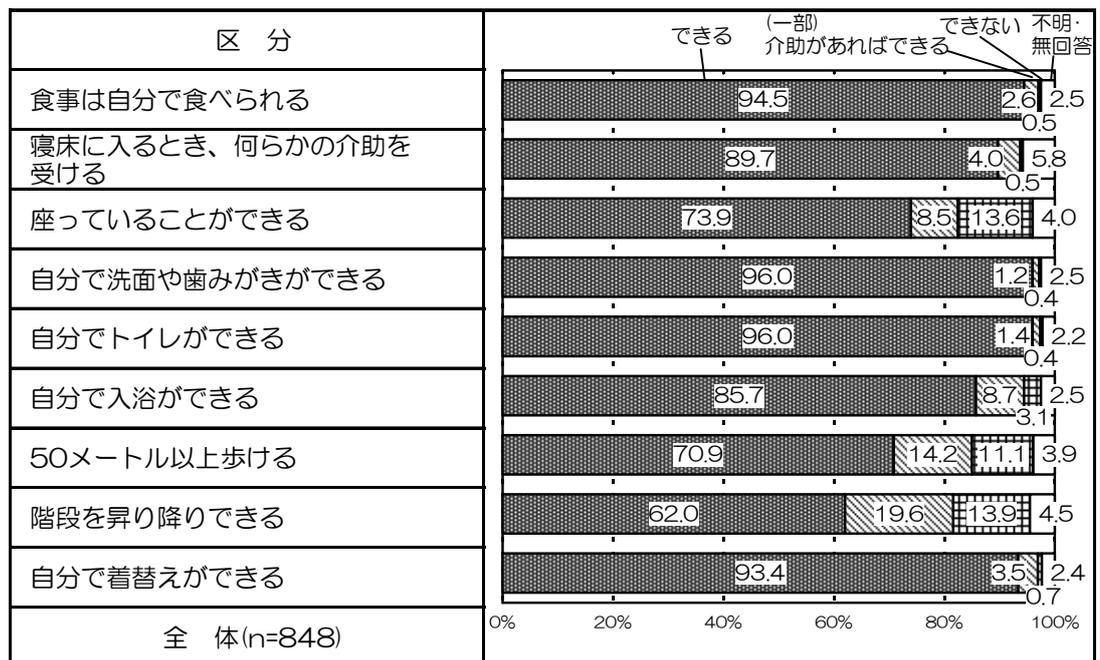
【1号】では、ほとんどの項目で「できるし、している」が8割以上を占めています。が、「自分で食事の用意をしている」については、7割程度にとどまっています。また、【要支援】では、ほとんどの項目で「できるし、している」が5割以上を占めています。が、「バスや電車で、ひとりで外出している」については4割程度にとどまっています。一方、【要介護】では、すべての項目で「できない」が7～8割を占めています。

図表 47 ○ あなたの日常生活の状況についておたずねします。(日常生活を送るための必要な動作 (ADL) について)

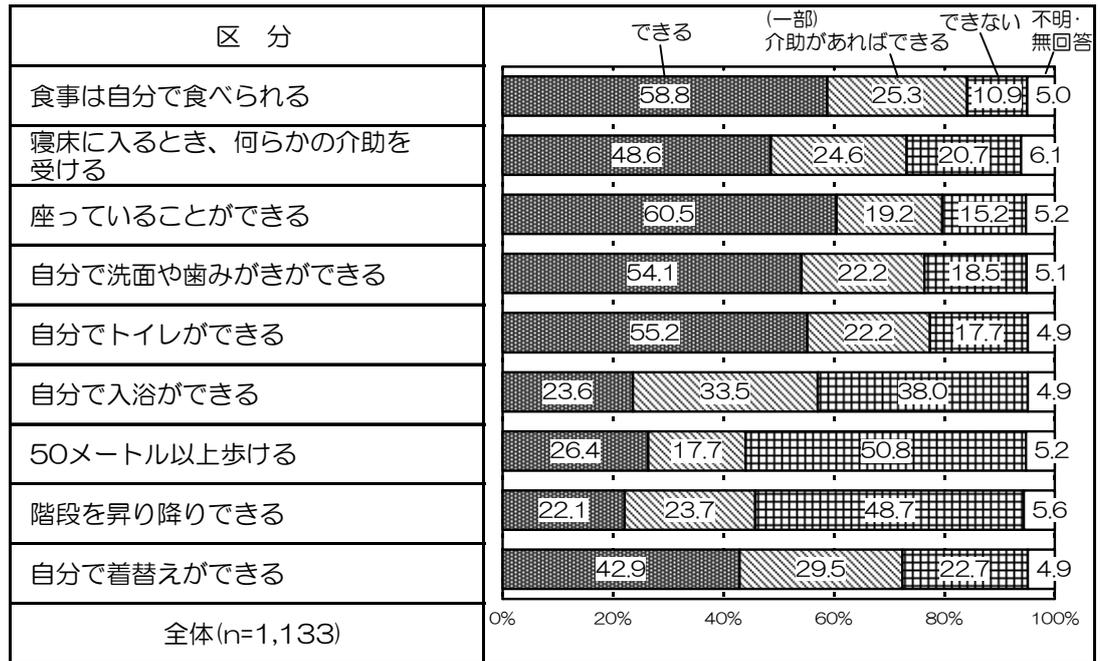
【1号】



【要支援】



【要介護】



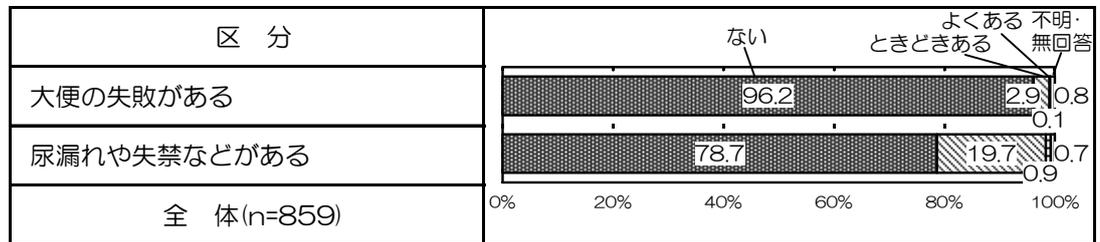
日常生活を送るための必要な動作に関する状況については、要支援・要介護状態になるほど、それらの能力が低下していることがわかります。

【1号】では、すべての項目で「できる」の割合が9割以上を占めていますが、【1号】から【要支援】にかけては、「座っていることができる」や「50メートル以上歩ける」「階段を昇り降りできる」といった項目で、「できる」の割合が減少しています。

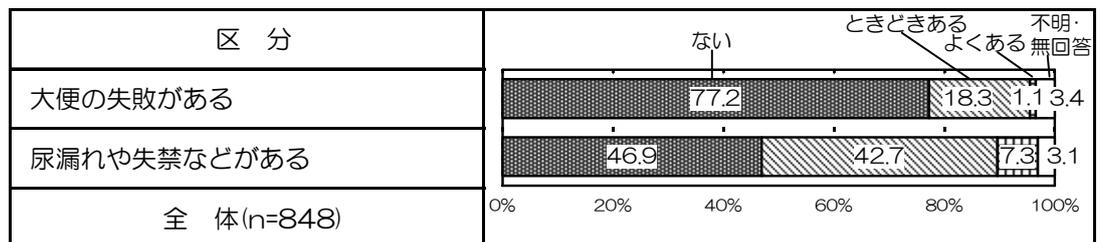
【要支援】から【要介護】にかけては、ほとんどの項目で「できる」の割合が減少していますが、特に、「自分で入浴ができる」や「50メートル以上歩ける」「階段を昇り降りできる」について、「できる」の割合が2割台まで減少しています。

図表 48 ○ あなたの日常生活の状況についておたずねします。(日常生活を送るための必要な動作 (ADL) のうち排便、排尿について)

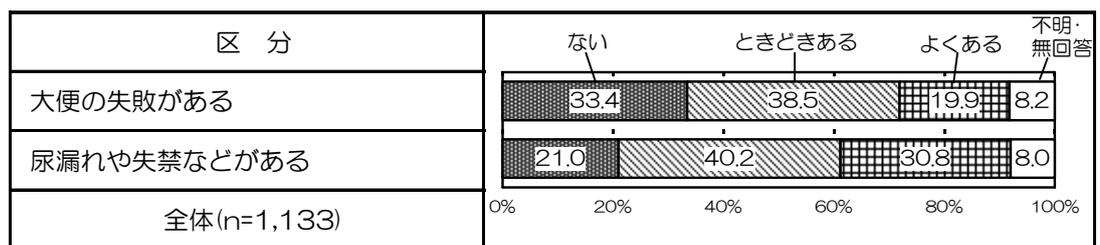
【1号】



【要支援】

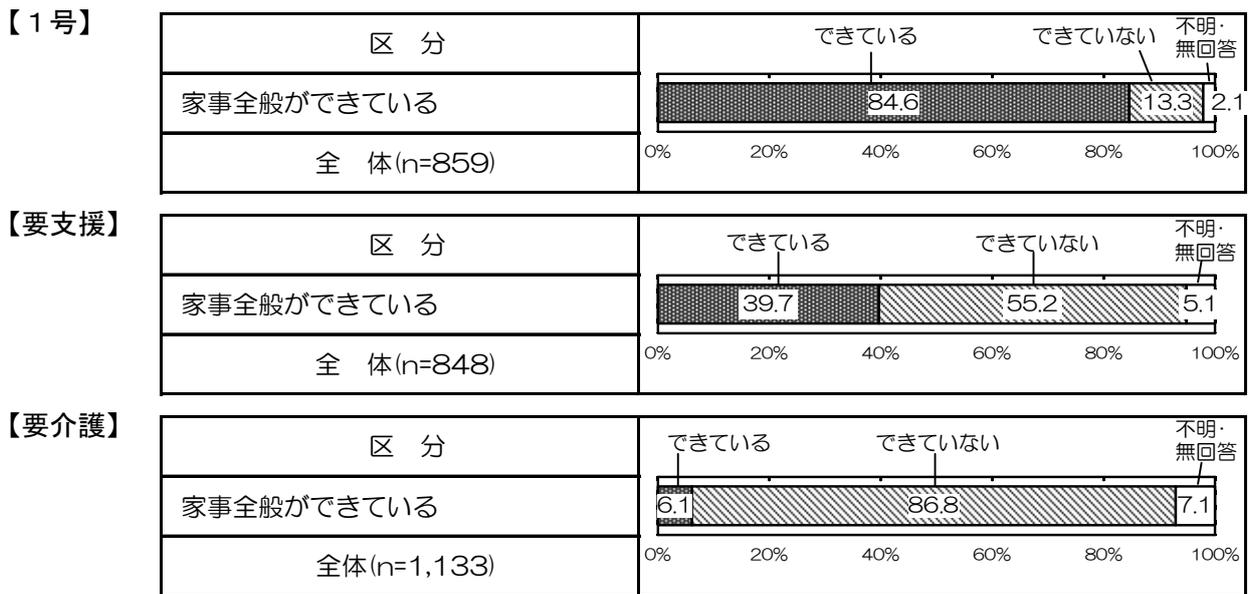


【要介護】



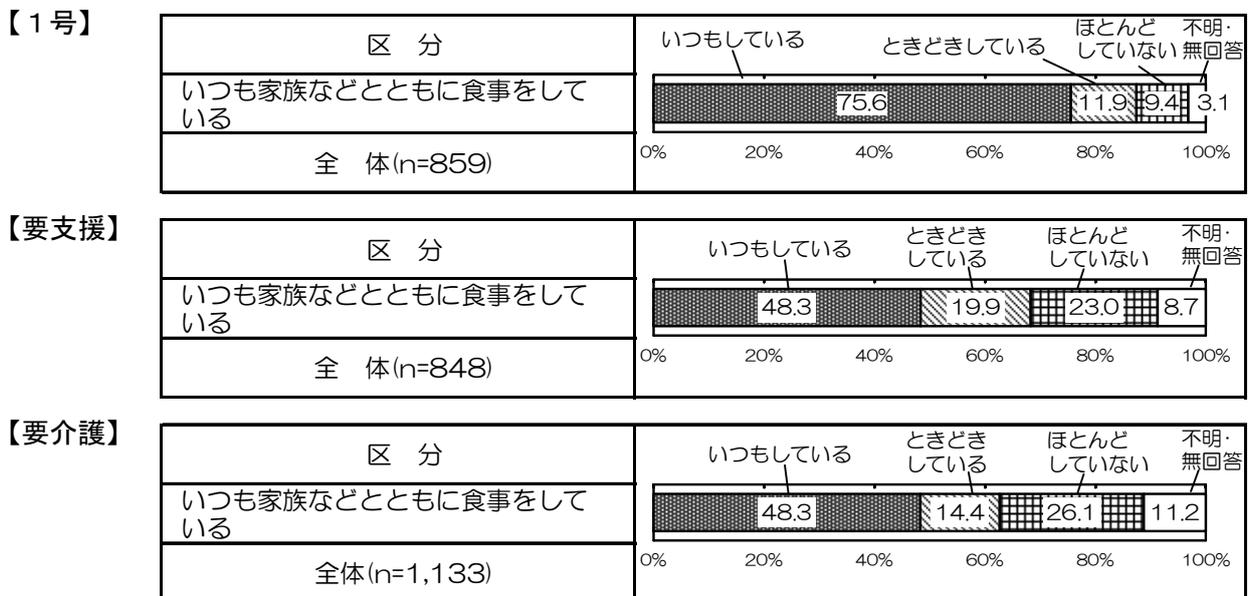
日常生活を送る上で必要な動作のうち、排便や排尿については、要支援・要介護状態になるほど、問題が生じていることがわかります。

図表 49 ○ あなたの日常生活の状況についておたずねします。(家事全般について)



家事全般の状況については、【1号】では、「できている」が84.6%ですが、【要支援】では39.7%、【要介護】では6.1%となっており、要支援・要介護状態になるほど、家事全般が出来る人の割合は減少しています。

図表 50 ○ あなたの日常生活の状況についておたずねします。(普段の食事の状況)



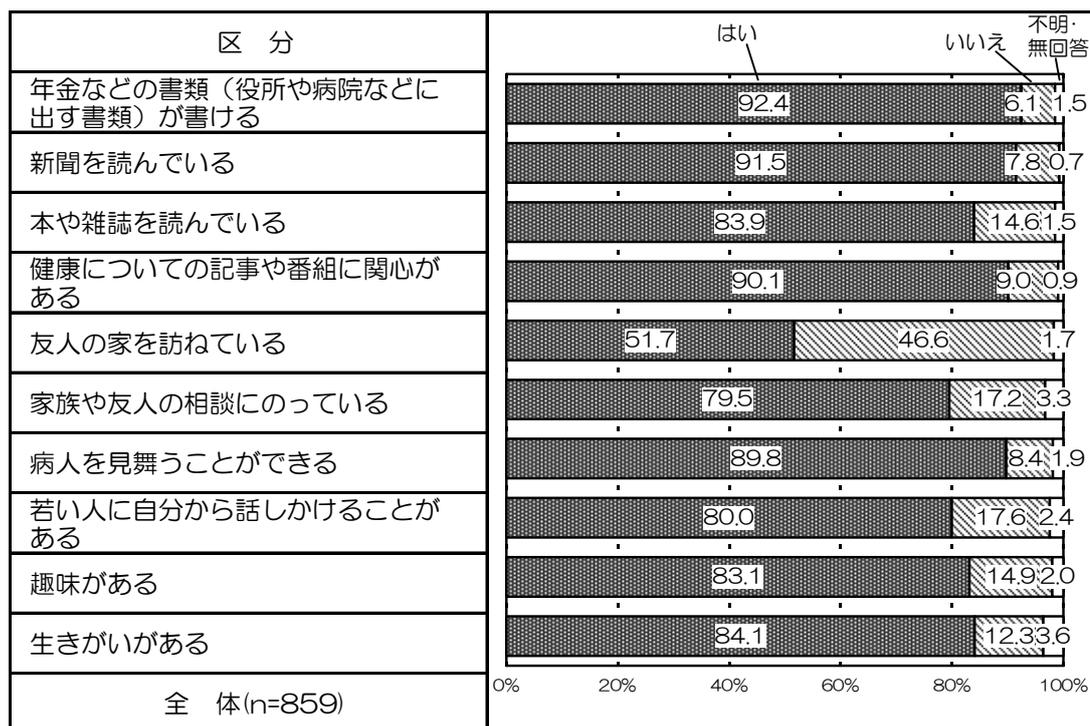
いつも家族などとともに食事をしているかについては、【1号】では「いつもしている」が75.6%となっていますが、【要支援】【要介護】では、ともに48.3%と半数を割っており、要支援・要介護状態になるほど、いつも家族とともに食事をしている人が減少していることがわかります。

## 社会参加などについて

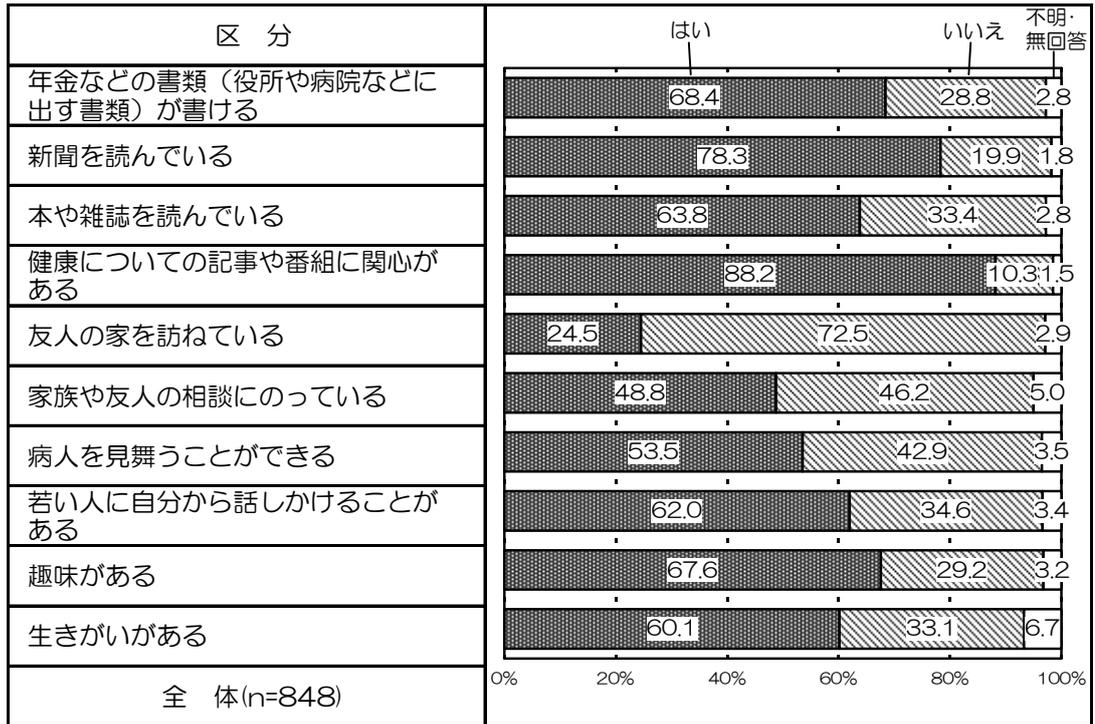
図表 51 ○ あなたの社会参加の状況についておたずねします。

余暇や創作など生活を 楽しむ能力（知的能動性）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書ける</li> <li>・新聞を読んでいる</li> <li>・本や雑誌を読んでいる</li> <li>・健康についての記事や番組に関心がある</li> </ul>
地域で社会的な役割を はたす能力（社会的役割）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の家を訪ねている</li> <li>・家族や友人の相談にのっている</li> <li>・病人を見舞うことができる</li> <li>・若い人に自分から話しかけることがある</li> </ul>
趣味と生きがいの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味がある</li> <li>・生きがいがある</li> </ul>

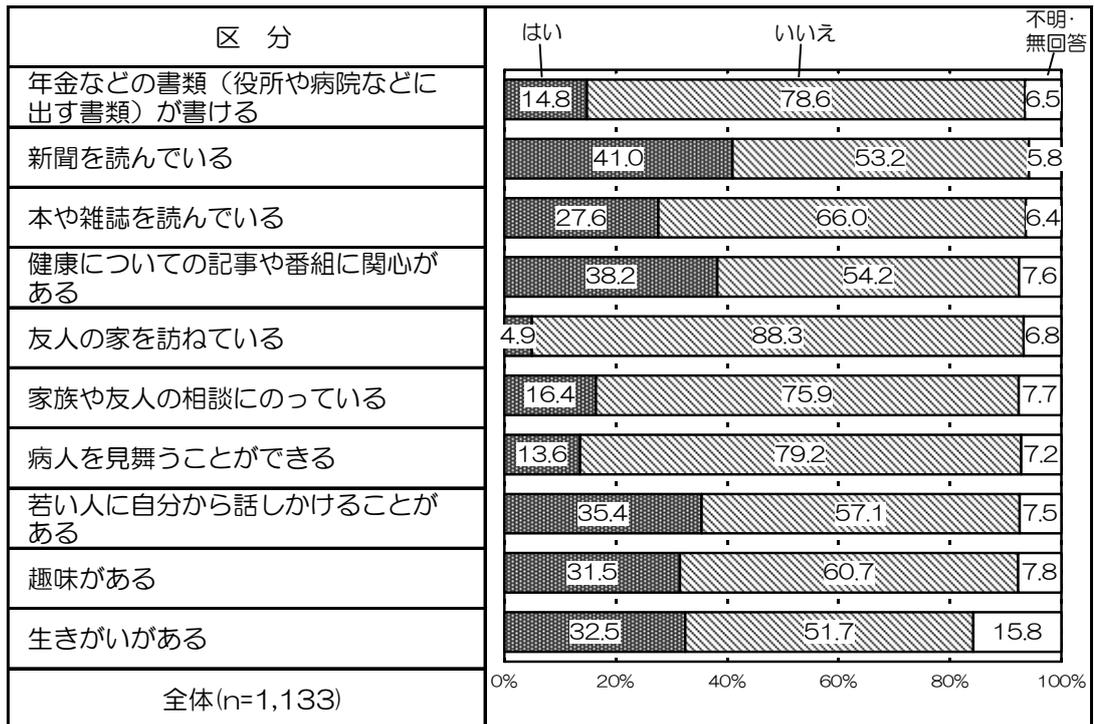
【1号】



【要支援】



【要介護】



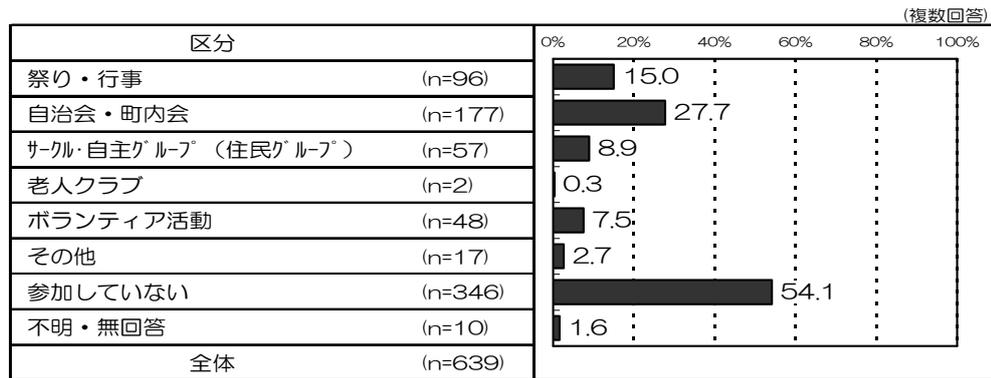
社会参加の状況について、余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）や地域で社会的な役割をはたす能力（社会的役割）に関する項目をみると、要支援・要介護状態になるほど、「はい」の割合が減少しており、それらの能力が低下していることがわかります。

また、趣味がある人については、【1号】では83.1%となっていますが、【要支援】で67.6%、【要介護】では31.5%と減少しています。

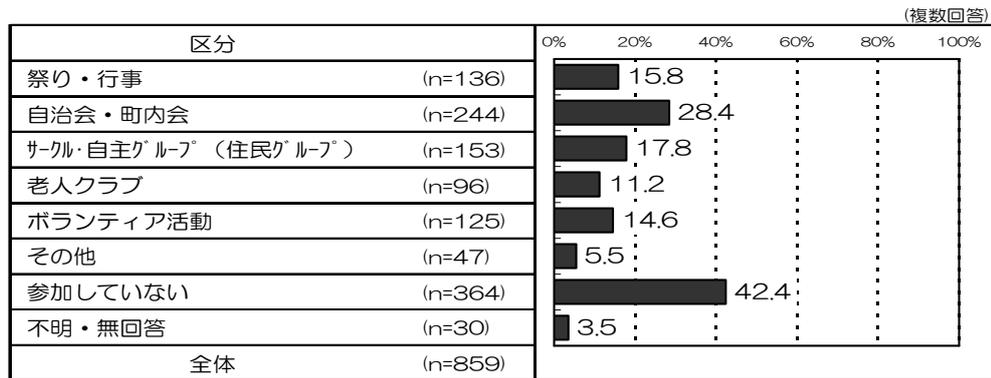
同じく、生きがいがある人についても、【1号】では84.1%となっていますが、【要支援】で60.1%、【要介護】では32.5%と減少しています。

図表 52 ○ あなたは地域活動などに参加していますか。

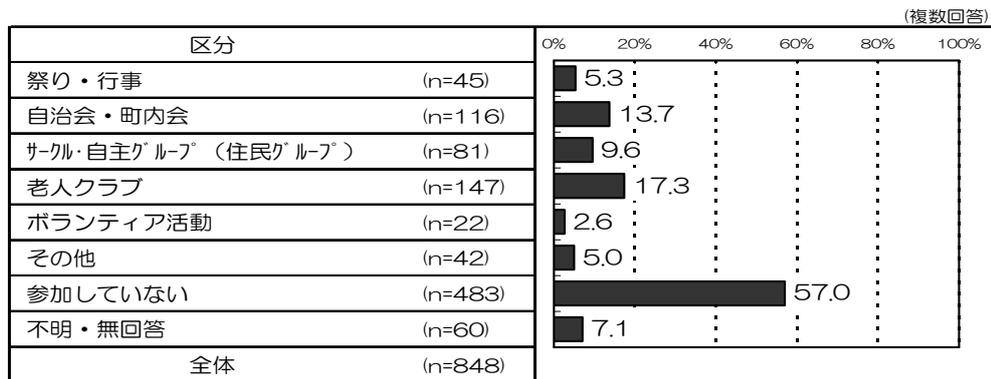
【2号】



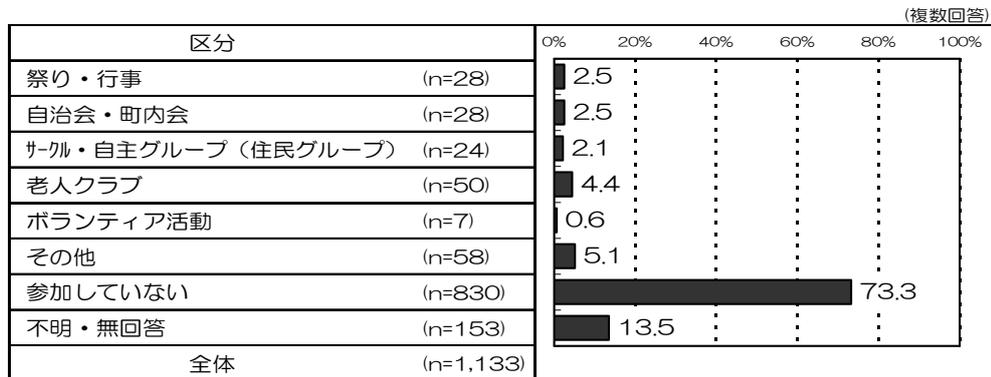
【1号】



【要支援】



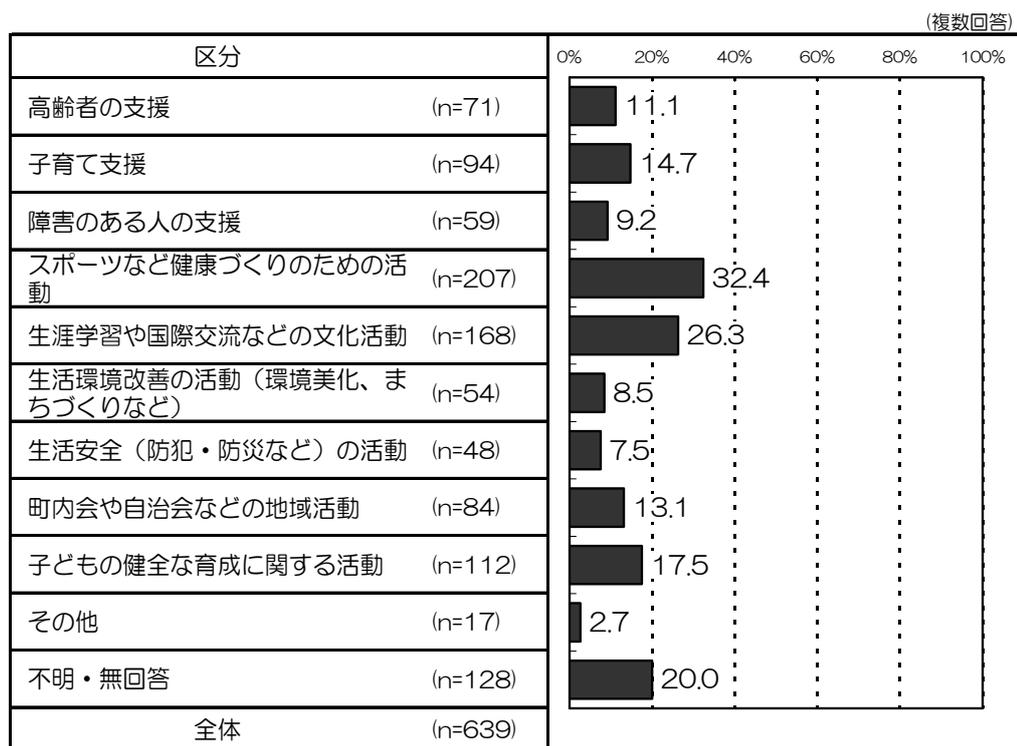
【要介護】



地域活動に参加している人の割合は、【2号】で44.3%、【1号】で54.1%、【要支援】で35.9%、【要介護】で13.2%となっており、非認定者の4～5割が地域活動に参加していることがわかります。また、参加している活動内容については、【2号】【1号】では「自治会・町内会」、【要支援】【要介護】では「老人クラブ」が最も高くなっています。

図表 53 ○ あなたが、今後やってみたいこと、また、今後も続けたいことはありますか。

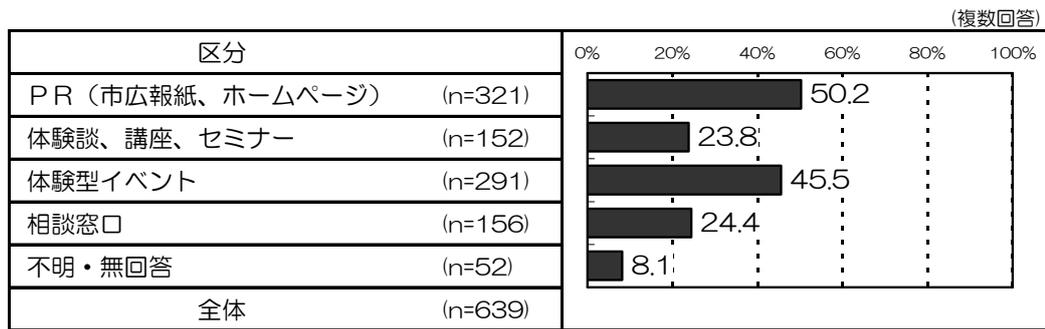
【2号】



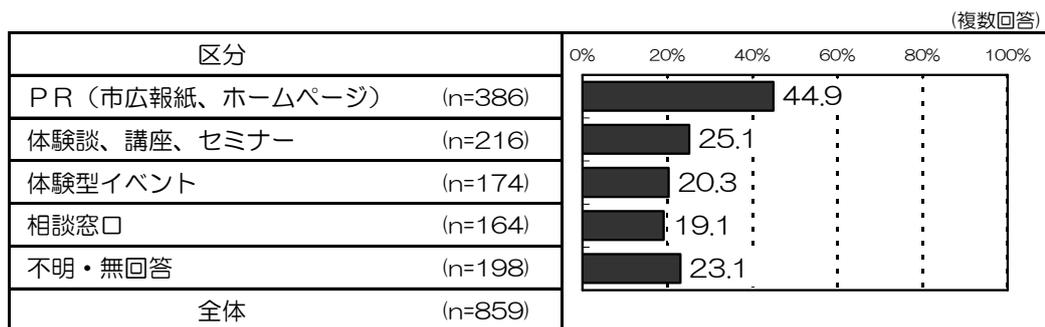
【2号】で今後やってみたいこと、また、今後も続けたいことについてみると、「スポーツなど健康づくりのための活動」が32.4%で最も高く、「生涯学習や国際交流などの文化活動」（26.3%）、「子どもの健全な育成に関する活動」（17.5%）が続いています。

図表 54 ○ あなたは、今後、地域活動をはじめるときかけとして何が必要だと思いますか。

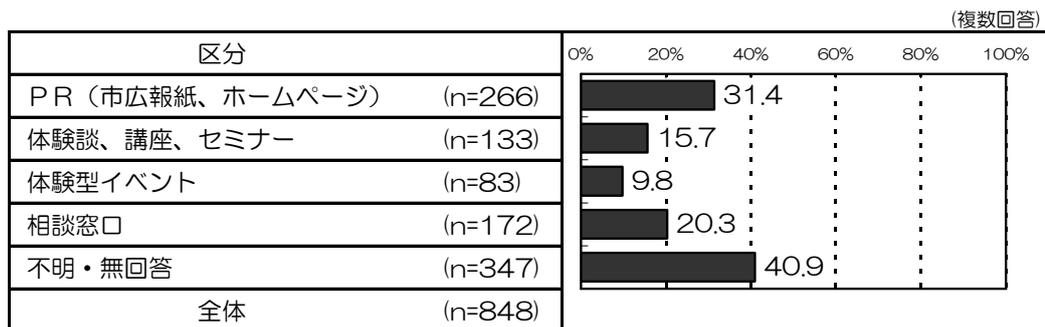
【2号】



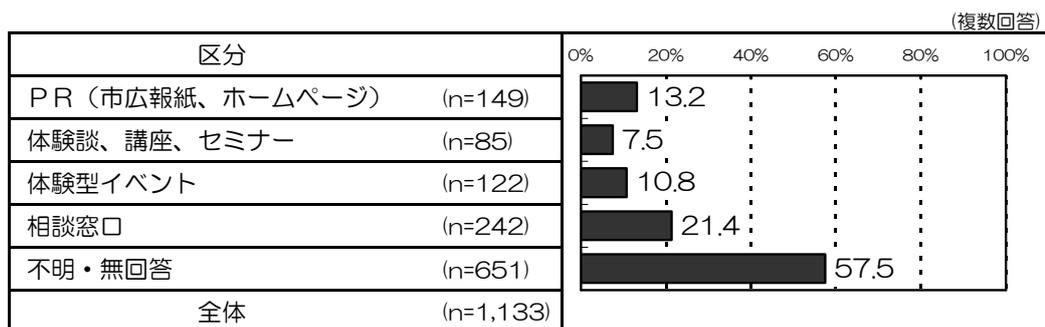
【1号】



【要支援】



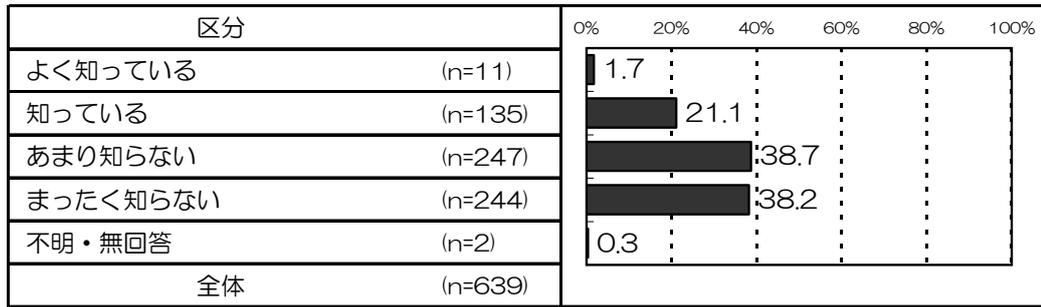
【要介護】



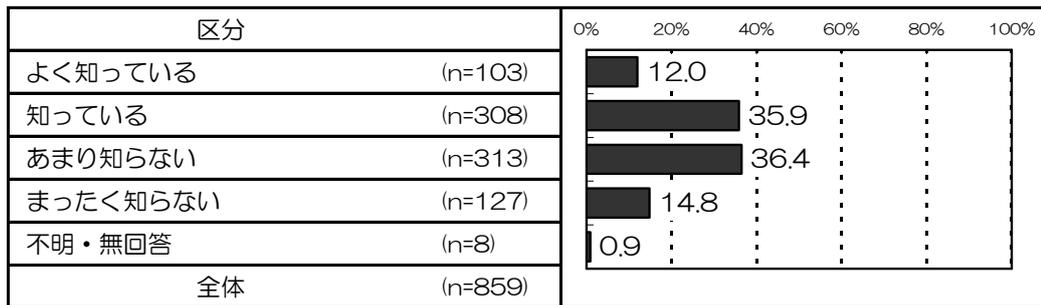
今後、地域活動をはじめるときかけとして必要なことについては、【2号】【1号】【要支援】では「PR (市広報紙、ホームページ)」が、【要介護】では「相談窓口」が最も高くなっています。また、【2号】では「体験型イベント」、【1号】では「体験談、講座、セミナー」、【要支援】では「相談窓口」、【要介護】では「PR (市広報紙、ホームページ)」が続いています。

図表 55 ○ 公園や道路等の市民自主管理活動を知っていますか。

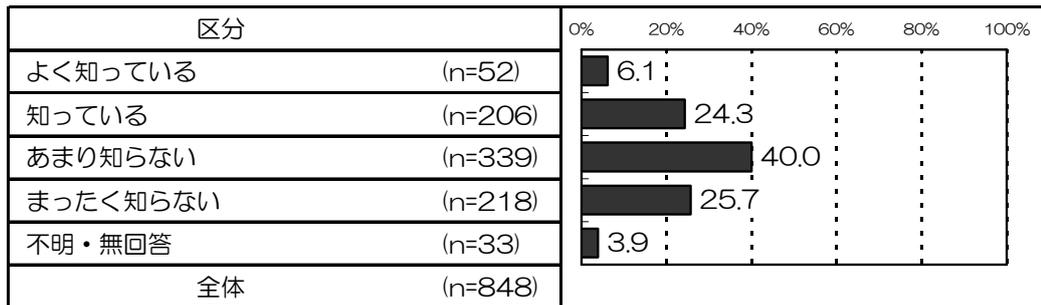
【2号】



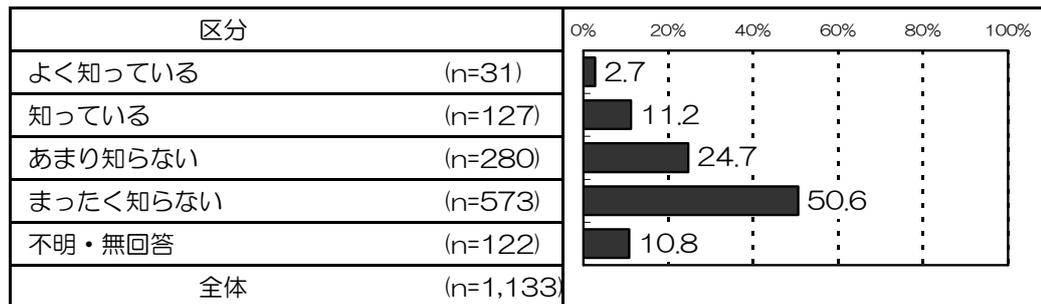
【1号】



【要支援】



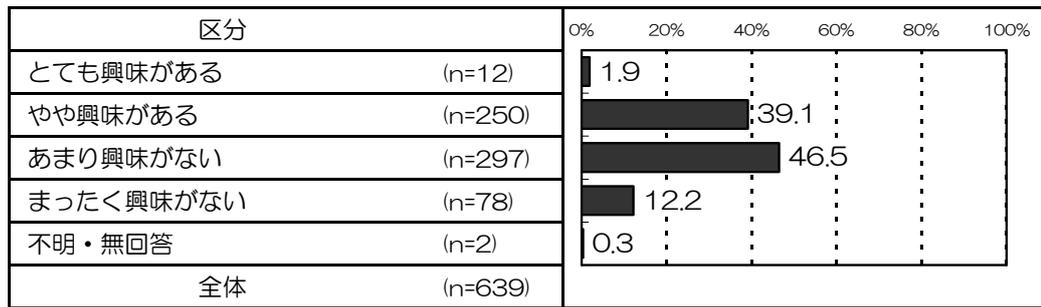
【要介護】



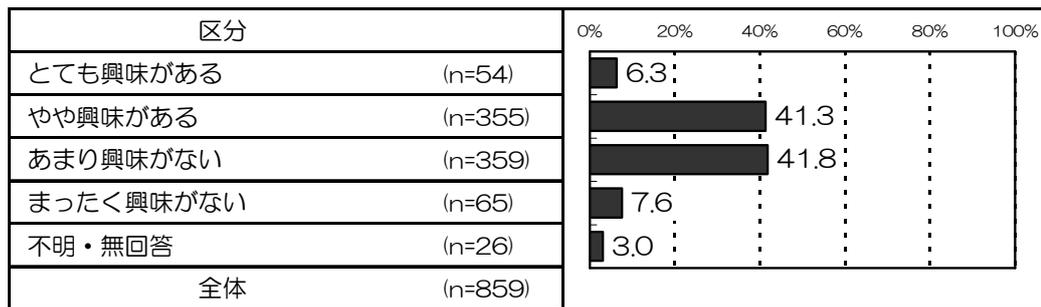
市民自主管理活動の認知度（「よく知っている」および「知っている」と回答した人の割合）については、【2号】で22.8%、【1号】で47.9%、【要支援】で30.4%、【要介護】で13.9%となっており、【1号】で認知度が比較的高くなっています。

図表 56 ○ 市民自主管理活動に興味がありますか。

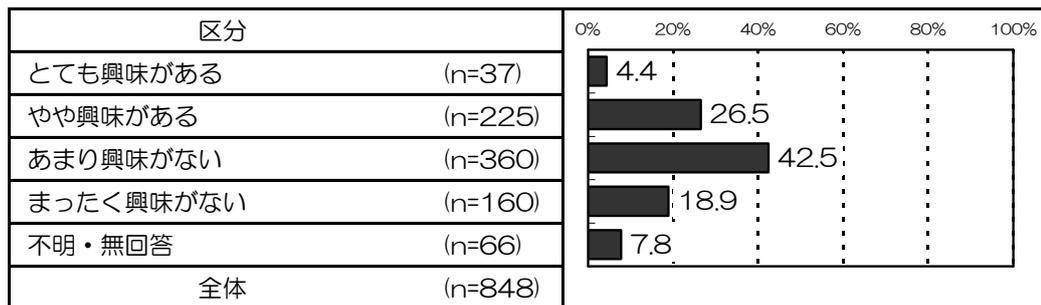
【2号】



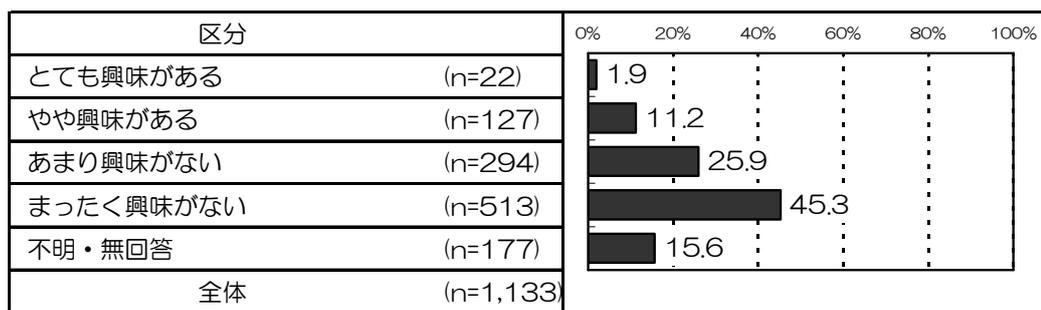
【1号】



【要支援】



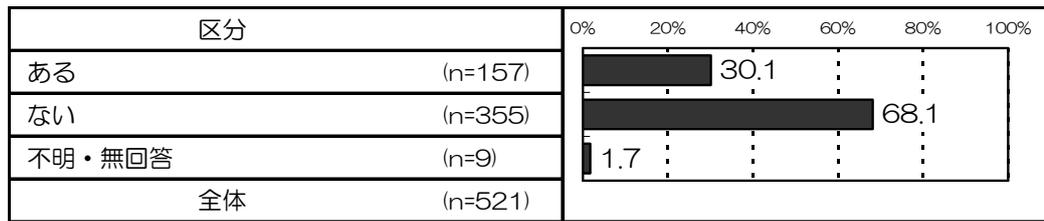
【要介護】



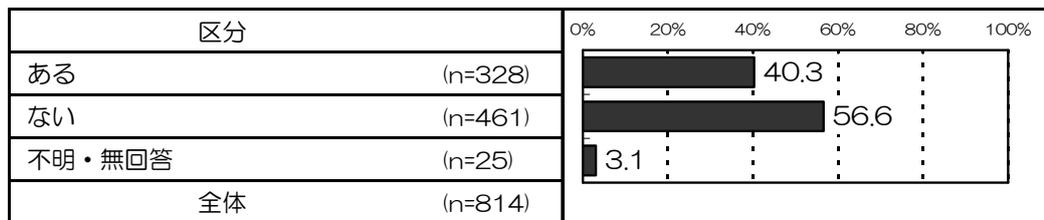
市民自主管理活動への興味について、興味がある人（「とても興味がある」および「やや興味がある」と回答した人）は、【2号】で41.0%、【1号】で47.6%、【要支援】で30.9%、【要介護】で13.1%となっており、【2号】【1号】で興味のある人が4～5割を占めています。

図表 57 ○ あなたは、地域型敬老会に参加したことがありますか。(70 歳以上の方)

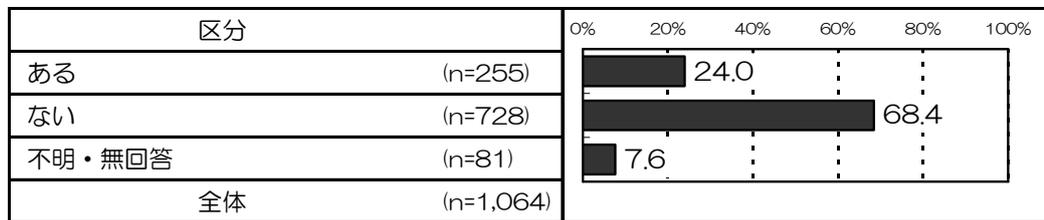
【1号】



【要支援】



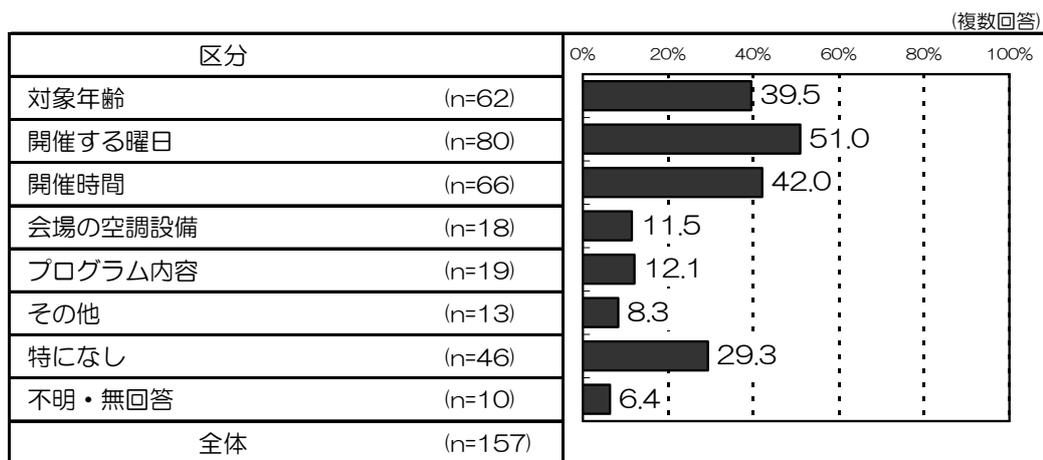
【要介護】



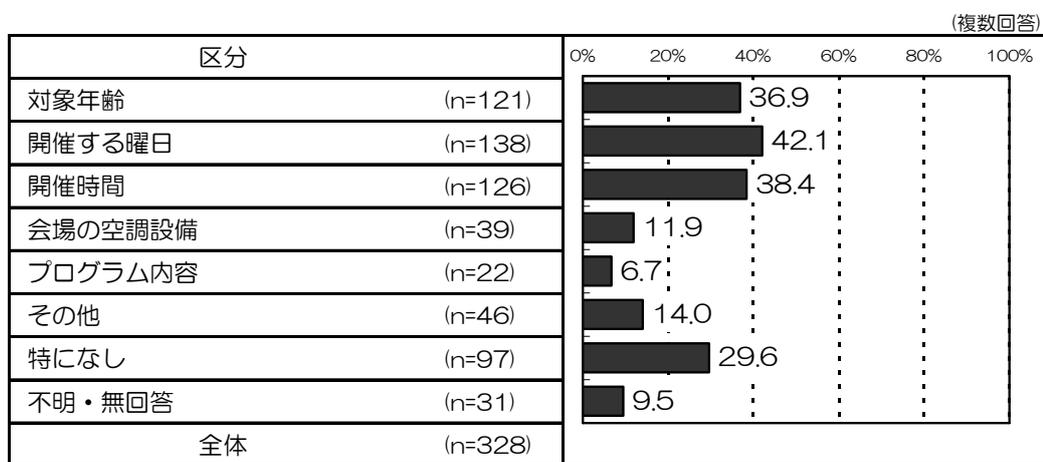
地域型敬老会への参加率（参加したことが「ある」と回答した人の割合）をみると、【1号】で30.1%、【要支援】で40.3%、【要介護】で24.0%となっており、【要支援】で参加率が高くなっています。

図表 58 ○ 敬老会について改善すべきと思う点はありますか。

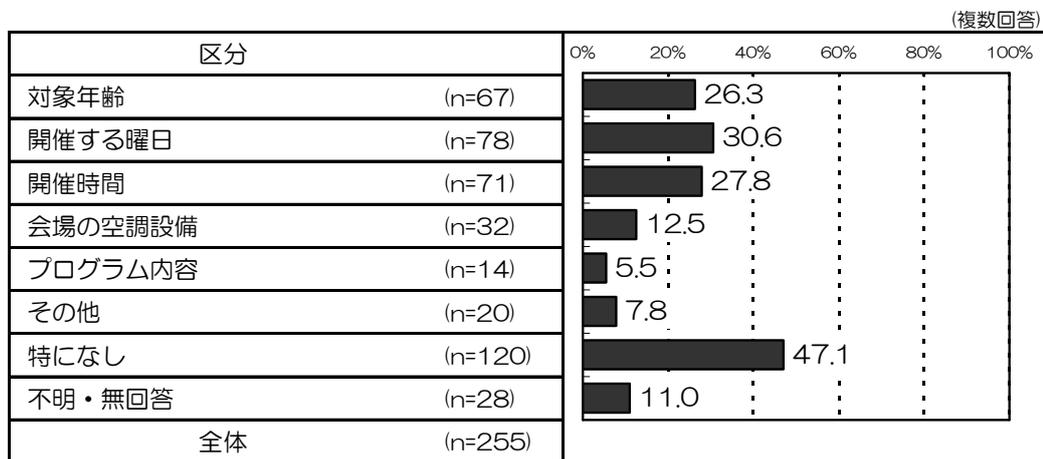
【1号】



【要支援】



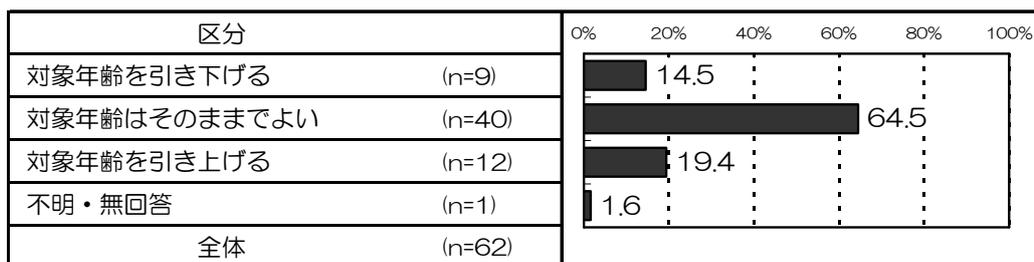
【要介護】



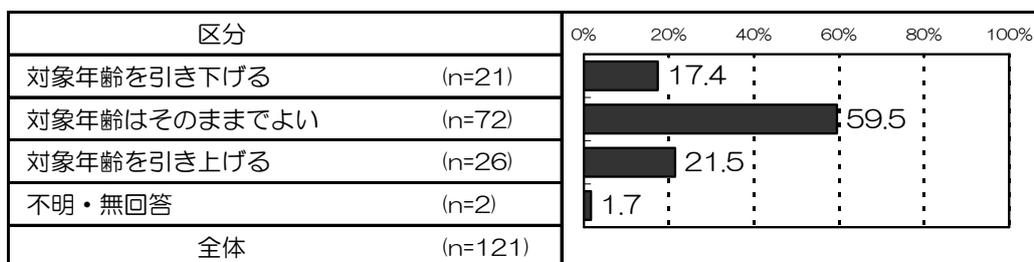
地域型敬老会について改善すべき点としては、すべての区分において、「開催する曜日」や「開催時間」「対象年齢」が上位に入っています。また、【要介護】では「特になし」が最も高くなっています。

【対象年齢の改善内容について】

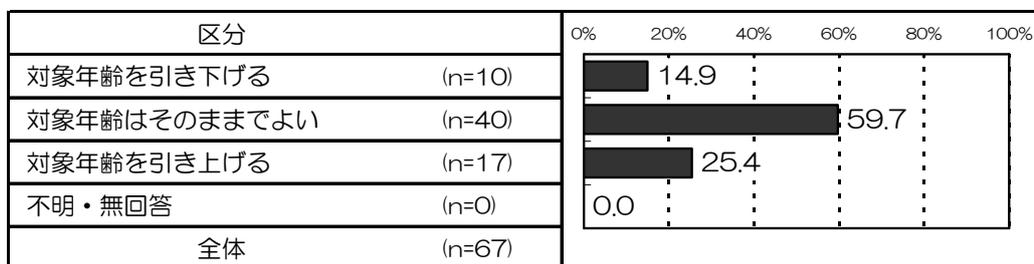
【1号】



【要支援】



【要介護】



【開催する曜日について】

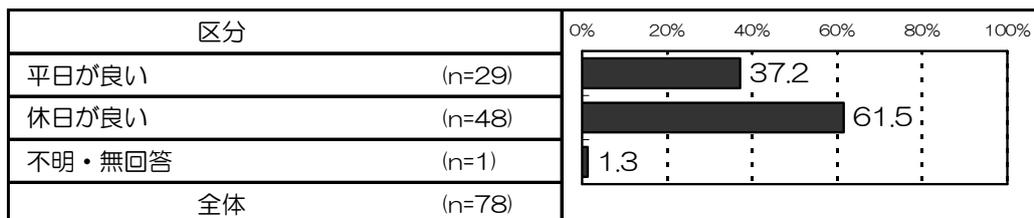
【1号】



【要支援】

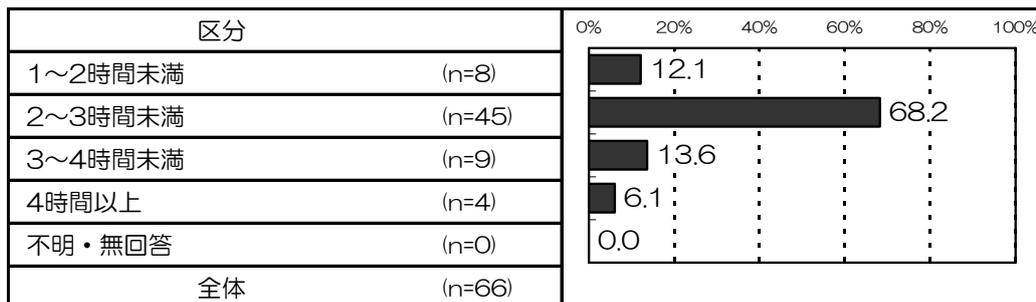


【要介護】

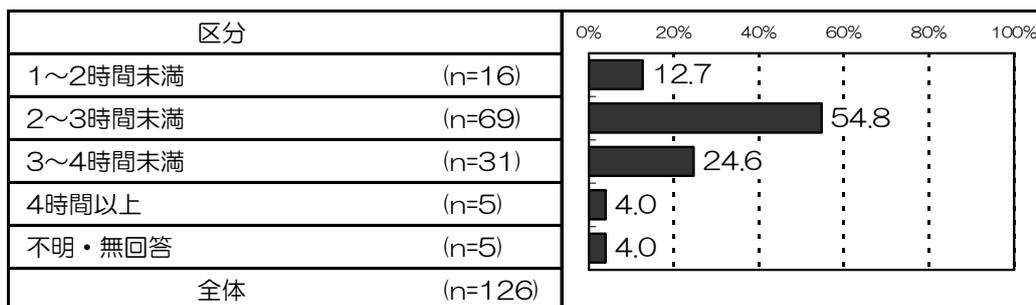


【開催時間について】

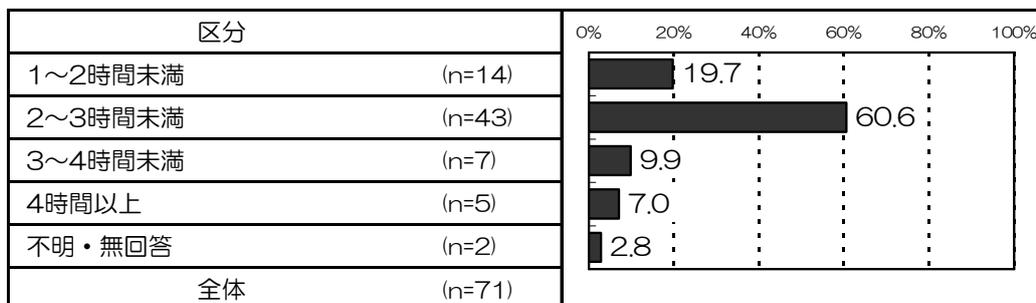
【1号】



【要支援】

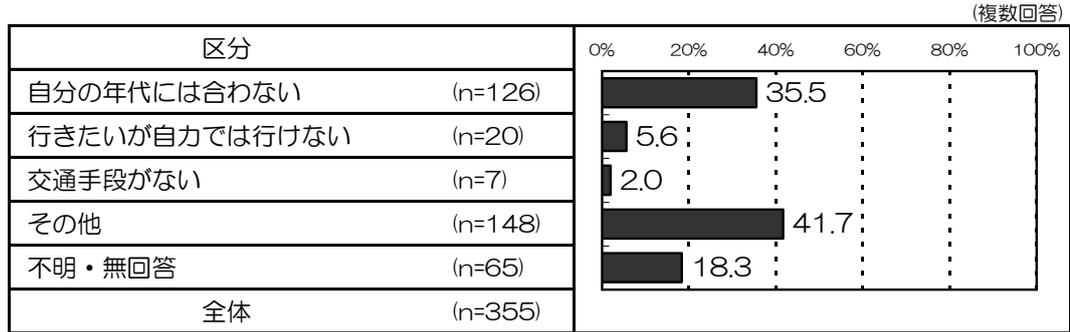


【要介護】

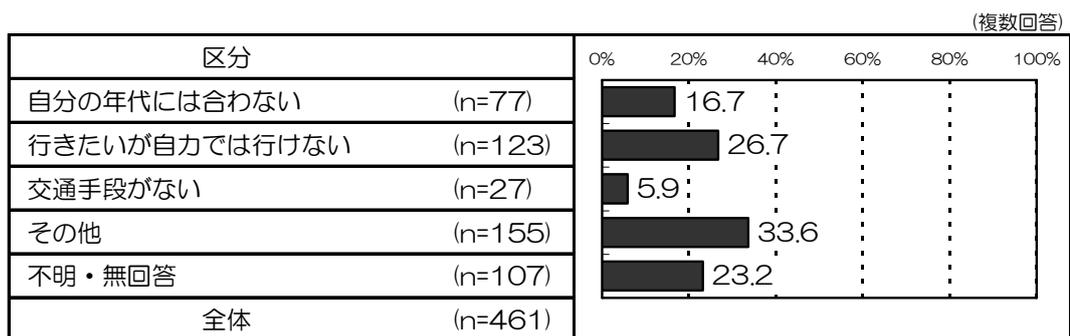


図表 59 ○ 敬老会に参加しない理由について

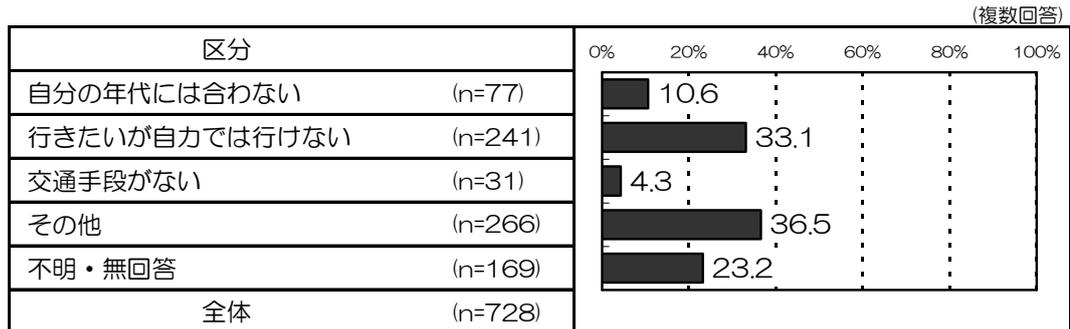
【1号】



【要支援】



【要介護】



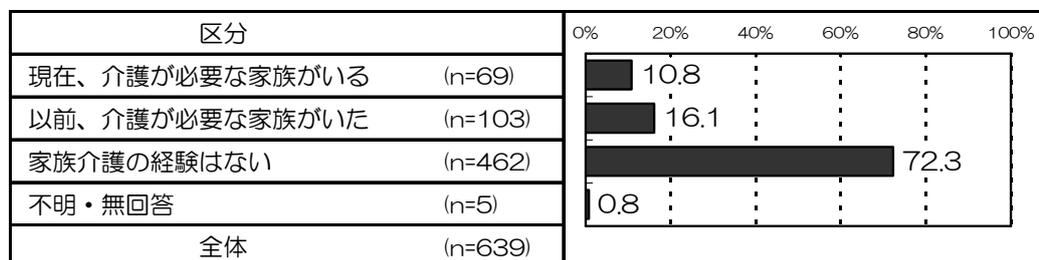
地域型敬老会に参加しない理由については、いずれの区分においても、「その他」が最も高くなっています。また、【1号】では「自分の年代に合わない」、【要支援】【要介護】では「行きたいが自力では行けない」が続いています。

また、「その他」の内容としては、【1号】では「興味がない」や「わずらわしい」「内容が合わない」、【要支援】【要介護】では「興味がない」や「体力的、身体的に参加できない」「寝たきり」「施設入所中」「入院中」などが挙がっています。

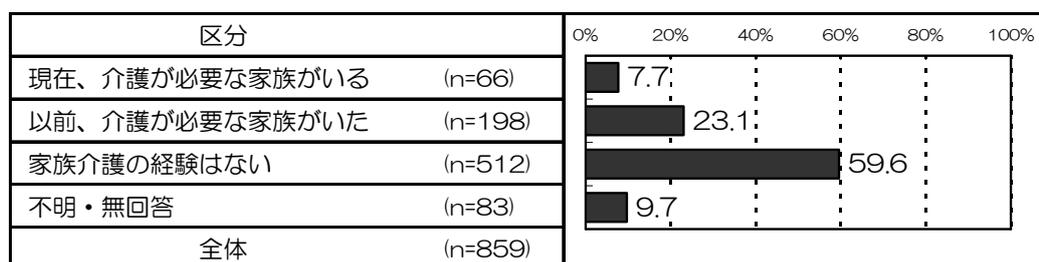
## 介護保険について

図表 60 ○ 同居の家族の介護経験についておたずねします。

【2号】



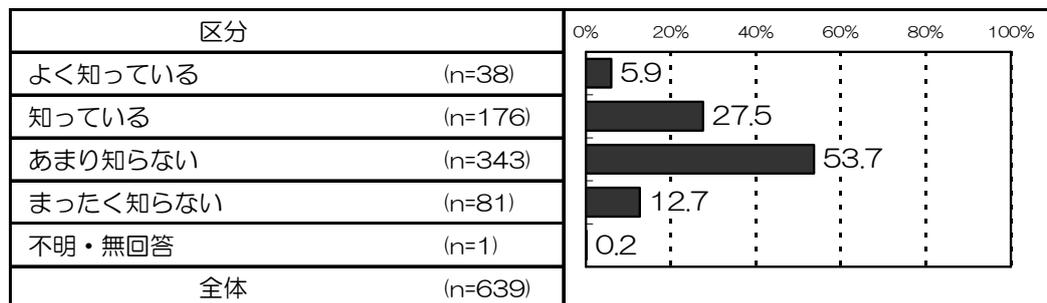
【1号】



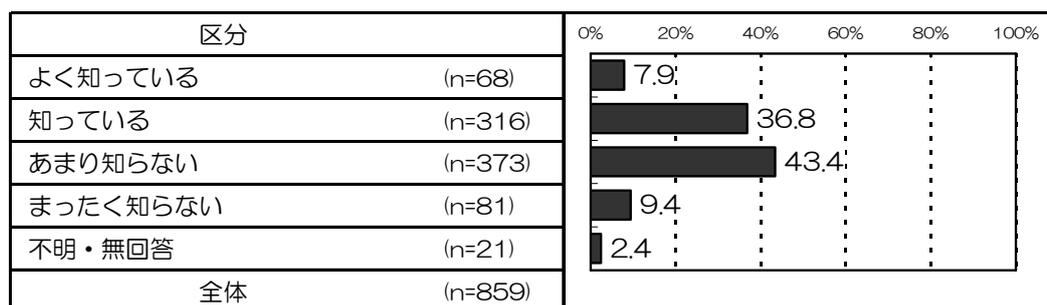
介護経験については、「家族介護の経験はない」が【2号】で72.3%、【1号】で59.6%と高い割合となっています。また、「現在、介護が必要な家族がいる」または「以前、介護が必要な家族がいた」とする人は、【2号】で26.9%、【1号】で30.8%となっています。

図表 61 ○ 介護保険制度についてどの程度知っていますか。

【2号】



【1号】

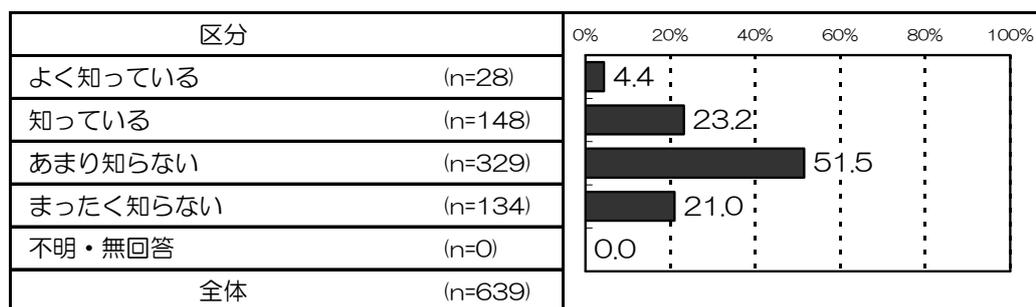


介護保険制度の認知度（「よく知っている」および「知っている」と回答した人の割合）は、【2号】で33.4%、【1号】で44.7%となっており、「あまり知らない」および「全く知らない」とする人は、【2号】で66.4%、【1号】で52.8%となっています。

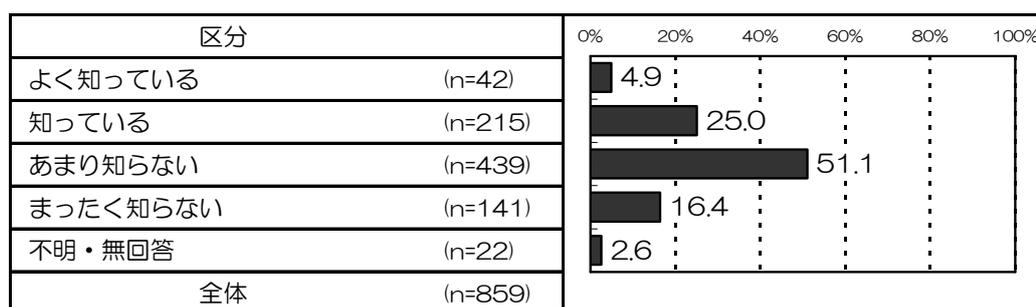
なお、【1号】の介護保険制度の認知度は、前回調査結果（34.4%）より10ポイント程度増加しています。

図表 62 ○ 介護保険で利用できるサービスの種類や内容を知っていますか。

【2号】



【1号】

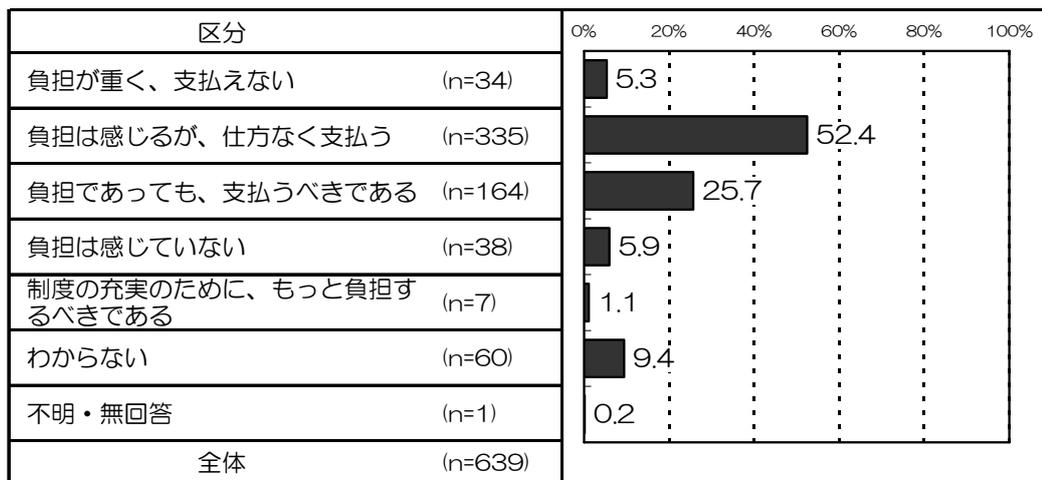


介護保険で利用できるサービスの認知度（「よく知っている」および「知っている」と回答した人の割合）は、【2号】で27.6%、【1号】で29.9%となっており、「あまり知らない」および「全く知らない」とする人は、【2号】で72.5%、【1号】で67.5%となっています。

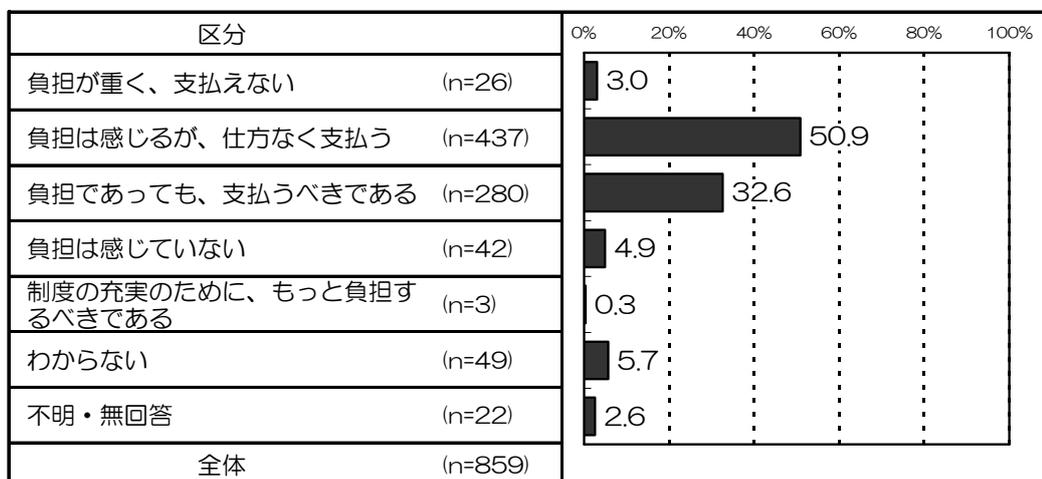
なお、【2号】および【1号】の介護保険で利用できるサービスの認知度は、前回調査結果（【2号】25.7%、【1号】24.4%）と大きな差はみられません。特に、【1号】では介護保険制度の認知度は増加しているにもかかわらず、介護保険で利用できるサービスの認知度の増加にはつながっていないことがうかがえます。

図表 63 ○ 介護保険料を支払うことについて、どう思いますか。

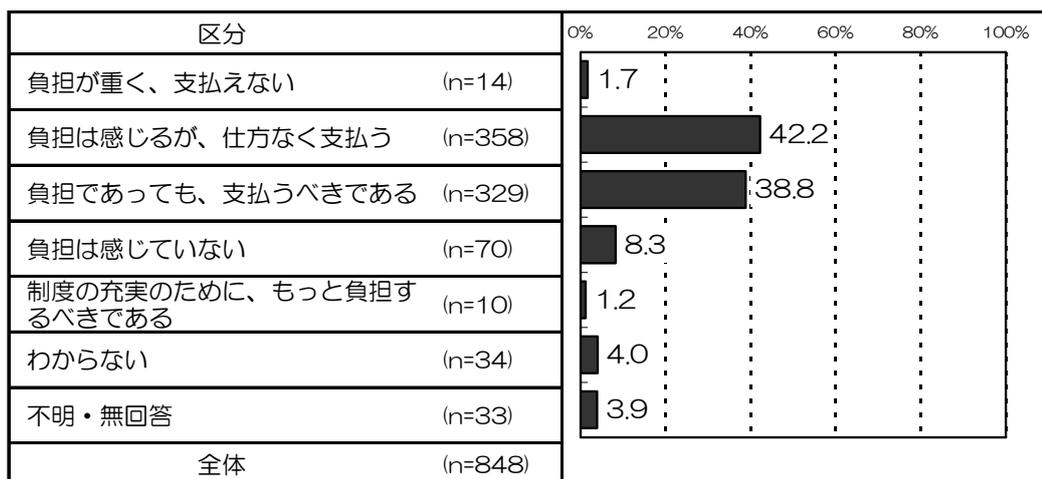
【2号】



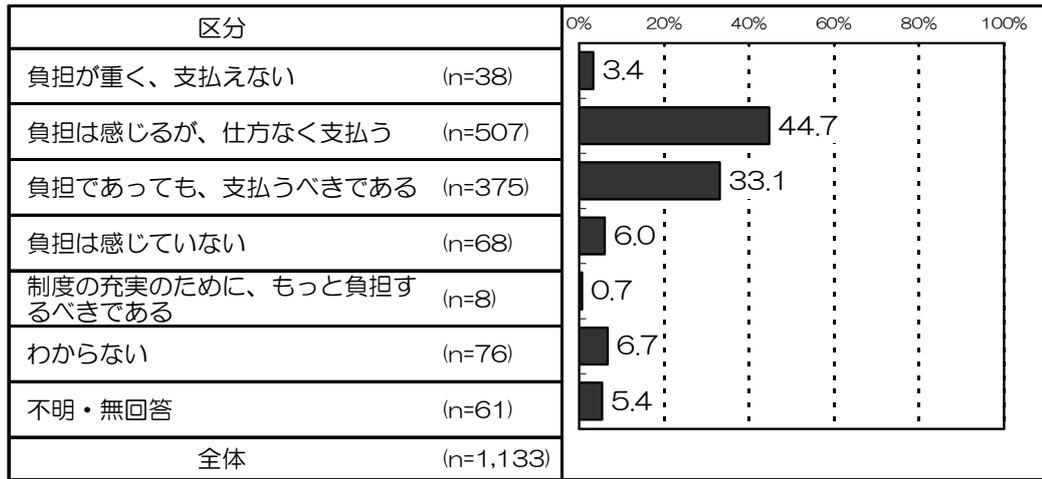
【1号】



【要支援】



【要介護】

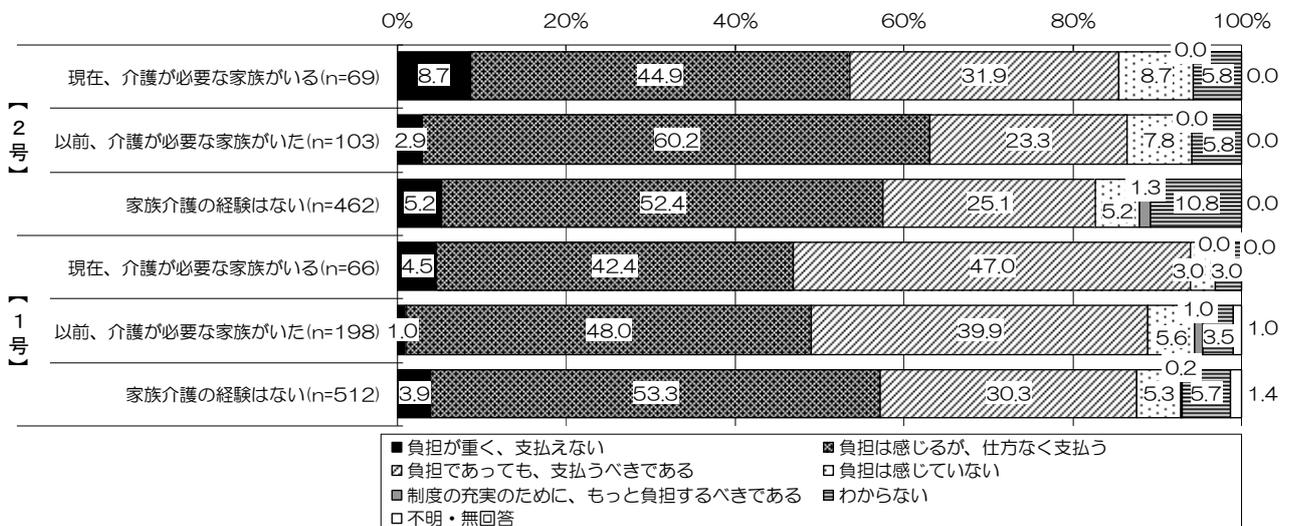


介護保険料を支払うことについては、すべての区分において、「負担は感じるが、仕方なく支払う」が最も高くなっています。また、「負担が重く、支払えない」については、すべての区分において6%未満となっています。

一方、支払うことに肯定的な回答をした人（「負担であっても、支払うべきである」「負担は感じていない」「制度の充実のために、もっと負担するべきである」と回答した人）は、【2号】で32.7%、【1号】で37.8%、【要支援】で48.3%、【要介護】で39.8%となっています。

なお、【1号】や【要支援】【要介護】で支払うことに肯定的な回答をした人は、前回調査結果（【1号】33.0%、【要支援】41.0%、【要介護】37.0%）から若干増加しています。

図表 63-1 ■ 家族介護経験別の介護保険料の負担感

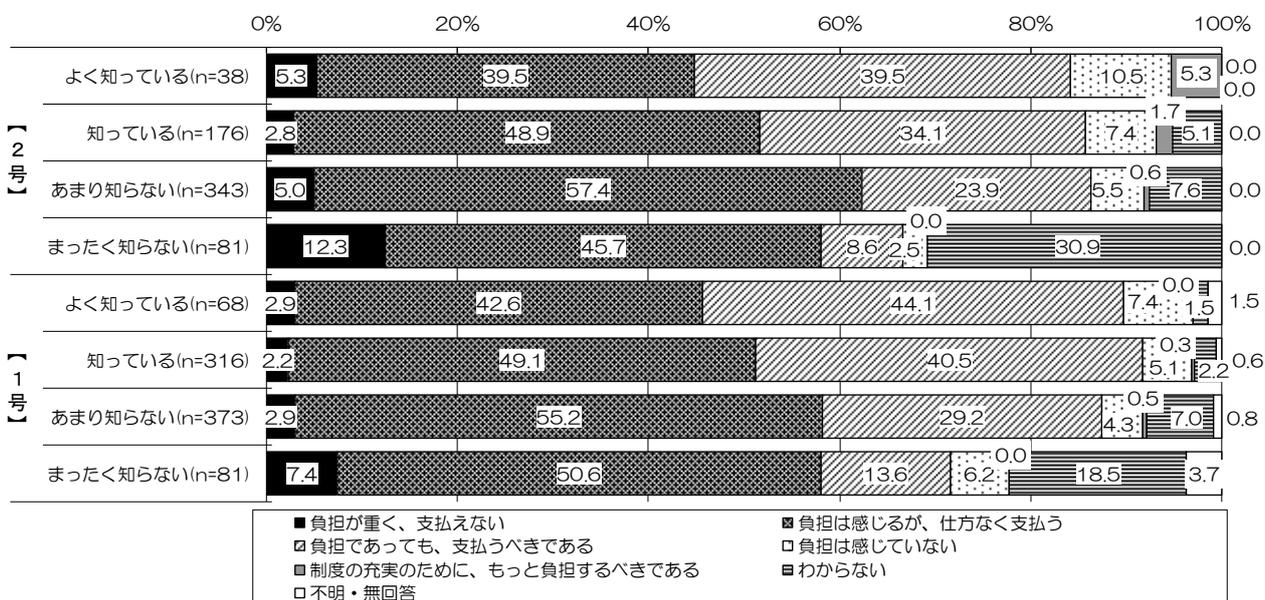


介護保険料を支払うことについて、家族介護の経験別でみると、【2号】で肯定的な回答の割合は、「現在、介護が必要な家族がいる」では40.6%となっていますが、それ以外では3割程度となっています。

一方、【1号】で肯定的な回答の割合は、「現在、介護が必要な家族がいる」では50.0%、「以前、介護が必要な家族がいた」では46.5%となっており、「家族介護の経験はない」を上回っています。

なお、【1号】では、家族介護の経験がある人における肯定的な回答の割合が、前回調査結果（「現在、介護が必要な家族がいる」では35.1%、「以前、介護が必要な家族がいた」では38.0%）を上回っています。

図表 63-2 ■ 介護保険制度認知度別の介護保険料の負担感

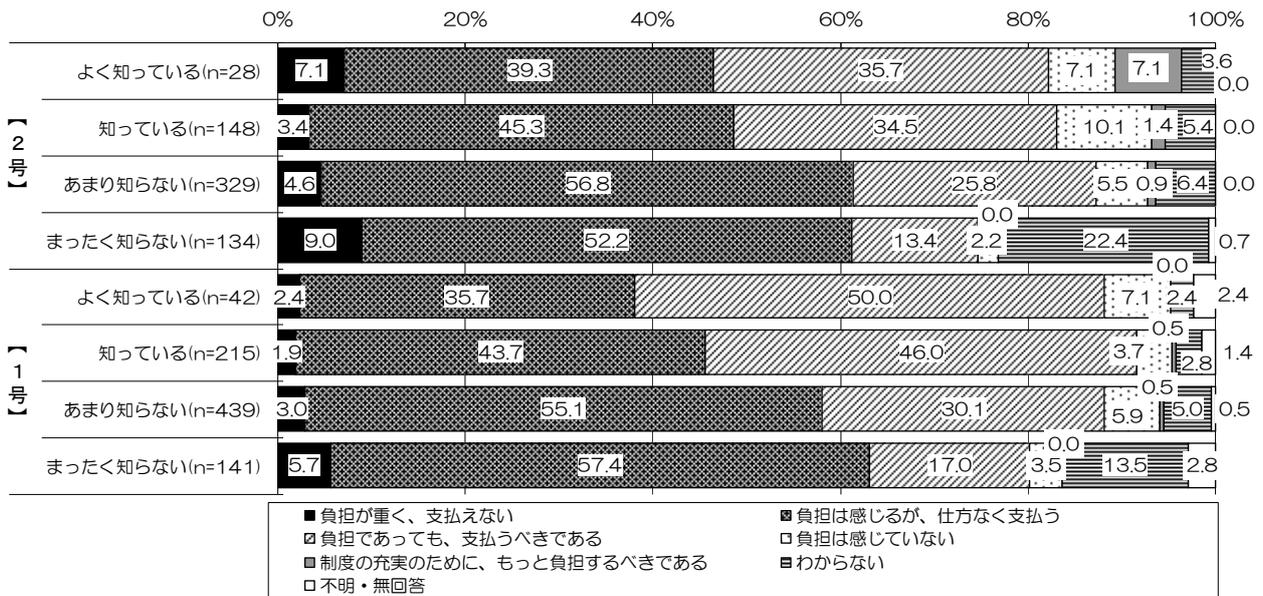


介護保険料を支払うことについて、介護保険制度の認知度別でみると、【2号】【1号】ともに、認知度が高くなるほど、「負担を感じるが、仕方なく支払う」の割合は減少傾向にあり、「負担であっても、支払うべきである」の割合は増加傾向にあります。

このことから、介護保険制度の理解と介護保険料への負担感に相関性があることがうかがえます。

なお、【1号】の「負担であっても、支払うべきである」の割合は、介護保険制度を「よく知っている」では44.1%、「知っている」では40.5%となっており、前回調査結果（「よく知っている」では39.3%、「知っている」では34.9%）を5ポイント程度上回っています。

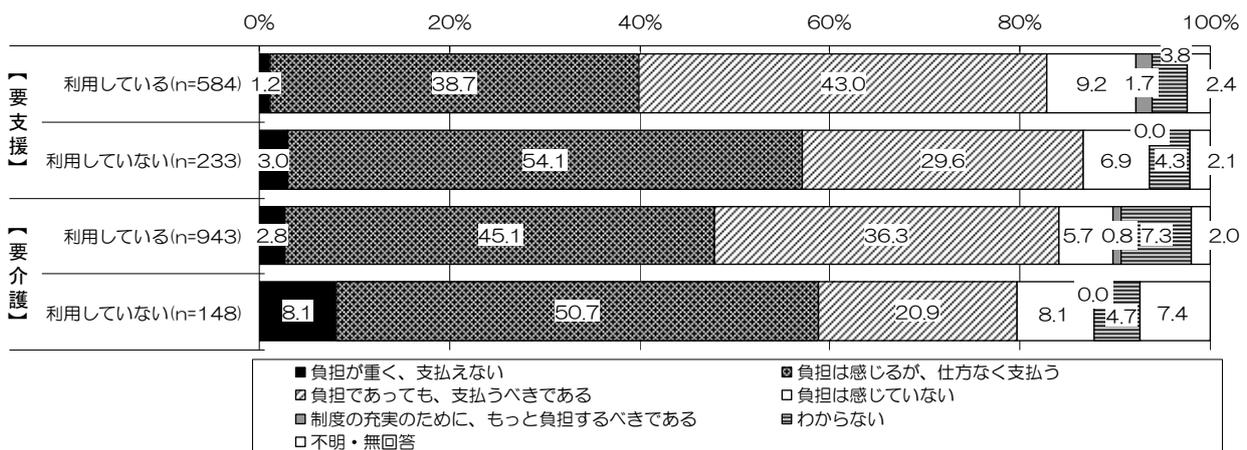
図表 63-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の介護保険料の負担感



介護保険料を支払うことについて、介護保険サービス内容の認知度別でみると、【2号】【1号】ともに、認知度が高くなるほど、「負担を感じるが、仕方なく支払う」の割合は減少傾向にあり、「負担であっても、支払うべきである」の割合は増加傾向にあります。

このことから、介護保険サービス内容の理解と介護保険料への負担感に相関性があることがうかがえます。

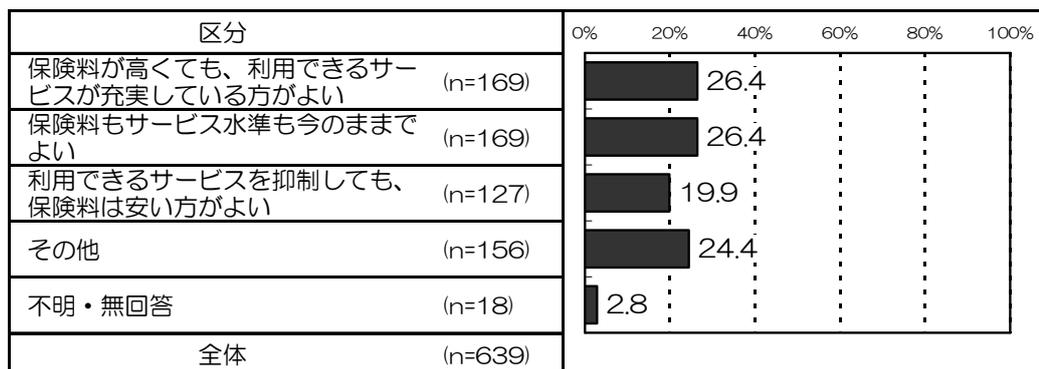
図表 63-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の介護保険料の負担感



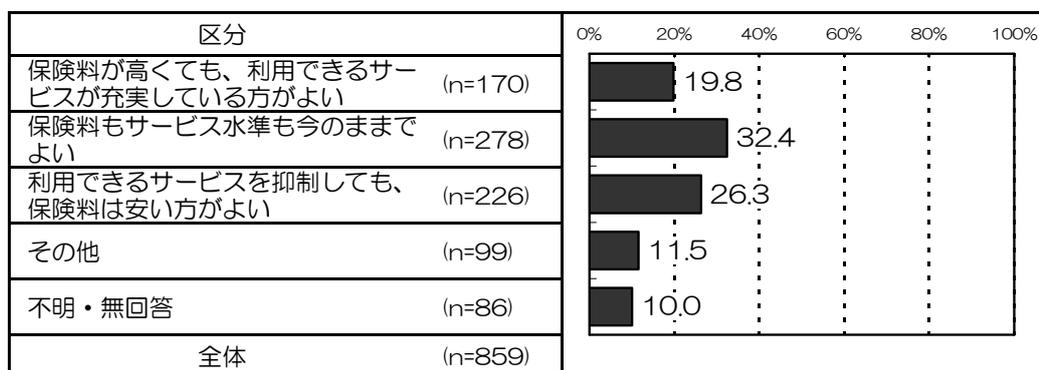
介護保険料を支払うことについて、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】【要介護】とも、サービスを利用している人の方が利用していない人より、肯定的な回答の割合が高くなっており、その差は【要支援】で17.4ポイント、【要介護】でも13.8ポイントとなっています。

図表 64 ○ 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について

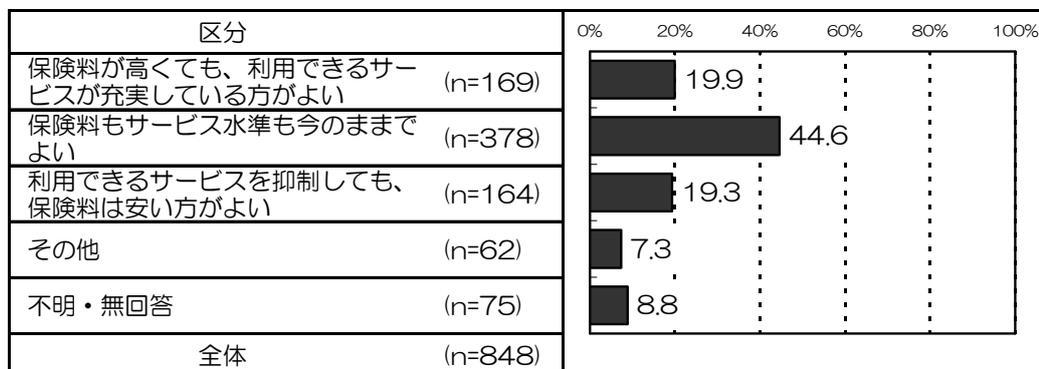
【2号】



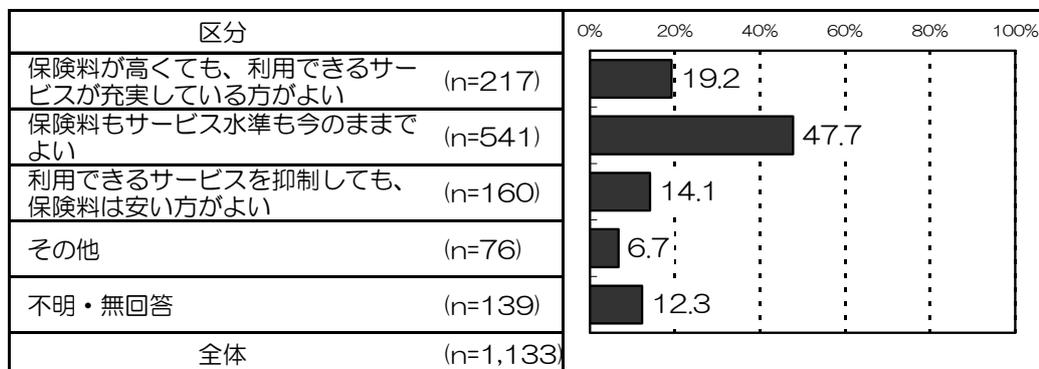
【1号】



【要支援】



【要介護】

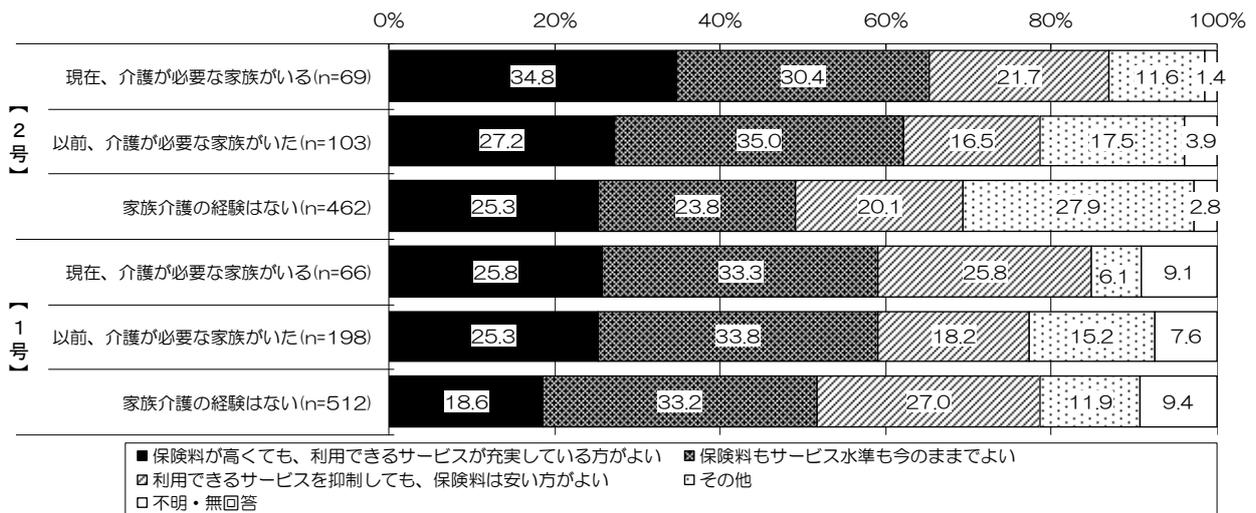


負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係については、「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）が、【2号】で26.4%、【1号】で32.4%、【要支援】で44.6%、【要介護】で47.7%と最も高くなっています。また、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）は、【2号】で26.4%、【1号】【要支援】【要介護】では2割程度となっています。さらに、「利用できるサービスを抑制しても、保険料は安い方がよい」（保険料重視）は、【2号】【要支援】で2割程度、【1号】で26.3%、【要介護】で14.1%となっています。

総じて、【2号】では現状維持とサービス重視、【1号】では現状維持と保険料重視、【要支援】【要介護】では現状維持を求める人が多くなっていることがうかがえます。

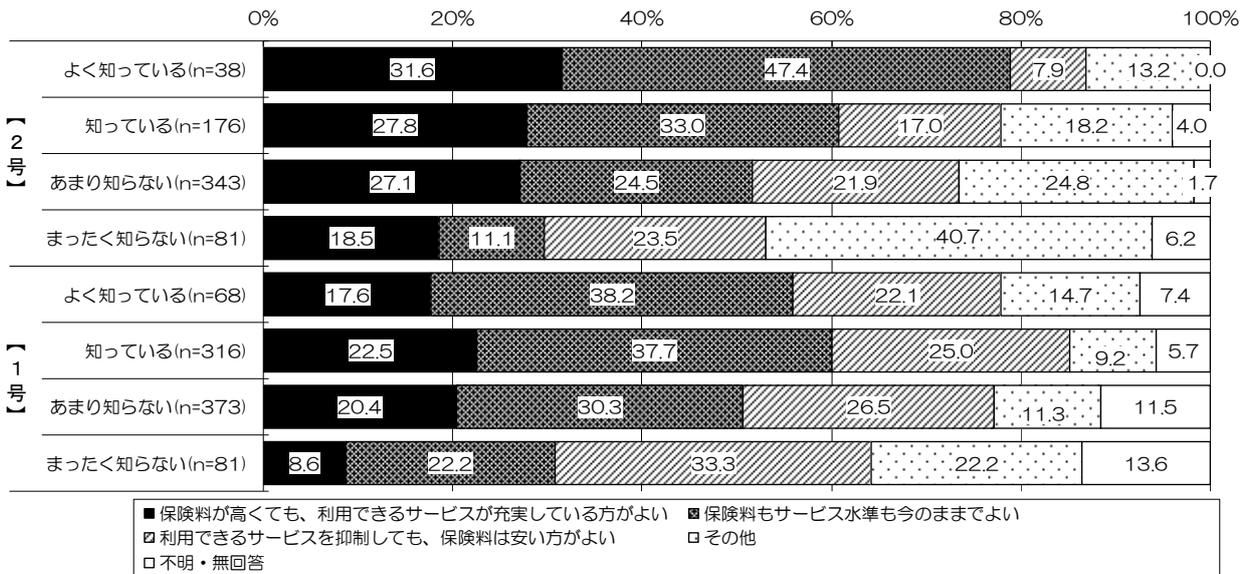
なお、前回調査結果においても、同様の傾向が見られており、負担と給付の関係に対する意識に大きな変化は見られません。

図表 64-1 ■ 家族介護経験別の負担と給付の関係について



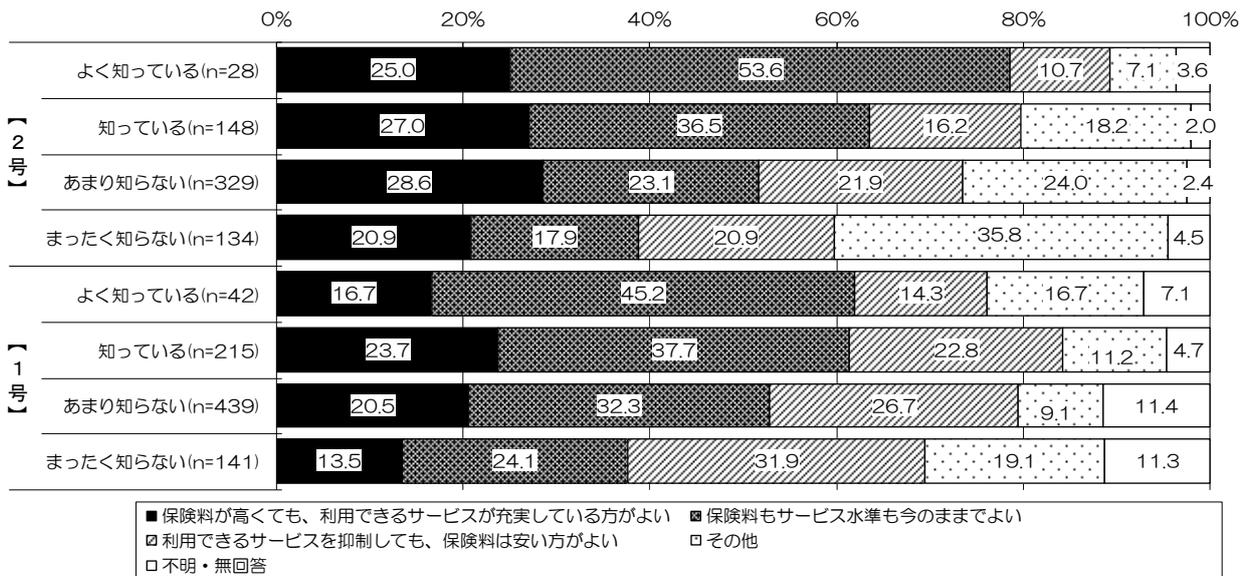
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、家族介護の経験別でみると、家族介護の経験がある人で、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）の割合が、家族介護の経験がない人より高くなっています。

図表 64-2 ■ 介護保険制度認知度別の負担と給付の関係について



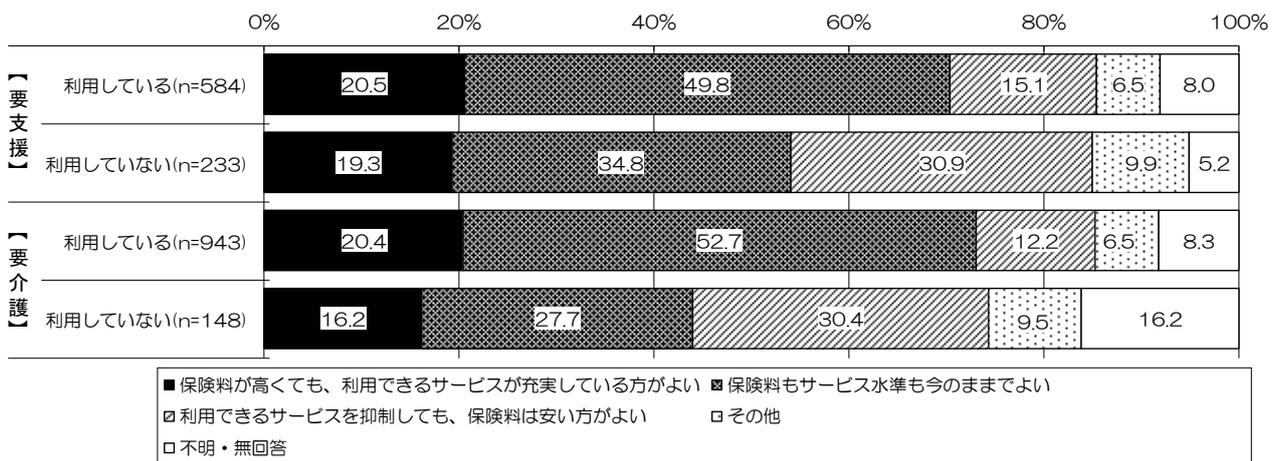
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険制度の認知度別で見ると、【2号】【1号】とも、認知度が高くなるほど、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）や「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合は増加傾向にあります。ただし、【1号】では、「知っている」から「よく知っている」にかけて、サービス重視が5ポイント程度減少しています。

図表 64-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の負担と給付の関係について



負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険サービス内容の認知度別でみると、【2号】【1号】では、認知度が高くなるほど、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）や「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合は増加傾向にあります。ただし、【1号】では、「知っている」から「よく知っている」にかけて、サービス重視が7ポイント減少しています。

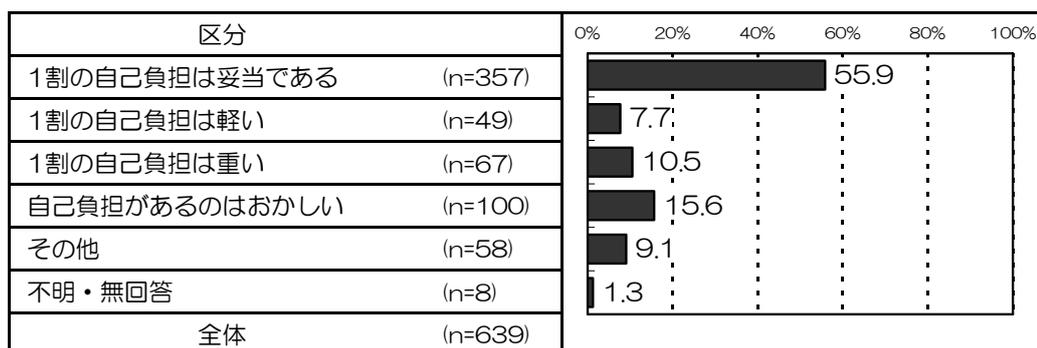
図表 64-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の負担と給付の関係について



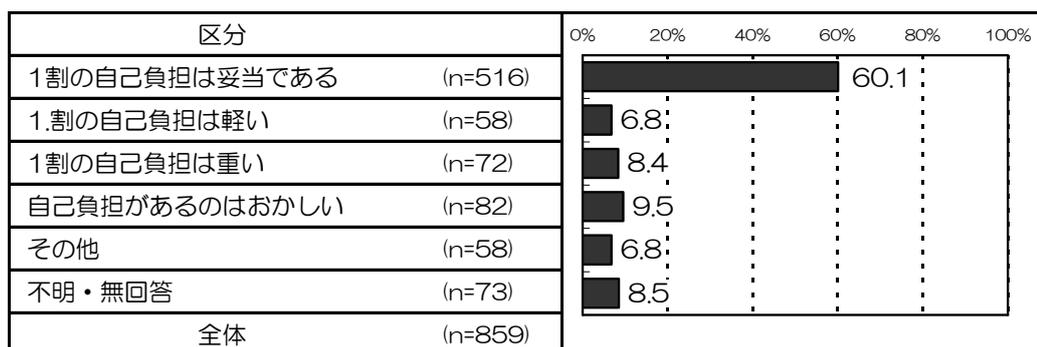
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】【要介護】では、サービスを利用している人の方が利用していない人より、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）や「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合が高くなっています。

図表 65 ○ 介護保険サービスの1割の自己負担について

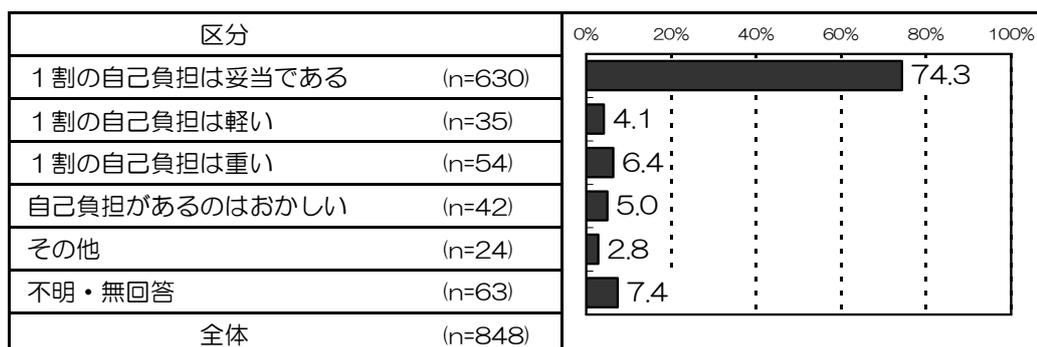
【2号】



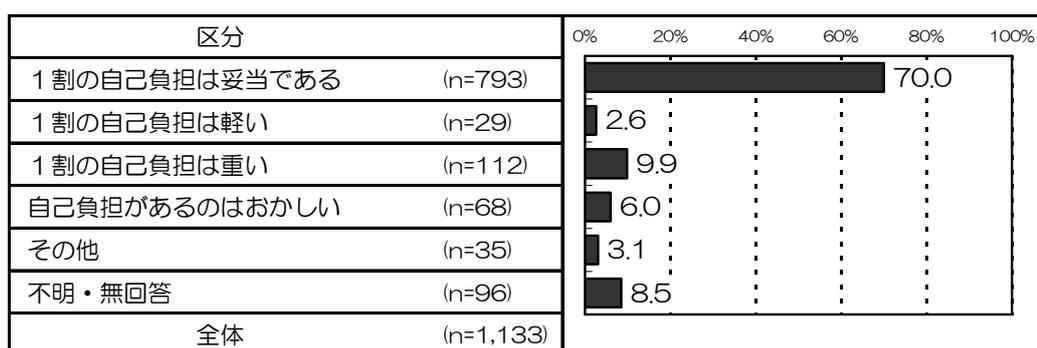
【1号】



【要支援】



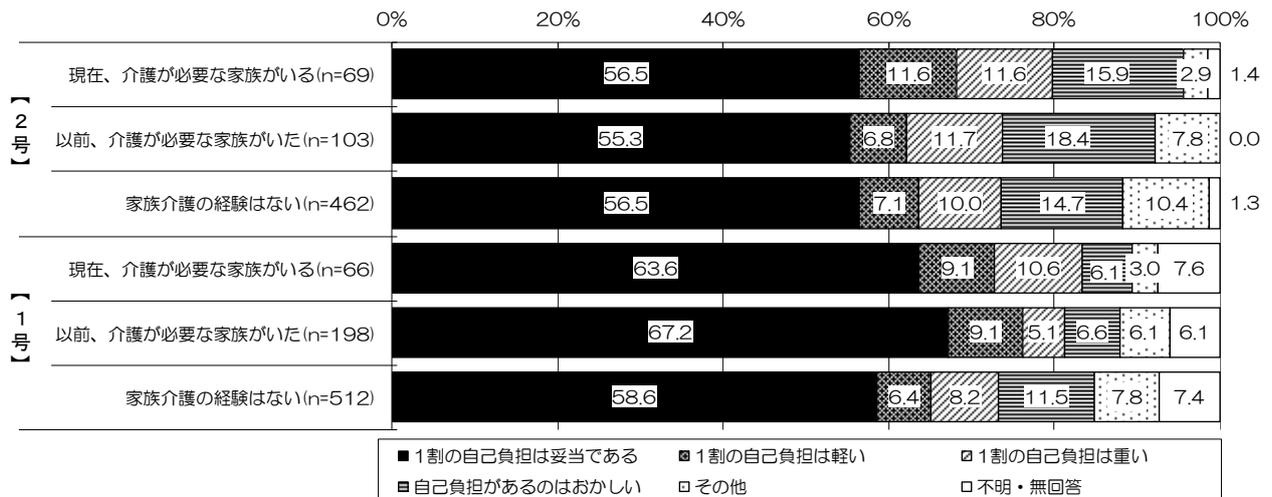
【要介護】



介護保険サービスの1割の自己負担については、すべての区分において、「1割の自己負担は妥当である」が最も多くなっており、【2号】で55.9%、【1号】で60.1%、【要支援】で74.3%、【要介護】で70.0%を占めています。特に、【要支援】【要介護】では、【2号】【1号】より、この割合は10ポイント以上高くなっています。

なお、前回調査結果においても、同様の傾向が見られており、介護保険サービスの1割の自己負担に対する意識に大きな変化は見られません。

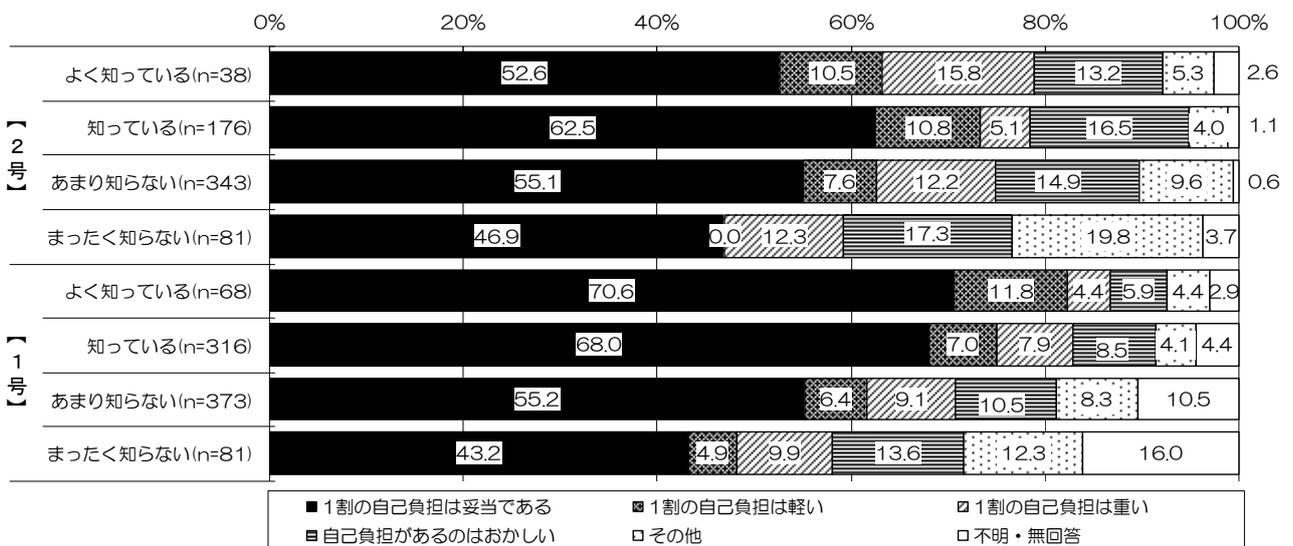
図表 65-1 ■ 家族介護経験別の介護保険サービスの1割負担について



介護保険サービスの1割負担について、家族介護の経験別でみると、【2号】で「1割の自己負担は妥当である」は、家族介護の経験の有無に関係なく5割台半ばを占めています。

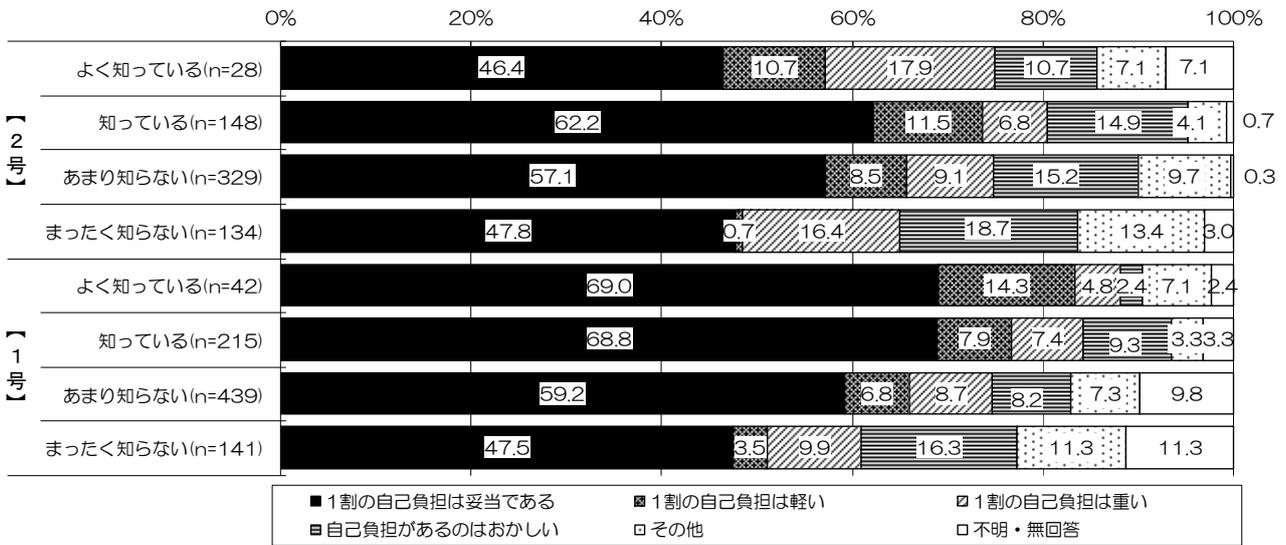
一方、【1号】で「1割の自己負担は妥当である」は、家族介護の経験がある人で6割台半ば、家族介護の経験がない人で5割台半ばとなっています。また、「自己負担があるのはおかしい」については、家族介護の経験がある人で6%となっており、経験がない人の半分程度となっています。

図表 65-2 ■ 介護保険制度認知度別の介護保険サービスの1割負担について



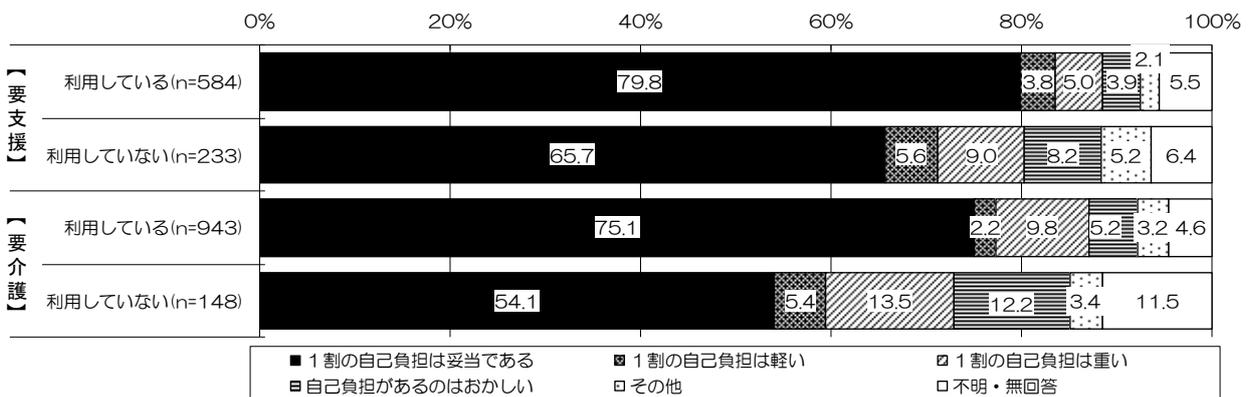
介護保険サービスの1割負担について、介護保険制度の認知度別でみると、【2号】【1号】ともに、認知度が高くなるほど、「1割の自己負担は妥当である」の割合は増加傾向にあります。ただし、【2号】では、「知っている」から「よく知っている」にかけて、「1割の自己負担は妥当である」が10ポイント程度減少しています。

図表 65-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の介護保険サービスの1割負担について



介護保険サービスの1割負担について、介護保険サービス内容の認知度別でみると、【1号】では、認知度が高くなるほど、「1割の自己負担は妥当である」の割合は増加傾向にあります。ただし、【2号】では、「まったく知らない」から「知っている」にかけては「1割の自己負担は妥当である」の割合は増加傾向にあるものの、「知っている」から「よく知っている」にかけては15.8ポイント減少しています。

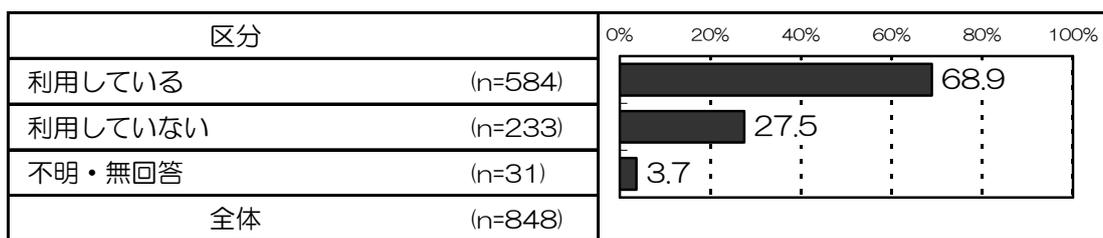
図表 65-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の介護保険サービスの1割負担について



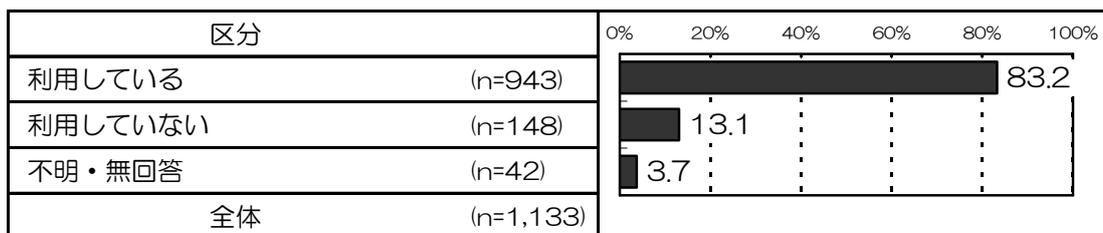
介護保険サービスの1割負担について、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】【要介護】とも、サービスを利用している人の方が利用していない人より、「1割の自己負担は妥当である」の割合が高くなっています。

図表 66 ○ あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。

【要支援】



【要介護】

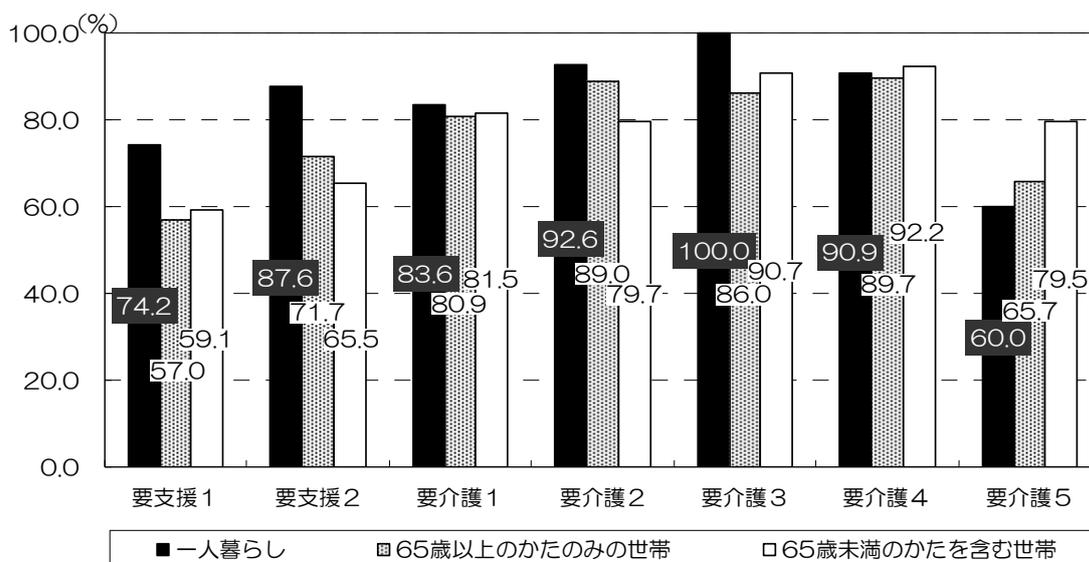


介護保険サービスの利用率（「利用している」と回答した人の割合）は、【要支援】で68.9%、【要介護】で83.2%となっています。

なお、利用率については、【要支援】【要介護】ともに前回調査結果（【要支援】68.6%、【要介護】80.3%）とほぼ同様の値となっており、利用状況に大きな変化は見られません。

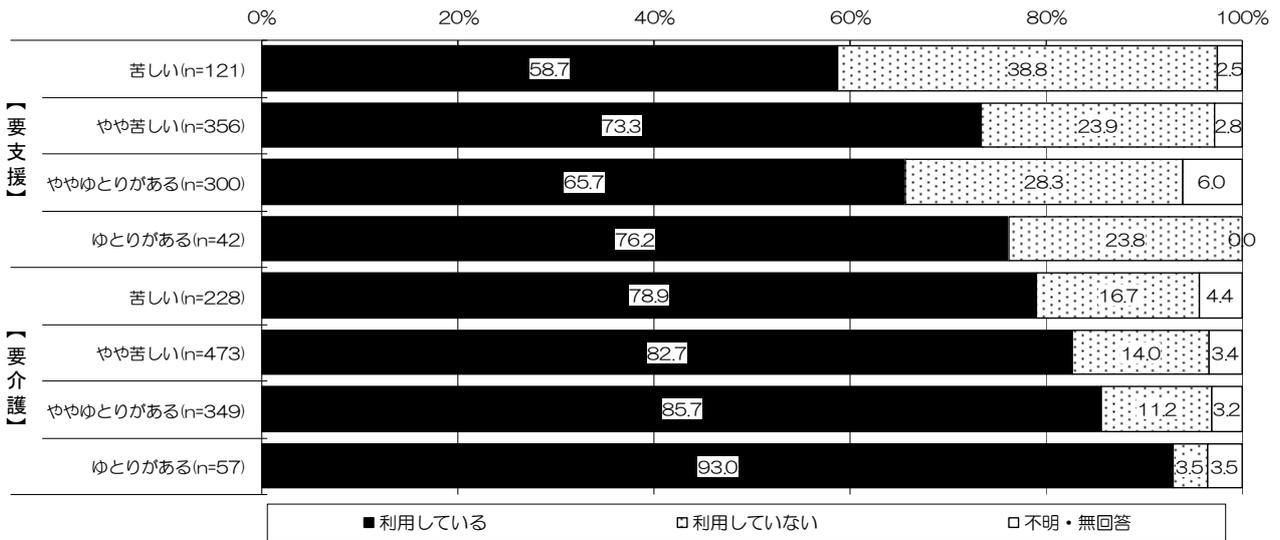
図表 66-1 ■ 世帯状況別、要介護度別の介護保険サービス利用率

【要支援】 【要介護】



介護保険サービスの利用率について、世帯状況別および要介護度別でみると、要介護3までは「一人暮らし」の利用率が比較的高くなっています。

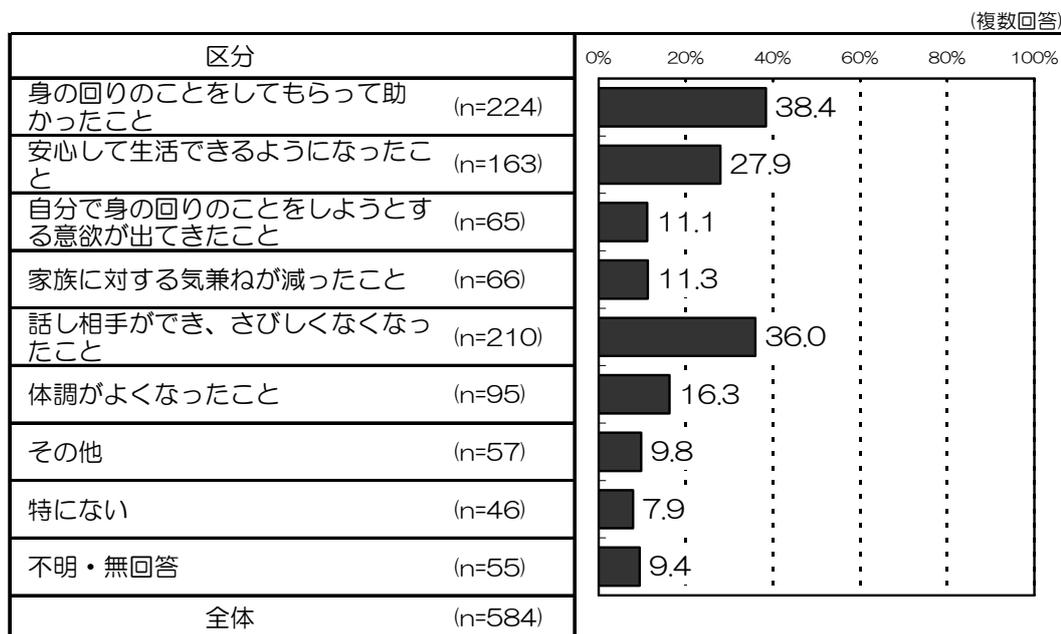
図表 66-2 ■ 暮らしの経済的な状況別の介護保険サービス利用状況



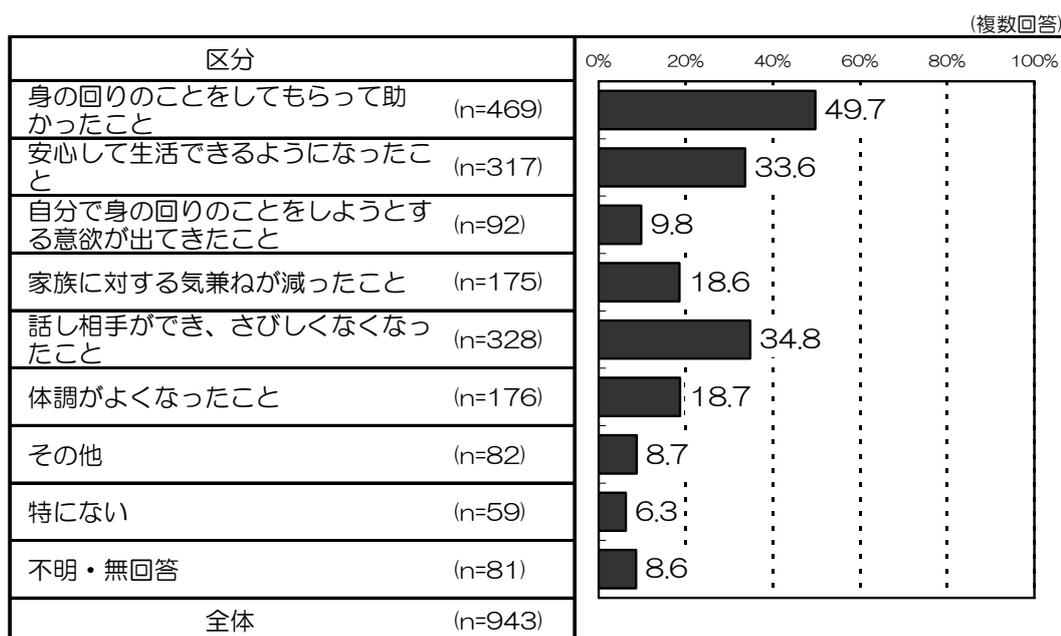
介護保険サービスの利用状況について、暮らしの経済的な状況別でみると、【要介護】では、暮らしが経済的に苦しくなるほど、「利用している」の割合が減少しています。一方、【要支援】では、「ややゆとりがある」から「やや苦しい」にかけては、「利用している」の割合が7.6ポイント増加していますが、ほぼ同様の傾向がみられます。

図表 67 ○ あなたが介護保険サービスを利用してよかった点は、どのようなことですか。（日常生活においてどのような改善がありましたか。）

【要支援】



【要介護】

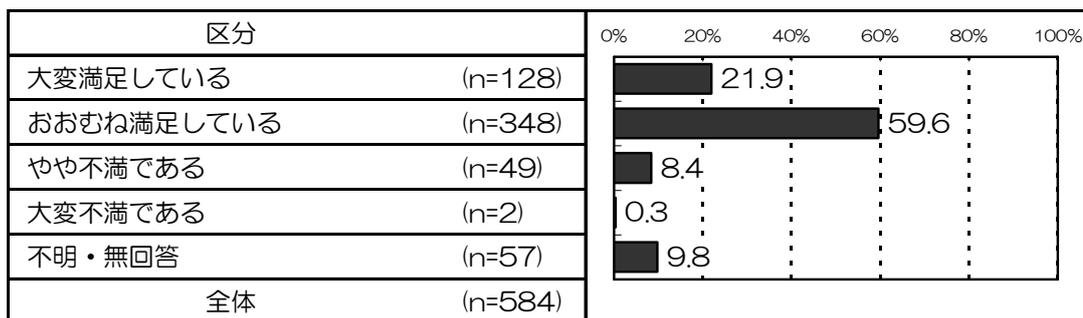


介護保険サービスを利用してよかった点については、「身の回りのことをしてもらって助かったこと」が【要支援】で38.4%、【要介護】で49.7%と最も高くなっています。また、【要支援】【要介護】ともに「話し相手ができ、さびしくなくなったこと」や「安心して生活できるようになったこと」が2～3割台を占めて、上位に入っています。

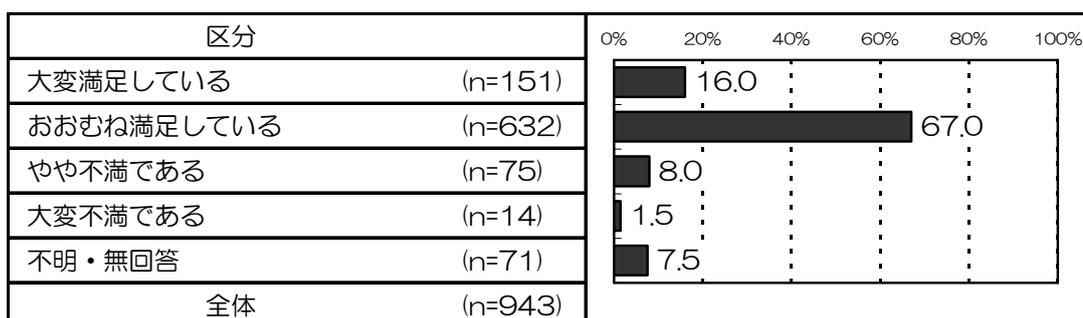
なお、上位の内容については、前回調査結果においても、同様の傾向が見られており、介護保険サービスを利用してよかった点に大きな変化は見られません。

図表 68 ○ 介護保険サービスの利用に対する満足度について

【要支援】



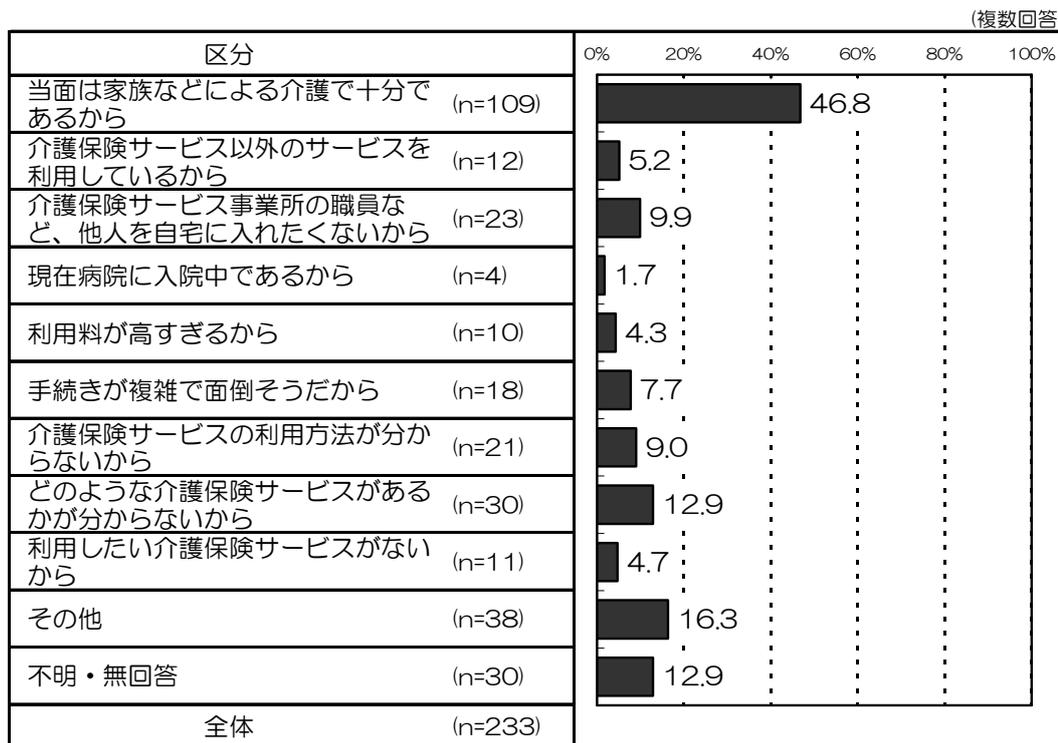
【要介護】



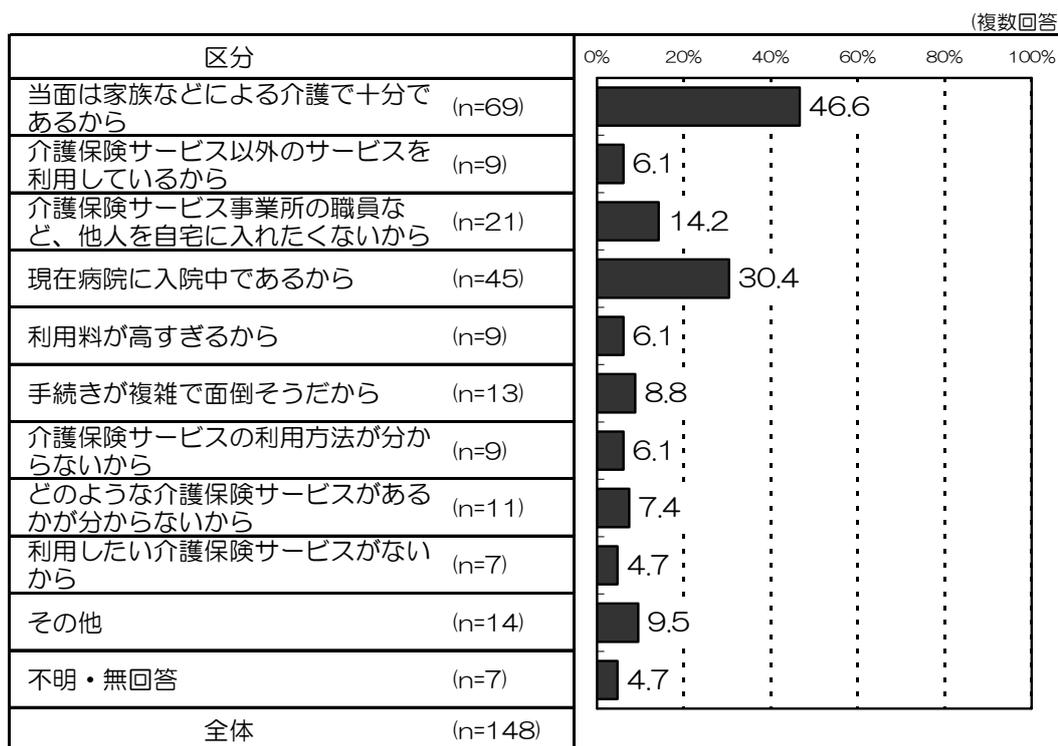
介護保険サービスの利用に対する満足度（「大変満足している」および「おおむね満足している」と回答した人の割合）は、【要支援】で81.5%、【要介護】で83.0%と高い割合となっています。

図表 69 ○ あなたが、介護保険サービスを利用しないのはどのような理由ですか。

【要支援】



【要介護】



介護保険サービスを利用しない理由については、【要支援】【要介護】ともに「当面は家族などによる介護で十分であるから」が4割台半ばを占めて、最も高くなっています。また、【要介護】では、「現在病院に入院中であるから」が30.4%で続いています。

図表 69-1 ■ 要介護度別の介護保険サービスの未利用理由

	合計(人)	(単位：%)										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用しているから	介護保険サービスの事業者の職員など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	介護保険サービスがあるが分からないから	どのような介護保険サービスがあるか分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他
全体	381	46.3	5.5	11.2	11.6	5.0	8.3	7.8	11.2	4.8	13.5	11.2
要支援1	155	41.9	5.2	7.7	1.9	3.9	6.5	9.0	12.9	3.9	20.0	14.2
要支援2	78	56.4	5.1	14.1	1.3	5.1	10.3	9.0	12.8	6.4	9.0	10.3
要介護1	53	73.6	3.8	18.9	3.8	9.4	7.5	5.7	9.4	7.5	5.7	1.9
要介護2	34	47.1	8.8	14.7	17.6	5.9	14.7	8.8	8.8	0.0	14.7	5.9
要介護3	20	45.0	15.0	15.0	35.0	0.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0
要介護4	12	16.7	8.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7
要介護5	29	10.3	0.0	10.3	75.9	6.9	6.9	3.4	3.4	6.9	10.3	6.9

介護保険サービスを利用しない理由について、要介護度別でみると、要支援1から要介護3では「当面は家族などによる介護で十分であるから」、要介護4以上では「現在病院に入院中であるから」が最も多くなっています。特に、要介護4以上では、「当面は家族などによる介護が十分であるから」が要介護3以下と比較して大きく減少しており、一方で、「現在病院に入院中であるから」が大きく増加しています。

このことから、重度認定者では、介護保険サービスを利用せず家族などによる介護だけで生活を送ることが難しいという状況がうかがえます。

図表 69-2 ■ 世帯状況別の介護保険サービスの未利用理由

【要支援】

	合計（人）	（単位：％）										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用しているから	介護保険サービス事業所の職員など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	介護保険サービスがあるかが分からないから	どのような介護保険サービスがあるかが分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他
全体	226	46.8	5.2	9.9	1.7	4.3	7.7	9.0	12.9	4.7	16.3	12.9
一人暮らし	55	14.5	1.8	10.9	3.6	1.8	5.5	9.1	12.7	3.6	27.3	27.3
65歳以上のかたのみの世帯	79	50.6	6.3	8.9	0.0	5.1	10.1	11.4	16.5	6.3	17.7	7.6
65歳未満のかたを含む世帯	87	62.1	4.6	10.3	2.3	3.4	5.7	8.0	10.3	4.6	9.2	8.0
その他（施設入所など）	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

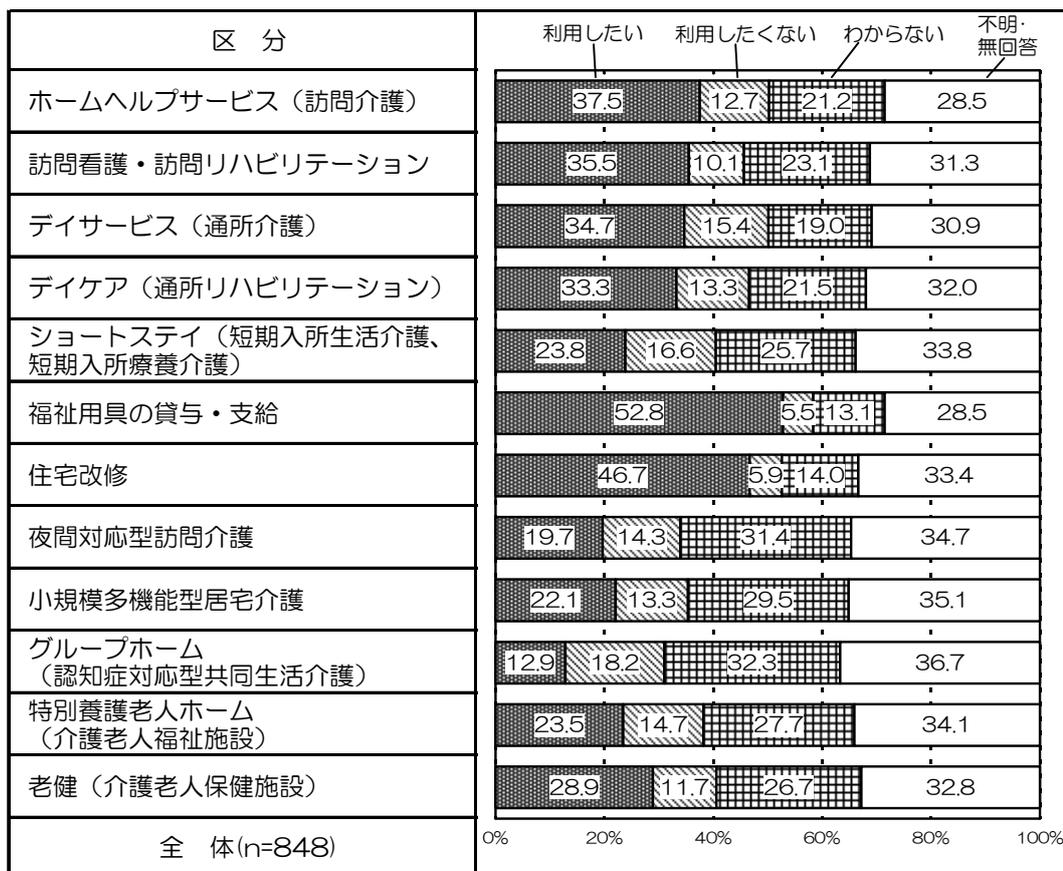
【要介護】

	合計（人）	（単位：％）										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用しているから	介護保険サービス事業所の職員など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	介護保険サービスがあるかが分からないから	どのような介護保険サービスがあるかが分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他
全体	145	46.6	6.1	14.2	30.4	6.1	8.8	6.1	7.4	4.7	9.5	4.7
一人暮らし	18	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1
65歳以上のかたのみの世帯	43	53.5	4.7	18.6	23.3	9.3	9.3	7.0	16.3	4.7	14.0	7.0
65歳未満のかたを含む世帯	64	60.9	1.6	12.5	26.6	3.1	10.9	6.3	4.7	3.1	6.3	0.0
その他（施設入所など）	20	0.0	20.0	5.0	65.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0

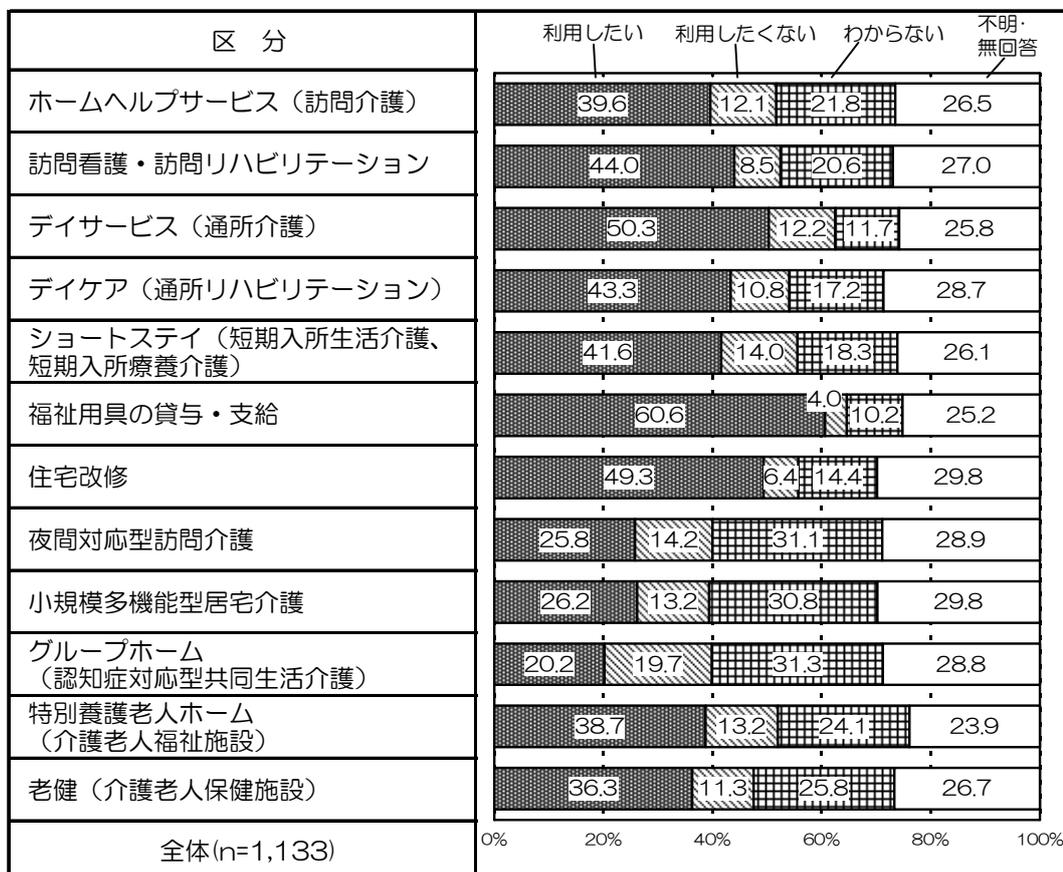
介護保険サービスを利用しない理由について、世帯状況別でみると、【要支援】【要介護】ともに、「一人暮らし」の人では「当面は家族などによる介護で十分であるから」の割合が、「65歳以上のかたのみの世帯」や「65歳未満のかたを含む世帯」と比べて低くなっています。また、【要介護】について、「65歳以上のかたのみの世帯」では「どのような介護保険サービスがあるかが分からないから」、また、「その他（施設入所など）」では「現在病院に入院中であるから」の割合が、他と比べて高くなっています。

図表 70 ○ 主な介護保険サービスの今後の利用希望について

【要支援】



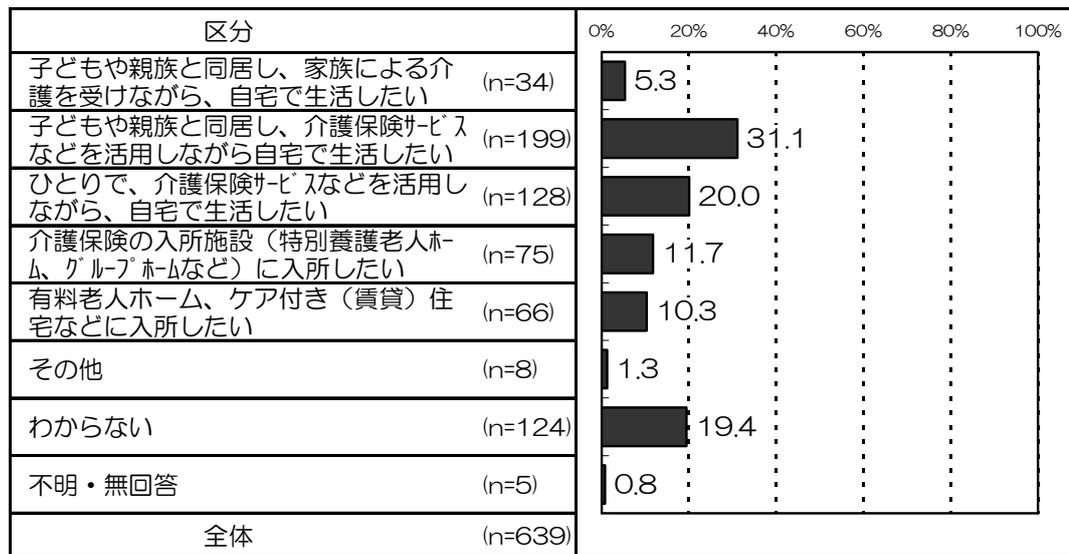
【要介護】



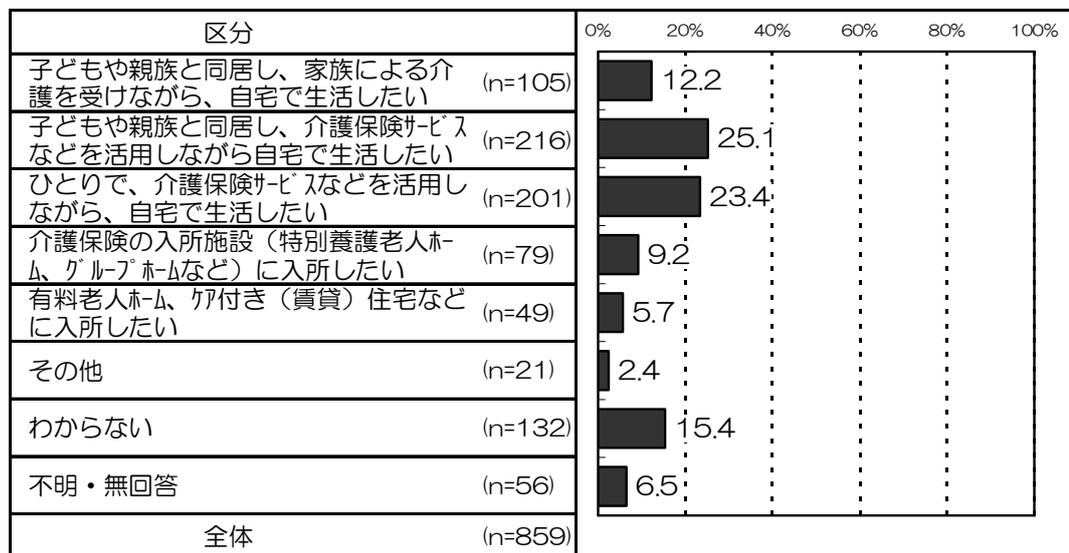
主な介護保険サービスの今後の利用希望については、【要支援】では「福祉用具の貸与・支給」や「住宅改修」で「利用したい」が5割前後を占め、【要介護】では「福祉用具の貸与・支給」で「利用したい」が60.6%、「デイサービス（通所介護）」や「住宅改修」では5割前後を占めています。

図表 71 ○ あなたは、将来どのような介護を受けたいと思いますか。

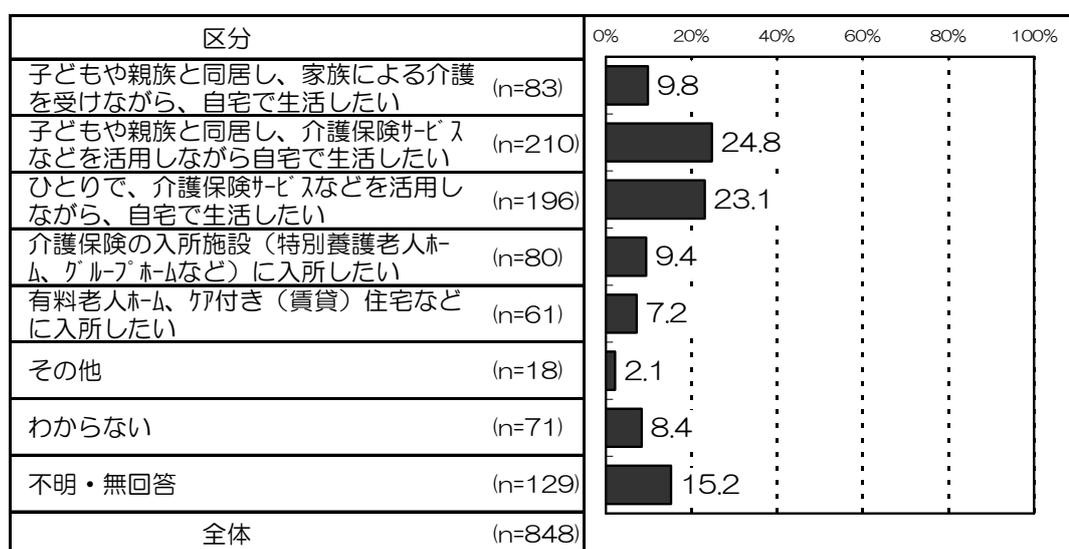
【2号】



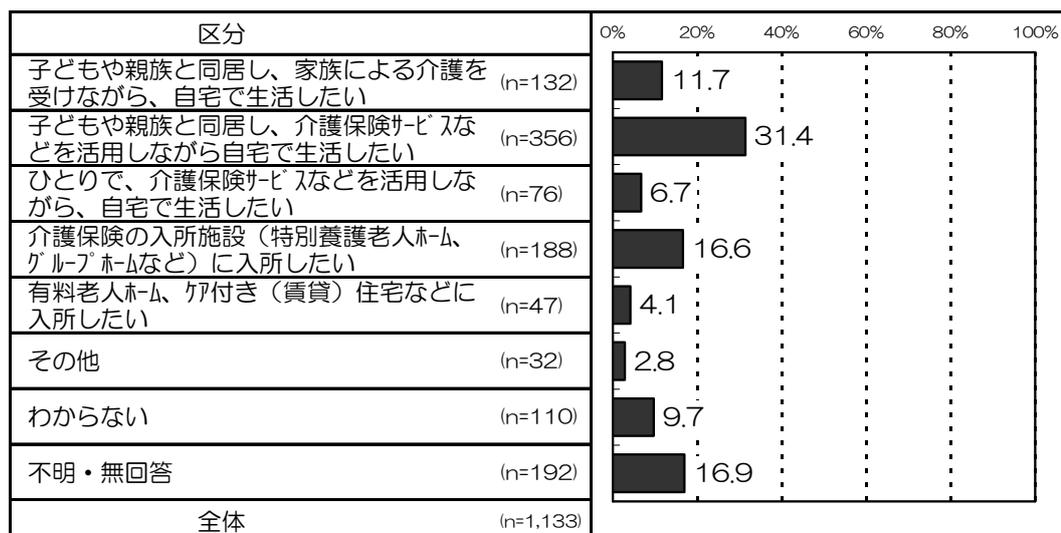
【1号】



【要支援】



【要介護】



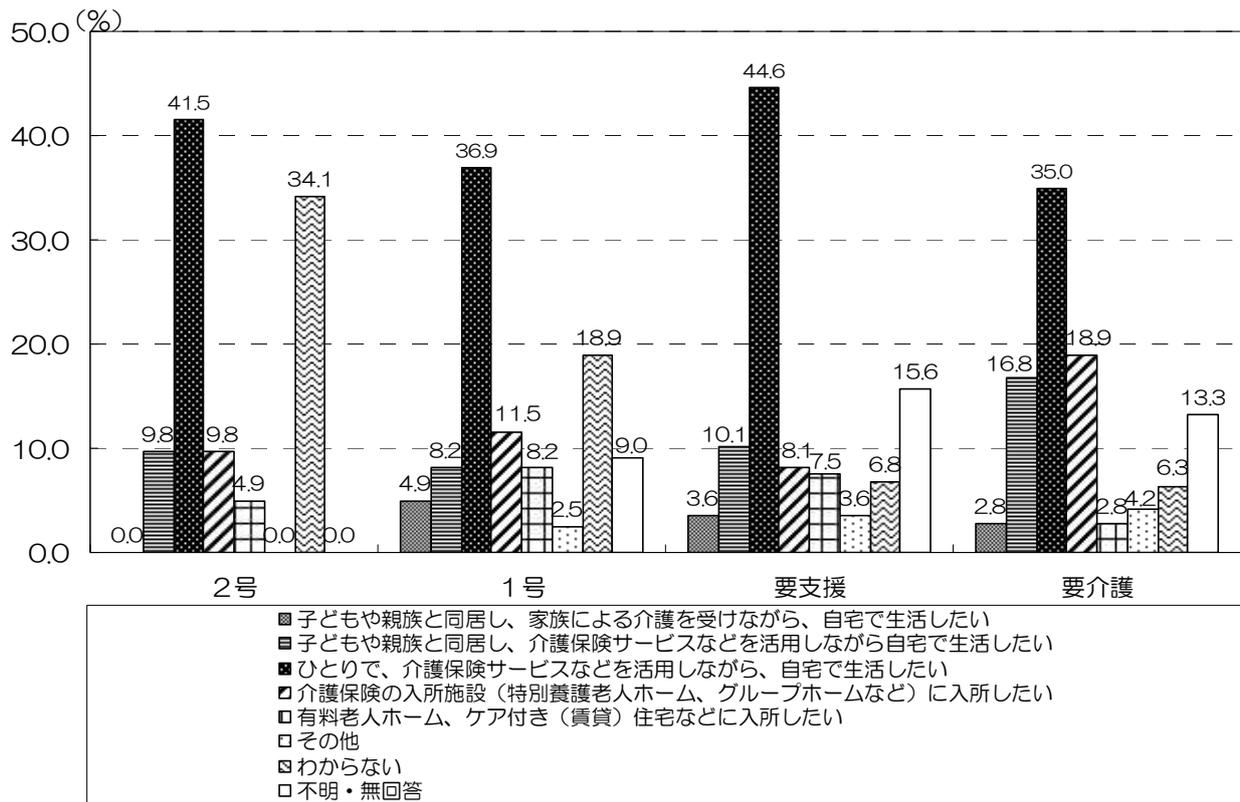
将来の介護希望については、すべての区分において、「子どもや親族と同居し、介護サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」が最も高くなっています。

また、自宅での生活を希望する人（「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」と回答した人）は、【2号】で56.4%、【1号】で60.7%、【要支援】で57.7%、【要介護】で49.8%となっています。

一方、施設入所を希望する人（「介護保険の入所施設に入所したい」および「有料老人ホーム、ケア付き（賃貸）住宅などに入所したい」）は、【2号】で22.0%、【1号】で14.9%、【要支援】16.6%、【要介護】で20.7%となっています。

なお、すべての区分において、自宅での生活を希望する人については、前回調査結果（【2号】42.4%、【1号】48.9%、【要支援】47.1%、【要介護】46.4%）から増加しており、今後の介護スタイルについて、在宅志向が強くなっていることがわかります。

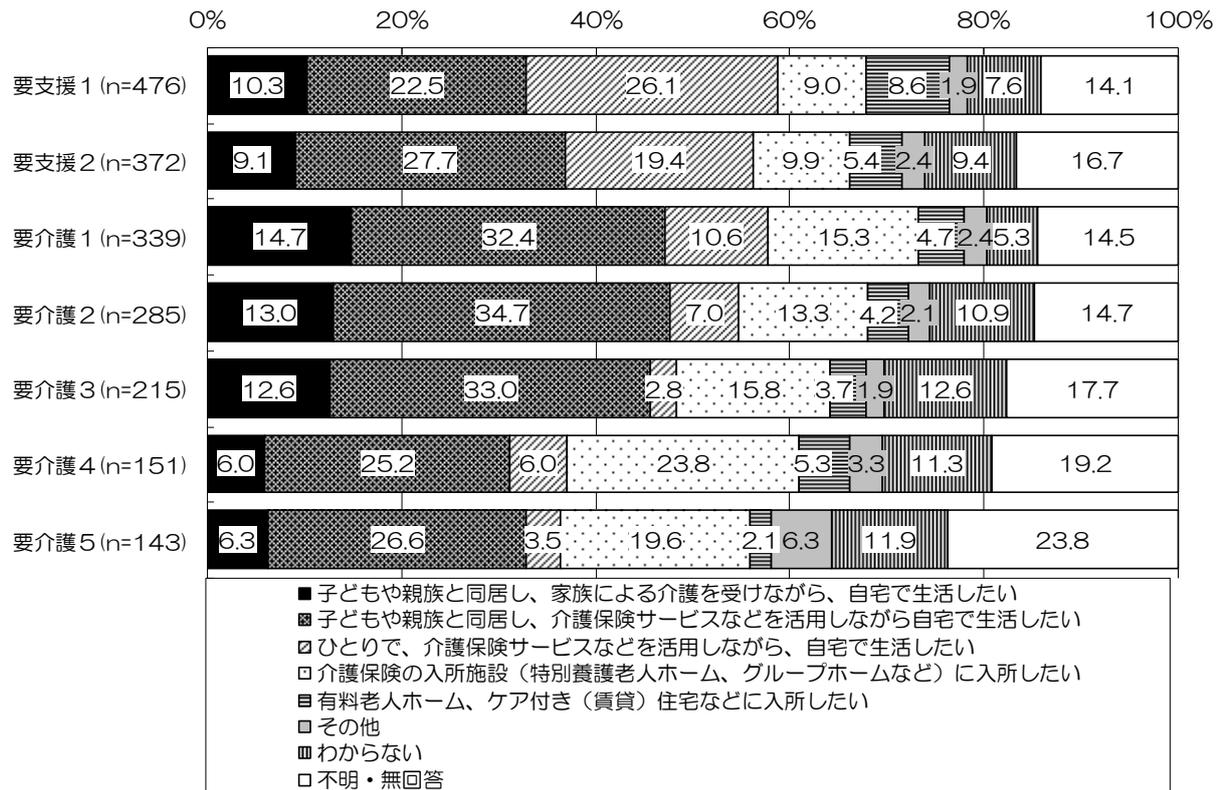
図表 71-1 ■ 一人暮らしの将来の介護希望



「一人暮らし」の将来の介護希望については、すべての区分において、「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」の割合が、3割台半ばから4割台半ばを占めて、最も高くなっています。特に、【1号】【要支援】【要介護】では、2位以下との割合の差が大きくなっています。

また、「一人暮らし」で自宅での生活を希望する人（「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」と回答した人）は、【2号】で51.3%、【1号】で50.0%、【要支援】で58.3%、【要介護】で54.6%となっています。特に、子どもや親族との同居を希望する人は、【2号】で9.8%、【1号】で13.1%、【要支援】で13.7%、【要介護】で19.6%となっており、要支援・要介護状態になるほど増加しています。

図表 71-2 ■ 要介護度別の将来の介護希望



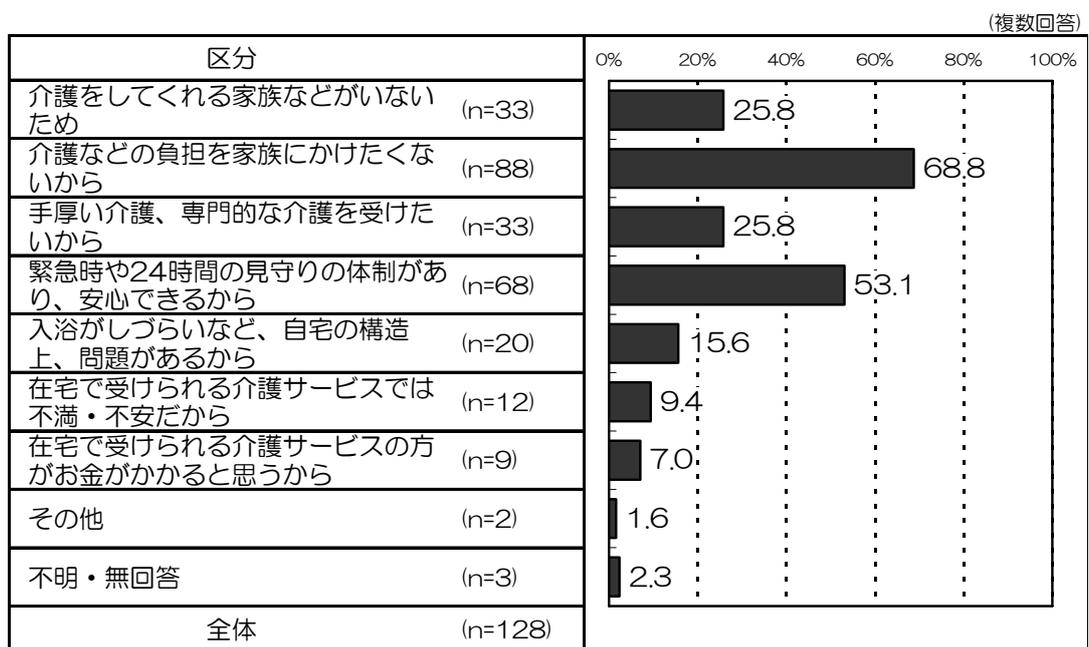
将来の介護希望について、要介護度別でみると、要支援1では「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」、要支援2以上では「子どもや親族と同居し、介護サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」の割合が、最も高くなっています。

また、自宅での生活を希望する人（「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」と回答した人）は、要支援1で58.9%となっていますが、要介護度が重度になるほど減少傾向にあり、要介護4や要介護5では4割を下回っています。

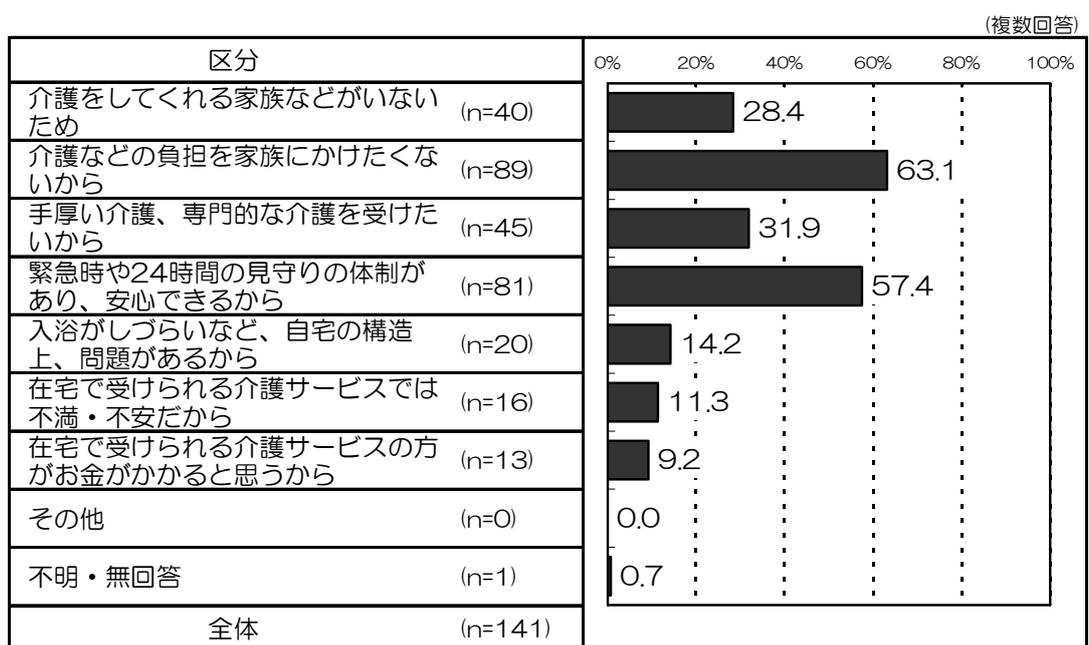
一方、施設入所を希望する人（「介護保険の入所施設に入所したい」および「有料老人ホーム、ケア付き（賃貸）住宅などに入所したい」）は、要介護1や要介護4、要介護5で2割を上回っています。

図表 72 ○ 施設に入所したい理由

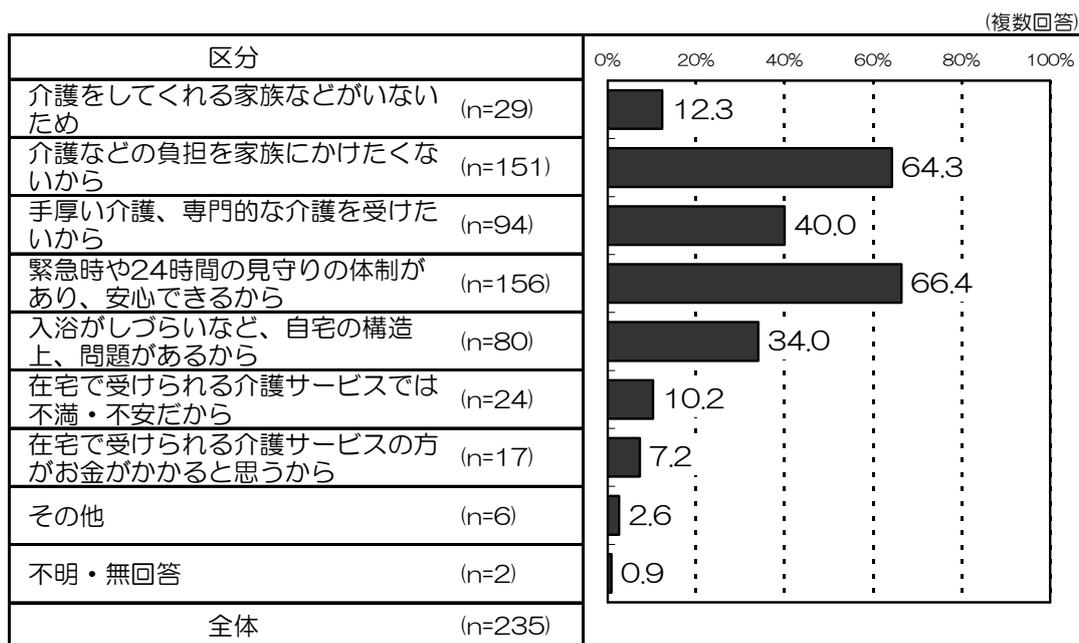
【1号】



【要支援】



【要介護】



将来の介護で施設入所を希望する理由については、すべての区分において、「介護などの負担を家族にかけたくないから」や「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」が上位を占めています。

図表 72-1 ■ 世帯状況別の施設入所希望理由

【1号】

	全体 (人)	(単位：%)								
		介護をしてくれる家族などがないため	介護などの負担を家族にかけたくないから	手厚い介護、専門的な介護を受けたいから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	在宅で受けられる介護サービスでは不満・不安だから	在宅で受けられる介護サービスの方がお金がかかると思うから	その他	不明・無回答
全体	128	25.8	68.8	25.8	53.1	15.6	9.4	7.0	1.6	2.3
一人暮らし	24	70.8	33.3	29.2	54.2	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
65歳以上のみの世帯	54	22.2	68.5	31.5	59.3	14.8	13.0	5.6	1.9	3.7
65歳未満を含む世帯	48	6.3	87.5	18.8	45.8	18.8	4.2	6.3	2.1	2.1

【要支援】

	全体（人）	（単位：％）								
		介護をして 家族などが いないため	介護などの 負担を かけたく ないから	手厚い 介護を 受けた いから	見守り の体制 があり、 安心で できる から	緊急時 や24時 間の	入浴が しづら いなど、 自 宅の構 造上、 問題が ある から	在宅で 受けら れる介 護サ ービス では不 満・不 安だ から	在宅で 受けら れる介 護サ ービス の方 が お 金 が か か る と 思 う か ら	その他
全体	141	28.4	63.1	31.9	57.4	14.2	11.3	9.2	0.0	0.7
一人暮らし	48	41.7	54.2	29.2	62.5	14.6	8.3	4.2	0.0	0.0
65歳以上のみの世帯	52	23.1	69.2	25.0	57.7	13.5	17.3	11.5	0.0	0.0
65歳未満を含む世帯	29	10.3	79.3	41.4	51.7	17.2	10.3	13.8	0.0	3.4
その他（施設入所など）	9	33.3	44.4	55.6	55.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0

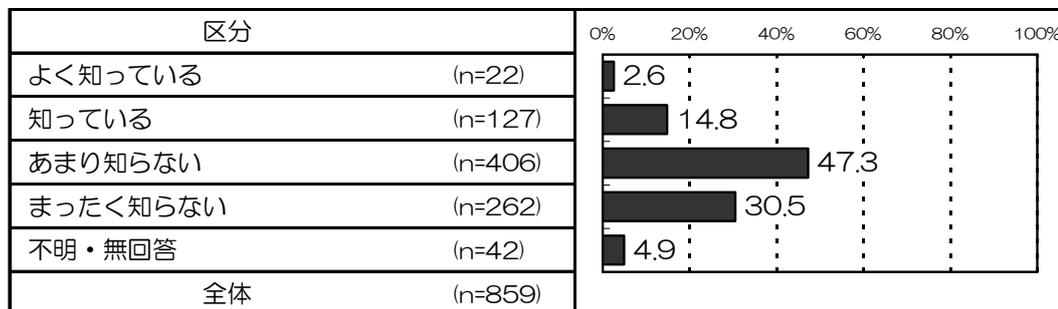
【要介護】

	全体（人）	（単位：％）								
		介護をして 家族などが いないため	介護などの 負担を かけたく ないから	手厚い 介護を 受けた いから	見守り の体制 があり、 安心で できる から	緊急時 や24時 間の	入浴が しづら いなど、 自 宅の構 造上、 問題が ある から	在宅で 受けら れる介 護サ ービス では不 満・不 安だ から	在宅で 受けら れる介 護サ ービス の方 が お 金 が か か る と 思 う か ら	その他
全体	235	12.3	64.3	40.0	66.4	34.0	10.2	7.2	2.6	0.9
一人暮らし	31	29.0	64.5	25.8	67.7	25.8	12.9	6.5	6.5	0.0
65歳以上のみの世帯	68	5.9	60.3	33.8	60.3	32.4	16.2	7.4	4.4	2.9
65歳未満を含む世帯	48	8.3	70.8	39.6	66.7	33.3	2.1	14.6	0.0	0.0
その他（施設入所など）	84	14.3	65.5	51.2	70.2	39.3	9.5	3.6	1.2	0.0

将来の介護で施設入所を希望する理由について、世帯状況別で見ると、すべての区分において、「一人暮らし」の人では「介護をしてくれる家族などがいないため」の割合が、他と比べて高くなっています。また、同居家族がいる人では、「介護などの負担を家族にかけたくないから」の割合が高くなっています。

図表 73 ○ 現在、このままだと介護が必要になる恐れのある高齢者を対象に、介護予防事業が行われています。あなたは、こうした介護予防事業について知っていますか。

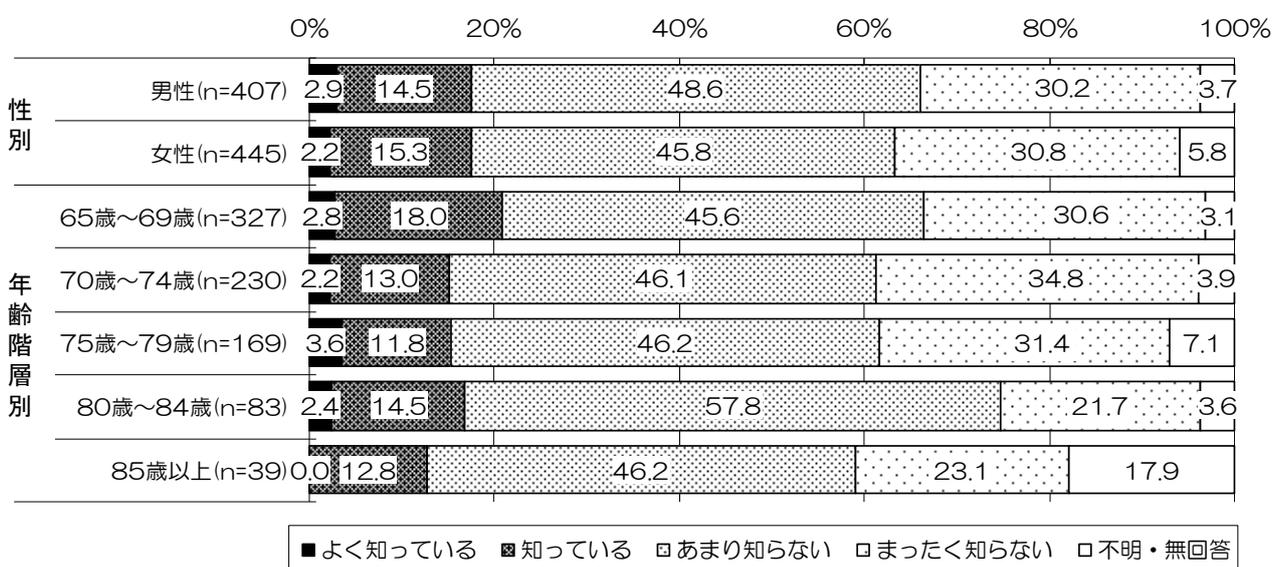
【1号】



介護予防事業の認知度（「よく知っている」および「知っている」と回答した人の割合）は17.4%となっており、前回調査結果（13.2%）より若干増加しています。

しかしながら、「あまり知らない」は47.3%で最も高く、「まったく知らない」が30.5%で続いており、【1号】で介護予防事業を知らない人は8割程度を占めています。

図表 72-1 ■ 性別・年齢階層別の介護予防事業の認知状況

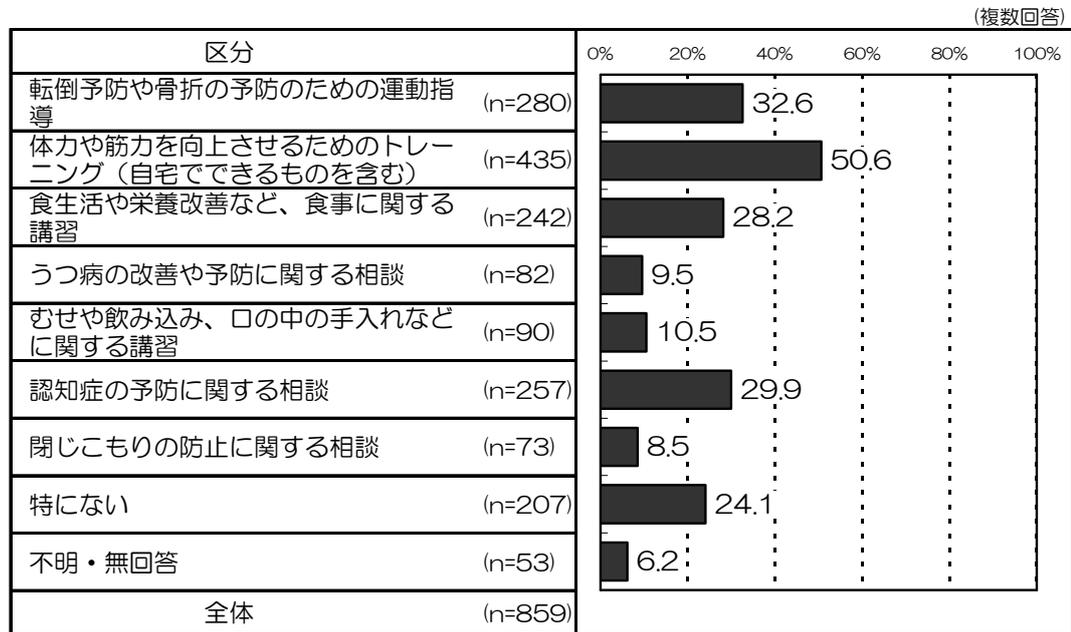


介護予防事業の認知状況について、性別でみると、介護予防事業の認知度（「よく知っている」および「知っている」と回答した人の割合）は、「男性」で17.4%、「女性」で17.5%と、大きな差はありません。

年齢階層別でみると、「65～69歳」では介護予防事業の認知度は20.8%となっており、70歳以上の認知度を上回っています。ただし、70～84歳の認知度は15%～17%程度となっており、大きな差はありません。

図表 74 ○ これからも、元気で健康的な生活を続けるために、または今後、体力や生活習慣に自信がなくなったときのために、やりたいこと、知りたいことは何ですか。

【1号】

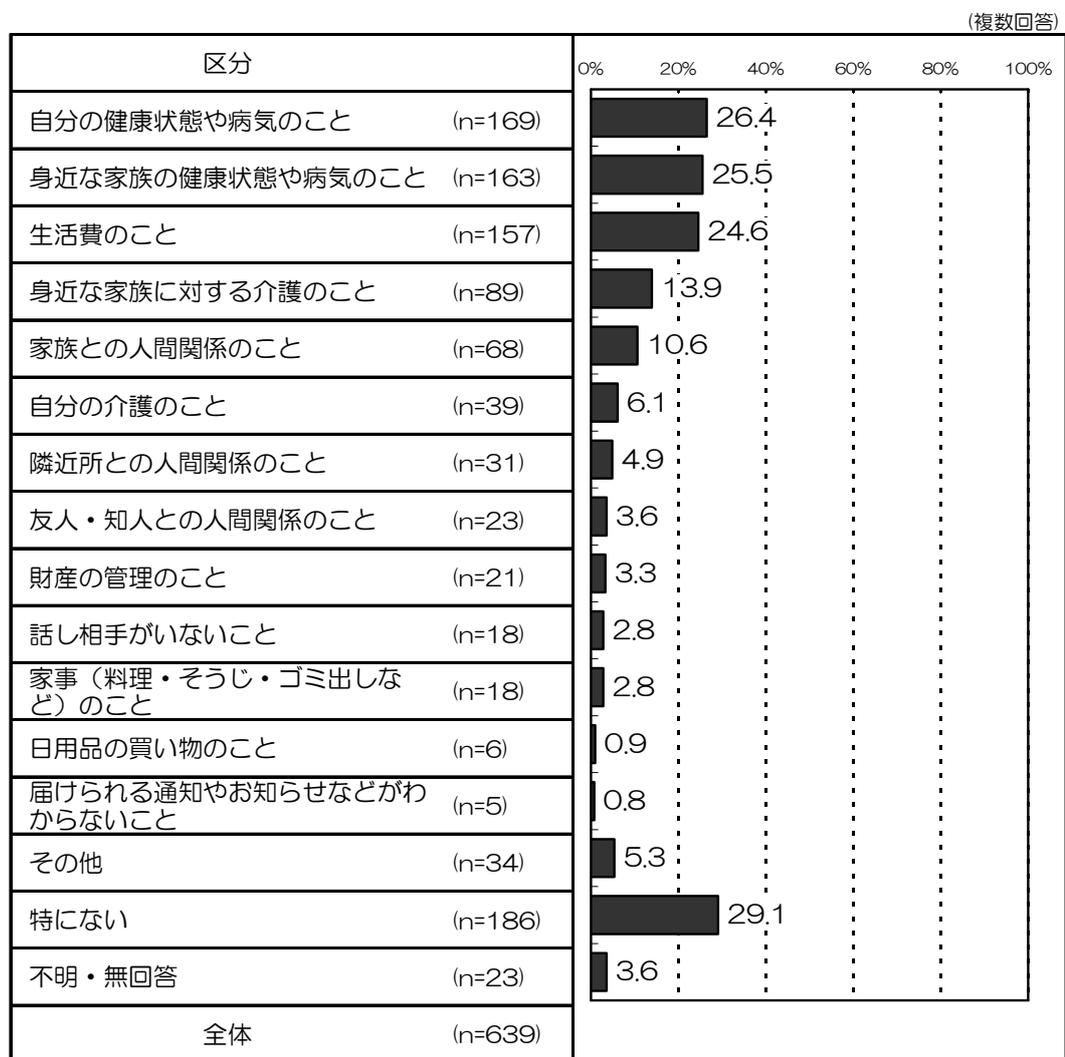


介護予防のためにやりたいこと、知りたいことについては、「体力や筋力を向上させるためのトレーニング (自宅のできるものを含む)」が 50.6%で最も高く、「転倒予防や骨折の予防のための運動指導」(32.6%)、「認知症の予防に関する相談」(29.9%)が続いています。また、「特にない」も 24.1%と 5 番目に高くなっています。

## 相談ごと・情報について

図表 75 ○ あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。

【2号】

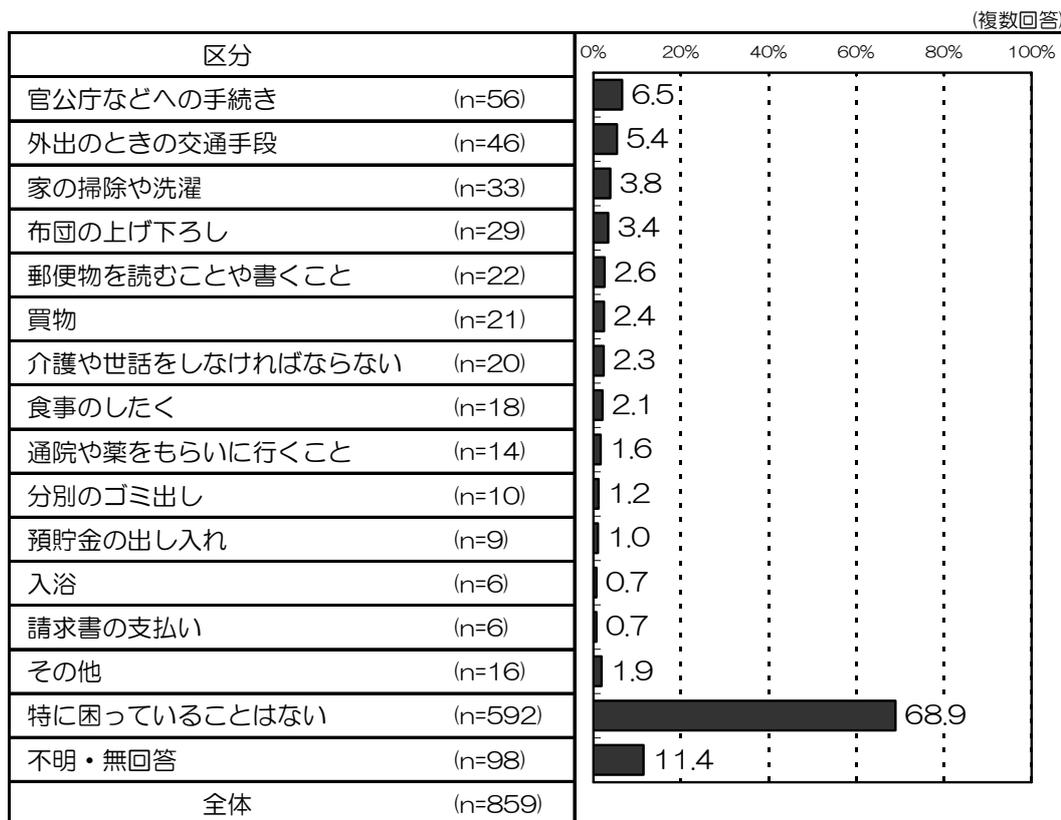


【2号】が日常生活で抱える不安や悩みについては、「特にない」が29.1%で最も多くなっており、「自分の健康状態や病気のこと」(26.4%)、「身近な家族の健康状態や病気のこと」(25.5%)、「生活費のこと」(24.6%)が続いています。

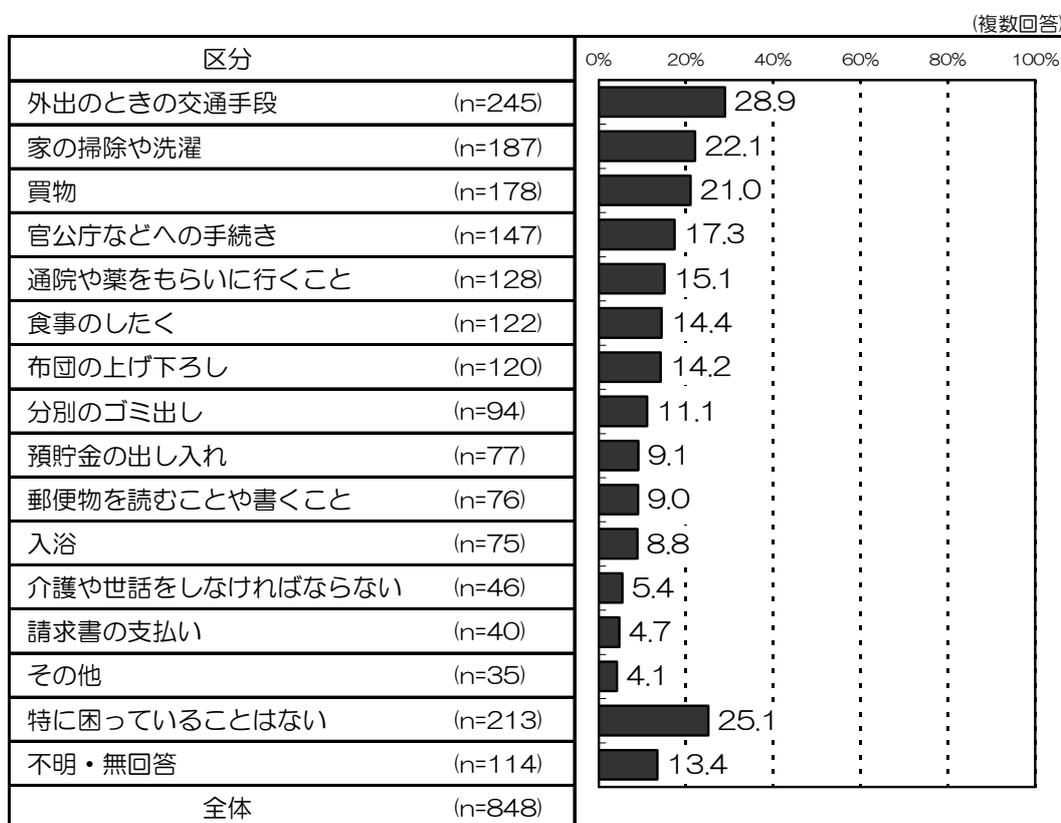
なお、上位の内容については、前回調査結果においても、同様の傾向が見られており、【2号】が日常生活で抱える不安や悩みに大きな変化は見られません。

図表 76 ○ あなたは、現在、日常生活の中で困っていることはありますか。

【1号】

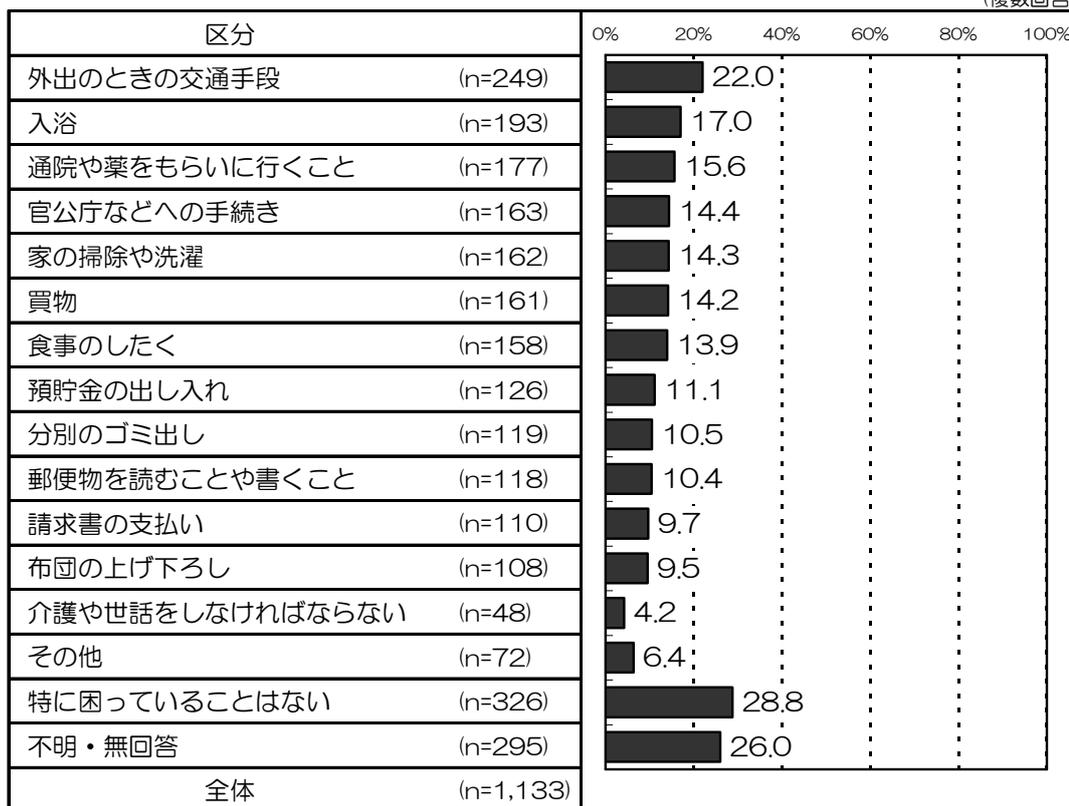


【要支援】



【要介護】

(複数回答)

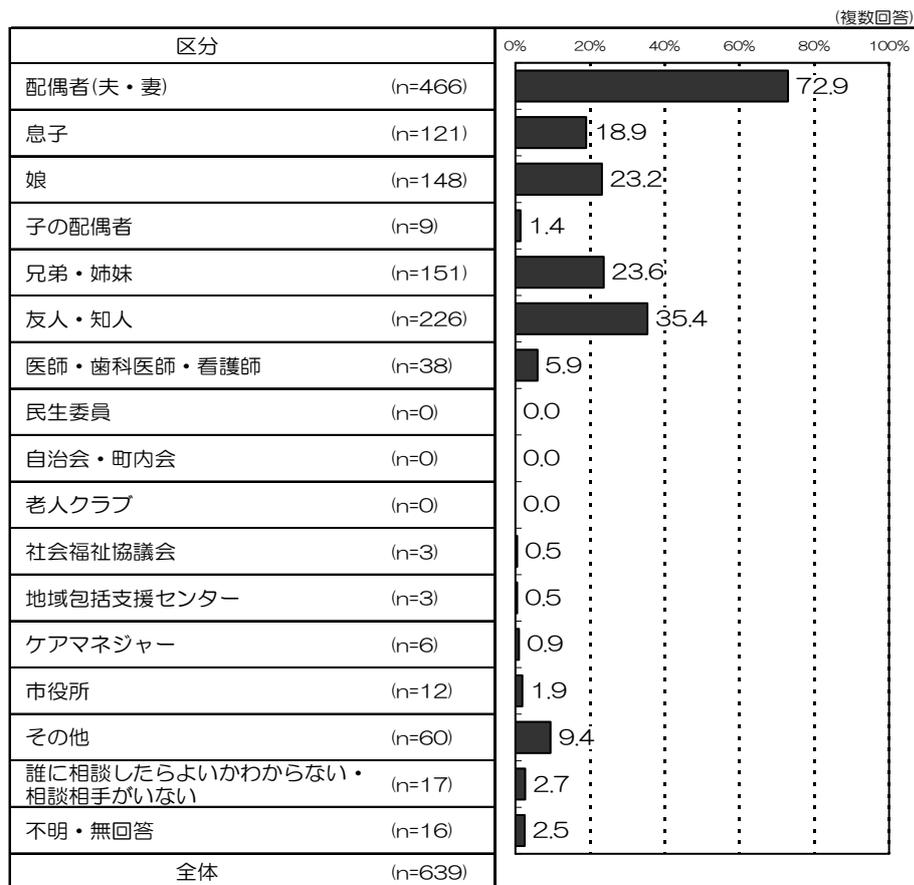


日常生活の中で困っていることについて、【1号】では「特に困っていることはない」が68.9%となっており、具体的に困っている内容を挙げる人の割合は1割未満にとどまっています。

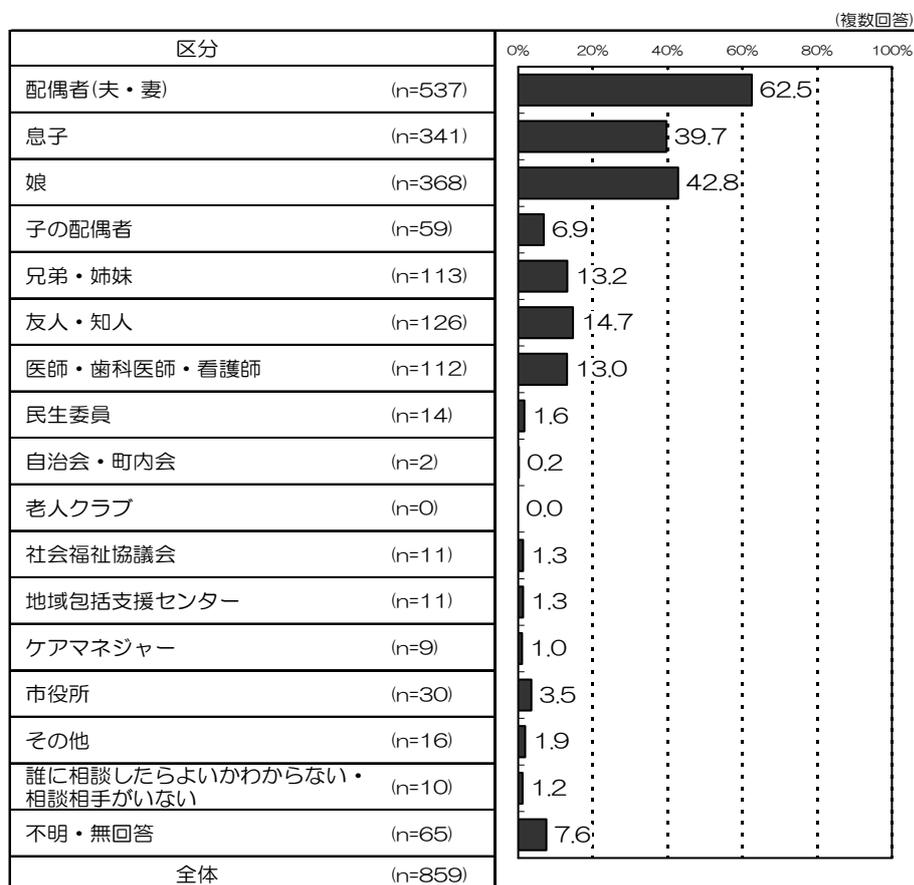
一方、【要支援】【要介護】では、「特に困っていることはない」がそれぞれ25.1%、28.8%にとどまっており、具体的に困っている内容としては、「外出のときの交通手段」の割合が高くなっています。また、【要支援】では、「買物」「家の掃除や洗濯」の割合も高くなっています。

図表 77 ○ あなたは、何かあった時、誰に相談していますか。

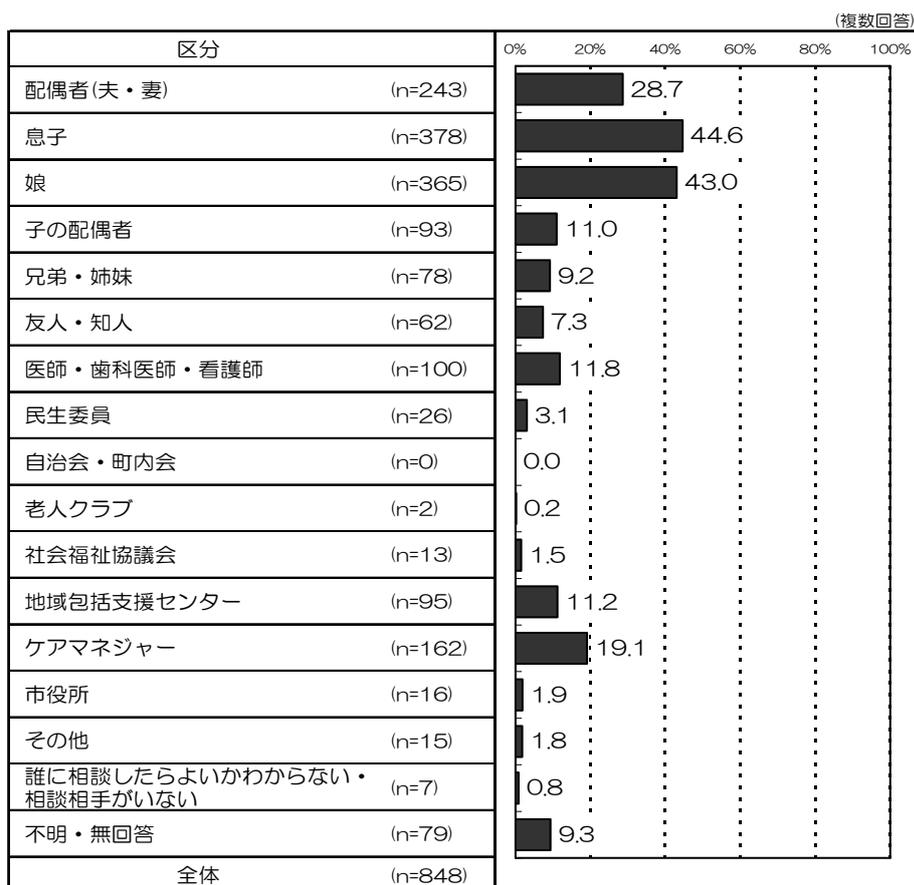
【2号】



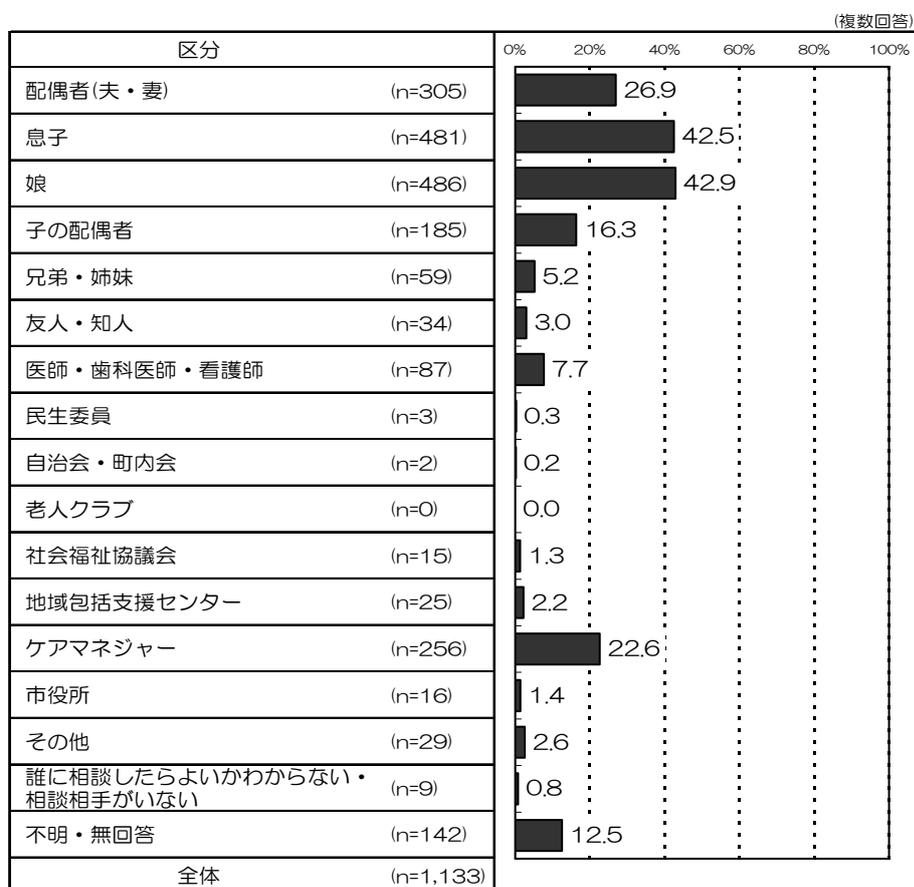
【1号】



【要支援】



【要介護】



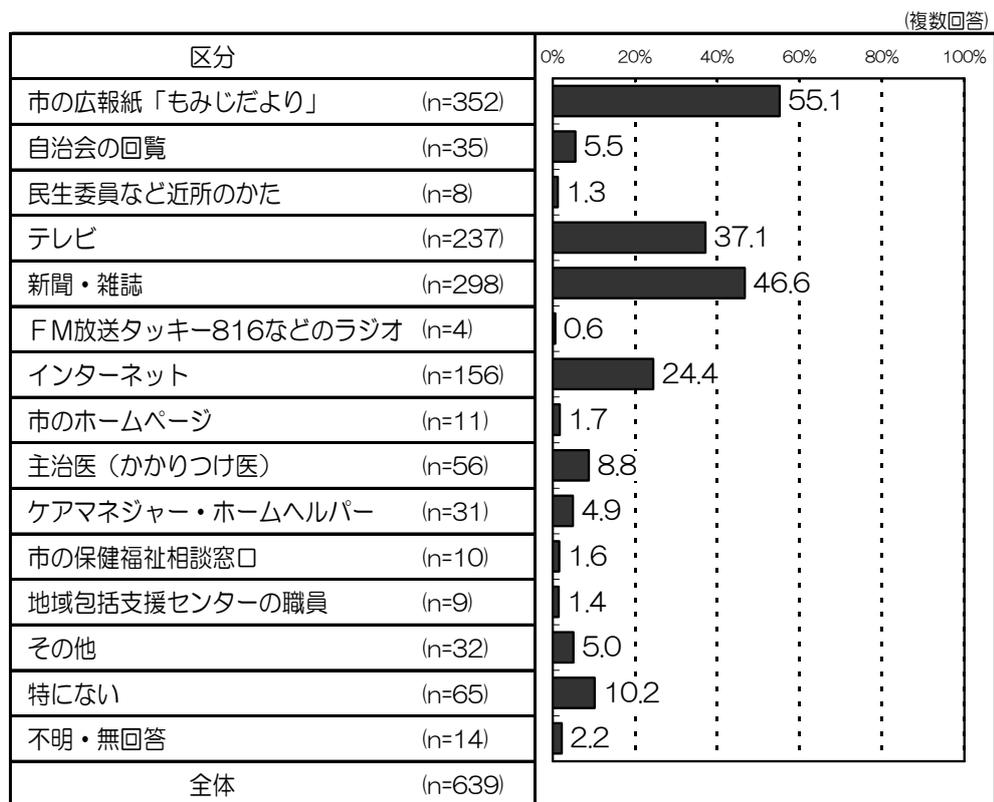
何かあった時に相談する相手については、【2号】【1号】では「配偶者」、【要支援】【要介護】では「息子」「娘」の割合が高くなっており、いずれの区分においても、近しい家族が上位を占めています。また、【2号】では「友人・知人」、【要支援】【要介護】では「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

一方「地域包括支援センター」については、【要支援】で11.2%となっていますが、その他の区分では3%未満と低い状態となっています。

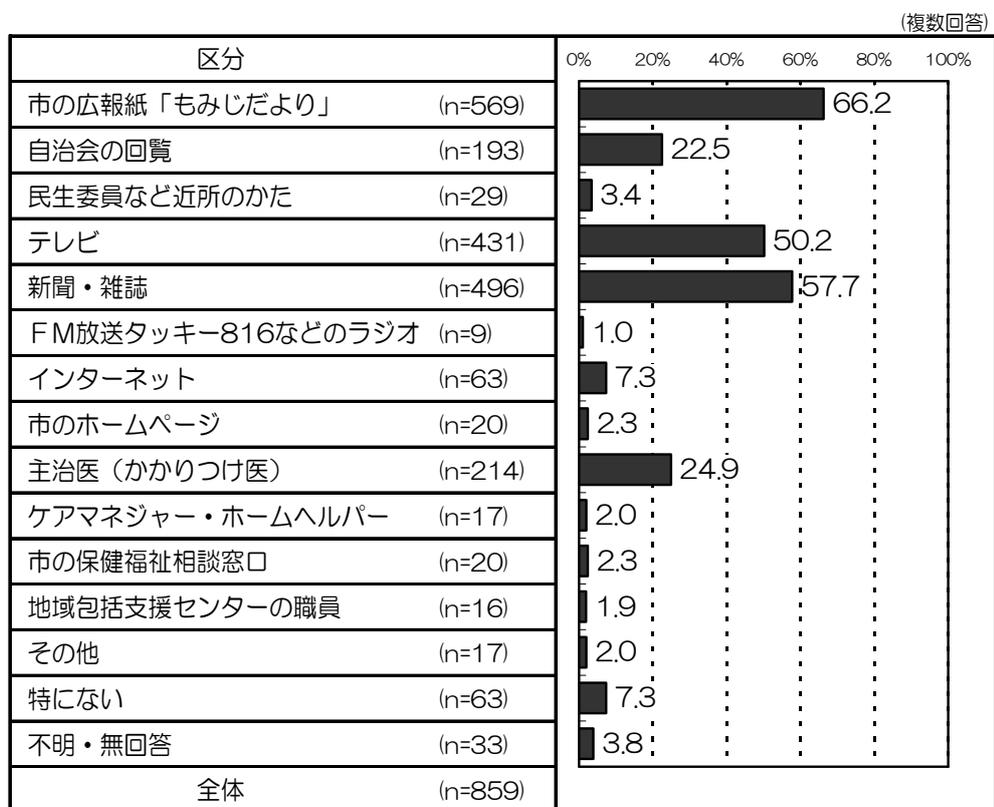
「誰に相談したらよいかわからない・相談相手がいない」については、すべての区分で3%未満となっており、前回調査結果（【2号】5.9%、【1号】6.1%、【要支援】3.6%、【要介護】2.6%）より減少しています。

図表 78 ○ あなたは、介護や福祉、健康の情報を、主に何から得ていますか。

【2号】

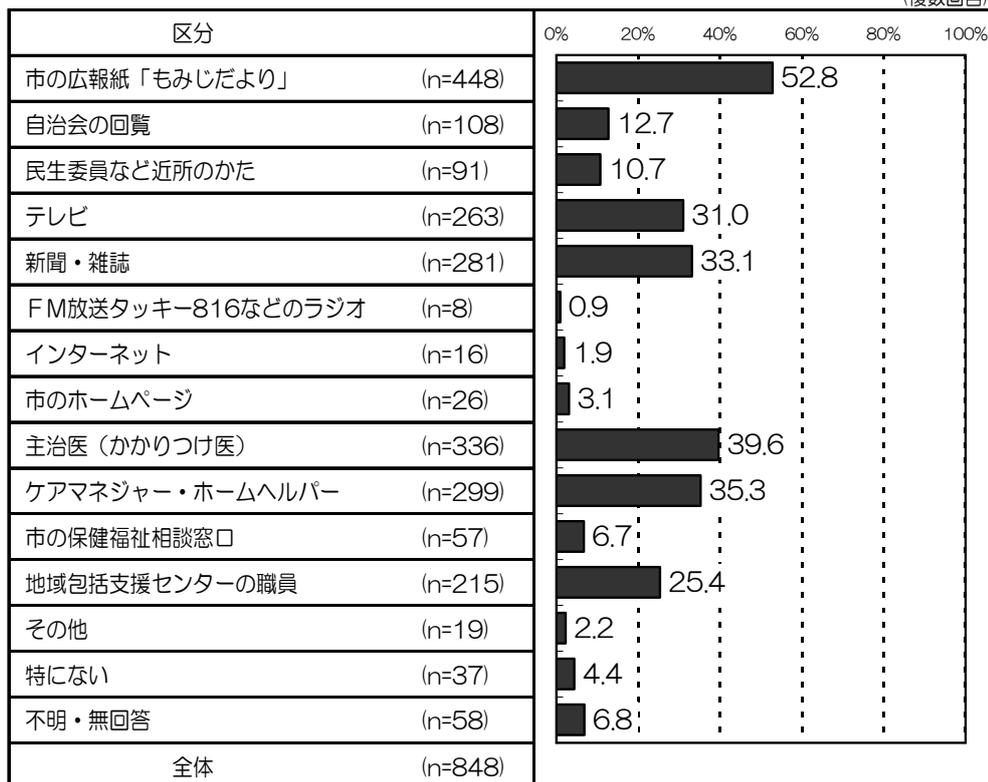


【1号】



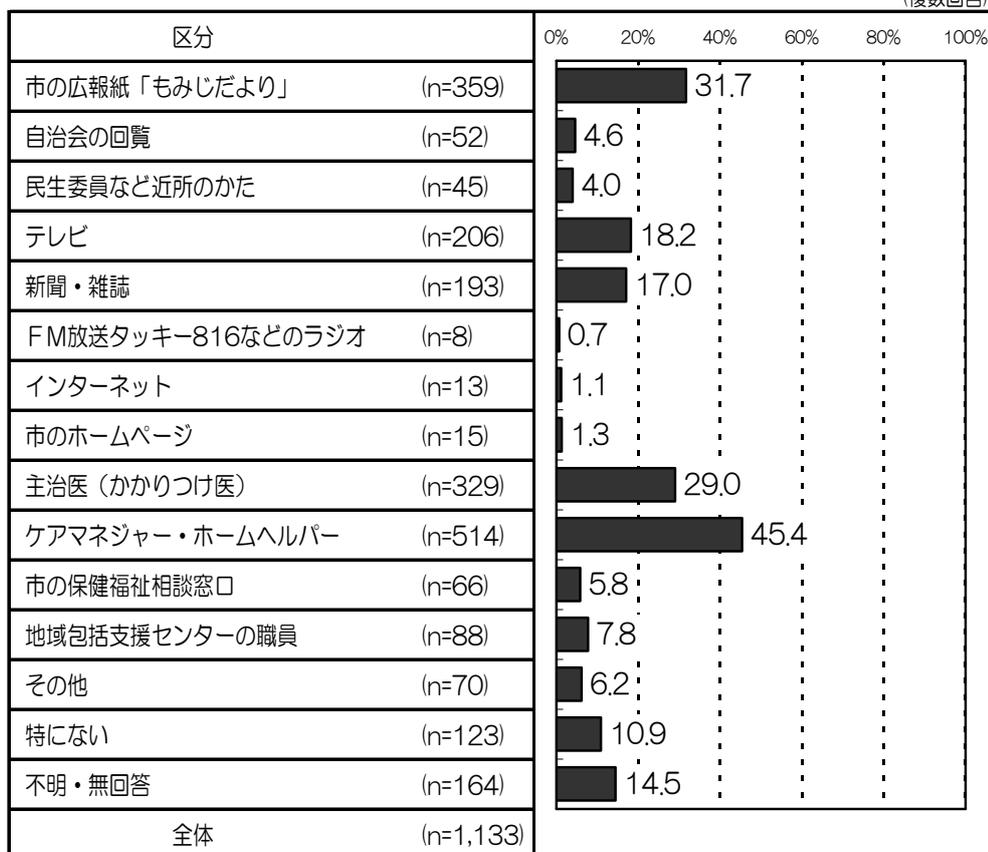
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

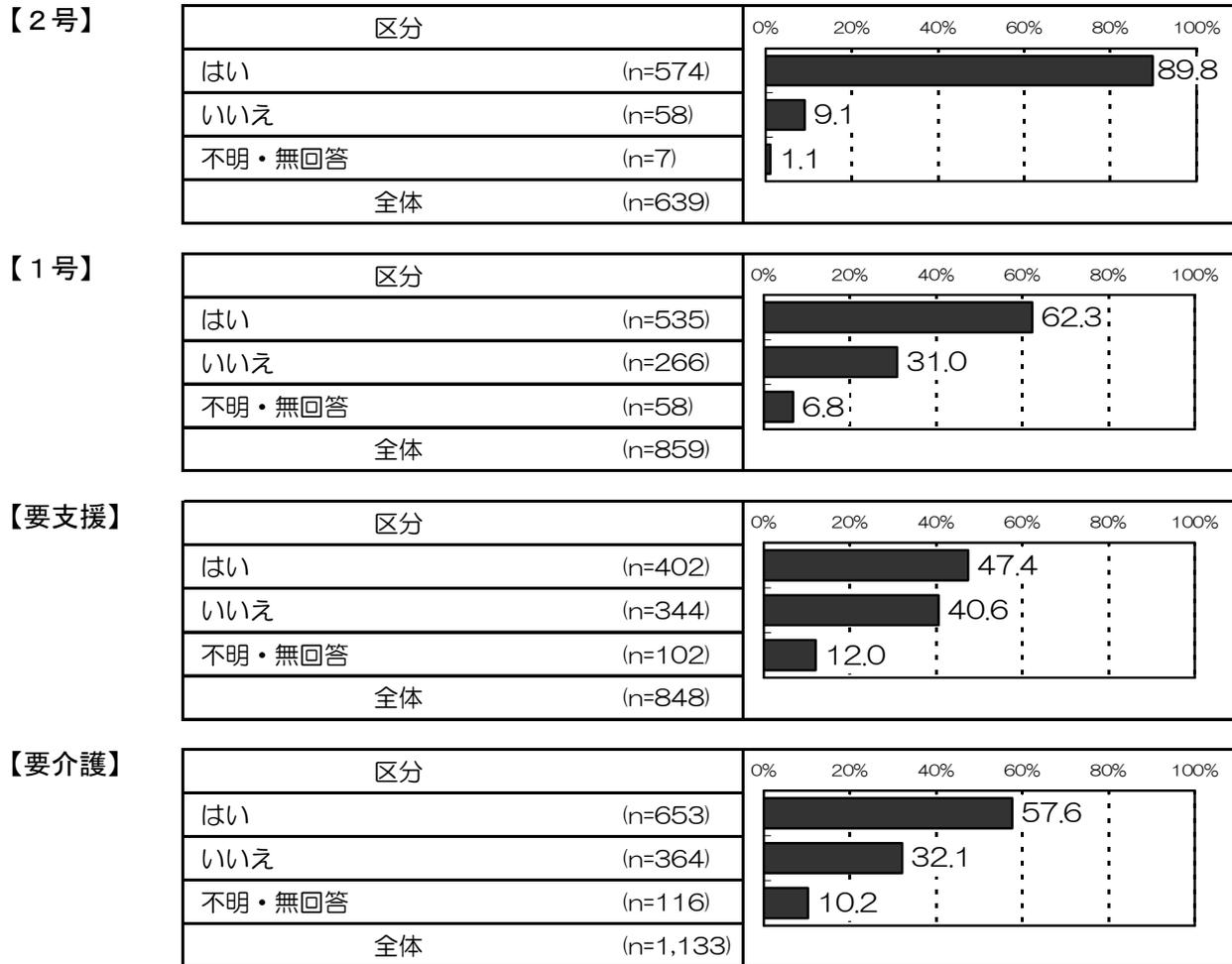
(複数回答)



介護や福祉、健康に関する情報の入手先については、【2号】【1号】【要支援】では「市の広報紙「もみじだより」、【要介護】では「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が最も高くなっています。また、【2号】【1号】では「テレビ」や「新聞・雑誌」、【要支援】では「主治医（かかりつけ医）」や「ケアマネジャー・ホームヘルパー」、【要介護】では「市の広報紙「もみじだより」や「主治医（かかりつけ医）」が続いています。

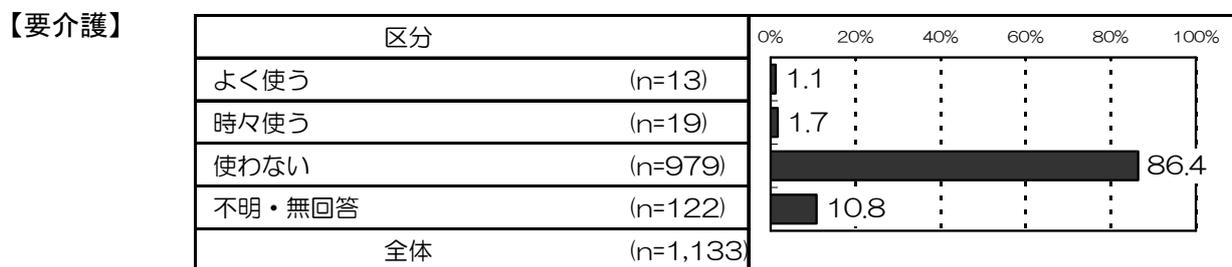
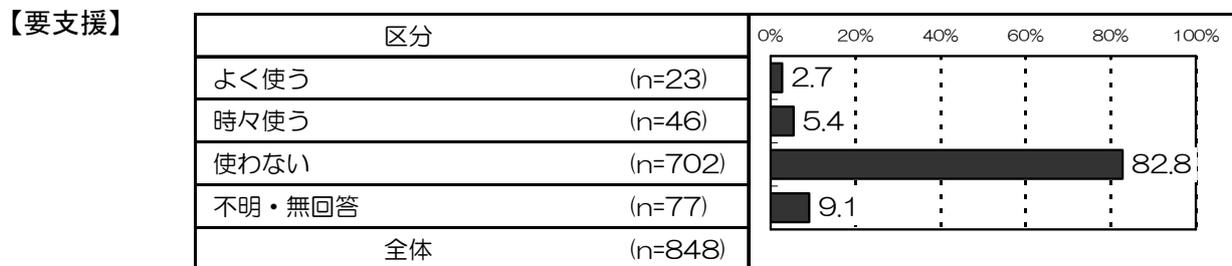
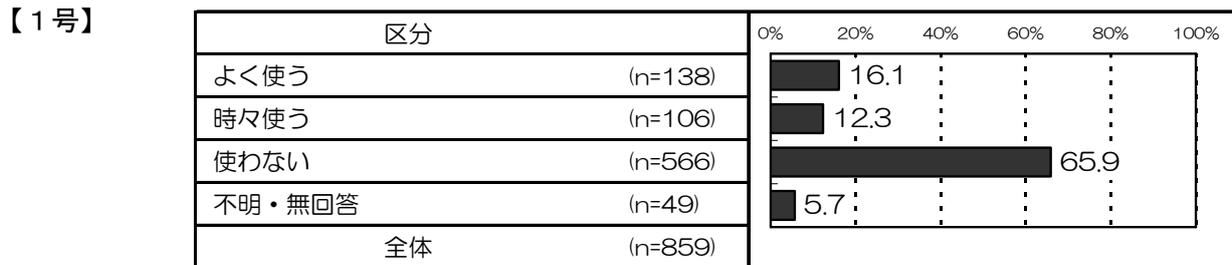
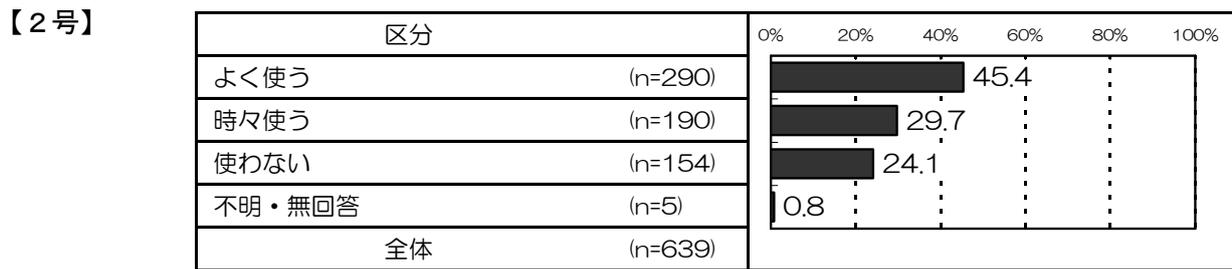
「地域包括支援センターの職員」については、【要支援】で25.4%となっており、その他の区分を上回っています。さらに、「インターネット」については、【2号】で24.4%となっていますが、【1号】では7.3%、【要支援】【要介護】では1~2%程度にとどまっています。

図表 79 ○ ご家族の中でインターネットや電子メールを使えるかたはいらっしゃいますか。



インターネットや電子メールを使える家族の有無については、すべての区分において、インターネット等を使える家族がいる人（「はい」と回答した人）が高く、【2号】では9割程度となっています。ただし、【1号】【要支援】【要介護】では、インターネット等を使える家族がいる人が5～6割となっています。

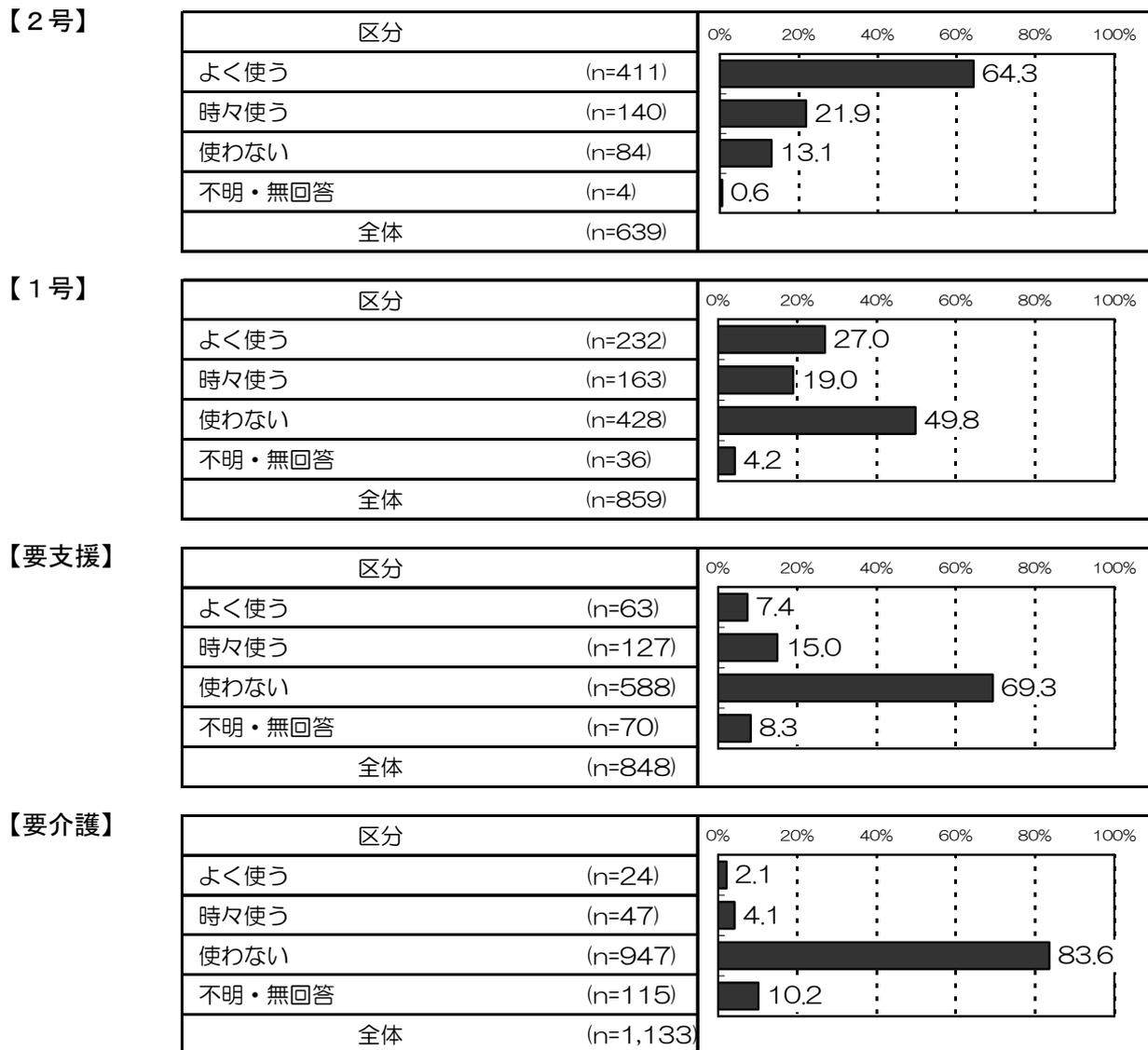
図表 80 ○ ご自身でインターネットや電子メールを使われますか。



自身のインターネットや電子メールの使用状況について、【2号】では「よく使う」、その他の区分では、「使わない」が最も高くなっています。

また、自身でインターネットや電子メールを使用する人（「よく使う」および「時々使う」と回答した人）は、【2号】で75.1%、【1号】で28.4%、【要支援】で8.1%、【要介護】で2.8%となっており、高齢者や要支援・要介護状態になるほど、その割合は急激に減少しています。

図表 81 ○ ご自身で携帯電話のメールを使われますか。



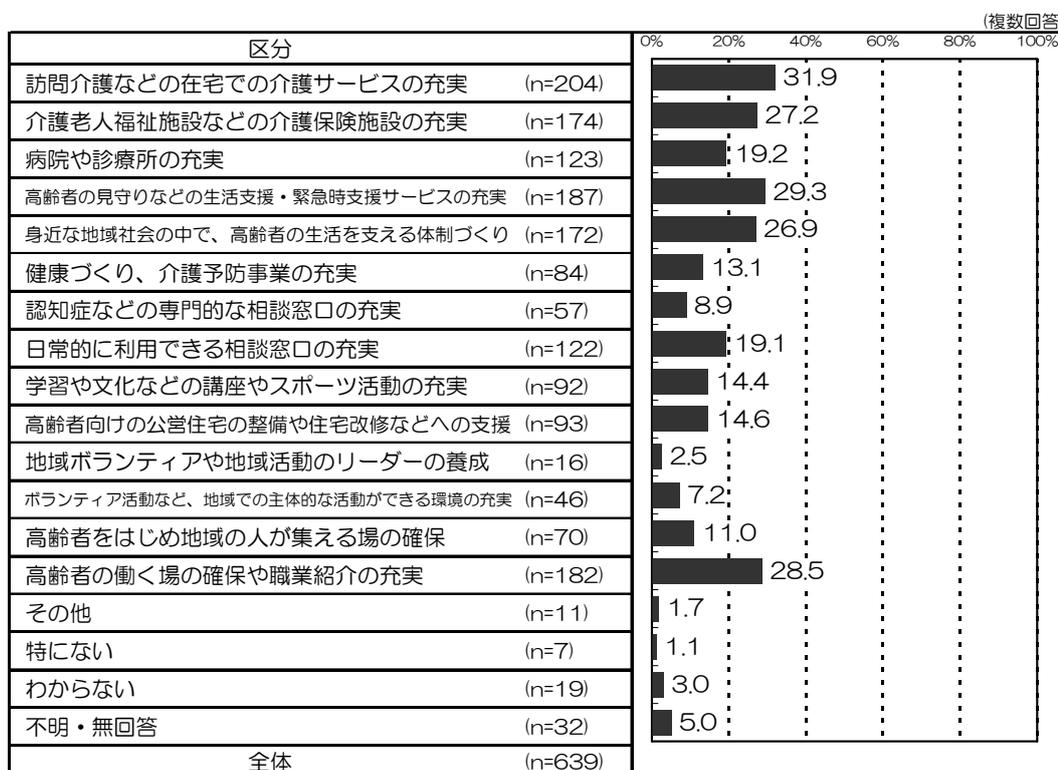
自身の携帯電話のメールの使用状況について、【2号】では「よく使う」、その他の区分では、「使わない」が最も高くなっています。

また、自身で携帯電話のメールを使用する人（「よく使う」および「時々使う」と回答した人）は、【2号】で86.2%、【1号】で46.0%、【要支援】で22.4%、【要介護】で6.2%となっており、高齢者や要支援・要介護状態になるほど、その割合は急激に減少しています。

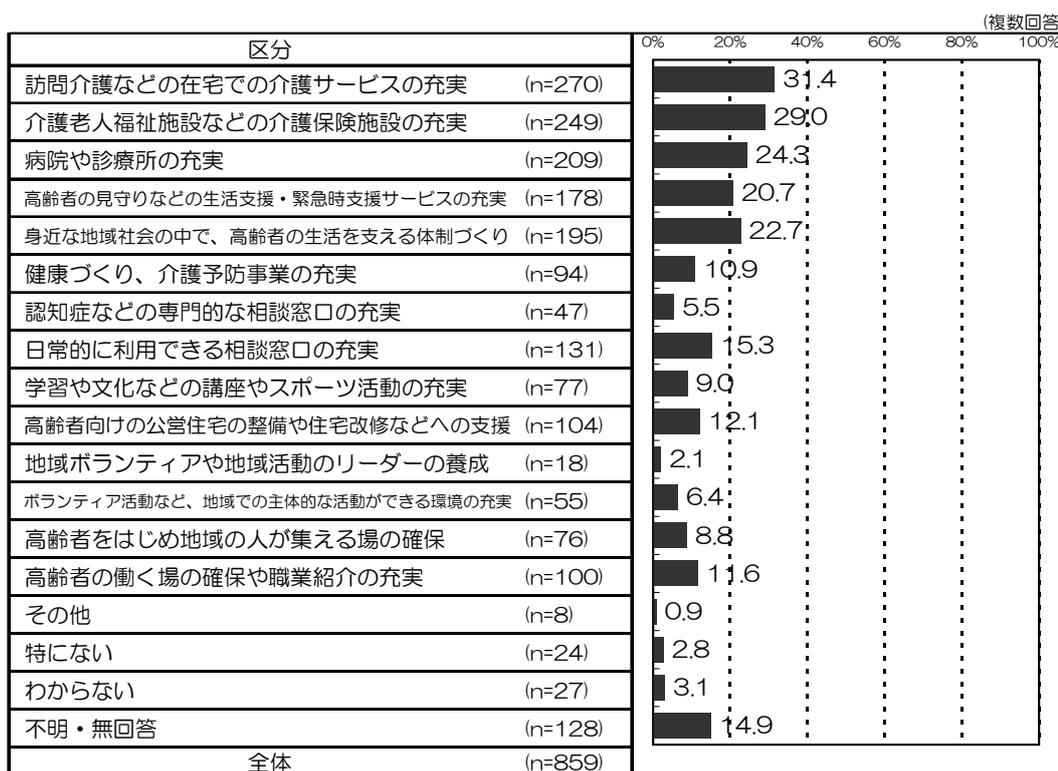
## 高齢者施策について

図表 82 ○ あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策・事業が重要と思いますか。

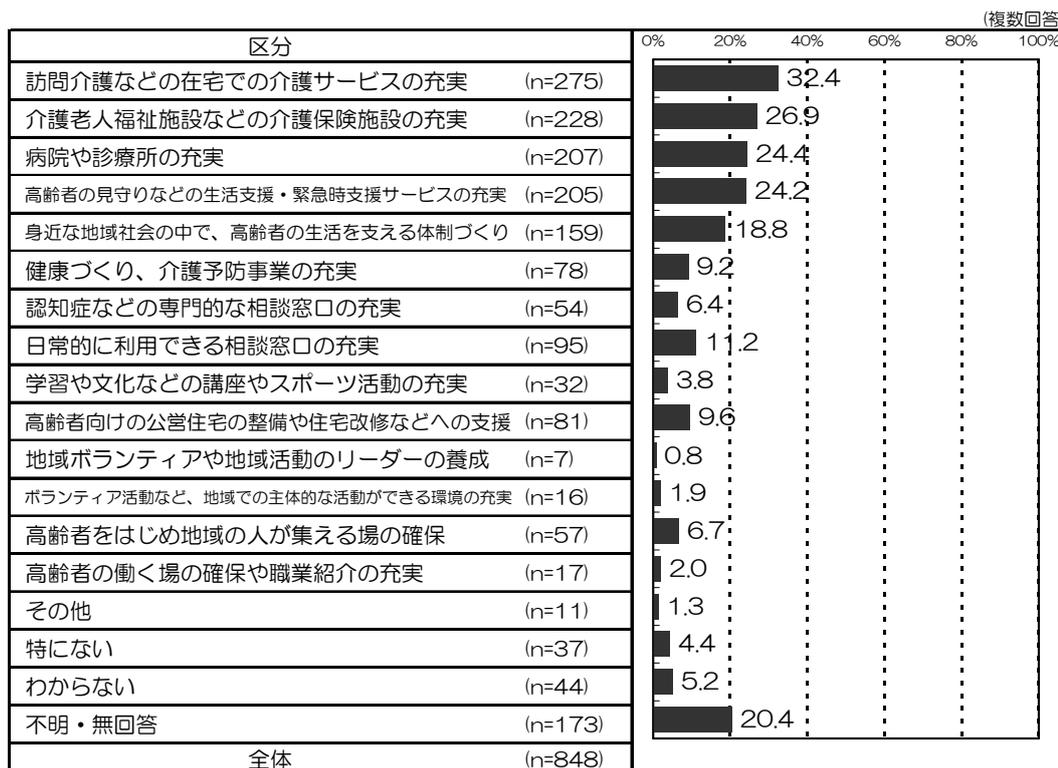
【2号】



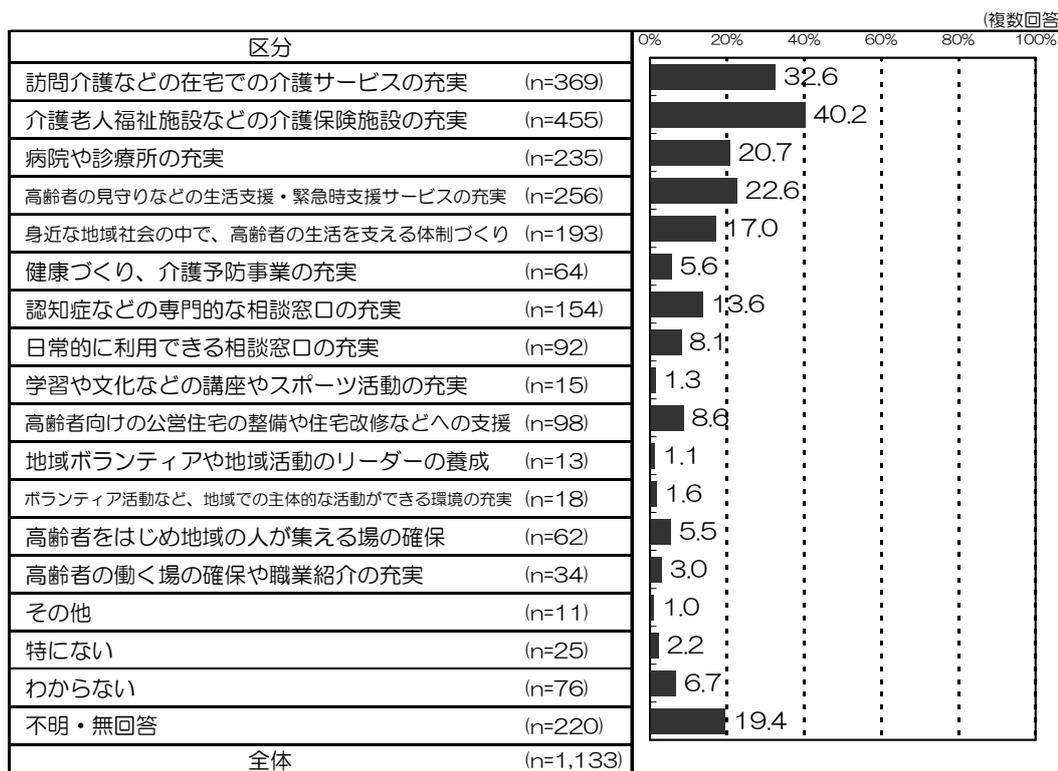
【1号】



【要支援】



【要介護】



重要と考える施策・事業について、【2号】では、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が31.9%で最も高く、「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」(29.3%)、「高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実」(28.5%)などが続きます。

【1号】では、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が31.4%で最も高く、「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」(29.0%)が続き、「病院や診療所の充実」や「身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり」「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」が2割を超えています。

【要支援】では、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が32.4%で最も高く、「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」(26.9%)が続き、「病院や診療所の充実」や「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」が2割を超えています。

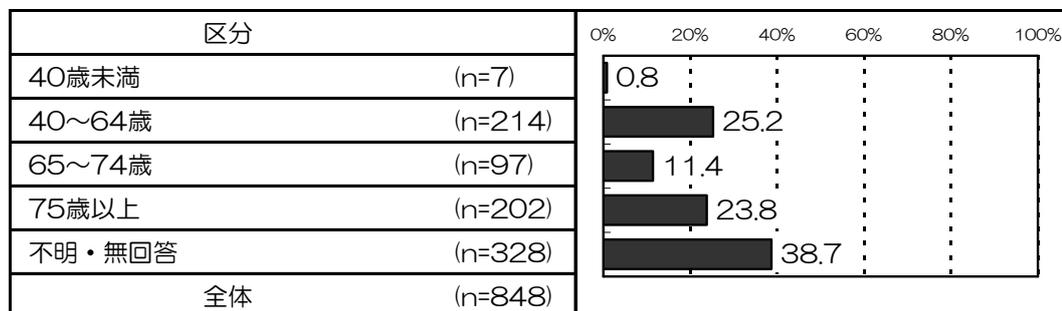
【要介護】では、「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」が40.2%で最も高く、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」(32.6%)が続き、「病院や診療所の充実」や「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」が2割を超えています。

また、「日常的に利用できる相談窓口の充実」は、【2号】【1号】【要支援】で1割を超えており、「高齢者向けの公営住宅の整備や住宅改修などへの支援」は、いずれの区分においても1割前後となっています。

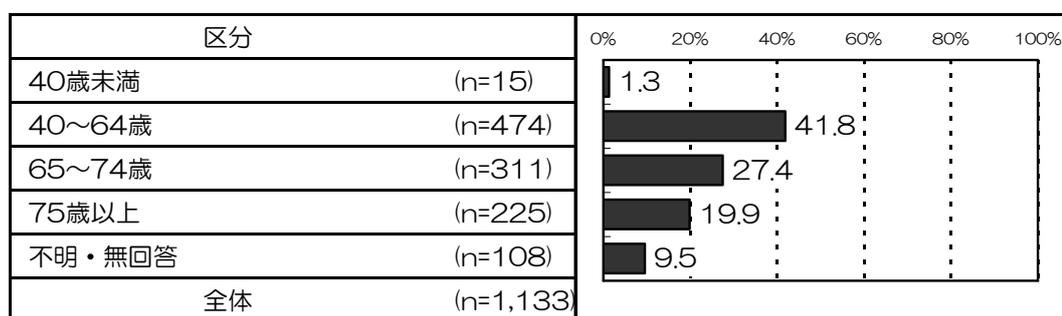
## 介護者について

図表 83 ○ あなた（介護者）は、平成 23 年（2011 年）2 月 1 日現在で何歳ですか。

### 【要支援】

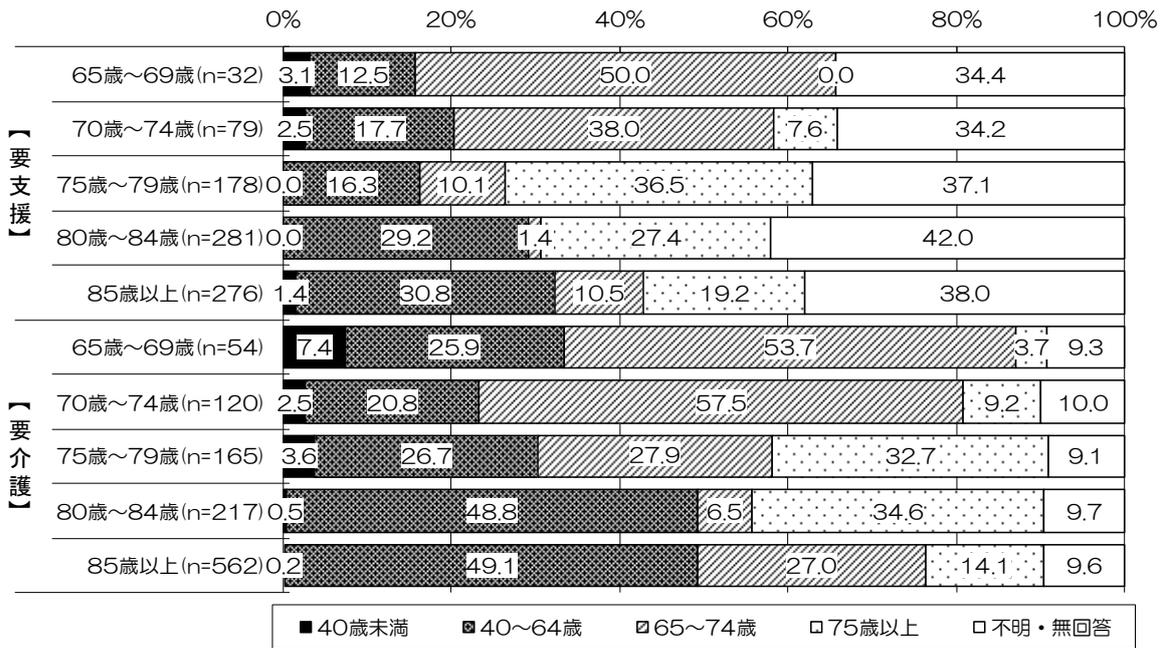


### 【要介護】



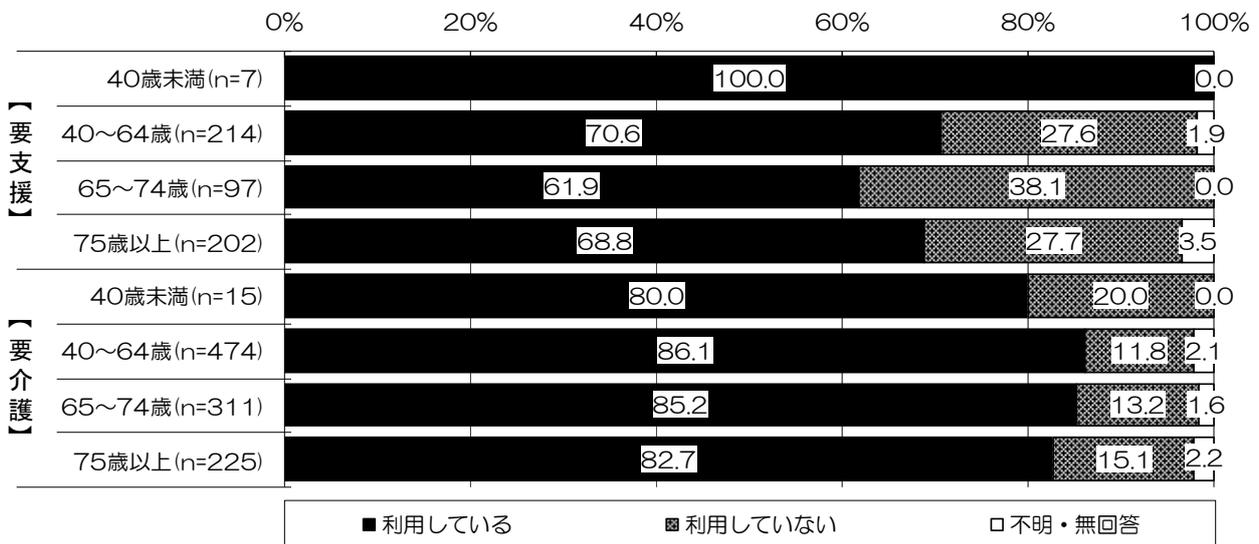
介護者の年齢については、【要支援】【要介護】ともに「40～64歳」が、それぞれ 25.2%、41.8%で最も高くなっており、【要支援】では「75歳以上」(23.8%)、【要介護】では「65～74歳」(27.4%)が続いています。また、65歳以上は、【要支援】で 35.2%、【要介護】で 47.3%となっています。

図表 83-1 ■ 調査対象者年齢階層別の介護者の年齢階層



介護者の年齢について、調査対象者の年齢階層別で見ると、【要支援】【要介護】ともに、調査対象者が65~74歳で「65~74歳」、75~79歳で「75歳以上」、80歳以上で「40~64歳」の割合が最も高くなっています。

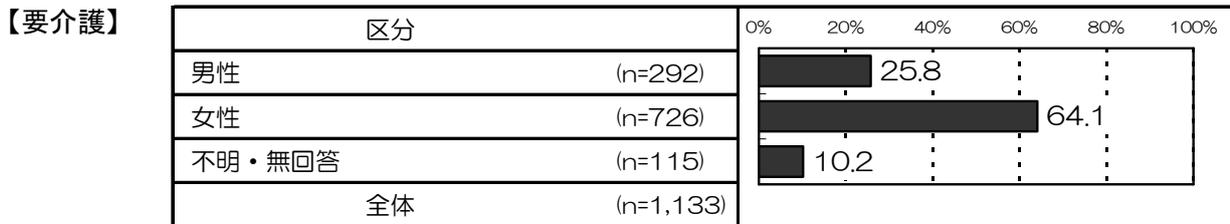
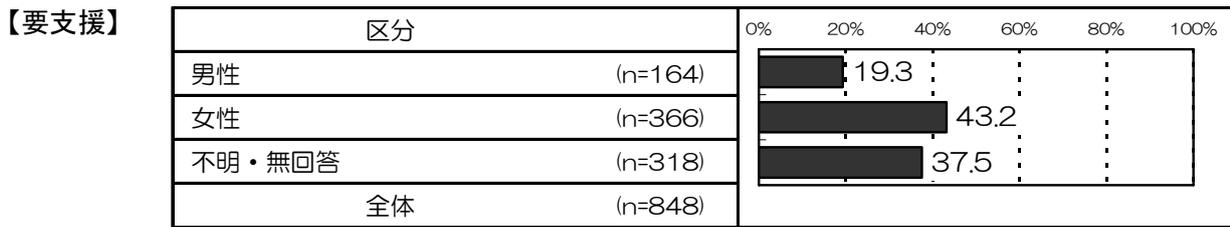
図表 83-2 ■ 介護者の年齢階層別の介護保険サービスの利用状況



調査対象者の介護保険サービスの利用状況について、介護者の年齢階層別で見ると、【要支援】では、介護者の年齢が40歳未満で、介護保険サービスの利用率は100.0%となっており、40~64歳や75歳以上では7割程度を占めています。

【要介護】では、介護者の年齢が40歳未満で、介護保険サービスの利用率は80.0%となっています。また、40歳以上では、年齢が高くなるほど、利用率は微減傾向にあります。

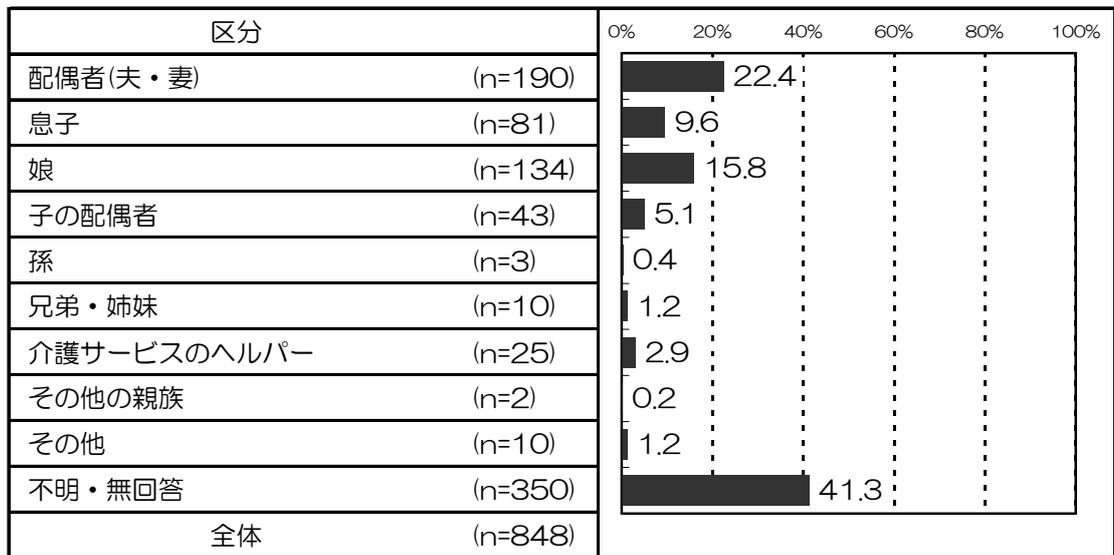
図表 84 ○ あなた（介護者）の性別はどちらですか。



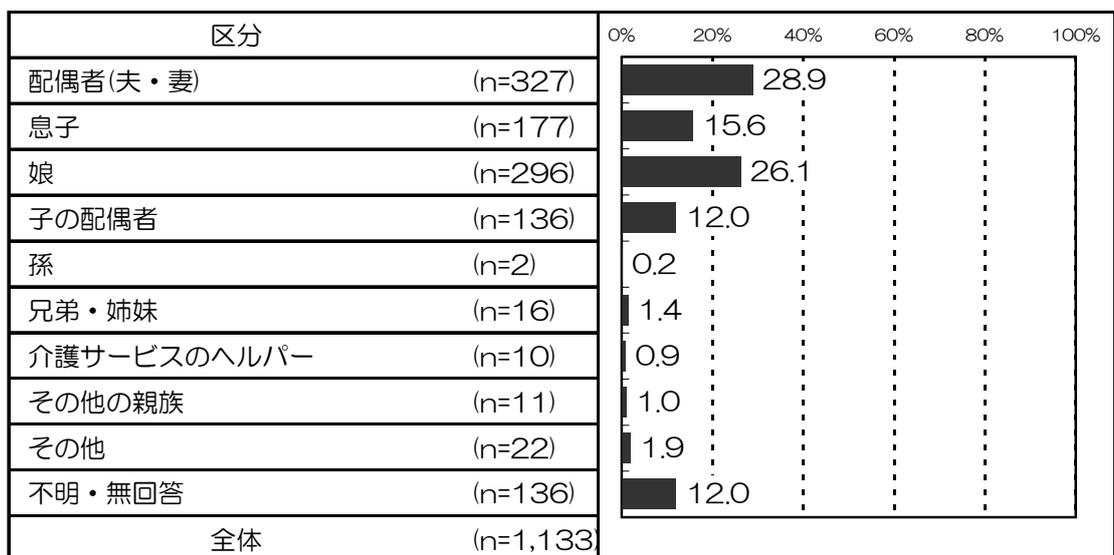
介護者の性別については、【要支援】【要介護】ともに「女性」の割合が高く、それぞれ 43.2%、64.1%となっています。

図表 85 ○ 調査対象者（要介護認定を受けているかた）から見た、あなた（介護者）の続柄についておたずねします。

【要支援】



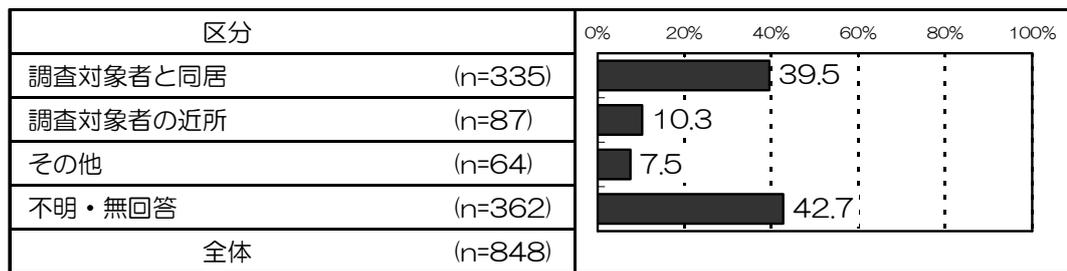
【要介護】



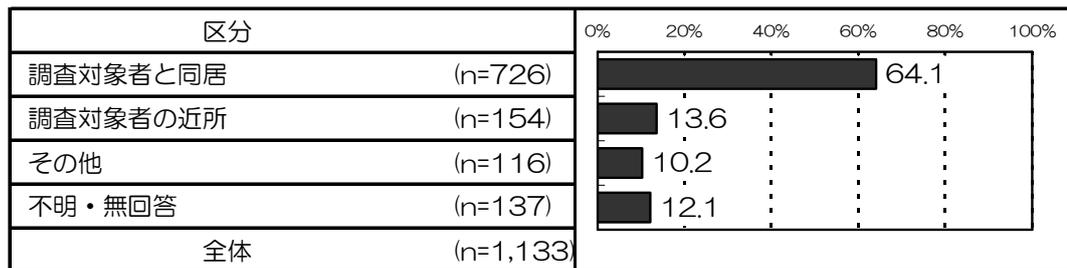
介護者の続柄については、【要支援】【要介護】ともに「配偶者」が、それぞれ 22.4%、28.9%で最も高くなっており、【要支援】では「娘」(15.8%)、「息子」(9.6%)、【要介護】では「娘」(26.1%)、「息子」(15.6%)が続いています。

図表 86 ○ あなた（介護者）のお住まいについておたずねします。

【要支援】



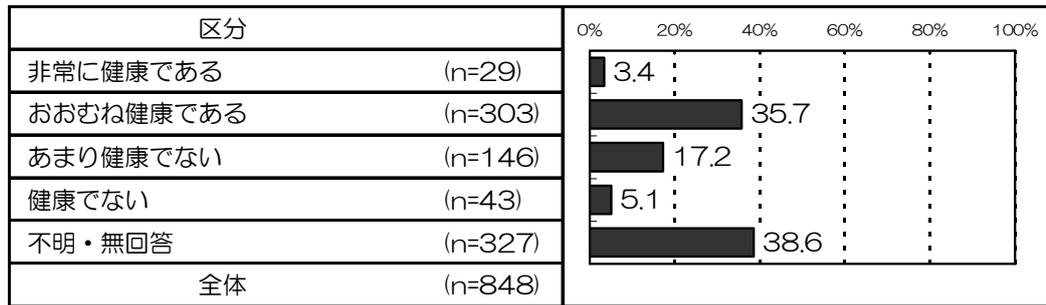
【要介護】



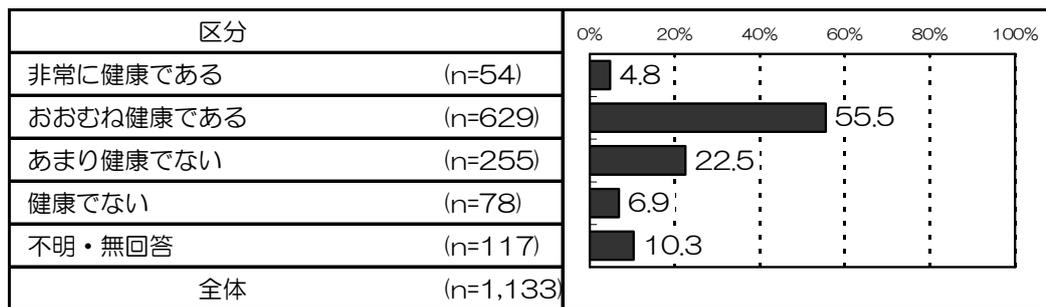
介護者の住まいについては、【要支援】【要介護】ともに「調査対象者と同居」の割合が高く、それぞれ 39.5%、64.1%となっていますが、特に【要介護】では【要支援】と比較して、調査対象者と同居している介護者が多いことがわかります。

図表 87 ○ あなた（介護者）の健康状態についておたずねします。

【要支援】



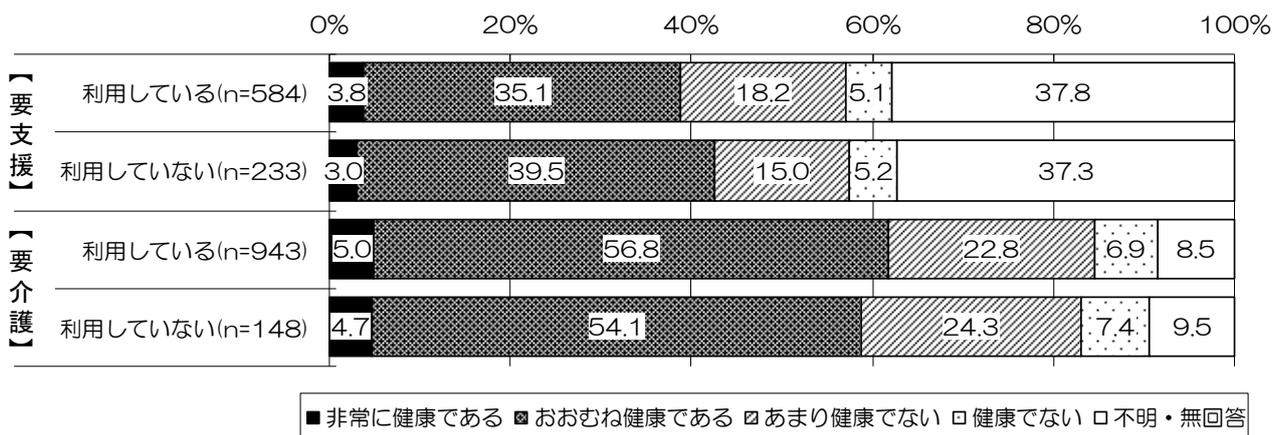
【要介護】



介護者の健康状態については、【要支援】【要介護】ともに「おおむね健康である」が、それぞれ 35.7%、55.5%で最も高くなっています。

また、自身は健康でないと感じている介護者（「あまり健康でない」および「健康でない」と回答した人）は、【要支援】で 22.3%、【要介護】で 29.4%となっています。

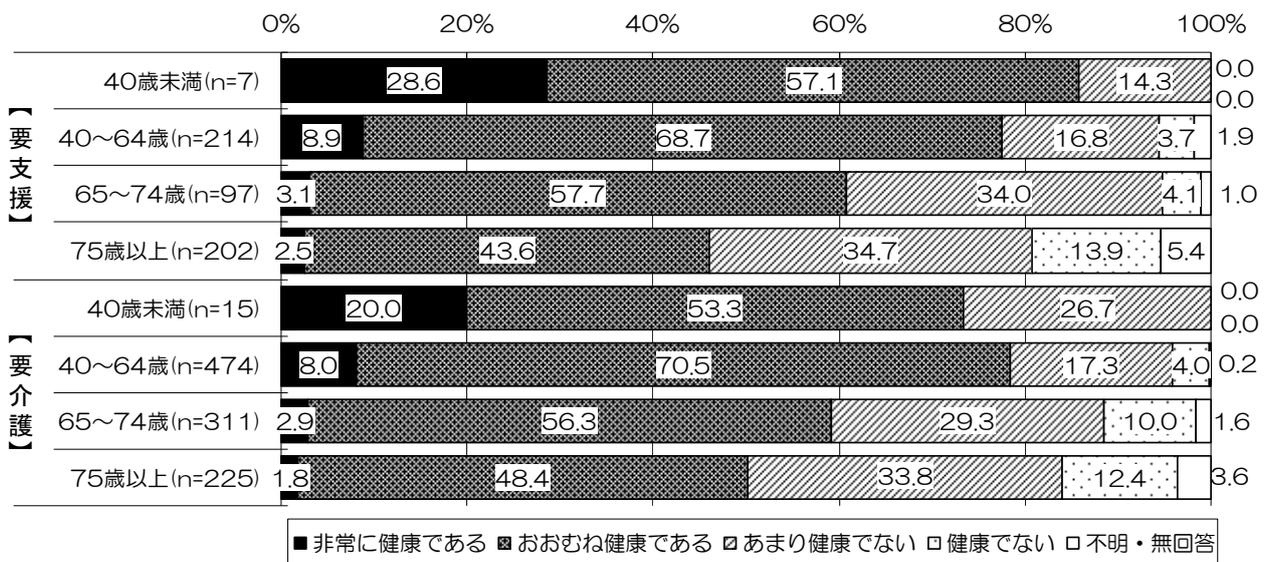
図表 87-1 ■ 介護保険サービスの利用状況別の主観的な健康状態



介護者の健康状態について、介護保険サービス利用状況別でみると、【要支援】では、サービスを「利用していない」で、自身は健康であると感じている介護者（「非常に健康である」および「おおむね健康である」と回答した人）が 42.5%となっており、「利用している」と比べて高くなっています。

一方、【要介護】では、サービスを「利用している」で、自身は健康であると感じている介護者が 61.8%となっており、「利用していない」と比べて高くなっています。

図表 87-2 ■ 介護者の年齢階層別の主観的な健康状態

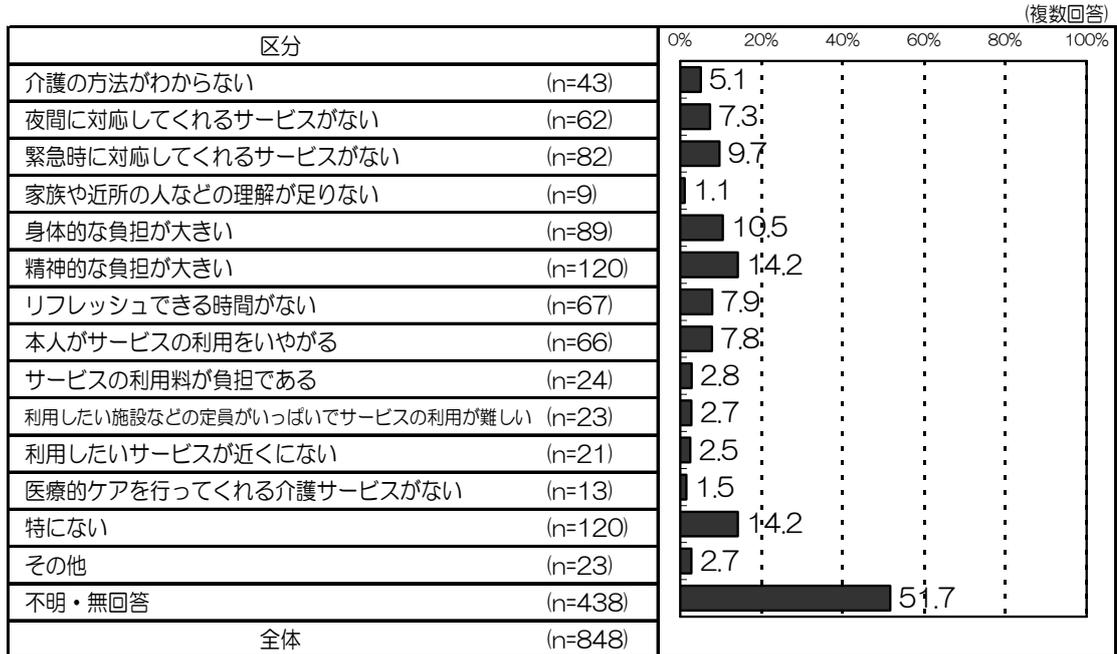


介護者の健康状態について、介護者の年齢階層別で見ると、【要支援】【要介護】ともに、おおむね年齢が高くなるほど、健康状態が悪くなる傾向にあります。

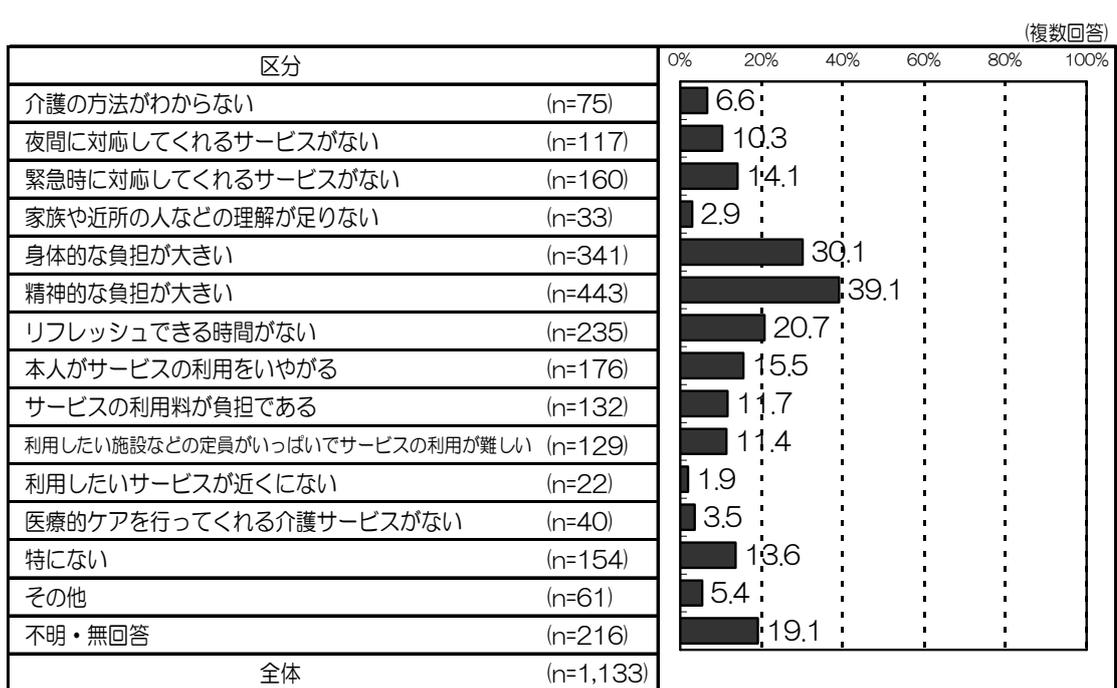
特に、40歳未満から40歳以上にかけて、「非常に健康である」の割合が、【要支援】では3分の1程度に、【要介護】では半分程度に減少しています。

図表 88 ○ あなた（介護者）は、介護を行う上で困っていることはありますか。

【要支援】



【要介護】



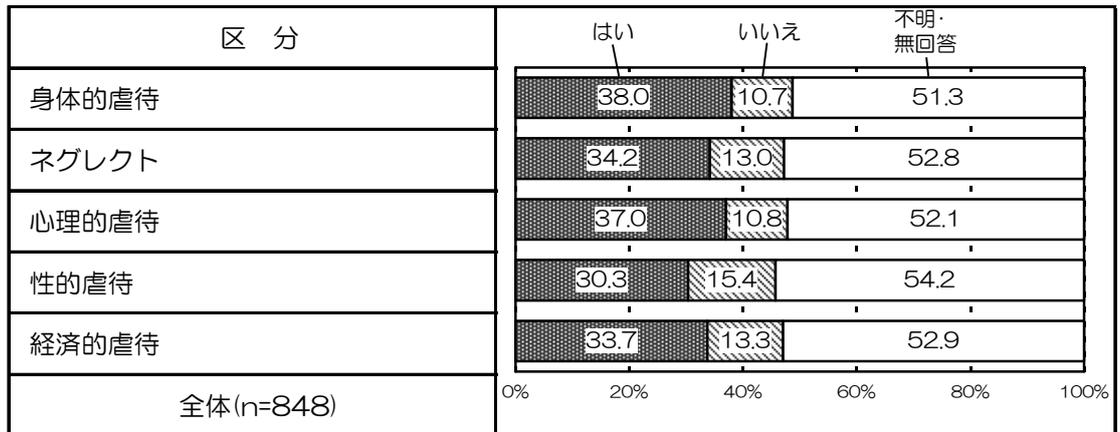
介護者が介護を行ううえで困っていることについては、【要支援】では「精神的な負担が大きい」と「特にない」がともに 14.2%で最も高く、「身体的な負担が大きい」(10.5%)が続きます。

【要介護】では「精神的な負担が大きい」が 39.1%で最も高く、「身体的な負担が大きい」(30.1%)、「リフレッシュできる時間がない」(20.7%)が続いています。

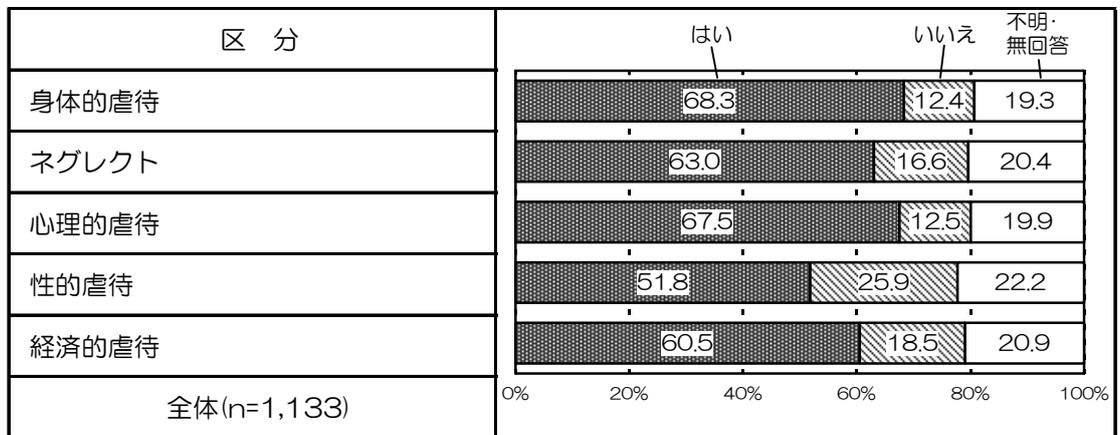
総じて、【要支援】【要介護】ともに、「精神的な負担が大きい」や「身体的な負担が大きい」が上位を占めていますが、特に【要介護】でその割合が高くなっています。

図表 89 ○ あなた（介護者）は高齢者への虐待の種類を知っていますか。

【要支援】



【要介護】

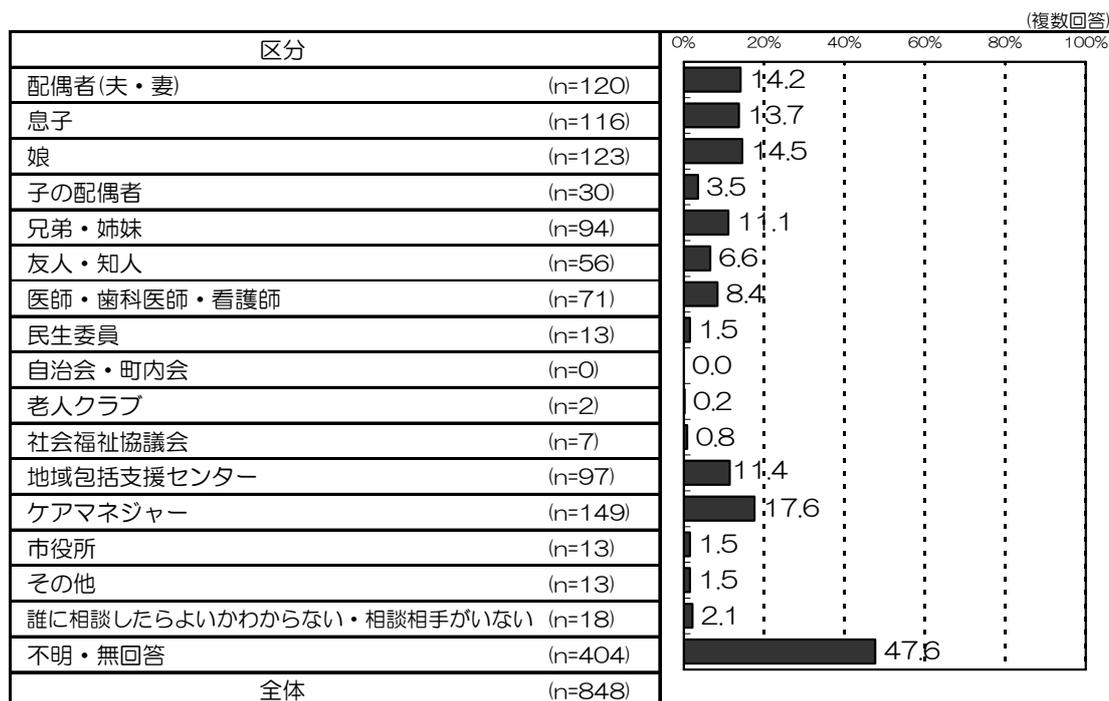


高齢者虐待に関する認知度については、【要支援】【要介護】ともに、すべての項目で「はい」の割合が高くなっています。ただし、「性的虐待」については、【要支援】【要介護】ともに、他の項目より「はい」の割合が低くなっています。

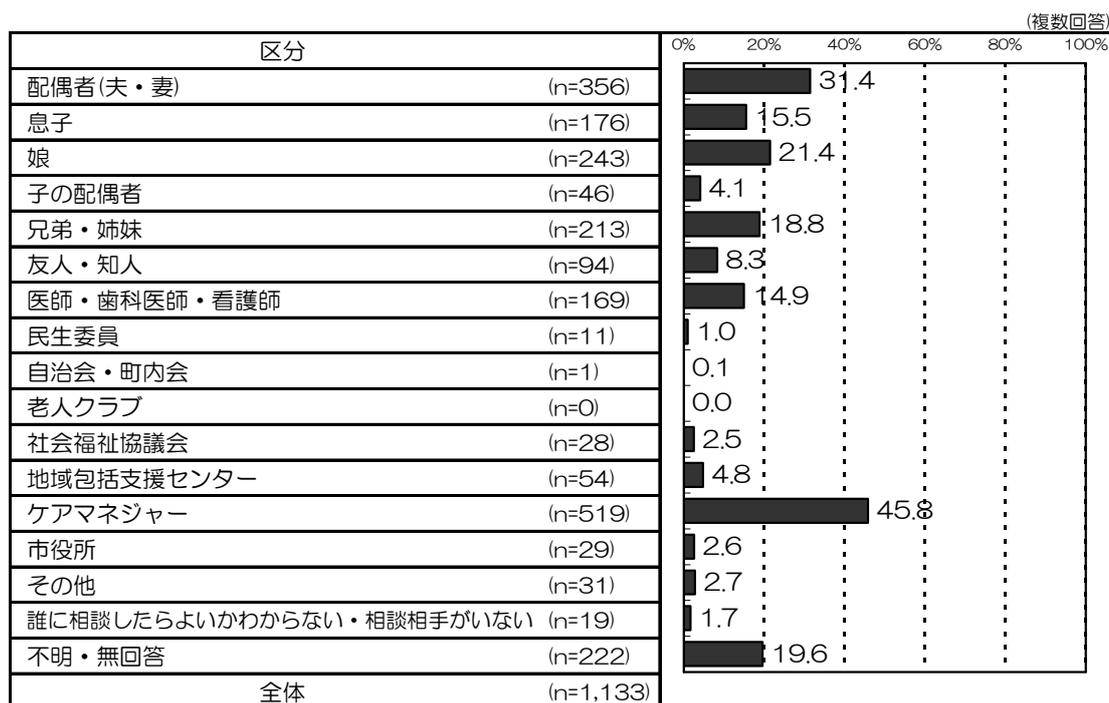
なお、【要介護】については、すべての項目における「はい」の割合が、前回調査結果（「身体的虐待」で60.1%、「ネグレクト」で56.9%、「心理的虐待」で61.7%、「性的虐待」で42.3%、「経済的虐待」で51.0%）を上回っています。

図表 90 ○ あなた（介護者）は介護に困ったとき誰に相談しますか。

【要支援】



【要介護】



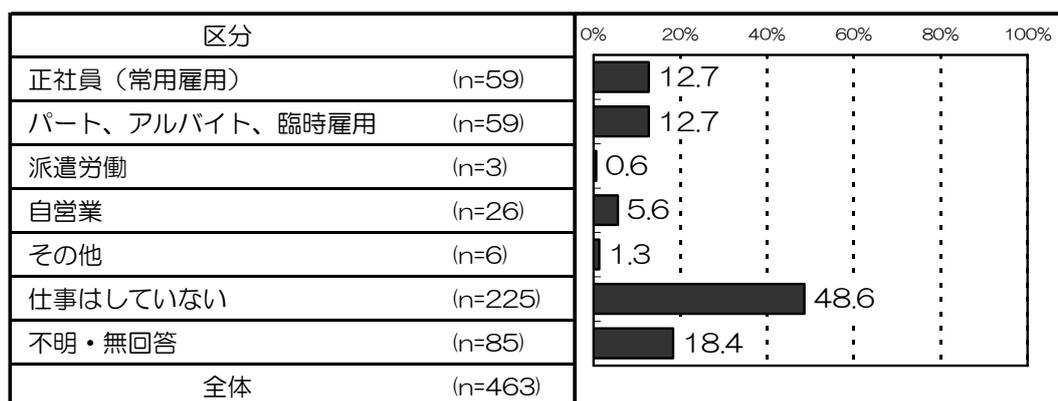
介護者が介護に困ったときに相談する相手については、【要支援】【要介護】ともに、「ケアマネジャー」が、それぞれ 17.6%、45.8%で最も高くなっており、「配偶者」や「娘」「息子」などの家族が続きます。また、「地域包括支援センター」については、【要支援】で 11.4%となっていますが、【要介護】では 4.8%となっています。

一方、「誰に相談したらよいかわからない・相談相手がいない」については、【要支援】【要介護】ともに 3%未満となっており、前回調査結果（【要支援】4.0%、【要介護】4.2%）より減少しています。

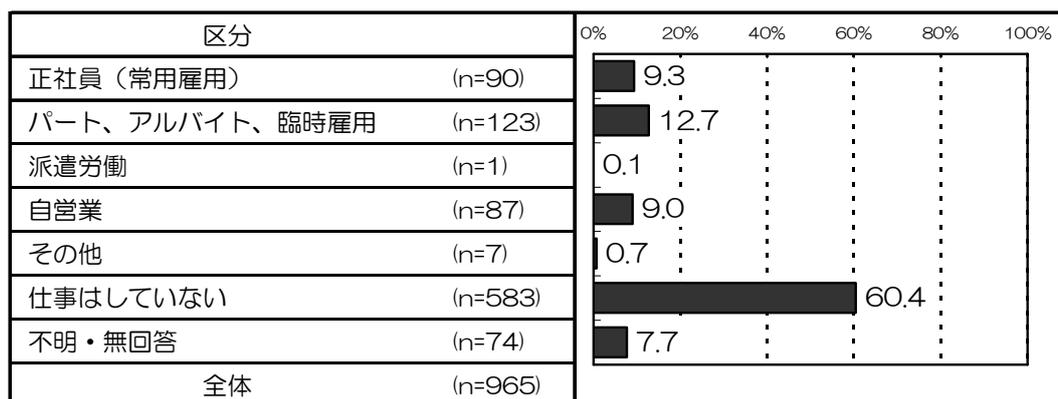
図表 91 ○ あなた（介護者）の仕事の状況について

介護者の仕事の状況については、介護者が家族か親族の場合のみ回答するようになっていたため、介護者の属性において、介護サービスのヘルパーなどの家族以外の介護者と回答があった件数や不明・無回答の件数を除いた件数を有効回答数としています。（要支援：463 件、要介護：965 件）

【要支援】



【要介護】



介護者の仕事の状況について、「仕事はしていない」は、【要支援】で 48.6%、【要介護】で 60.4%を占めています。

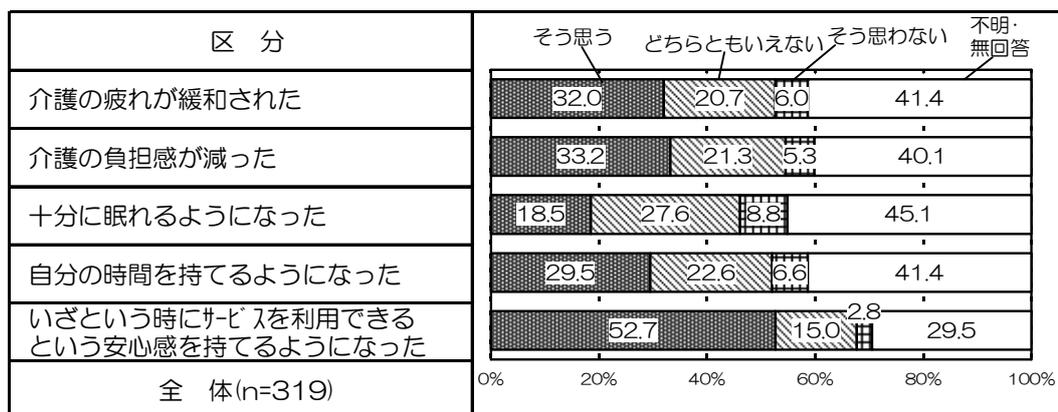
なお、「仕事をしていない」については、前回調査結果（【要支援】41.5%、【要介護】56.5%）と比較すると、若干増加しています。

図表 92 ○ 介護保険サービスを利用して、あなた（介護者）の生活は、どのように変わりましたか。

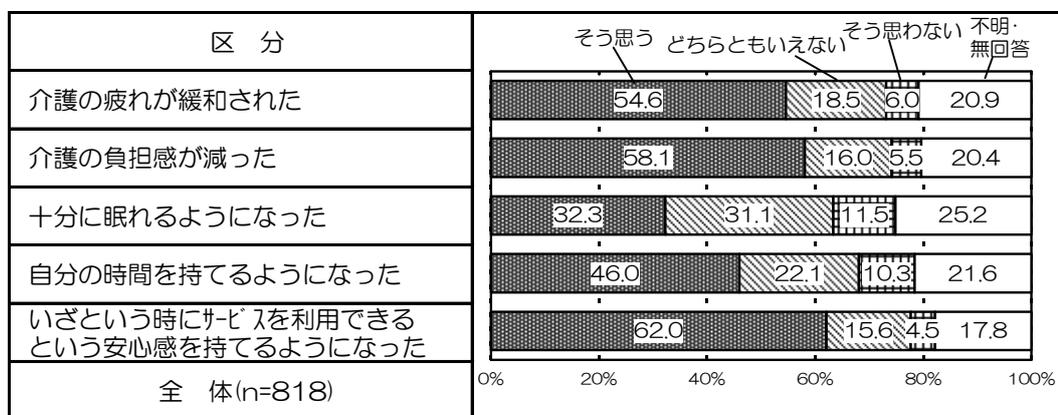
介護保険サービス利用による介護者の生活の変化については、介護者が家族か親族の場合のみ回答するようになっているため、介護者の属性において、介護サービスのヘルパーなどの家族以外の介護者と回答があった件数や不明・無回答の件数を除いた件数を有効回答数としています。（要支援：463件、要介護：965件）

ただし、本設問は介護保険サービスを利用している介護者に対する限定設問ですので、回答数は、要支援で319件、要介護で818件となっています。

【要支援】



【要介護】



介護保険サービスを利用することによる介護者の日常生活の変化については、「いざという時にサービスを利用できるという安心感を持てるようになった」が、【要支援】で52.7%、【要介護】で62.0%と高くなっており、前回調査結果（【要支援】45.4%、【要介護】57.6%）から若干増加しています。

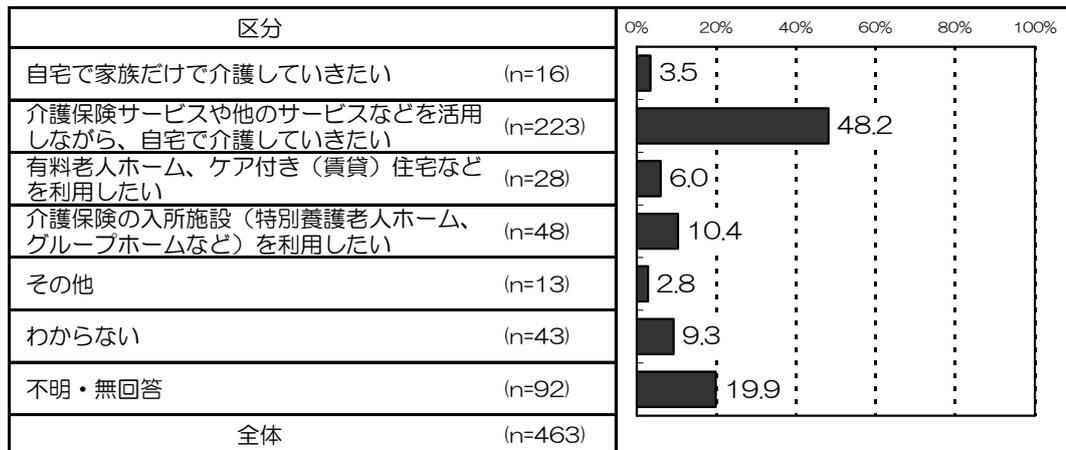
また、【要支援】【要介護】ともに、「介護の負担感が減った」や「介護の疲れが緩和された」が続いています。

総じて、【要支援】【要介護】ともに、「いざという時にサービスを利用できるという安心感を持てるようになった」や「介護の負担感が減った」「介護の疲れが緩和された」といった変化がある程度見られている一方で、「十分に眠れるようになった」といった変化はあまり見られていません。

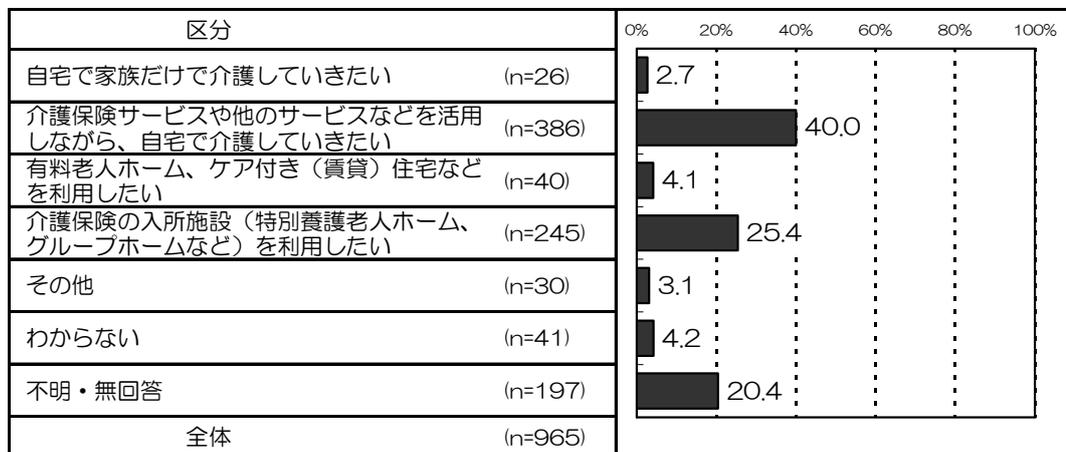
なお、前回調査結果においても、同様の傾向が見られています。

図表 93 ○ あなた（介護者）は、今後どのように介護していきたいとお考えですか。

【要支援】



【要介護】



介護者の将来の介護希望については、「介護保険サービスや他のサービスなどを活用しながら、自宅で介護していきたい」が、【要支援】で48.2%、【要介護】で40.0%と最も高くなっています。

一方、施設入所を希望する人（「有料老人ホーム、ケア付き（賃貸）住宅などを利用したい」および「介護保険の入所施設を利用したい」と回答した人）は、【要支援】では16.4%ですが、【要介護】では29.5%と、【要支援】を2倍程度上回っています。

なお、「介護保険サービスや他のサービスなどを活用しながら、自宅で介護していきたい」については、【要支援】では前回調査結果（40.0%）から増加していますが、【要介護】では前回調査結果（44.5%）から減少しています。

## 生活状況評価

調査結果から、以下に示す高齢者の生活機能や日常生活、社会参加の状況などを評価します。なお、評価は、「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業・結果報告書」（厚生労働省 平成 22 年 10 月）において提示された手法に可能な限り沿う形で行いました。

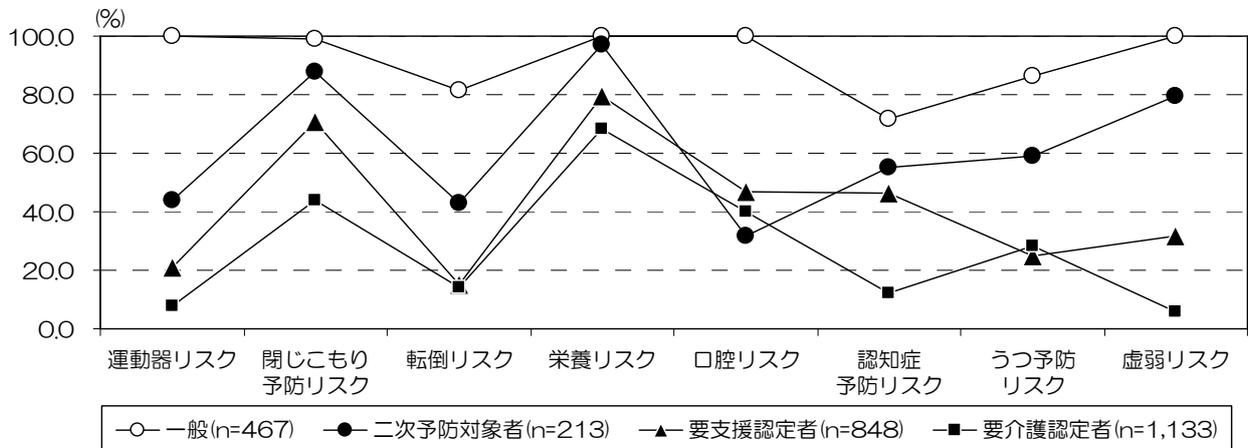
評価項目		内容
生活機能	運動器	基本チェックリストに基づく運動器リスクについての評価
	閉じこもり予防	基本チェックリストに基づく閉じこもり予防リスクについての評価
	転倒	転倒リスクについての評価（杏林大学鳥羽研二教授により開発された簡易式の転倒チェックシートに準じた設問を活用）
	栄養	基本チェックリストに基づく栄養リスクについての評価
	口腔	基本チェックリストに基づく口腔リスクについての評価
	認知症予防	基本チェックリストに基づく認知症予防リスクについての評価
	うつ予防	基本チェックリストに基づくうつ予防リスクについての評価
	虚弱	基本チェックリストで、うつ予防に関する 5 項目を除いた 20 項目中、10 項目が該当したかについての評価
	二次予防対象者	運動器、栄養、口腔、虚弱のいずれかの評価項目が該当している方（二次予防対象者）についての評価
日常生活	手段的自立度（IADL）	活動的な日常生活をおくるための動作の能力についての評価（老研式活動能力標準に準じた設問より評価）
	日常生活動作（ADL）	日常生活動作（ADL）についての評価（完全自立、一部介助、起居移動中心介助、介助）
社会参加	知的能動性	余暇や創作など生活を楽しむ能力についての評価（老研式活動能力標準に準じた設問より評価）
	社会的役割	地域で社会的な役割をはたす能力についての評価（老研式活動能力標準に準じた設問より評価）

評価結果において、認定状況は以下のように定義しています。

認定状況	内容
一般	第1号被保険者調査の回答者（非認定者）のうち、二次予防対象者以外の方
二次予防対象者	第1号被保険者調査の回答者（非認定者）のうち、基本チェックリストに基づく運動器、栄養、口腔、虚弱のいずれかのリスク該当者となる方（重複者含む）
要支援認定者	要支援・要介護認定者調査の回答者（認定者）のうち、要支援認定を受けている方
要介護認定者	要支援・要介護認定者調査の回答者（認定者）のうち、要介護認定を受けている方

図表 94 ○ 生活機能の評価結果

生活機能リスク非該当者（リスクなしの方）の割合（認定状況別）



		該当	非該当	不明・無回答
リスク	一般	0.0	100.0	0.0
	二次予防対象者	56.3	43.7	0.0
	要支援認定者	63.1	21.2	15.7
	要介護認定者	73.6	8.0	18.4
予防リスク	一般	1.1	98.9	0.0
	二次予防対象者	12.2	87.8	0.0
	要支援認定者	25.2	70.9	3.9
	要介護認定者	47.0	44.0	8.9
転倒リスク	一般	15.0	81.4	3.6
	二次予防対象者	51.6	42.7	5.6
	要支援認定者	69.2	15.2	15.6
	要介護認定者	60.6	14.3	25.1
栄養リスク	一般	0.0	100.0	0.0
	二次予防対象者	2.8	97.2	0.0
	要支援認定者	4.2	79.7	16.0
	要介護認定者	8.9	68.3	22.8

		該当	非該当	不明・無回答
口腔リスク	一般	0.0	100.0	0.0
	二次予防対象者	68.1	31.9	0.0
	要支援認定者	40.9	46.8	12.3
	要介護認定者	41.2	40.0	18.8
予防認知症リスク	一般	28.1	71.9	0.0
	二次予防対象者	45.1	54.9	0.0
	要支援認定者	46.8	46.5	6.7
	要介護認定者	75.0	12.4	12.6
うつ予防リスク	一般	11.8	86.3	1.9
	二次予防対象者	34.7	59.2	6.1
	要支援認定者	54.6	24.9	20.5
	要介護認定者	49.3	28.4	22.2
虚弱リスク	一般	0.0	100.0	0.0
	二次予防対象者	20.7	79.3	0.0
	要支援認定者	32.5	31.8	35.6
	要介護認定者	52.9	5.7	41.4

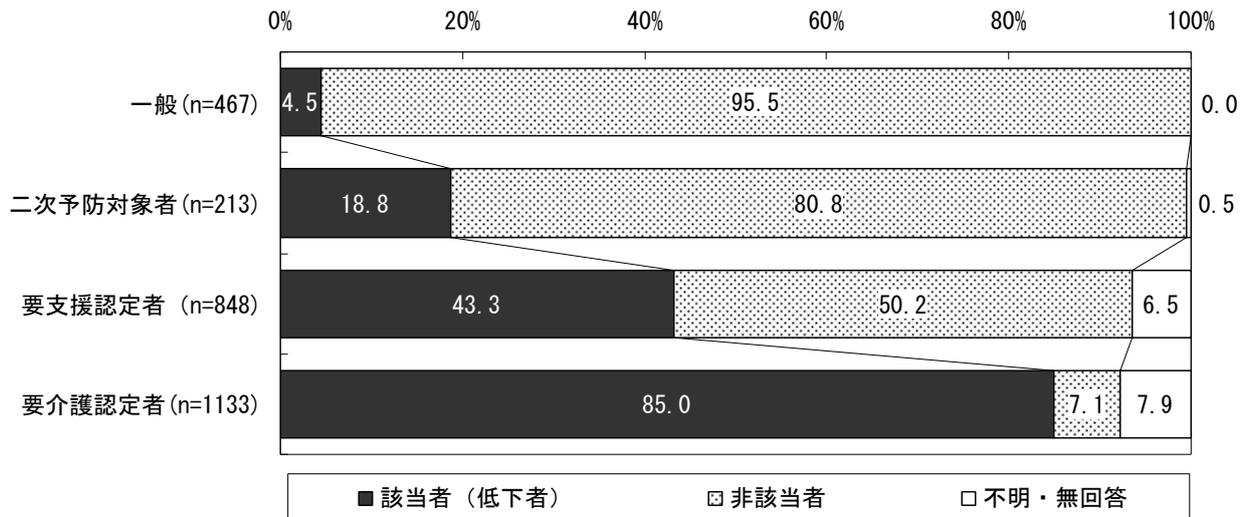
生活機能について、各評価項目の非該当者（リスクなしの方）の割合をみると、基本的には、一般でその割合が最も高く、次いで二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者の順となっており、それぞれの生活機能のレベルを反映した結果となっています。ただし、口腔リスクでは、二次予防対象者の非該当者割合が要支援認定者や要介護認定者の非該当者割合を下回っており、二次予防対象者は認定者より口腔リスクが高い結果となっています。

二次予防対象者では、他のリスクに比べ、運動器、転倒、口腔リスクの非該当者割合が少ないことから、生活機能の中で、運動器、転倒、口腔のリスクが比較的高いことがわかります。また、一般においても、認知症予防リスクや転倒リスク該当者がいる程度存在していることがわかります。

図表 95 ○ 手段的自立度（IADL）の評価結果

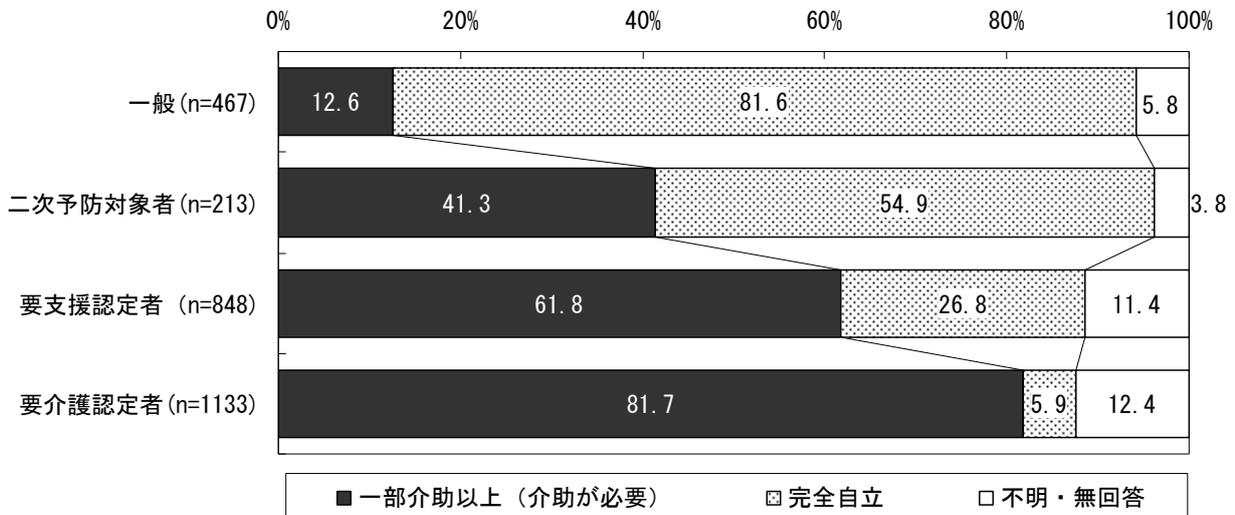
評価方法

「バスや電車で一人で外出していますか」「日用品の買物をしていますか」「自分で食事の用意をしていますか」「請求書の支払いをしていますか」「預貯金の出し入れをしていますか」の5つの設問に、「できるし、している」または「できるけど、していない」と回答した場合を1点として、5点満点の5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」とし、4点以下を「低下者」として評価しています。



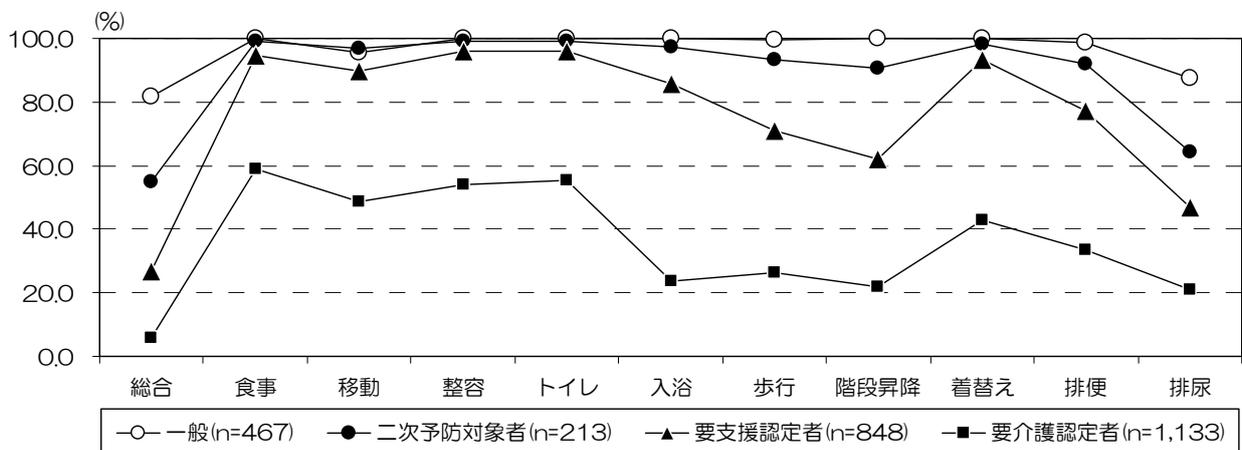
手段的自立度の評価結果をみると、手段的自立度の低下者割合は、一般で4.5%、二次予防対象者で18.8%、要支援認定者で43.3%、要介護認定者で85.0%となっており、要介護認定者で大きく増加しています。

図表 96 ○ 日常生活動作（ADL）の評価結果



日常生活動作（ADL）の評価結果をみると、介助が必要な人の割合は、一般で12.6%、二次予防対象者で41.3%、要支援認定者で61.8%、要介護認定者で81.7%となっています。

図表 96-1 ■ 評価項目別の自立者（完全自立）の割合



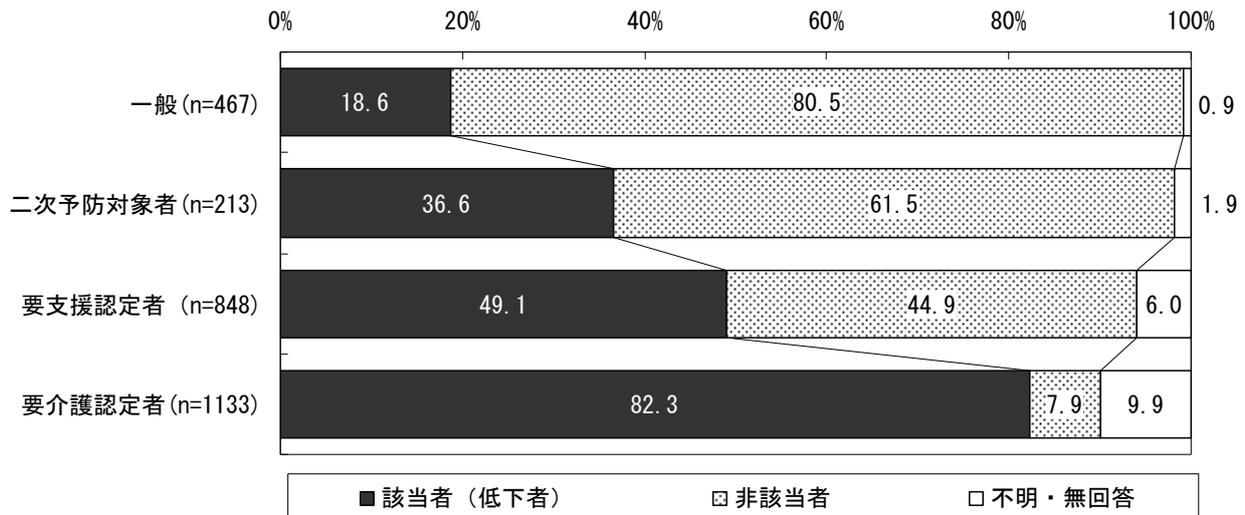
日常生活動作（ADL）の評価結果について、評価項目別の自立者（完全自立）の割合をみると、移動以外の項目では一般が最も高く、次いで二次予防対象者、要支援認定者、要介護認定者の順となっています。また、移動では二次予防対象者が最も高く、次いで一般、要支援認定者、要介護認定者の順となっています。

要支援認定者についてみると、食事や移動、整容、トイレ、着替えについては、いずれも自立の割合が9割程度となっていますが、排尿は46.9%、階段昇降は62.0%と低下しており、日常生活動作の中でも比較的早い時期に低下するものとそうでないものが確認できます。

図表 97 ○ 知的能動性の評価結果

評価方法

「年金などの書類が書けますか」「新聞を読んでいますか」「本や雑誌を読んでいますか」「健康についての記事や番組に関心がありますか」の4つの設問に、「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」とし、3点以下を「低下者」として評価しています。

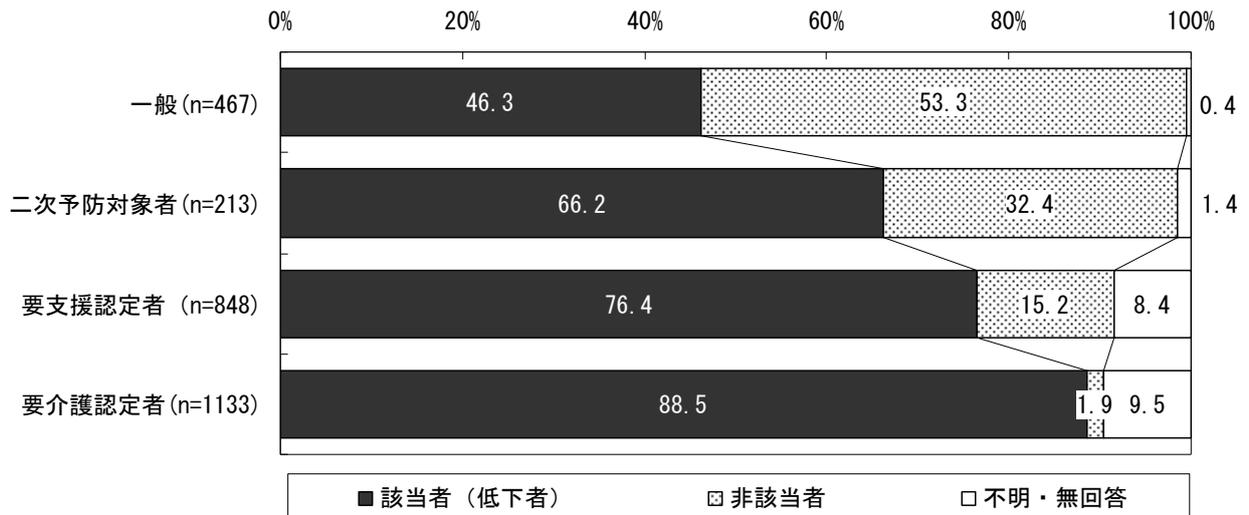


知的能動性の評価結果をみると、知的能動性の低下者割合は、一般で18.6%、二次予防対象者で36.6%、要支援認定者で49.1%、要介護認定者で82.3%となっており、要介護認定者で大きく増加しています。

図表 98 ○ 社会的役割の評価結果

評価方法

「友人の家を訪ねていますか」「家族や友人の相談にのっていますか」「病人を見舞うことができますか」「若い人に自分から話しかけることがありますか」の4つの設問に、「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」とし、3点以下を「低下者」として評価しています。



社会的役割の評価結果をみると、社会的役割の低下者割合は、一般で46.3%、二次予防対象者で66.2%、要支援認定者で76.4%、要介護認定者で88.5%となっています。

## 自由回答

### 第2号被保険者

項目・内容	件数
■ 介護保険制度について	59
① 制度やサービスの周知や情報提供の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険を使ってどんなことができるか、わかりやすい冊子を箕面市でつくってほしい。</li> <li>・ 介護サービスの内容をもっとわかりやすく広報してほしい。</li> <li>・ 介護保険制度をよく知られるようにしてほしい。</li> </ul>	10
② 介護保険料について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険制度も大切なことだと思うが、お金のない人たちのことを考慮してほしい。</li> <li>・ 年金受取額が年々少なくなるのに、介護保険料が高額。</li> <li>・ 保険料の負担は等しくあるべきで逃げ得とか不公平感なく納められるようにしてほしい。</li> </ul>	10
③ 要介護認定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要支援、要介護認定を簡単にとれるような申請制度にしてほしい。</li> <li>・ 年齢が90歳以上になると必然的に要介護2程度の資格があってもよいと思う。</li> <li>・ 要介護度の認定にばらつきがあると思う。</li> </ul>	7
④ 介護保険制度の充実・見直しについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多く負担した人はそれに応じたサービスが受けられる選択ができるなどの制度があってもよいと思う。</li> <li>・ 本当に介護が必要なところに使われているとは思えない。もう少し細かな配慮が大切である。</li> </ul>	6
⑤ 介護保険サービスの充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険料を徴収している以上、必ず充実したサービスが受けられるようにお願いします。</li> <li>・ 介護の実態を的確に把握し、スピーディーに対応策（負担も含め）を考える体制づくりが必要である。</li> </ul>	6
⑥ サービス提供基盤のあり方について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一律にデイサービスなどに行くのではなく、ケアマネジャーが個々に合わせたいろいろなサービスの組み合わせを提案していただきたい。</li> <li>・ デイサービスの業者は果たして高齢者の立場に立った経営をされているか疑問が感じられる。商業主義に走らないよう行政もチェックすべきである。</li> </ul>	6
⑦ 介護保険施設の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料老人ホームは高額すぎるので公営の施設を増やしてほしい。</li> <li>・ 私たち世代で施設入所するときは待つことなく入所できることを願う。</li> </ul>	5

項目・内容		件数
⑧介護従事者の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護にたずさわる方の報酬が大変低いので志があってもやめていく人が多いのが残念。</li> <li>・介護してくださる方々の待遇をよくして頂きたい。</li> </ul>	5
⑨利用者負担について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入や財産に応じた適切な負担割合にしてもらいたい。</li> </ul>	4
■保健福祉施策について		42
①保健福祉施策全般について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にやさしい福祉の充実を期待している。</li> <li>・いざという時のセーフティーネットを充実していただきたい。</li> <li>・これからは高齢者が安心して生活できる環境整備が緊急の課題と考える。</li> </ul>	9
②相談体制や窓口の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での相談が気軽にできるよう、また相談員も専門的な知識の豊富な方を配置していただけるよう希望する。</li> <li>・24時間相談や制度を利用できる窓口の設置。</li> <li>・相談者に出来るだけより良い対応をしてほしい。</li> </ul>	7
③保健施策の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料での筋トレ教室や健康体操を市主催で継続的に実施してほしい。</li> <li>・何事をするにも健康体が基本になると思うので健康を維持できる施策を充実させることが第一だと思う。</li> </ul>	6
④制度・サービスの周知や情報提供の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度、施策の情報提供が不足しているのではないか。わかりやすい広報活動を充実すべきである。</li> <li>・高齢者に対しての説明が不足しており、制度の普及を充実すべきである。</li> </ul>	6
⑤福祉施策の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護タクシーの料金をもう少し安くできないか。</li> <li>・老人センターの充実を考えてほしい。</li> </ul>	6
⑥生きがいや就労について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で働きたい方がたくさんいらっしゃるの、その方たちに働く場所、職業を紹介してあげてほしい。</li> </ul>	3
⑦難病患者対応の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病（特定疾患）を持っている人が無理なく働けるような社会を望む。</li> </ul>	2
⑧その他		3

項目・内容	件数
<b>■ 地域での支え合い等について</b>	12
①地域・世代間交流の場について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域社会の中で声を掛け合える連帯ができる土壌作りができればと思う。</li> <li>・ 高齢者の見守りが全くできていないと思われるのもっともっと目を向けてあげてほしい。</li> <li>・ コミュニケーションの場を充実させてほしい。</li> </ul>	8
②高齢者による高齢者支援の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の持つ力を活用できる施策をお願いする。</li> </ul>	4
<b>■ 将来の不安について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険料を支払っていても、将来自分が実際にサービスを受けられるのか不安に感じる事がある。</li> <li>・ 今払っている税金が本当に自分たちの時にきちんと生かされているのか不安。</li> <li>・ 働けなくなった時生活していけるのか、家の補修もできず崩れ落ちるのでは、天災が来たらどうなるのかと不安である。</li> </ul>	7
<b>■ 医療について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立病院をもっと活用できるようにしてほしい。</li> <li>・ 医療施設の充実。</li> </ul>	6
<b>■ 行政の姿勢等について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護や保健福祉施策だけでなく、何にせよ、迅速に具体策を立て、必ず実行してほしい。</li> <li>・ 机の上で仕事をせず地域にもっともっと足を運び、広く市民の立場、意見を聞いてほしい。</li> </ul>	4
<b>■ アンケートについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設問についてあまり知らなかった部分が多く、もっと積極的に知りたいと思った。</li> <li>・ 質問事項と答えを見ていて何のメリットがあるのか疑問である。</li> </ul>	4
<b>■ その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろ大変だと思うが、みなさん考えを出し合ってより良い世の中を作っていかななくては思う。</li> <li>・ 静かにのんびりまあまあ自分のことはできる程度で暮らしたい。</li> <li>・ いざ家族が老いて亡くなった時に” やれやれ” と思うことのない社会にしていきたいと切望する。</li> </ul>	9

## 第1号被保険者

項目・内容	件数
■介護保険制度について	60
①介護保険料について <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料をもう少し安くしてほしい。</li> <li>・年金から介護保険料を払うのはとてもつらい。</li> <li>・高い介護保険料を払って怠惰で介護保険サービスを受けるようになった人に負担するのはばかげている。</li> </ul>	19
②介護保険制度の充実・見直しについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に介護が必要なものに即利用でき、公費負担で誰もが安心して利用できることを切に望む。</li> <li>・介護保険制度は非常に良い制度だと思うが、これが維持されるよう努力していただきたい。</li> </ul>	11
③介護保険サービスの充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから高齢者が増えるので、ますますサービスを充実してほしい。</li> <li>・まずは家族による自助努力だが、それで支えきれない時こそ介護保険サービス等手厚い公的サービスを希望する。</li> </ul>	9
④介護保険施設の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームが入所までに1～2年待たなければならないため、増設の必要がある。</li> <li>・認知症、あるいは寝たきりの状態になった時に入所できる施設を充実する方向で検討してほしい。</li> </ul>	7
⑤サービス提供基盤の在り方について <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の入所施設のスタッフを増員しサービスの向上を。</li> <li>・介護事業所のサービス提供に差があり介護保険料が適切に使われているとは思えない。</li> </ul>	4
⑥利用者負担について <ul style="list-style-type: none"> <li>・妻が認知症でデイサービスに週3回行っているが支払いが毎月2万円を超過するのでもう少し安くしてもらいたい。</li> <li>・何もかも無料化にするのでなく受給者が一部負担がよい。</li> </ul>	3
⑦制度やサービスの周知や情報提供の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の制度の事を全くわからない。もっと誰にでも分かり易く、利用できるようにしてほしい。</li> </ul>	3
⑧介護従事者の処遇改善について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネやヘルパーの給料も低いのではないか。</li> </ul>	3
⑨その他	1

項目・内容	件数
■保健福祉施策について	50
①保健福祉施策全般について <ul style="list-style-type: none"> <li>・今何が一番必要なのか、優先順位を決めて対応されたいと思う。</li> <li>・きびしさと心ある保健福祉施策が明るく発展するよう願う。</li> <li>・人が生活できやすいように願う。</li> </ul>	12
②福祉施策の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの老人が安心して入れる福祉施設を多く作ってほしい。</li> <li>・福祉施策は高福祉にならぬよう、受益者の負担を求め持続可能な制度をつくっていただきたい。</li> </ul>	12
③介護予防について <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者に頼らないよう、健康づくりと運動と頭の体操が必要。</li> <li>・高齢に向かうため、介護予防に関心を持たなければと思う。</li> <li>・仕事が終わったら、いろんなことを学習しスポーツを頑張って、介護を利用しないような身体でいたい。</li> </ul>	7
④制度やサービスの周知や情報提供の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の福祉に関する制度は多々あると思うが、それを知る機会が少ない。</li> <li>・福祉等の制度に対して広く知らせることが必要である。</li> </ul>	6
⑤相談体制や窓口の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・SOSはどこに言えばいいのか。</li> <li>・老老介護になった時、生活支援その他精神面で、気軽に相談できるところがほしい。</li> </ul>	5
⑥移動手段・バス等の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料バスを一日一回でよいので運行してほしい。</li> <li>・福祉バスの現行のルートは利用しにくいいため、再検討してほしい。</li> </ul>	4
⑦保健施策の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の無料体操教室があるといい。</li> </ul>	2
⑧生きがいについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が孤立しないようにそれぞれの個性に合わせた仲間とつながりの輪をつくれたらと思う。</li> </ul>	2
■地域での支え合い等について	11
①見守り・訪問・安否確認などについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人が社会から孤立しないような施策がほしい。</li> <li>・一人暮らしや外出困難な世帯などを定期的に訪問し安否確認や情報などの提供を行う必要がある。</li> </ul>	6
②地域・世代間の交流について <ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合って、近所との交流を一番大切にしている。</li> </ul>	3
③高齢者による高齢者支援の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けのボランティアに関する施策・制度が必要。</li> </ul>	2

項目・内容	件数
<p>■医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金の範囲内で安心して生活できる医療福祉施策を。</li> <li>・市立病院を充実してほしい。</li> </ul>	8
<p>■将来の不安について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料を支払っているが、いざ自分の番になった時、本当にもらえるか心配である。</li> <li>・老人が安心して生きて行ける社会でない。</li> </ul>	7
<p>■住まいについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けの公営住宅が安く入れるようになれば引っ越ししたい。</li> <li>・高齢者向けの住宅整備や住宅改修への支援を特に要望する。</li> </ul>	5
<p>■生活や介護の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・83歳の今日まで介護保険のお世話になっていない。</li> <li>・同居ではないが、足が不自由なだけの母の介護をしている。</li> </ul>	4
<p>■アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にはボリュームが多すぎるので、今後は、検討をしてほしい。</li> <li>・アンケートを機会に高齢者福祉や介護について勉強するようにしたい。</li> </ul>	4
<p>■行政の姿勢等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の担当部署はもっと積極的及び自主的に行動するべきである。</li> <li>・現状に合った、市民目線での対応してほしい。現状把握が重要である。</li> </ul>	3
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在健康を維持できているため、介護保険制度は他人事のように思っている。</li> <li>・いずれは、介護保険のお世話になるだろうと思う。</li> </ul>	19

## 要支援認定者

項目・内容	件数
■介護保険制度について	98
①介護保険サービスの充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルパーにしてもらえる事の制約が多すぎる。</li> <li>ヘルパーの内容をもう少し広く活発にしてほしい。</li> <li>デイサービスに60代の男性は行きにくいと思う。</li> </ul>	24
②介護保険制度の充実・見直しについて <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度の健全な継続を望む。</li> <li>介護保険制度をもっと充実してほしい。</li> <li>要介護者を2人以上かかえている世帯に対する支援を考え直してほしい。</li> </ul>	19
③介護保険施設の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホームを交通の便利なところに、もっと増やしてほしい。</li> <li>今後必要な時にすぐに宿泊の可能な施設などがあると良い。</li> </ul>	16
④制度・サービスの周知や情報提供の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>介護認定によって使用できるサービスの内容をもっとよくわかるようにしてほしい。</li> <li>介護保険制度についてもっと周知させることが必要である。</li> </ul>	10
⑤要介護認定について <ul style="list-style-type: none"> <li>認定のしくみが分かりにくい。</li> <li>要介護度が変更になった理由について説明してほしい。</li> <li>要介護度の認定がきびしすぎる。</li> </ul>	8
⑥利用者負担について <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険サービスの利用料が高い。</li> </ul>	6
⑦サービス提供基盤の在り方について <ul style="list-style-type: none"> <li>どこの施設も男性の介護士が少なすぎる。</li> <li>制度をしっかりと理解していないヘルパーがいる。</li> </ul>	3
⑧介護保険料について <ul style="list-style-type: none"> <li>年金の支給額に比べて介護保険の額が多く、不満である。</li> </ul>	3
⑨介護従事者の処遇改善について <ul style="list-style-type: none"> <li>今後増大する高齢者に対しての介護士の待遇改善をしなければ介護士のなり手がなくなる。</li> <li>介護施設での従事者の特遇の改善をお願いします。</li> </ul>	2
⑩その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスを利用して在宅で生活ができ、感謝している。</li> <li>状況が悪化すればケアマネジャーに相談したい。</li> </ul>	7

項目・内容	件数
■保健福祉施策について	34
①福祉施策の充実について ・高齢者福祉について充実を図ってほしい。 ・パトロールの充実などにより、安心してより住み良い街にと願っている。 ・身体的にも不自由だが失語症があるのでそういう訓練施設がほしい。	9
②保健福祉施策全般について ・現状の保健福祉施策が長く続くよう一段の努力を願う。 ・もう少し高齢者の立場になって施策を考えてほしい。	7
③移動手段・バス等の充実について ・オレンジゆずるバスの本数やルートを増やしてほしい。 ・介護タクシーを復活してほしい。	5
④介護予防について ・もっともっと予防に力を入れてもらえたらと思う。	2
⑤生きがいについて ・趣味やサークル等の活動できる場が市内の色々なところがあればいいのではないか。	2
⑥その他	9
■将来の不安について ・一人暮らしになったらと考えると少し不安がある。 ・今後、介護保険サービスの負担がどうなるかわからず、不安である。 ・退院して在宅生活を送ることになったとき、どうすればいいのか不安である。	19
■アンケートについて ・アンケートの項目が多すぎる。 ・アンケートの結果を何に利用するのかわからない。 ・アンケートの内容について、高齢者では理解しづらい部分が多くある。	17
■地域での支え合い等について ・地域に気楽に集まり楽しめる場がほしい。 ・近所づきあいが大切である。	4
■医療について ・市立病院の医師はもっと患者に親切に接してほしい。 ・医療費が高い。	3
■行政の姿勢について ・老人の事をもっと考えてお金を上手に使うようにしてほしい。	3
■住まい ・ケア付きの老人ホームは料金が高すぎて入所できないので、検討してほしい。	2
■その他	26

## 要介護認定者

項目・内容	件数
■介護保険制度について	211
①介護保険施設の充実について ・家族での介護が困難で施設に入所したい場合、なかなか入所できない。 ・介護保険の入所施設の充実を望む。 ・老健や特養等の利用のチャンスがほとんどないため、大至急改善していただきたい。	52
②介護保険サービスの充実 ・訪問介護やデイサービスの時間を延長できるようにしてほしい。 ・デイサービスやショートステイをもっと利用しやすくしてもらいたい。 ・緊急時の支援サービスを充実してほしい。	40
③利用者負担について ・デイサービスの費用が高すぎる。もっと安くしてほしい。 ・夜間対応のサービスはあるが料金が高くて利用しにくい。 ・サービス利用の負担がもっと減ればよいと思う。	24
④介護保険制度の充実・見直しについて ・介護保険サービスを誰もが平等に受けられるシステムにしてほしい。 ・介護が必要な人にとってどのようなサービスや制度が必要なのかを見直すべき。	22
⑤サービス提供基盤の在り方について ・事業者毎にサービス内容や提供の実態を調査し、改善してほしい。 ・介護従事者のレベルの向上を図ってほしい。 ・介護従事者の対応が全てにおいて事務的すぎるように思う。	18
④制度・サービスの周知や情報提供の充実について ・介護保険で、どんなサービスが受けられるのかよくわからない。 ・介護サービス提供施設を選ぶ際に役立つ情報をもっと公開してほしい。 ・介護者が体調の悪い時に受けることのできるサービスを知りたい。	12
⑤要介護認定について ・要介護認定がきびしい。 ・要介護度の認定にばらつきがあるように思う。 ・認定調査員は対象者の症状をじっくりよく聞いて調査してほしい。	11
⑥介護従事者の処遇改善について ・ヘルパーの報酬をもっと高くすべきである。 ・勤務の待遇など報われていない部分が多いのではないか。	7
⑦介護保険料について ・介護保険料をもう少し安くしてほしい。	5
その他	20

項目・内容	件数
■保健福祉施策について	45
①福祉施策の充実について ・安心して老年期をすごせるよう、福祉施策を充実してほしい。 ・生活援助サービスを利用できるようにしてほしい。 ・介護者の心身の負担が軽減できるようなサービスを充実するべきである。	15
②保健福祉施策全般について ・現場の意見を重視して、よりよい福祉をお願いしたい。 ・保健福祉施策を進めるにあたって、庁内部署の連携のシステムがない。 ・福祉が「社会全体」の問題として認識されるようにするべき。	9
③移動手段・バス等の充実について ・介護タクシーを再開してほしい。 ・オレンジゆずるバスが使いにくい。利用しづらい。	7
④相談体制や窓口の充実について ・何でも気軽に相談できる窓口を充実してほしい。 ・身近に相談窓口があればいい。	7
⑤保健施策や介護予防の充実について ・今の60～70代の体力維持に力を入れる必要がある。 ・心身を健康にするようなサービスを充実してほしい。 ・介護予防のための施設を整備してほしい。	5
⑥生きがいについて ・要介護状態になっても、生きがいの持てるような制度を考えてほしい。	1
⑦制度・サービスの周知や情報提供の充実について ・介護や福祉に関する情報を一元化して簡単にわかるようにしてほしい。	1
■アンケートについて ・質問項目が多くて回答するのが大変である。 ・アンケートの内容がわかりにくい。	45
■将来の不安について ・今の制度や施策がどのように変わっていくのか不安な気持ちになる。 ・認知症の介護で疲れてしまい、これからのことを考えると不安。	19
■医療について ・医療の現場は高齢者の身体的、心理的な状況に目を向けていない気がする。 ・医療と行政が連携したシステムがあれば、介護者の負担を減らせることになるのではないか。	7
■地域での支え合い等について ・一人暮らしの高齢者に対する地域での見守り制度が必要である。	1
■その他	24